山形県埋蔵文化財調査報告書　第75集

水木田遺跡

発掘調査報告書

1984

山形県教育委員会

水木田遺跡

発掘調査報告書

昭和59年3月

山形県教育委員会

序

本報告書は，山形県教育委員会が昭和53年に実施した県営圃場整備事業（最上町中部地区）に係わる「水木田遺跡」の発掘調査結果をまとめたものであります。

最上町の中核をなす向町盆地には，小国川流域を中心に，幾つかのすぐれた遺跡が発見されておりますが，水木田遺跡は，これらの内でも代表的な一大遺跡であると考えられます。

調査の成果は，以下の本文に記す通りでありますが，縄文時代中期前葉における遺構等の検出を見た他，出土遺物の夥しい事は，県下でも有数のものかと考えられます。

近年埋蔵文化財と開発事業とのかかわりは，増加の傾向にあります。これらの間には，困難な問題も山積の状況ではありますが，生活文化の向上とする同一の立場から調整を行い，今後とも埋蔵文化財保護のため努力を続けてまいる所存であります。

最後ではありますが，本調査に多大なご協力をいただいた最上町・最上町教育委員会・新庄土地改良事務所・最上町中部土地改良区，並びに地元月楯地区他関係各位に対し，心から感謝申し上るとともに，本書が埋蔵文化財の理解を深め，その保護普及の一助となれば幸いと存じます。

昭和59年３月

山形県教育委員会

教育長　大竹正治

例　言

1　本報告書は，水木田遺跡の発掘調査報告書である。

2　遺跡所在地・調査体制は下記の通りであった。

遺跡名　水木田（みずきた）遺跡　　**遺跡番号**（914）

所在地　山形県最上郡最上町大字月楯字水木田

期　日　昭和53年４月17日～昭和53年９月８日（延べ88日）

調査主体　山形県教育委員会

調査協力　最上町教育委員会・新庄土地改良事務所・最上町中部土地改良区

調査員　佐々木洋治・名和達朗・阿部明彦・佐藤正俊・佐藤義信（県教育庁文化課）

協力員　上野　貞（最上町文化財保護審議委員）・長沢正機（最上町立向町小学校）

補助員　大類　誠・井上義直・阿部多津美

3　本報告書は，原則として遺物関係の挿図・図版を本文冊子から切り離し，プレート（ＰＬ１～ＰＬ110）として提示した。

4　本文中における遺構の縮尺は，$\frac{1}{40}$・$\frac{1}{60}$・$\frac{1}{80}$・$\frac{1}{100}$・$\frac{1}{120}$があり，各挿図中にスケールを入れて明示した。また，検出遺構は一覧表（表―１）を作成し，その概要を記入した。

5　ＰＬでの遺物は，完形土器・土器破片の写真（縮尺$\frac{1}{3}$，但しＰＬ33―８は$\frac{1}{2}$，ＰＬ29は$\frac{1}{4}$），土偶・土製品の写真（縮尺$\frac{1}{2}$），石器・石製品の写真（ＰＬ38・39は$\frac{1}{1}$，ＰＬ40～43は$\frac{1}{2}$，ＰＬ44～46は$\frac{1}{3}$），土器実測図（ＰＬ47～78は$\frac{1}{3}$），土器展開図（縮尺$\frac{1}{6}$，但し，ＰＬ85―3は，$\frac{1}{3}$），土器拓影図（ＰＬ88～101は$\frac{1}{4}$），土偶・土製品実測図（ＰＬ102～106は$\frac{1}{2}$），石器・石製品実測図（ＰＬ109・110は$\frac{1}{2}$），以上の記入順序および縮尺率で資料を提示した。

6　完形土器の写真図版（ＰＬ１～33）　土器実測図（ＰＬ47～78）で示したものについては，その観察表を作成し，概略説明を加えた。その他については，図中に出土地区等を記す程度に留まる。また，土器展開図の形成にあっては，文様構成の把握に主眼を置いたため，細部の文様や地文について省略している。主として資料化を計った遺物は，西区出土のＲＰNo.土器である。夥しい出土遺物を前に，可能な限り遺物の資料化を行う事が一つの目的となったため，全体に説明・分析不足の観は否めない。

7　本書の作成は，阿部明彦・佐々木洋治・佐藤正俊が担当し，前項の目的から職員全員の協力を得た。本文の執筆は，佐々木洋治（Ⅳ―４），福島日出海（Ⅳ―３），その他を名和達朗の協力を得て阿部明彦が各々分担している。写真・実測図他資料の作成は，佐々木洋治・佐藤正俊・阿部明彦・後藤　浩・福島日出海・遠藤淑子・佐藤達弥・村山正市他が担当した。

目　次

Ⅰ　調査の経緯

1　調査に至る経過……1

2　調査の概要と経過……1

Ⅱ　遺跡の概観

1　遺跡の立地と環境……3

2　周辺の遺跡……4

3　遺跡の層序……4

4　遺構と遺物の分布……6

Ⅲ　検出された遺構

1　西区……14

2　中央区……14

3　東区……14

Ⅳ　総　括

1　遺物について……26

2　遺構について……28

3　一段半撚りの縄文について……29

4　まとめ……30

挿　図　目　次

第1図　グリット配置図……2

第2図　遺跡位置図……3

第3図　土層断面図(1)……5

第4図　遺跡概要図……6

第5図　遺物出土状況(1)……12

第6図　遺物出土状況(2)……13

第7図　西区遺構配置図……15

第8図　ＳＴ17……17

第9図　ＳＸ9・ＳＭ7・8……18

第10図　ＳＴ2・3a・3b・14……19

第11図　ＳＭ201……21

第12図　土層断面図(2)……22

第13図　東区遺構平面図(1)……23

第14図　東区遺構平面図(2)……25

第15図　土器拓影図……29

図　版　目　次

図版1　遺跡遠景・近景・調査風景

図版2　土層断面

図版3　土器群出土状況

図版4　西区遺構・遺構土層断面図

図版5　遺物出土状況

図版6　ＳＭ201

図版7　東区遺構・遺物・土器群出土状況

図版8　東区遺構・遺物出土状況

付　表

表—1　検出遺構一覧……7

表—2　登録遺物一覧……8

表—3　出土土器観察表……10

表—4　グリッド別出土ＲＰ番号
レベル一覧……27

Ⅰ　調査の経緯

1　調査に至る経過

水木田遺跡は，山形県最上郡最上町大字月楯字水木田，字畑中，字清水下に所在する。『山形県遺跡地図』（山形県教育委員会編，昭和53年）によれば，最上町管内には41ヶ所の遺跡が確認されており，水木田遺跡は、その中で941番として登載されている。

遺跡の正式な発見は，昭和38年の『山形県遺跡地名表』にはじまる。その後，昭和47年に『さあべい同人会』の実施した最上町管内の遺跡分布調査があり，遺跡・遺物についての紹介が行われた。昭和49年，当時最上町向町小学校の長沢正機氏は，『最上圃場整備事業』に係わる遺跡の分布調査を行い，従来の資料の提示を行いながら，水木田遺跡の重要性について報告する所があった。

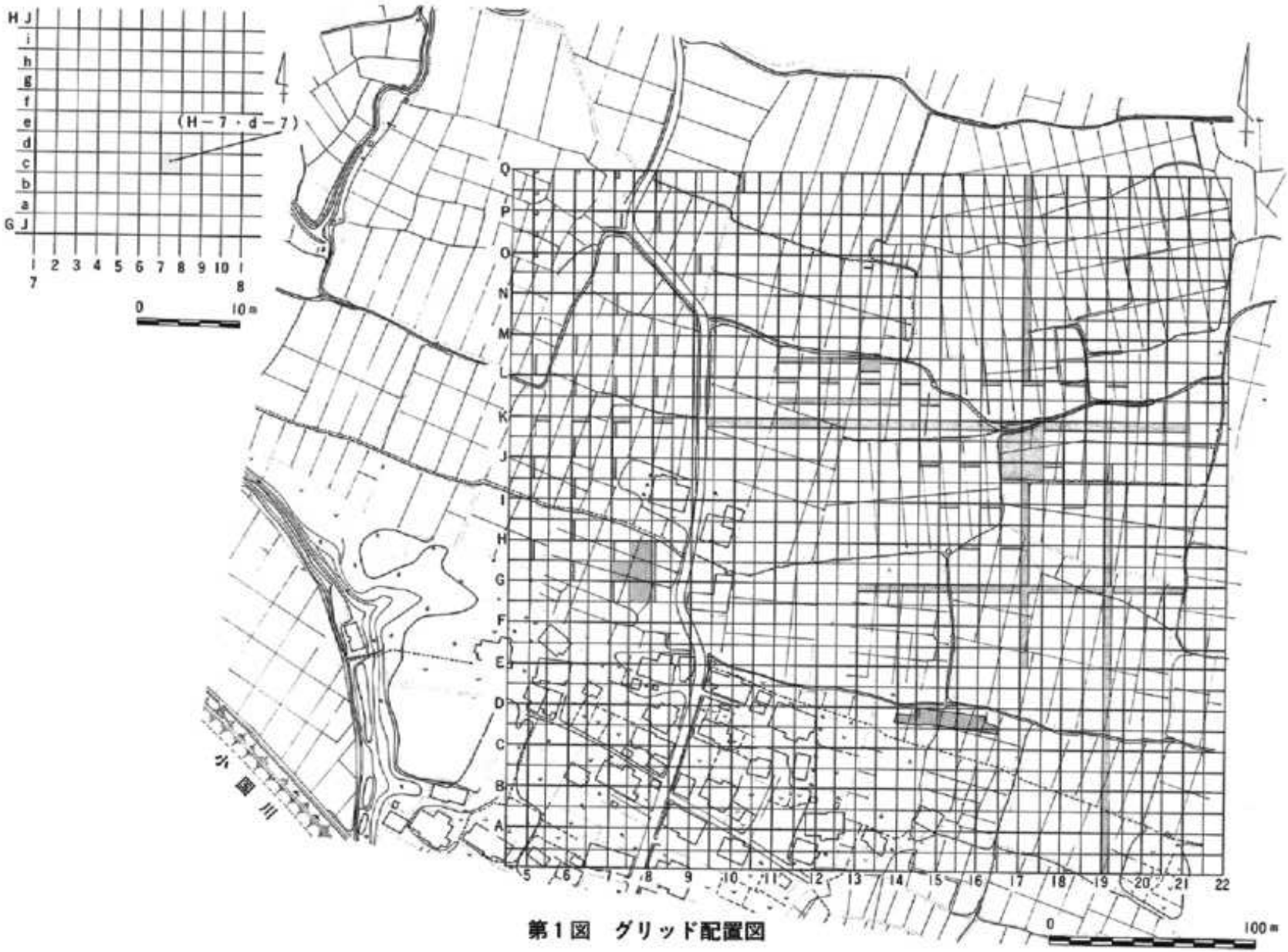
昭和53年，県営圃場整備事業（最上町中部地区）が具体化されるに至り，県教育委員会では，遺跡の規模・内容を明確にした上で，その保護・保存と事業との間を早急に調整する必要が生じた。そのため，昭和52年秋に事業施行区域内を対象とする試掘調査を実施し，結果に基づいて新庄土地改良事務所・最上町中部土地改良区・最上町教育委員会など関係機関と数度の協議を重ねた。その結果，緊急発掘調査を実施する運びとなったものである。

2　調査の概要と経過

調査は，山形県教育委員会が主体となり，最上町教育委員会の協力を得て実施した。期間は，昭和53年４月17日～同年９月８日までの延べ88日間である。

調査区の設定は，磁北を基準線とし，東西にＸ軸（１～22），南北にＹ軸（Ａ～Ｑ）をとり，各20ｍ毎に区画して大区とした。さらに各大区は２ｍ毎に区切り小区としている。大区・小区とも，アルファベッドの大文字・小文字・数字の組合せから（Ｈ－７・ｄ－７）等と表記した（第１図）。グリッドの設定後，調査対象地区内における遺構と遺物の分布を探るため，月楯～若宮に至る町道の西側（以下西区）では，２×10ｍを基準とするトレンチを入れ，Ｈ－７区を中心とする集中地点を把握した。次に，同区を中心に約５～10cmを１層とする分層発掘を行い遺構・遺物の追求を行った所，縄文中期の住居跡他多量の土器が密集する地点，平安時代の竪穴住居跡等を検出した。

６月下旬より道路東側の調査に入る。西側に比較して数倍の面積を占めるため，重機械による延べ４×800ｍのトレンチを入れて遺跡域を縦断させた。同時に，西側と同様2×10ｍのトレンチを入れ遺構・遺物の追求を行っている。その結果，Ｍ－13区（中央区），Ｊ～Ｋ－16～17区・Ｈ～Ｉ－17区（東区）周辺に遺物の集中地点が認められたため，大区単位での拡張を行い精査を実施した（第１図）。



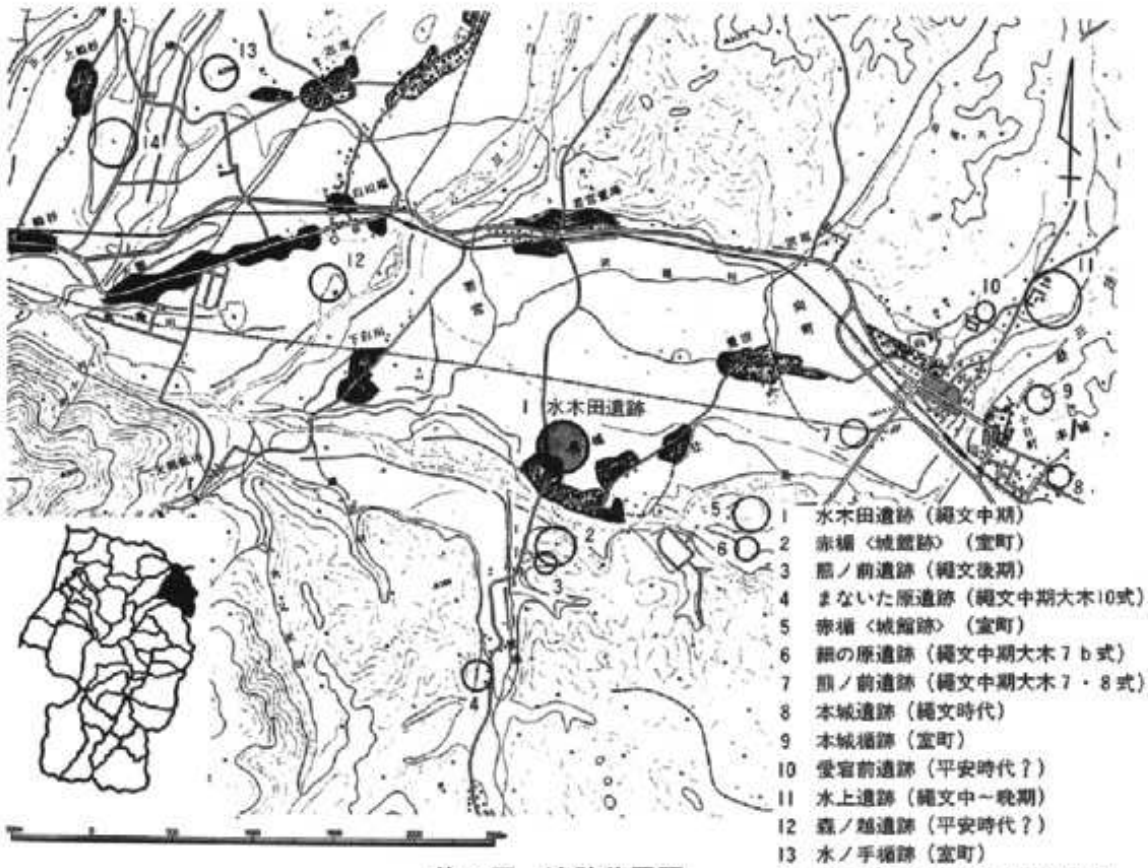
第1図　グリッド配置図

II　遺跡の概観

1　遺跡の立地と環境

遺跡のある最上町は，山形県の北東端に位置し，宮城・秋田の県境に接している。町域の中心となる向町盆地は，東西約7.5km，南北約5km程の山間の小盆地であり，周囲に奥羽山脈に連なる神室山系の急峻な山々が巡る。これら神室山系から流れ出る河川には，明神川，鳥出川，絹出川，白川，横川などの各清流があり，盆地の東南部及び中央部付近で小国川へと注ぐ。なお，小国川は，向町盆地の南縁を限りながら横断したあと，舟形町へと向い，同町堀ノ内地内で最上川と合流する。

水木田遺跡は，絹出川と白川の中間地点南側，小国川右岸の河岸段丘上に位置し，南面に盆地周縁の山麓や小国川，北東面に盆地中央部分となる平野部を一望する環境にある。標高は，186～188m前後を測る。西区では約186m弱前後，東区では約187m前後を各測り，東区が1m強程高い。地目の大半は，水田であるが，一部西南部の宅地内にも係ると予測される。昭和49年以来昭和52年度までの分布調査では，東西350m×南北250mの規模で遺跡が広がるものと推定されたが，発掘調査による知見でも同様の結果を得た（第4図）。



第2図　遺跡位置図

2　周辺の遺跡

小国川流域には，これまでの分布調査等から，旧石器時代～鎌倉・室町等の歴史時代にわたる41ケ所の遺跡が確認されている。これら遺跡の時期的な区分では，縄文時代と歴史時代（主として館・館）がその大半を占め，弥生～古墳時代に係わる遺跡の発見はない。

こうした遺跡の中で，昭和48年に材木遺跡（大洞ＢＣ～Ａ），昭和51年に水上遺跡（大木6・8ａ・8ｂ・9・加曽利Ｂ・大洞C_1・C_2），昭和52年に熊の前遺跡（大木7ｂ・8ａ），昭和53年に水木田遺跡（大木7ａ・7ｂ・8ａ），昭和55年に水上遺跡第２次（大木6・宮戸1ｂ）と次々と調査され，小国川流域における縄文時代の内容がより鮮明となって来ている。

水木田遺跡周辺における同期ないし相前後する遺跡では，前掲の熊の前遺跡がある。小国川と絹出川との合流点近くに位置し，水木田遺跡との直線距離は２kmとごく近い。調査では，住居跡他土壙，多数のピット等が検出されるとともに，短期間に一括廃棄されたと考えられる土器集中地点（幅約６ｍ，長さ約16ｍ）が認められている。これは，水木田遺跡の西区における土器群のあり方に類似し，注目される。復元された土器から知り得た時期は，大木7ｂ・8ａ式を主体としている事から，水木田遺跡と時期的に重複する何らかの有機的関連を持った遺跡と捉えられよう。その他では，未調査で詳細不明ながら，水木田遺跡付近の小国川で合流する満沢川流域に大木7ａ式土器を出土する細野原遺跡等がある。

3　遺跡の層序

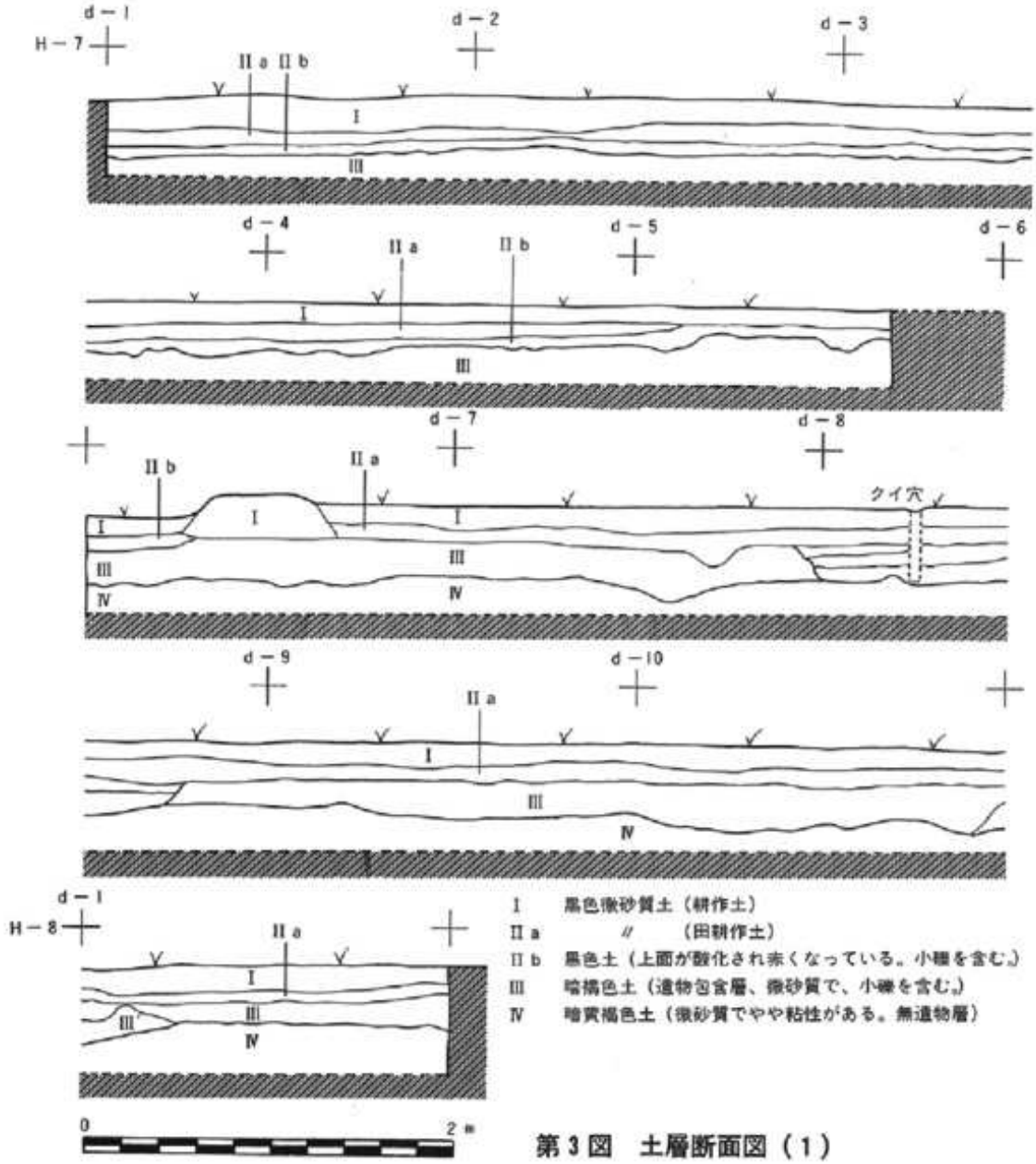
本遺跡を覆う表層の土質は，微砂・粘質土・砂礫などよりなる沖積土壌である。層序は，水田耕作土，遺物包含層，遺構の確認検出面等から，大きく６大別が可能であった。西区，東区ともに基本的には同一とする事ができるが，遺跡中央部や西北周辺では，段丘礫層を主とする基盤層が下るため，Ⅲ層以下の土層に不均衡や欠落が認められた。東西南北に長く設定したトレンチの土層断面からは，遺跡域の縁辺から幾分内側に入った部分に安定した基盤層レベルの高い地帯があり，遺物分布と同様の様相を示すものと考えられた。すなわち，自然の作用による微地形上の適地を選択しながら，結果的に環状ないし馬蹄形を呈す遺跡域が形成されたと推測される。なお，東区から続く南東部程標高が高い事等からは，遺跡域を北西端部に占地させる舌状の小台地と見る事も可能であろうか。以下，西区および東区における平均的な土層について西区の土層図をもとに概述する（第３・12図）。

Ⅰ：黒色微砂質土（小粒径の礫を多く含む。土器小片等を若干含む現耕作土。）

Ⅱa：　〃　（旧耕作土と思われるもので，部分的に欠落する地域がある。）

Ⅱb：黒　色　土（小礫を多量に含み，Ⅱａ層との界面では酸化鉄の付着が著しい。）

Ⅲ：暗 褐 色　土（微砂質の均一な層で遺物・炭化粒等を主体的に含む。）



第３図　土層断面図（１）

Ⅳ：暗黄褐色土（微砂質でやや粘性がある。無遺物層）

Ⅴ層以下の層序については提示し得なかったが，部分的な深掘りや，一部のトレンチ壁面での所見などから，Ⅴ層：黄燈色粘土層（粘性がやや強く，かたくしまる。）Ⅵ層：明褐色砂礫層（こぶし大の礫および粒径の大きな砂よりなる。）と続く。

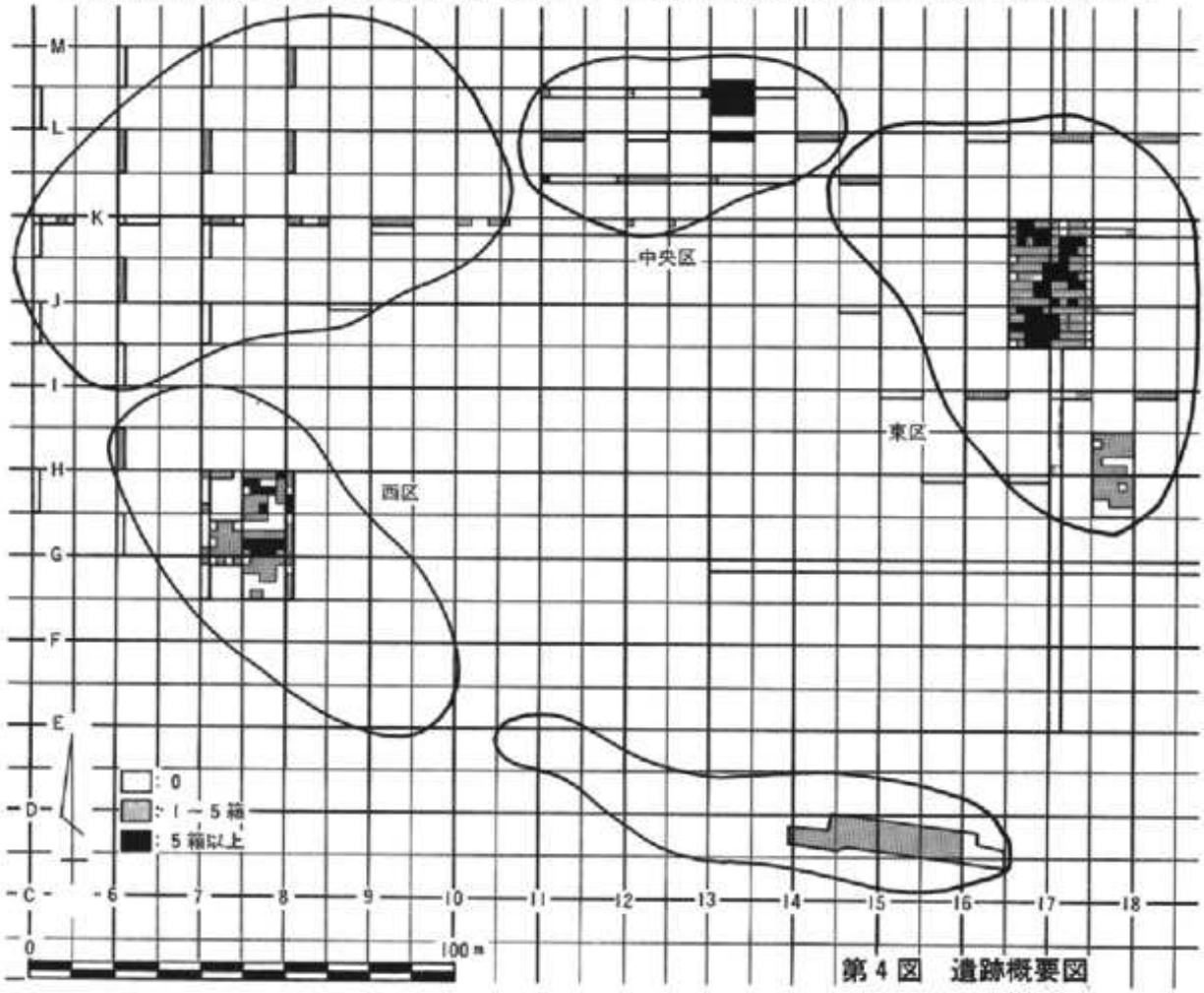
東区の層序は，第13図に示す如くであるが，遺物包含層（Ⅴ）の上面には，西区では認められなかった灰褐色の土層（Ⅳ）が検出された。ＳＴ102の土層断面に顕著に現われている。性格については不明確であるが，調査時点では火山灰との推測も出された。この分布については，ＳＴ102周辺に限られるらしく，東区の精査拡張範囲内での均質な分布を見ない。また，遺物包含層は，Ⅳ層を挟んだⅢ層およびⅤ層となる。

4　遺構と遺物の分布

検出された遺構は，表－1に示す通りで，縄文時代中期の住居跡（ＳＴ17・ＳＴ101～124）土壙（ＳＫ1～18・ＳＫ103～107），集石遺構（ＳＭ7・8），配石遺構（ＳＭ201），性格不明の落ち込み等（ＳＸ9・125），および平安時代の竪穴住居跡（ＳＴ2・3a・3b・14），平安時代以降の中世に入ると考えられる掘立柱建物跡（ＳＢ109・110・136），時期不詳の溝（ＳＤ106），計33基がある。これらの他，西区の発掘区中央部分（Ｈ－7・a～e－3～10）には，短期間に一括廃棄されたと考えられる夥しい量の土器群が東西方向に幅約4m，長さ約16mにわたって検出された。東区でも同様の土器群を，Ｊ－16区で検出している。

一方，出土した遺物は，整理箱にして約1000箱程にものぼり，その量の多い事は県下でも比類がない。これらは，主として第4図に示す通り前述のＨ－7区，Ｍ－13区，Ｊ～Ｋ～16～17区から出土したものが大半を占めている。また，こうした状況は，遺構域からやや離れた箇所における集中的な出土状況を示すものであったと認識された。

遺跡域での遺物の分布状況は，前項でも述べたが，地形的な要因と関連してか，南々東に開く馬蹄形を示すかの様である。むろん，中心域や南縁部における調査が充分でなかっ



第4図　遺跡概要図

表－1　検出遺構一覧（西区検出遺構・中央区検出遺構・東区検出遺構）

分類	番号	検出地区(グリッド名)	形状	規模(cm) 最大径	最小径	深さ	内部施設他	出土遺物	備考
ST	2	G−7(g−i−8−10)	方形	508	480	55	柱穴3、地床炉	縄文土器片(6箱)、土師器片、凹石(17)、剥片(10)	平安時代(覆土内に須恵器片若干が混じる。)
ST	3a	G−7(h−i−8−9)	方形	360	332	9	柱穴4、土壙1	縄文土器片(8箱)、土偶(1)、石匙(1)	平安時代(覆土に多量の縄文時代遺物を含む)
ST	3b	G−7(g−i−8～9)	方形	592	568	44	柱穴1	縄文土器片(2箱)、凹石(1)、石錘(1)、土師器片(2)	平安時代(覆土内より須恵器甕破片)
ST	14	G−7(f−7～8)	方形	314	268	27	柱穴4、地床炉 カマド煙道様張出し。	縄文土器片(1/2箱)、須恵器片(1)、剥片(3)	平安時代
ST	17	H−7(b−6)	円形	564	542	20	柱穴2、焼土検出、中央部に黒状ピット検出	縄文土器片(1/2箱)、土偶(1)、石匙(1)、剥片(1)	縄文中期(大木7b式)
SK	1	I−6(a−1)	不整円形	220	180				プランのみ検出
SK	4	G−7(j−6)	円形	43	40	18		縄文土器片若干	縄文中期(大木7b式)
SK	5	H−7(d−7)	円形	66	63	25		〃	〃
SK	6	G−7(i−6)	楕円形	46	31	17		縄文土器片(19)、凹石(1)	〃
SK	10	H−7(d−2)	長方形	112	82	22		縄文土器片(58)	〃
SK	11	H−7(a−3)	長方形	116	57	11		縄文土器片(41)	〃
SK	15	G−7(h−9)(ST3a)	楕円形	32	22	10		縄文土器片(2箱)	〃
SK	16	G−7(h−8)	不整円形	86	79	5		縄文土器片(2箱)	〃
SK	18	H−7(b−6)	不整円形	224	196			縄文土器片(13箱)、土偶(1)、石匙(1)	焼土、骨片、炭化物出土 縄文中期(大木7b式)
SM	7	G−7(j−10)	楕円形	74	53		集石下に土壙の存在が予測される。	縄文土器片(1箱)	集石遺構
SM	8	H−7(a−10)	円形	63	60		集石下6～14cmの間に薄い焼土層がある。		集石遺構
SX	9	H−7(g−7−10)	不整長方形	431	68	67		縄文土器片(11箱)剥片(3)	数度にわたる土壙の切合い状を呈す。

分類	番号	検出地区(グリッド名)	形状	規模(cm) 最大径	最小径	深さ	内部施設	出土遺物
SM	201	M−13(f−b−1−4)	長方形	800以上	672	10	中央部に焼土検出 中間土に礫群(配石様)	縄文土器片(9箱)、土偶(4)、石匙(3)、剥片(8)、磨製石斧(2)、石棒(1)、石鏃(1)、凹石(2)、線刻礫(1)

分類	番号	検出地区(グリッド名)	形状	規模(cm) 最大径	最小径	深さ	内部施設他	出土遺物	備考
ST	101	J～K−17(h～b−1−4)	楕円形	784	676	16		縄文土器片(18箱)、土偶(1)石匙(1)、剥片(6)、凹石(1)	縄文中期(大木8a式)
ST	102	K−17(a～e−2～5)	円形	642	623	22	SX9類似の土壙1	縄文土器片(4箱)、石匙(1)、石鏃(1)、凹石(1)	〃
ST	104	J−17(a～C−5～7)	楕円形	590	492	5	柱穴3、地床炉	縄文土器片(4箱)剥片(2)	〃
ST	108	K−17(e～g−10～6)	楕円形	451	412	24	不明	縄文土器片(13箱)、石匙(3)、剥片(15)	〃
ST	122	K−17(d～f−1～3)	円形？	470?	445?	?	〃	縄文土器片(7箱)	プランのみ検出
ST	123	K−17(f～i−1～5)	不整円形	766	688	21	〃	縄文土器片(6箱)、石匙(1)、剥片(8)	縄文中期(大木8a式)
ST	124	K−16(C～e−9～10)	楕円形	328	326	15	〃	縄文土器片(4箱)、剥片(9)、凹石(4)	〃
SK	103	K−17(a−1)	円形	150	148	38		縄文土器片(1箱)、石棒(1)	〃
SK	105	H−17(d−7～8)	円形	144	132	27		縄文土器片(16)	〃
SK	107	K−17(C−2)	楕円形	168	136	14			〃
SX	125	H−17(h−i−5)	方形			5		縄文土器片(1箱)	一部分の検出に止まる

分類	番号	検出地区(グリッド名)	形状	規模(cm) 長さ	最大巾	最小巾	深さ	出土遺物	備考
SD	106	H−17(b～f−6～10)	溝	1220以上	206	118	23	覆土内に縄文土器破片(1箱)	後世の用排水に係わる溝？

分類	番号	検出地区(グリッド名)	棟方向	規模(間) 桁行×梁行	柱間寸法(cm) 桁行	梁行	柱穴(cm) 柱数	最大径	最小径	深さ	時期	備考
SB	109			2×3以上								未完掘のため詳細不明
SB	110	J−16(f～h−6～10)	E W	1以上×3	300	210	11	36	26	18～35	鎌倉～室町？	須恵器片(1)、北側に溝あり。EP111～121
SB	136	H−17(i～j−5～9)	E W	2×3	200	200	10	30	24	31～37	〃	EP126～135

たため断定は控えねばならない。

平安時代およびそれ以降に関わる遺構と遺物の分布は，西区のG－8区，東区のJ－16・H－17区に各認められた。これらに係わる遺物は，掘立柱建物跡周辺と竪穴住居内覆土からごく少数出土したに止まる。ST1では，ロクロ整形による須恵器坏体部片1点，ST2覆土内から須恵器大甕の体部上半部破片1点，東区SB110・136周辺から中世陶器3点（いずれも内面に4～6条単位の卸し目を持つすり鉢片で，2点は須恵器系の還元焔焼成を示し，他は酸化焔焼成である。）がある。なお西区のI－6区周辺にも須恵器系の甕体部片等の分布が認められた。遺跡近傍には，月楯をはじめ，曾楯等の地名や遺構が残る。

表－2　登録遺物一覧

遺物番号	出土地区	層	写真番号	実測図番号	拓影図番号	備　考	遺物番号	出土地区	層	写真番号	実測図番号	拓影図番号	備　考
RP 1	H－8(h－1)					土器底部1点	＊ 41	H－7(h－10)	II				RP20と同1個体
＊ 2	H－8(i－1)					小型キャリパー状の深鉢の胴片	＊ 42	H－7(h－9)	II				キャリパーの深鉢破片
＊ 3	H－7(j－10)		PL 2	PL 48	PL 88－1～3	展開図 PL 79－2	＊ 43	H－7(c－9)	II				小型土器
＊ 4	H－8(i－1)					深鉢破片	＊ 44	H－7(b－9)	II	PL 8	PL 54	PL 91－1～3	展開図 PL 80－4
＊ 5	H－8(f－1)					RPに接する深鉢	＊ 45	H－7(b－9)	II			PL 91－4・5	
＊ 6	H－7(j－10)					体部破片のみ	＊ 46	H－7(b－9)	II				体部の破片のみ
＊ 7	H－7(j－10)					逆状口縁の深鉢破片	＊ 47	H－7(c－9)	II				体部の破片のみ
＊ 8	H－7(j－9)				PL 88－4		＊ 48	H－7(b－9)	II	PL 20－2	PL 66－2	PL 91－6－11	展開図
RQ 9	H－7(j－10)					石錐	＊ 49	H－7(b－9)	II				縄縒りの体部破片のみ
RP 10	H－8(j－1)	II	PL 10 PL 20－1	PL 56 PL 66－1	PL 88－5～10	復元土器2個 展開図 PL 82－1	＊ 50	H－7(b－9)	II				1/4個体の深鉢破片
RQ 11	H－8(j－1)	II	PL 60－27			石錐	＊ 51	H－7(b－9)	II			PL 91－12－14	
RP 12	H－8(j－1)	II		PL 66－5	PL 88－11		＊ 52	H－7(c－8)	II			PL 91－15～18	
＊ 13	H－8(j－1)	II			PL 88－12～16		＊ 53	H－7(a－9)	II			PL 91－19－23	
＊ 14	H－8(j－1)	II			PL 88－17・18		＊ 54	H－7(a－9)	II				浅鉢と深鉢の破片
＊ 15	H－8(j－1)	II			PL 88 88－19～23		＊ 55	H－7(a－9)	II			PL 91－24	
＊ 16	H－8(j－1)	II			PL 88－24－25		＊ 56	H－7(a－8)	II	PL 32－10	PL 77－10		
RQ 17	H－8(i－1)	II				石錐	＊ 57	H－7(a－8)	II	PL 31－3	PL 76－4		
＊ 18	H－8(h－1)	II	PL 30－9	PL 107－5		石錐	＊ 58	H－7(a－8)	II				底部破片のみ
RP 19	H－7(f－8)	II			PL 88－26～34		＊ 59	H－7(a－8)	II			PL 91－25・26	※PL 41－10
＊ 20	H－7(f－8)	II			PL 88－35～43		＊ 60	H－7(c－9)	II				RP44と同1個体
＊ 21	H－7(f－8)	II			PL 89－1・2		＊ 61	H－7(b－8)	II			PL 91－27・28	
＊ 22	H－7(a－1)	II				円孔充のキャリパー深鉢	＊ 62	H－7(a－8)	II				深鉢の体部破片のみ
＊ 23	H－8(a－1)	II			PL 89－3－5		＊ 63	H－7(b－8)	II			PL 91－29・30	
＊ 24	H－7(a－8)	II	PL 15	PL 61	PL 89－6～9	展開図 PL 85－1	＊ 64	H－7(b－9)	II				体部破片のみ
＊ 25	H－7(b－10)	II	PL 24－2	PL 70－2	PL 89－11～17	土偶 PL 102－4	＊ 65	H－7(b－9)	II			PL 92－1・2	
＊ 26	H－7(b－10)	II			PL 89－19～27		＊ 66	H－7(b－9)	II		PL 66－4		
＊ 27	H－7(a－10)	II	PL 25－1	PL 27－1	PL 89－28－34		＊ 67	H－7(a－7)	II			PL 92－3	
＊ 28	G－7(j－10)	II			PL 89－35		＊ 68	H－7(a－7)	II			PL 92－4	
＊ 29	H－7(a－10)	II	PL 32－1 PL 30－1	PL 68－1 PL 75－2	PL 89－36	復元土器2個 展開図 PL 83－2・87－3	＊ 69	H－7(a－7)	II				深鉢破片のみ
＊ 30	H－8(a－1)	II	PL 32－4	PL 77－4	PL 89－37～43	復元土器1個 及び石棒	＊ 70	H－7(a－7)	II			PL 92－5・6 ※PL 100－7	
＊ 31	H－7(a－9)	II			PL 90－1～3 ※PL 100－6		＊ 71	H－7(a－7)	II				深鉢体部の破片のみ
＊ 32	H－7(a－9)	II			PL 90－4－7		＊ 72	H－7(a－6)	II				深鉢の破片
＊ 33	H－7(a－10)	II			PL 90－8～9		＊ 73	H－7(a－6)	II			PL 92－7－10	
＊ 34	H－7(a－9)	II			PL 90－10・11		＊ 74	H－7(a－6)	II			PL 92－11・12	
＊ 35	H－7(b－10)	II	PL 23－2	PL 69－3	PL 90－18		＊ 75	H－7(b－7)	II			PL 92－13～18	
＊ 36	H－7(b－10)	II	PL 22－2	PL 68－2		展開図 PL 83－1	＊ 76	H－7(b－7)	II			PL 92－19～26	
＊ 37	H－7(b－10)	II			PL 90－12～17		＊ 77	H－7(b－7)	II				底部のみ
＊ 38	H－7(b－10)	II			PL 90－18～21		＊ 78	H－7(b－6)	II			PL 92－27～33	
＊ 39	H－7(b－10)	II			PL 90－22～24		＊ 79	H－7(b－6)	II				体部1/3個体
＊ 40	H－7(b－9)	II	PL 29－2		PL 90－25		＊ 80	H－7(b－6)	II				底部のみ

遺物番号	出土地区	層	写真番号	実測図番号	拓影図番号	備　考	遺物番号	出土地区	層	写真番号	実測図番号	拓影図番号	備　考
RP 81	H－7(b－6)	II				口縁のみ	RP123	H－7(a－10)	III			PL 94－11・12	
〃 82	H－7(b－6)	II			PL 93－1・2		〃 122	H－7(b－10)	III			PL 94－13	
〃 83	H－7(b－6)	II			PL 93－3～5		〃 123	H－7(a－9)	III	PL 32－6	PL 77－6	PL 94－14～17	
〃 84	H－7(c－6)	II			PL 93－6・7		〃 124	H－7(b－9)	III	PL 22－3	PL 68－3		復元土器2個 展開図 PL 83－3
〃 85	H－7(b－6)	II		PL 110－7	PL 93－8～10		〃 125	H－7(b－9)	III				底部のみ
〃 86	H－7(c－6)	II	PL 11	PL 57	PL 93－11		〃 126	H－7(b－9)	III	PL 6	PL 52	PL 94－18・19	
〃 87	H－7(c－6)	II			PL 93－12・13		〃 127	H－7(b－10)	III				展開図 PL 81－3
〃 88	H－7(b－8)	II				口縁1/4個体	〃 128	H－7(b－10)	III			PL 94－20～23 PL 95－1～4	復元土器2個
〃 89	H－7(c－10)	II			PL 99－15		〃 129	H－7(b－10)	III			PL 95－5	
〃 90	H－7(c－6)	II					〃 130	不　明				PL 95－6～7	
〃 91	H－7(f－9)	II	PL 9	PL 55－1	PL 93－14・15	展開図 PL 81－1 2個体がある	〃 131	不　明					無頸壺の体部片のみ
〃 92	H－7(f－9)	II			PL 93－16～20		〃 132	H－7(b－9)	III			PL 95－8	復元土器2個 展開図 PL 85－3
〃 93	H－7(f－9)	II			実 PL 101－3		〃 133	H－7(b－9)	III	PL 26－4	PL 72－4	PL 95－9～11	展開図 PL 83－6
〃 94	H－7(f－9)	II		PL 102－3		土錘	〃 134	H－7(b－9)	III				
〃 95	H－7(e－8)	II	PL 37－15	PL 106－6			〃 135	H－7(b－9)	III	PL 4	PL 50		展開図 PL 81－4
〃 96	H－7(a－8)	III	PL 32－2	PL 77－2			〃 136	H－7(a－9)	III	PL 21－2 PL 24－3	PL 67－2 PL 70－3		
〃 97	H－7(a－6)	III				体部下半のみ	〃 137	H－7(b－9)	III	PL 23－1 PL 25－3	PL 69－1 PL 71－3		展開図 PL 83－7
RQ 98	ST　2	F	PL 42－2			磨製石斧	〃 138	H－7(a－9)	III				RP 136と同1個体
RQ 99	ST　2	F		PL 107－1		石錘	〃 139	H－7(b－8)	III				RP 137と同1個体
RQ100	H－8(f－1)	III	PL 36－5	PL 107－4		石錘	〃 140	H－7(b－9)	III	PL 29－1	PL 76－2	PL 95－12～15	
RQ101	H－7(i－9)	III	PL 36－2	PL 107－2		石錘	〃 141	H－7(b－8)	III	PL 30－3	PL 75－4		展開図 PL 87－10
RQ102	H－7(i－8)	III				石錘	〃 142	H－7(b－8)	III				大波状口縁の破片
RP103	H－7(b－6)	III		PL 89－2			〃 143	H－7(b－8)	III			PL 95－16	
〃 104	H－7(b－6)	III	PL 5 PL 32－7 PL 32－8	PL 61 PL 77－7 PL 77－8	PL 93－21～24	復元土器2個 展開図 PL 89－5・101－1	〃 144	H－7(b－6)	III	PL 7	PL 53		展開図 PL 80－2
〃 105	H－7(f－6)	III	PL 33－5	PL 78－5			〃 145	H－7(a－8)	III			PL 95－17・18	
〃 106	H－7(a－10)	III			PL 93－25		〃 146	H－7(a－8)	III	PL 29－5			
〃 107	H－7(a－10)	III	PL 31－1	PL 75－1		展開図 PL 107－6	〃 147	H－7(a－8)	III	PL 16 PL 24－4	PL 62 PL 70－1		復元土器2個 展開図 PL 82－3
〃 108	G－8(j－1)	III			PL 93－26 PL 94－1		〃 149	H－7(a－8)	III			PL 95－19～21	
〃 109	G－8(j－1)	III	PL 29－3				〃 150	H－7(b－7)	III				体部・底部のみ
〃 110	G－7(j－10)	III			PL 94－2		〃 151	H－7(b－8)	III				深鉢破片のみ
〃 111	不　明		PL 53－3	PL 78－3	PL 94－3		〃 152	H－7(b－8)	III				深鉢破片のみ
〃 112	G－7(j－9)	III			PL 94－4・5 他PL 100－2		〃 153	H－7(a－8)	III			PL 95－22～25	
〃 113	G－7(j－9)	III	PL 20－8		PL 94－6		〃 154	H－7(b－8)	III	PL 23－1	PL 67－1	PL 95－26～29 PL 96－1～4	
〃 114	H－7(a－9)	III				深鉢体部・底部破片のみ	〃 155	H－7(b－8)	III	PL 30－2	PL 75－3	PL 96－5～9	展開図 PL 87－4,5
〃 115	H－7(a－9)	III	PL 20－7				〃 156	H－7(b－9)	III				深鉢1/4個体
〃 116	H－7(a－8)	III				深鉢破片	〃 157	H－7(e－6)	III	PL 12 PL 14他	PL 68 PL 70 PL 70－2	PL 96－10～14	復元土器4個 展開図 PL 84－2
〃 117	G－7(j－8)	III			PL 94－7		〃 158	H－7(b－6)	III				展開図 PL 85－4
〃 118	H－7(a－8)	III				口縁部欠で体部中心である	〃 159	H－7(b－6)	III	PL 13	PL 50	PL 96－15～20	展開図 PL 84－4
〃 119	H－7(a－9)	III			PL 94－8・9		〃 160	H－7(b－6)	III			PL 97－1～5	
〃 120	H－7(a－9)	III			PL 94－10		〃 161	H－7(f－9)	III				深鉢破片のみ

遺物番号	出土地区	層	写真番号	実測図番号	拓影図番号	備　考	遺物番号	出土地区	層	写真番号	実測図番号	拓影図番号	備　考
RP162	H－8(f－1)	Ⅲ			PL 97－6－9		RP202	H－8(i－1)	Ⅲ			PL98－18	
＊ 163	H－8(f－1)	Ⅲ				深鉢	＊ 203	H－7(i－10)	Ⅲ				無文土器体部のみ
＊ 164	H－8(f－1)	Ⅲ			PL97－10		＊ 204	H－7(j－6)	Ⅲ			PL98－11	
＊ 165	H－7(f－10)	Ⅲ				深鉢	＊ 205	H－7(h－5)	Ⅲ			PL98－20	
＊ 166	H－7(f－9)	Ⅲ			PL 97－11－15		＊ 206	H－7(h－5)	Ⅲ				底部のみ
＊ 167	H－7(f－8)	Ⅲ				深鉢体部破片のみ	＊ 207	H－7(h－5)	Ⅲ			PL98－21	
＊ 168	H－7(f－8)	Ⅲ				深鉢体部破片のみ	＊ 208	H－7(a－4)	Ⅲ			PL 98－22・23	
＊ 169	H－7(g－7)	Ⅲ			PL 97－16～18		＊ 209	H－7(h－4)	Ⅲ				体部・底部破片のみ
＊ 170	H－8(f－1)	Ⅲ			PL97－19		＊ 210	H－7(h－3)	Ⅲ			PL98－24	
＊ 171	H－7(f－10)	Ⅲ				深鉢破片のみ	＊ 211	H－7(h－3)	Ⅲ			PL 98－25～27	
＊ 172	H－7(f－10)	Ⅲ			PL 97－20・21		＊ 212	H－7(h－3)	Ⅲ			PL 98－28～32	
＊ 173	H－7(f－8)	Ⅲ			PL97 97－23・24		＊ 213	H－7(h－4)	Ⅲ				体部破片のみ
＊ 174	H－7(f－8)	Ⅲ			PL97－25 図PL98－3		＊ 214	H－7(h－4)	Ⅲ				体部破片のみ
＊ 175	H－7(f－7)	Ⅲ				深鉢破片のみ	＊ 215	H－7(h－4)	Ⅲ				体部破片のみ
＊ 176	H－7(g－7)	Ⅲ			PL97－26		＊ 216	H－7(c－4)	Ⅲ				体部破片のみ
＊ 177	H－7(g－6)	Ⅲ				深鉢破片のみ	＊ 217	H－7(c－5)	Ⅲ			PL98－33	
＊ 178	H－7(g－6)	Ⅲ			PL 97－27・28		＊ 218	H－7(c－4)	Ⅲ	PL32－4	PL76－5		展開図 PL87－8
＊ 179	H－7(g－5)	Ⅲ				体部破片のみ	＊ 219	H－7(c－4)	Ⅲ				破片のみ
＊ 180	H－7(g－6)	Ⅲ				体部破片のみ	＊ 220	不　明				PL98－34	
＊ 181	H－7(f－6)	Ⅲ	PL33－1	PL87－1	PL 97－29～35	ミニチュア土器	＊ 221	H－7(d－4)	Ⅲ				体部破片
＊ 182	H－7(f－6)	Ⅲ				体部片のみ	＊ 222	H－7(c－5)	Ⅲ			PL98－35	
＊ 183	H－7(i－9)	Ⅲ			PL98－1		＊ 223	H－7(c－5)	Ⅲ				
＊ 184	H－7(i－10)	Ⅲ			PL 98－2～4	右記PL40－32 図PL108－17	＊ 224	H－7(c－5)	Ⅲ				底部片3個体
＊ 185	H－7(h－10)	Ⅲ			PL 98－5・6		＊ 225	H－7(c－5)	Ⅲ			PL 98－35～37	
＊ 186	H－7(f－9)	Ⅲ				深鉢片	＊ 226	H－7(c－4)	Ⅲ			PL98－38	
＊ 187	H－7(i－10)	Ⅲ			PL98－7		＊ 227	H－7(c－3)	Ⅲ			PL 98－39～41	
＊ 188	H－7(h－9)	Ⅲ			PL98－8		＊ 228	H－7(c－3)	Ⅲ			PL99－1	
＊ 189	H－7(h－7)	Ⅲ			PL98－9		＊ 229	H－7(h－3)	Ⅲ			PL98－2 PL99－2	
＊ 190	H－7(h－6)	Ⅲ			PL 98－10・11		＊ 230	H－7(c－3)	Ⅲ			PL 99－3～5	
＊ 191	H－7(h－6)	Ⅲ				深鉢破片でRP190に近接	＊ 231	H－7(c－2)	Ⅲ			PL99－6	
＊ 192	H－7(h－6)	Ⅲ				深鉢体部破片のみ	＊ 232	H－7(c－3)	Ⅲ				体部のみの資料。
＊ 193	H－7(i－9)	Ⅲ				深鉢体部破片のみ	RQ233	H－7(d－4)	Ⅲ	PL40－26	PL 107－31		石匙
＊ 194	H－7(i－8)	Ⅲ	PL32－5	PL77－5			RP234	ST　17	F2	PL36－1	PL102－1		土錘
＊ 195	H－7(i－8)	Ⅲ				深鉢体部破片のみ	RQ235	H－7(j－6)	Ⅲ	PL43－1	PL110－1		
＊ 196	H－7(i－9)	Ⅲ				深鉢体部破片のみ	RP	ST　17	Y	PL28－2	PL74－2		
＊ 197	H－8(j－1)	Ⅲ			PL98－12		＊ 237	ST　17	Y	PL32－8	PL77－8		
＊ 198	H－8(i－1)	Ⅲ			PL 98－13～17		＊ 238	ST　17	Y	PL26－2	PL72－3		展開図 PL85－6
＊ 199	H－8(i－1)	Ⅲ				深鉢体部破片のみ	RQ301	SM201	F		PL105－7		土錘
＊ 200	H－8(i－1)	Ⅲ	PL29－6				＊ 302	SM201	F	PL45－10			
＊ 201	H－8(i－1)	Ⅲ				深鉢体部破片のみ	＊ 303	SM201	F	PL39－20			

遺物番号	出土地区	層	写真番号	実測図番号	拓影図番号	備考	遺物番号	出土地区	層	写真番号	実測図番号	拓影図番号	備考
RQ304	SM201	F				凹石	RP501	K−17(g−2)	Ⅲ				赤文の体部のみ
〃 305	SM201	F	PL45−8		PL 99−7−8	一括で検出・PL45−8は破片	〃 503	K−17(h−2)	Ⅲ				赤文の体部のみ
RP306	SM201	F	PL37−9	PL103−4		土偶	〃 504	K−17(h−2)	Ⅲ			PL 99−10・11	
RQ307	SM201	F				凹石	〃 505	K−17(g−2)	Ⅲ			PL99−12	
〃 308	K−13(j−5)	Ⅲ				長頸壺	〃 506	K−17(h−3)	Ⅲ				綾繰りのある縄文・体部片
〃 309	L−13(a−5)	Ⅲ				石器	〃 507	K−17(g−2)	Ⅲ			PL99−14	
〃 310	SM201	F				石匙	〃 517	K−16(h−9)	Ⅲ				口縁部破片のみ
〃 311	SM201	F				敲石	〃 518	K−16(h−4)	Ⅲ				渦巻状の沈線を部分的にみる破片
〃 312	SM201	F	PL42−12				〃 525	K−16(j−8)	Ⅲ				部分的な破片のみ
〃 314	K−13(e−5)	Ⅲ				凹石	〃 527	K−16(j−8)	Ⅲ				底部・体部破片のみ
〃 1	I−17(j−3)	Ⅲ	PL43−4	PL110−3			〃 545	K−16(j−9)	Ⅲ				赤文の体部破片のみ
RP500	K−17(h−2)	Ⅲ			PL99−9								

表−3　出土遺物観察表

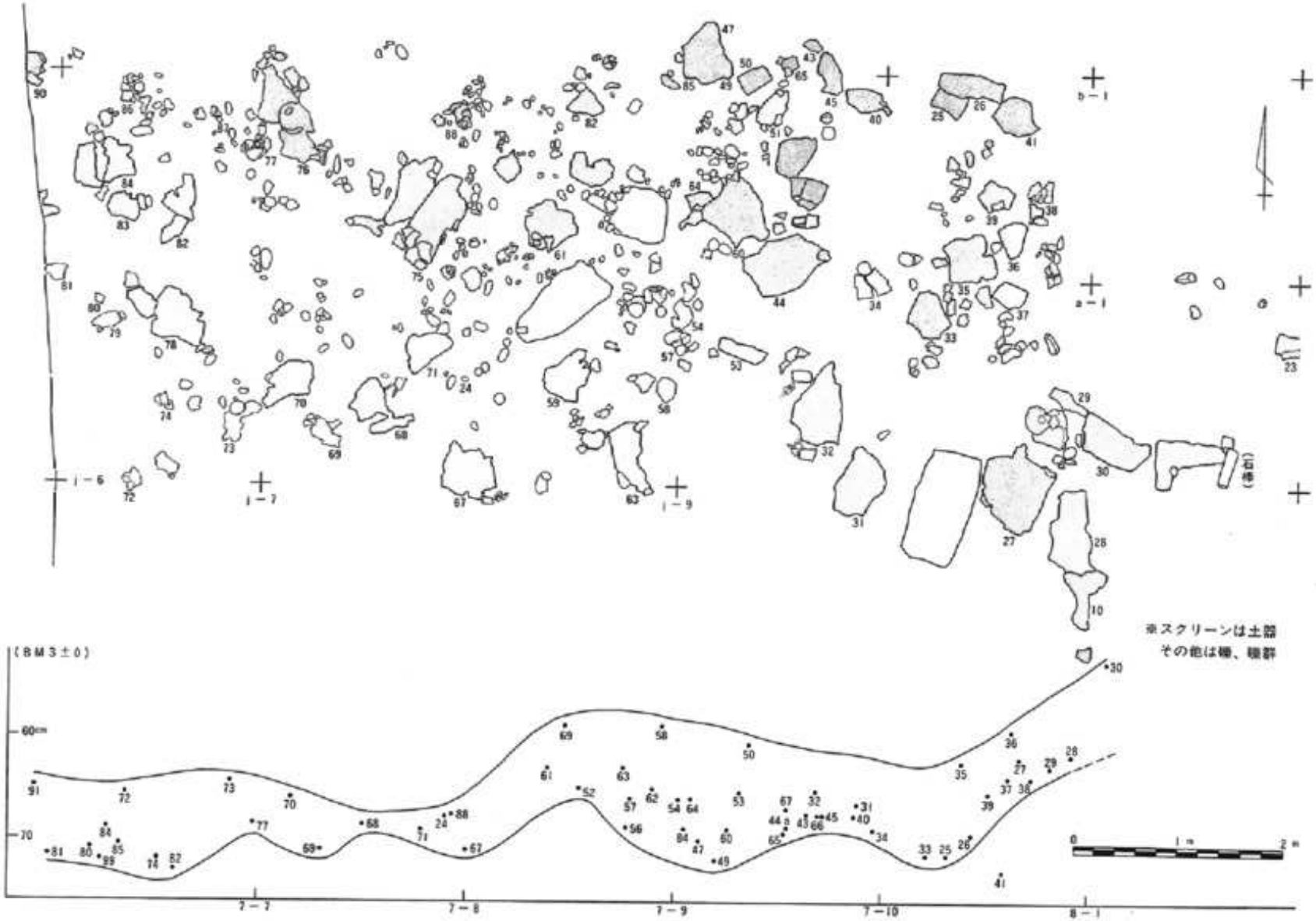
図版番号	実測図番号	遺物番号	出土地区	層位	器形	法量(cm)			文様		備考
						口径	底径	器高	口縁部	体部・地文	
PL1	PL47		J−16(h−9)	Ⅲ	深鉢	40.9	12.6	61.0	垂下する隆帯に半隆起文・刺突文が加わる。	口縁部のみRRの縄文	アジロ
PL2	PL48	RP3	H−7(i−9・h−6)	Ⅲ	深鉢	43.6		(52.5)	Y字状の隆帯に弧状・渦巻状の半隆起文・爪形文・渦巻貼付文が加わる。	無文	
PL3	PL49		J−16(j−8・9)	Ⅲ	深鉢	(43.5)		(47.7)	Y字状の隆帯に三角状の刺点・沈線文と貼付文が加わる。	無文	
PL4	PL50	RP 135	H−7(h−9)	Ⅲ	深鉢	(45.6)	14.5	61.0	Y字状・弧状の隆線・沈線に渦巻状・弧状・波状の沈線文・交互刺突文・貼付文が加わる	LR・RLの結束	アジロ
PL5	PL51	RP 104	H−7(h−6)	Ⅲ	深鉢	35.3	13.2	55.2	弧状・垂下する隆線・交互刺突に刻目貼付文が加わる。	LRとLRr	アジロ・スリケシ
PL6	PL52	RP 126	H−7(h−9)	Ⅲ	深鉢	(36.8)	14.8	65.0	H字状の隆線・沈線に渦巻状・三角状の沈線文が加わる。	RLと結節	アジロ
PL7	PL53	RP 144	H−7(a−8)	Ⅲ	深鉢	(36.0)	16.0	(59.0)	H字状・弧状の隆線に波状・三角状の沈線文刺突文が加わる。	LRと結節	アジロ
PL8	PL54	RP 44	H−7(h−9)	Ⅱ	深鉢	(43.0)	(15.5)	70.9	Y字状の隆線・沈線・交互刺突に波状・弧状の沈線文が加わる。	Y字状の隆線・波沈線文・LRと結節沈線に連弧状	
PL9−1	PL55−1	RP 91	H−7(f−9)	Ⅱ	深鉢	(30.1)	18.6	28.3	三角状の隆線・沈線に渦巻が貼付され把手を有す。	T字状の隆線・沈線・交互刺突文のLR・RL結束	アジロ
PL9−2	PL55−2		H−7(h−9)	Ⅲ	深鉢	(33.3)		(43.0)	垂下する沈線・弧状の沈線にC字状・ハの字状の沈線文と刻目貼付文が加わる。	LRr	
PL10	PL56	RP 10	G−7(j−1)	Ⅱ	深鉢	(49.6)	15.5	73.7	H字状に垂下する沈線に弧状の沈線文が加わる。	LRr	アジロ・スリケシ
PL11	PL57	RP 86	H−7(c−6)	Ⅱ	深鉢	(41.7)	14.9	61.4	三本の隆線が垂下する。	LR・RLの結束	アジロ
PL12	PL58	RP 157	H−7(c−6)	Ⅲ	深鉢	(36.0)	12.8	(57.3)	隆帯が縦横に走る中に3本多条Lの側面圧痕が鋸状・弧状に加わる。	LRの縦・横回転による羽状縄文	アジロ・スリケシ
PL13	PL59	RP 159	H−7(h−6)	Ⅲ	深鉢	37.7	16.0	60.0	弧状の隆線・結節沈線文に円形・八の字状の結節沈線文・刻目貼付文が加わる。	LRr・LR	アジロ・スリケシ
PL14	PL60	RP 157	H−7(r−6)	Ⅲ	深鉢	(35.9)	13.9	61.7	渦巻・弧状の隆線・結節沈線文に円形の結節沈線文・交互刺突・刻目貼付文が加わる。	LRr	アジロ スリケシ
PL15	PL61	RP 24	H−7(a−8)	Ⅱ	深鉢	37.3	18.0	54.5	弧状・渦巻状のRL側面圧痕が展開する。	RLの地文後上半部に磨りを加える。	
PL16	PL62	RP 147	H−7(a−8)	Ⅲ	深鉢	35.8		(53.2)	弧状・渦巻状・S字状の半隆起文が展開する。	LR	
PL17	PL63		J−17(h−4)	Ⅲ	深鉢	41.0	15.6	57.8	S字状・渦巻状の把手・弧状の隆線・沈線・交互刺突に渦巻状の結節沈線文・LR側面圧痕が付く。	LRと結節	アジロ
PL18	PL64		J−16(j−10)	Ⅲ	深鉢	37.8	12.3	45.9	5個の把手・刻目のある隆帯が展開する。	弧状・渦巻状の隆線・連弧状沈線文LR	アジロ
PL19	PL65		ST−101	F	深鉢	49.5	21.4	69.0	S字状隆起文にハの字状沈線を充填したクランク文・が加わる。	隆線・沈線のクランク状文波状文・LR	アジロ・スリケシ
PL20−1	PL66−1	RP 10	G−7(j−1)	Ⅱ	深鉢	22.6	11.0	34.0	LRrの結節。	LRrと結節	アジロ
PL20−2	PL66−2	RP 48	H−7(h−9)	Ⅲ	深鉢	(16.7)		(22.9)	弧状の交互刺突・沈線文と横走する交互刺突文。	LRと結節	
PL20−3	PL66−3		H−16(j−8)	Ⅲ	深鉢	(24.5)	17.7	(32.0)	沈線と刺突文に貼付文が加わる。	LLと結節	
PL21−1	PL67−1	RP 154	H−7(b−8)	Ⅲ	深鉢	(33.0)	16.9	45.0	弧状の隆線・沈線に交互刺突・円形貼付文が加わる。	LRと結節	アジロ・スリケシ
PL21−2	PL67−2	RP 116	H−7(a−9)	Ⅲ	深鉢	(28.6)	12.8	39.8	沈線と交互刺突文が展開する。	LR(Rの太さが異なる)	アジロ・スリケシ
PL22−1	PL68−1	RP 29	H−7(a−10)	Ⅱ	深鉢	26.3		(30.2)	5突起・弧状・渦巻状の隆線・沈線に沈線文が加わる。	LRr	

図版番号	実測図番号	遺物番号	出土地区	層位	器形	法量(cm) 口径	底径	器高	文様 口縁部	文様 体部・地文	備考
PL22－2	PL68－2	RP 36	H－7(b－10)	Ⅲ	深鉢	23.5	12.5	27.5	C字状・弧状の隆線・沈線に連弧状の沈線文C字貼付文が加わる。	LRrと結節	アジロ・スリケシ
PL22－3	PL68－3	RP 124	H－7(b－9)	Ⅲ	深鉢	26.6	12.4	31.9	流状突起・長楕円状に沈線・交互刺突文が展開する。	LRrとRLeの結束	アジロ
PL23－1	PL69－1	RP 137	H－7(b－9)	Ⅲ	深鉢	(30.0)	17.0	40.6	長楕円状のLRr横面圧痕が展開する。	LRrと結節	
PL23－2	PL69－3	RP 35	H－7(b－10)	Ⅱ	深鉢	(30.7)		(34.0)	刻目のある隆線が展開する。	弧状・渦巻状の隆線・連弧状沈線・懸垂状文	LRと結節
PL24－1	PL70－1	RP 147	H－7(a－8)	Ⅲ	深鉢	(21.0)	12.0	32.4	ε字状の隆線にC字貼付文・LRr横面圧痕を加える。	LRrと結節	アジロ
PL24－2	PL70－2	RP 25	H－7(b－10)	Ⅱ	深鉢	(23.0)		(21.5)	LR横面圧痕（Rの太さが異なる。）が展開する。	LR（Rの太さが異る）と結節	
PL24－3	PL70－3	RP 136	H－7(a－9)	Ⅲ	深鉢	22.9	11.0	31.6	LRr横面圧痕・Y字状の隆線・沈線に円形貼付文を加える。	交互刺突文が横走。LRr	アジロ
PL24－4	PL70－4		H－7	Ⅲ	深鉢	22.4	11.0	30.0	LR横面圧痕・Y字状の隆線が展開する。		アジロ・スリケシ
PL25－1	PL71－1	RP 27	H－7(a－10)	Ⅱ	深鉢	(23.2)		(25.0)	連弧状のLR横面圧痕が展開する。	U字状の竹管文、LRと結節	
PL25－2	PL71－2		J－17(g－3)	Ⅲ	深鉢	(23.0)		(19.0)	三角形刺突文・結節沈線文・刺突文が展開する。	三角状・逆U字状の隆線結節沈線文、RL	
PL25－3	PL71－3	RP 132	H－7(b－9)	Ⅲ	深鉢	33.5	12.8	40.2	三角状の隆線・LR横面圧痕・に刻目貼付文を加える。	LRとLRの結束と結節	アジロ・スリケシ
PL26－1	PL72－1		×	O	深鉢	23.7	10.3	30.2	流状突起・連弧状の隆線・LR横面圧痕が展開する。	LRと結節	西区？
PL26－2	PL72－2	RP 238	ST－17	Y	小形深鉢	14.0		(18.5)	把手状の縦帯に、連弧状のRLf横面圧痕を加える。	RLf横面圧痕、RLf	
PL26－3	PL72－3		H－7(a－7)	Ⅲ	深鉢	16.2	7.4	30.0	三角状のLR横面圧痕に刻目貼付文・Y字状の横面圧痕を加える。	LR	
PL26－4	PL72－4	RP 133	H－7(b－9)	Ⅲ	深鉢	24.2	12.4	32.3	流状突起・ε字状の隆線にLR横圧痕・円形点付文を加える。	LRと結節	アジロ・スリケシ
PL27－1	PL73－1		K－17(h－2)	Ⅲ	深鉢	21.2		(25.0)	2把手・4突起が付く。	三角状・渦巻状の隆線・Y字状隆線、LR	
PL27－2	PL73－2		J－16(j－10)	Ⅲ	深鉢	34.0		(38.5)	4突起・竹管文の展開。	弧状・三角状・渦巻状の隆線・L横圧痕	RLと結節
PL28－1	PL74－1		×	O	深鉢	30.7		(24.1)	弧状・渦巻状の隆線・結節沈線文にRL横面圧痕を加える。	LRと結節	東区？
PL28－2	PL74－2	RP 236	ST－17	Y	深鉢	34.0		(27.3)	2突起・連弧状の沈線に渦巻状の沈線文と刺突文を加える。	LRにLの附加条文と結節	
PL29－1		RP 140	H－7(b－9)	Ⅲ	深鉢			(29.5)	刻目付の隆線が展開する。	無文	
PL29－2		RP 40	H－7(b－9)	Ⅱ	深鉢			(22.3)		交互刺突と沈線文、LRrと結節	
PL29－3		RP 109	G－8(j－1)	Ⅲ	深鉢			(39.4)	流状の沈線文が展開する。	LRr	
PL29－4		RP 157	H－7(c－6)	Ⅲ	深鉢		13.0	(20.2)		LRr	
PL29－5		RP 146	H－7(a－8)	Ⅲ	深鉢		14.4	(46.8)		LRとRLの結束	アジロ
PL29－6		RP 200	H－8(i－1)	Ⅲ	深鉢			(8.9)		隆線、LR	
PL29－7		RP 115	H－7(a－9)	Ⅲ	深鉢		15.5	(44.0)		RL	アジロ
PL29－8		RP 113	G－7(j－9)	Ⅲ	深鉢			(55)	弧状の沈線文に刺突文が加わる。	LRと結節	
PL30－1	PL75－1	RP 29	H－7(a－10)	Ⅱ	浅鉢	31.0	9.5	13.0	隆線にLR横面圧痕が加わる。	連弧状・渦巻状のLR横面圧痕、LR	アジロ・スリケシ
PL30－2	PL75－2	RP 155	H－7(b－8)	Ⅲ	浅鉢	(42.0)	16.6	(21.3)	2大突起と2小突起・隆線の垂下にRLRとRの横面圧痕が加わる。	連弧状の隆線・RLR・Rの横面圧痕RLR	アジロ・スリケシ
PL30－3	PL75－3	RP 141	H－7(h－8)	Ⅲ	浅鉢	47.0		(16.0)	突起状貼付文・横線・連弧状のLR・RLの結束の横面圧痕が加わる。	LR・RLの結束の横面圧痕、LR・RL	
PL31－1	PL76－1	RP 107	H－7(a－10)	Ⅲ	浅鉢	(27.5)	11.5	11.0	Y字状の隆線に三本多条Lの横面圧痕が加わる。	三本多条L	
PL31－2	PL76－3		I－17(b－6)	Ⅲ	浅鉢	29.0	11.2	14.0	ε字状の隆線にRLの横面圧痕が加わる。	RL	
PL31－3	PL76－4	RP 218	H－7(c－4)	Ⅲ	浅鉢	(32.0)	10.0	15.0	ε字状・Y字状の隆線にLR横面圧痕が加わる。	LR	
PL31－4	PL76－5	RP 29	H－7(a－10)	Ⅱ	浅鉢	(22.0)	12.6	21.6	ε字状の隆線にLR横面圧痕が加わる。	無文	アジロ・スリケシ
PL32－1	PL77－1		H－7(j－8)	Ⅲ	浅鉢	(23.0)	11.0	(10.0)	流状口縁	無文	
PL32－2	PL77－2	RP 96	H－7(a－8)	Ⅲ	小形浅鉢	12.8	6.2	8.0	刻目の隆線にLR横面圧痕が加わる。	無文	アジロ・スリケシ
PL32－3	PL77－3		×	O	浅鉢	(22.4)	8.0	12.6	C字状の隆線が付けられる。	無文	アジロ
PL32－4	PL77－4	RP 30	H－8(a－1)	Ⅱ	小形浅鉢	(15.0)	8.0	16.3	LRrの横面圧痕が展開する。	LRr	
PL32－5	PL77－5	RP 194	H－7(i－8)	Ⅲ	浅鉢	(23.0)	12.3	10.6	流状突起	無文	アジロ・スリケシ
PL32－6	PL77－6	RP 231	H－7(c－2)	Ⅲ	小形浅鉢	(19.6)	(6.8)	(12.5)	ε字状の隆線にLRr横面圧痕が加わる。	LRr	アジロ・スリケシ

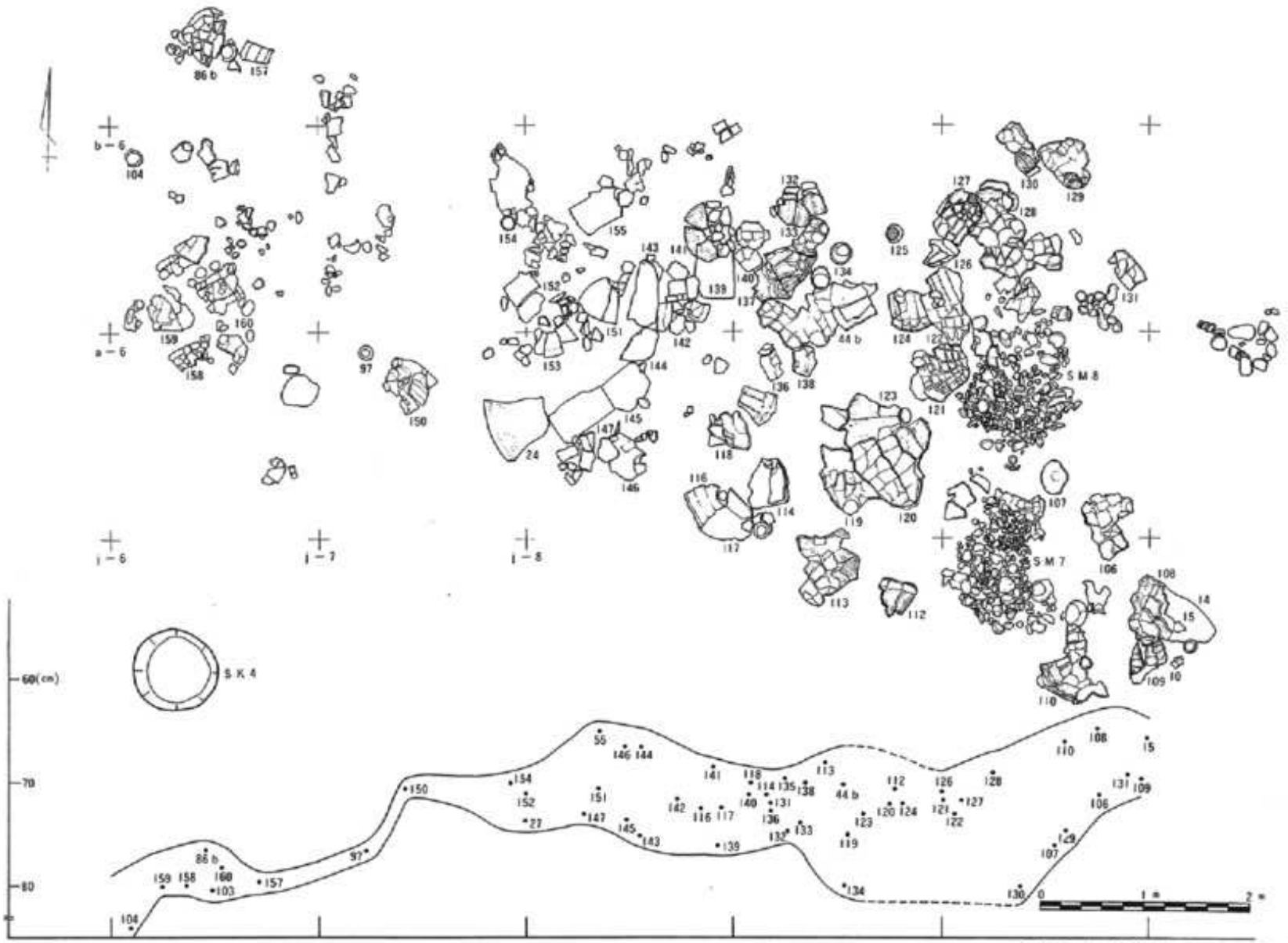
PL32−7	PL77−7	RP 104	H−7(b−6)	III	浅鉢	(27.2)	10.5	12.0	波状突起	無文	アジロ・スリケシ
PL32−8	PL77−8	RP 237	ST−17	Y	小形浅鉢	(26.0)	(9.2)	8.6	波状突起・三角状の沈線文が完璧される。	無文	モタヨウコン
PL32−9	PL77−9	RP 104	H−7(b−6)	III	浅鉢	27.2		(8.0)	逆U字状・長楕円状の沈線文が展開する。	無文	
PL32−10	PL77−10	RP 56	H−7(a−8)	III	小形浅鉢	(14.8)	8.0	6.5	無文	無文	アジロ・スリケシ
PL33−1	PL78−1	RP 181	H−7(f−6)	III	小形深鉢	13.3	6.0	16.7	渦巻状の結節沈線文が垂下する。	無文	
PL33−2	PL78−2	RP 157	H−7(c−6)	III	小形深鉢	14.4		(16.0)	波状突起・刺突文が貼られる。	無文	
PL33−3	PL78−3	RP 111	G−7(j−10)	III	小形深鉢	(14.0)		(20.1)	波状突起・ハの字状沈線文・交互刺突の隆線が展開する。	重弧状・同心円状の隆線・沈線文・耶刻文・LR	
PL33−4	PL78−4		K−17(c−1)	III	小形深鉢	(16.0)	8.0	(20.4)	刺突文が付けられる。	無文	
PL33−5	PL78−5	RP 105	H−7(f−6)	III	小形深鉢		5.8	(10.6)		重弧状の結節沈線文	
PL33−6	PL78−6		L−11(j-1-5)	II	小形深鉢	8.6	6.2	9.8	無文	無文	
PL33−7	PL78−7		J−17(g−2)	III	三脚鉢	6.3		(8.0)	無文	無文	底部に三脚状突起
PL33−8	PL78−8		ST−106	F	小形深鉢	4.4	3.0	5.9	渦巻状突起が付けられる。	渦巻状・三叉状の沈線が垂下する。	
PL33−9	PL78−9		H−7(f−9)	II	小形深鉢	(9.6)	(7.4)	10.6	波状突起LR側面圧痕・貼付文が展開する。	LR	
PL33−10	PL78−10		×	O	小形深鉢	10.2	5.0	12.0	C字状突起・LR側面圧痕が展開する。	LR	
PL33−11	PL78−11		K−17(j−1)	III	小形深鉢	15.0		(10.6)	C字状貼付文にLR側面圧痕（Rの太さが異なる）が展開する。	LR(Rの太さが異なる。)	
	PL66−5	RP 12	G−7(j−1)	II	小形深鉢	8.4	5.3	7.4	無文	無文	
	PL68−4	RP 66	H−7(b−9)	II	深鉢		7.8	(7.5)		沈線文	アジロ
	PL69−2	RP 103	H−7(b−6)	II	小形深鉢	9.9	5.8	(13.0)	L{R(LL) R の側面圧痕・刺突文が展開する	垂下する刺突文と左記の縄の回転圧痕	
	PL76−2	RP 140	H−7(b−9)	III	小形浅鉢	12.4	5.8	(7.0)	x字状の隆線にLRの側面圧痕が加えられる。	無文	
	PL66−4		I−17(b−6)	III	小形深鉢	(10.2)	4.5	(12.5)	沈線文が付けられる。	無文	

※表後：法量における( )は，推計値，器高は，残存値。文様における「・」の用法は，併用ないしセットの意味。

地文におけるLRは，Ⓛ{R Ⓡ{ℓ ℓ ℓ ⓡ，LRrは，Ⓛ{R Ⓡ{r r r ⓡ 等の省略である。



第5図　遺物出土状況（1）



第 6 図　遺物出土状況（2）

Ⅲ　検出された遺構

検出された33基の遺構のうち，地区毎の内訳およびその概要については，表－１に記した。以下，各調査区毎の主要な遺構の中から，重要と思われる遺構の幾つかについて西区を中心に概述する。

1　西区（第７－10図）

Ｈ－７区を中心とする縄文時代中期前葉の遺構・遺物群，Ｇ－７区を中心とする平安時代の竪穴式住居跡が各々遺構・遺物としてのまとまりを見せる。

ＳＴ17は，径約5.6ｍの略円形を呈す住居跡で，床面中央より幾分東側に地床炉を持つ。焼土の周囲は，径1.2×1.6ｍ程の範囲で皿状に浅く落ち込み，その内部から大形土偶（ＲＰ234），小形浅鉢（ＲＰ237），小形深鉢（ＲＰ238）等を出土している。柱穴は，南北に入れたサブトレンチに係るＰ1が明確で，その埋土内からは大形の土器破片（ＰＬ100－４）が検出された。また，炉跡の西約２ｍには，床面を掘り込んで伏せたキャリパー形の深鉢（ＲＰ236）がある。これらＳＴ17における遺物は，本遺跡の中でも遺構との関連から一括として把握できる唯一の例であり，隣接する帯状の土器群を考える上でも重要な資料となる。なお，プラン検出段階では，やや西側に偏して大木8a式期の土器が散見された。

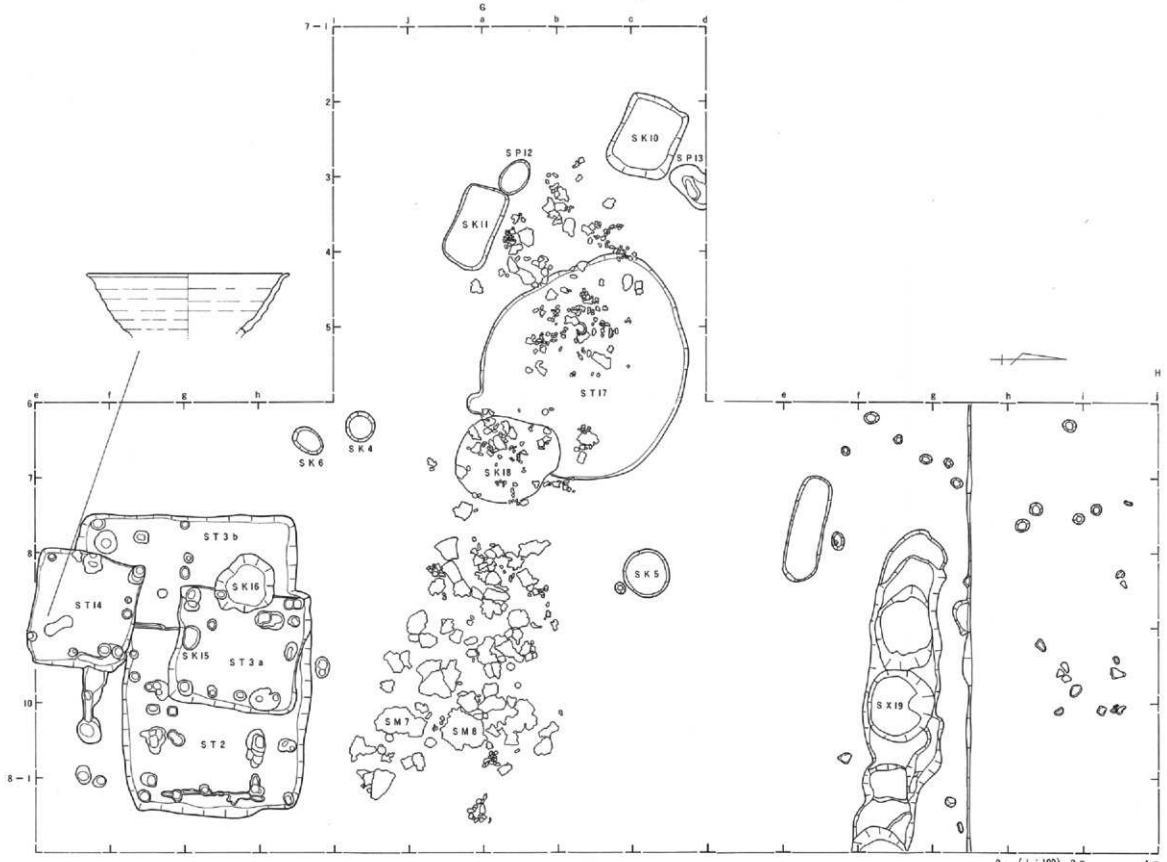
次に，遺構欄内での記述は，あまり適切でもないと思われたが，主としてＨ－７・ａ～ｂ－６～10のⅢ層で検出された土器群について述べる。出土状況および垂直分布等については，第５・６図および図版３に示す通りである。なお，各グリッド内におけるＲＰNo土器およびそのレベル等については表－４にまとめた。これら土器群の検出は，２度に分けて行っている。すなわち，表土（耕作土）直下Ⅱ層面で確認された遺物（第５図）と，検出後さらにⅢ層面に入る遺物（第６図）の別があり，前者はＲＰ１～99，後者はＲＰ100～238番までのものである。これらを見ると数個体が重なり合うもの，単体のもの，破片が100%近く遺存するもの，全く完形のもの（ＲＰ96），口縁部等部分破片だけのもの等種々であり，一様ではない。しかし，全体に大形破片ないし完形品に近い形で遺存したものが多い。二度目の検出後，確認のため幅１ｍのトレンチを入れたが，下部に遺構の存在を認めなかった。また，土器群中のＳＭ７・８の存在，祭祀に関わる遺物片の混在等の事実がある。

2　中央区（第11図）

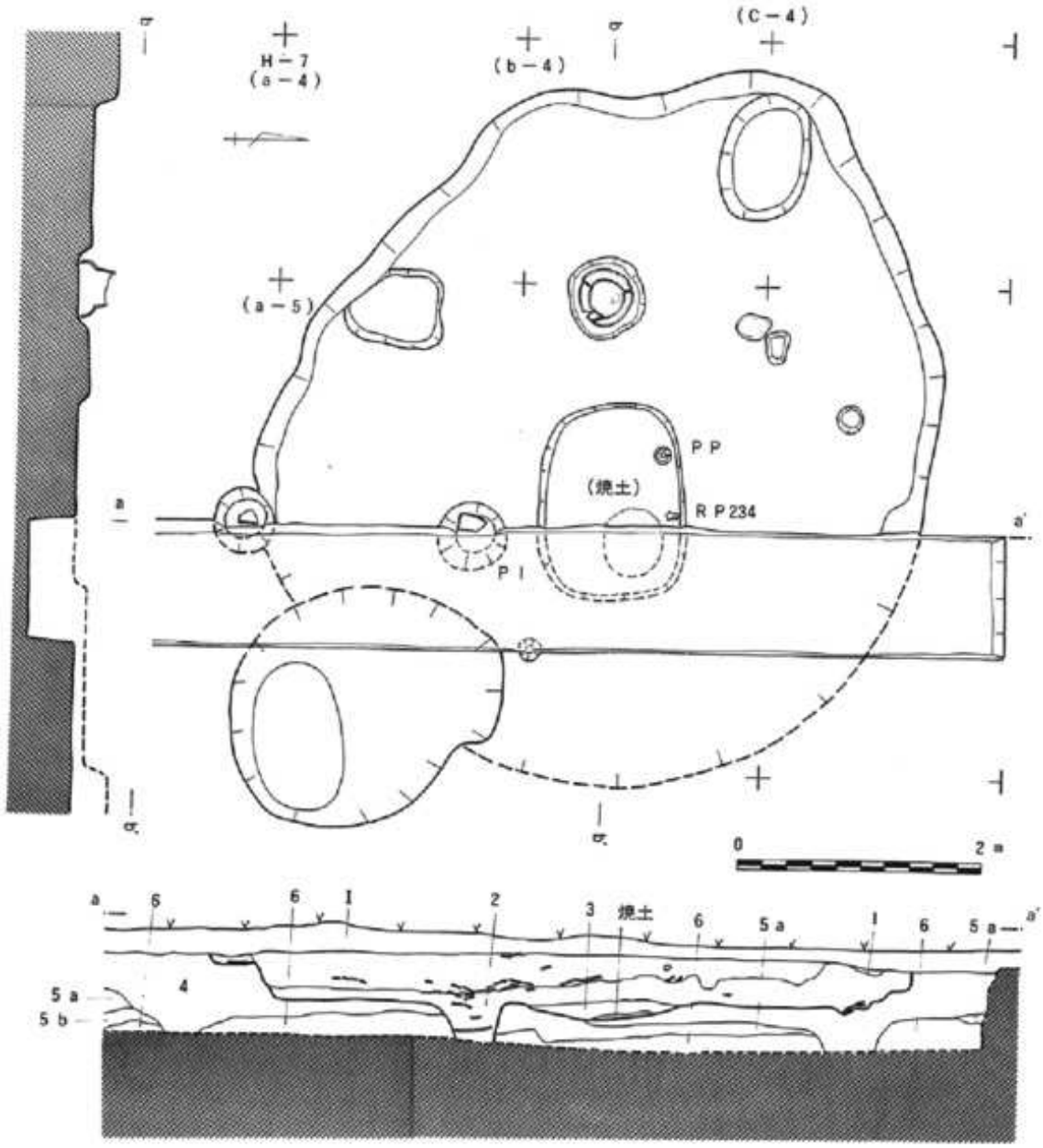
ＳＭ201は，１個から数個の細長い礫を組合せ，壁沿いに配列する特殊な遺構で，出土遺物の中には，土器・石器の他，祭祀に係わる遺物（ＲＰ301・ＲＱ302他）が多く見られる。

3　東区（第13・14図）

各検出遺構の精査が充分でなく，その内容に不明な箇所も多いことから割愛する。

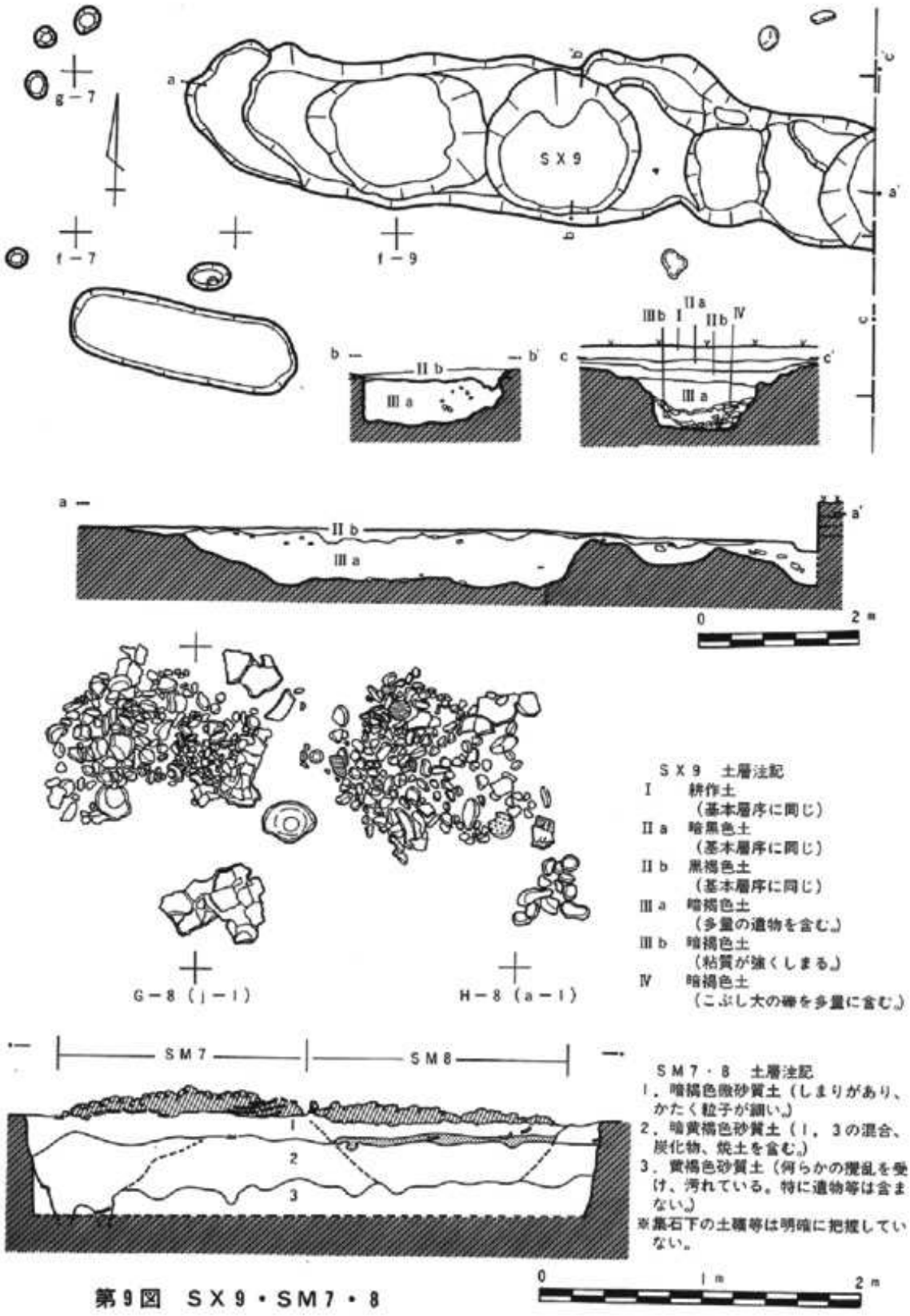

G
H
SP12
SP13
SK10
SK11
ST17
SK6
SK4
SK18
SK5
ST3b
SK16
ST14
SK15
ST3a
ST2
SM7
SM8
SX19
0 (1:100) 2m 4m

第7図　西区遺構配置図



第8図　ST17

1　黒　色　土（微砂質で耕作土の色調に類似する。炭化物，遺物を多量に含む。）
2　暗黄褐色土（粘質が弱く，炭化物，遺物を含む。）
3　暗黄褐色土（2よりやや明調で小砂礫を多く含む。焼土，炭化物を含む。）
4　暗 褐 色 土（微砂質で，粒子が細く均質である。）
5a　暗黄褐色土（2と同じ，プライマリーでない。）
5b　黄 褐 色 土（汚れがあり，3に同じ。）
6　暗 褐 色 土（砂礫土，1cm内外の礫よりなる。）



SX9　土層注記

I　耕作土
（基本層序に同じ）

IIa　暗黒色土
（基本層序に同じ）

IIb　黒褐色土
（基本層序に同じ）

IIIa　暗褐色土
（多量の遺物を含む。）

IIIb　暗褐色土
（粘質が強くしまる。）

IV　暗褐色土
（こぶし大の礫を多量に含む。）

SM7・8　土層注記

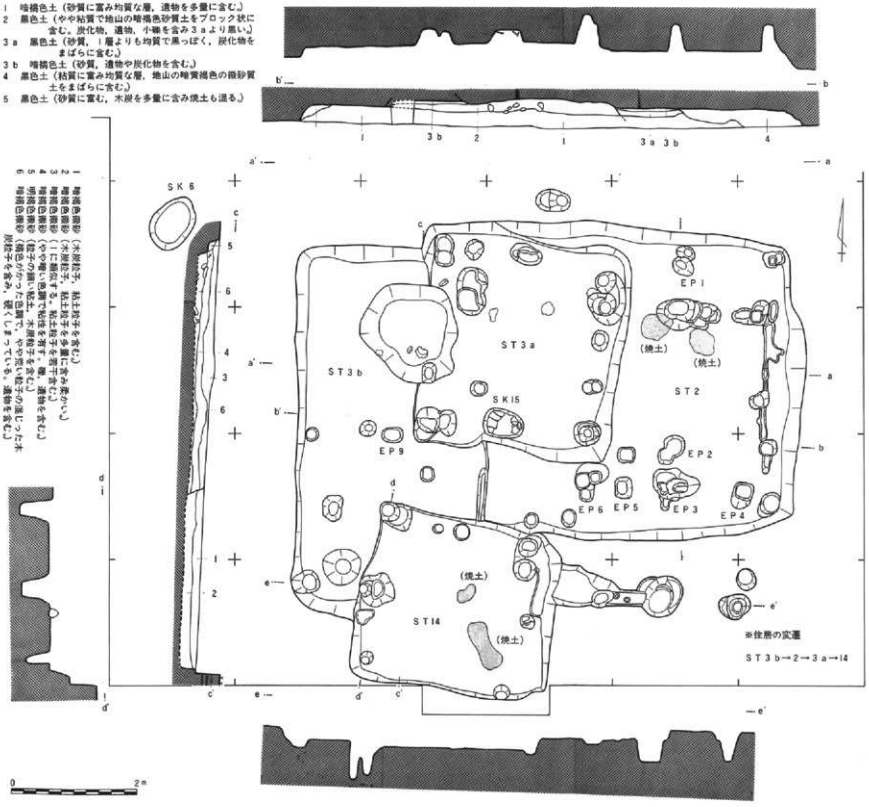
1．暗褐色微砂質土（しまりがあり、かたく粒子が細い。）

2．暗黄褐色砂質土（1，3の混合、炭化物、焼土を含む。）

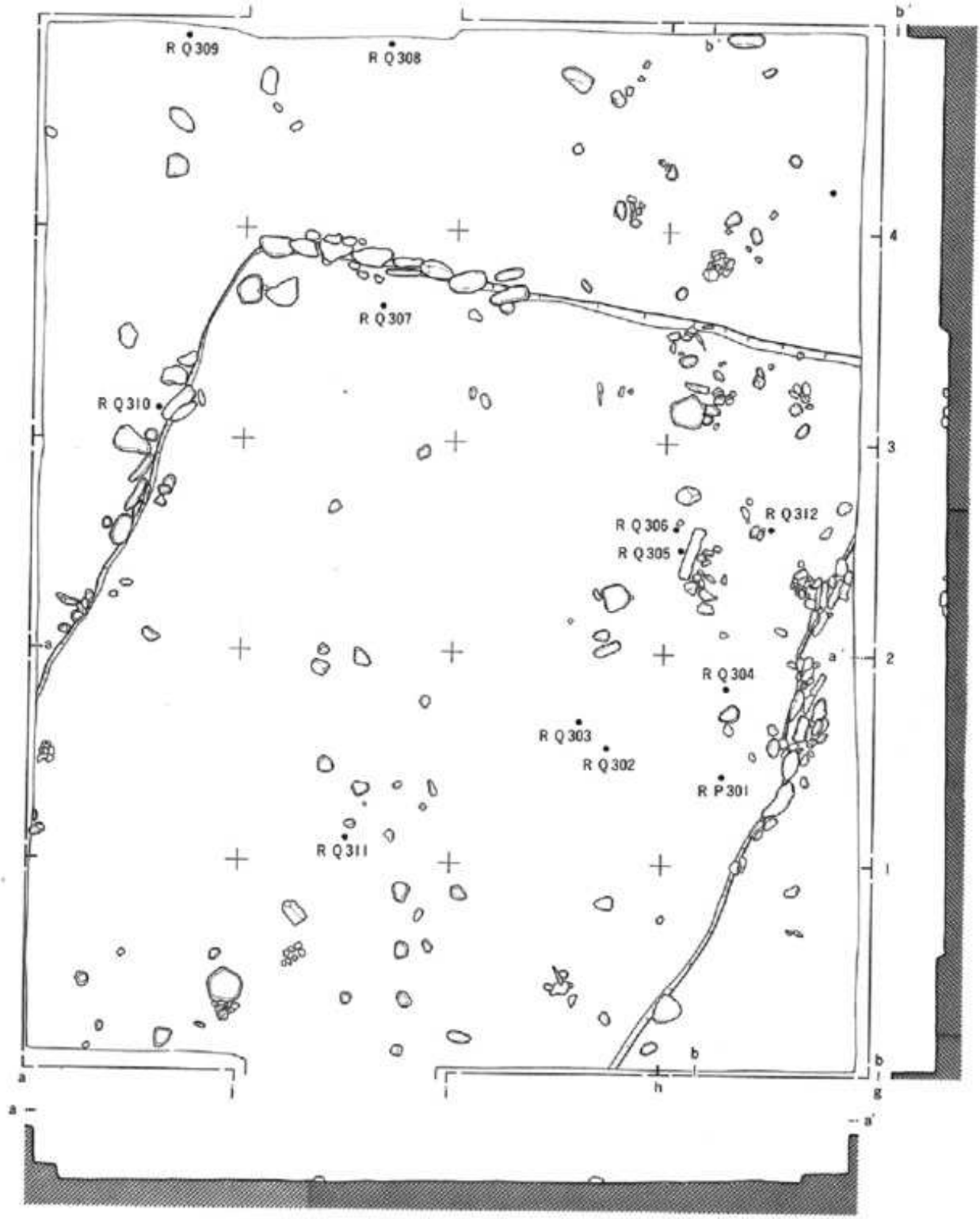
3．黄褐色砂質土（何らかの攪乱を受け、汚れている。特に遺物等は含まない。）

※集石下の土壌等は明確に把握していない。

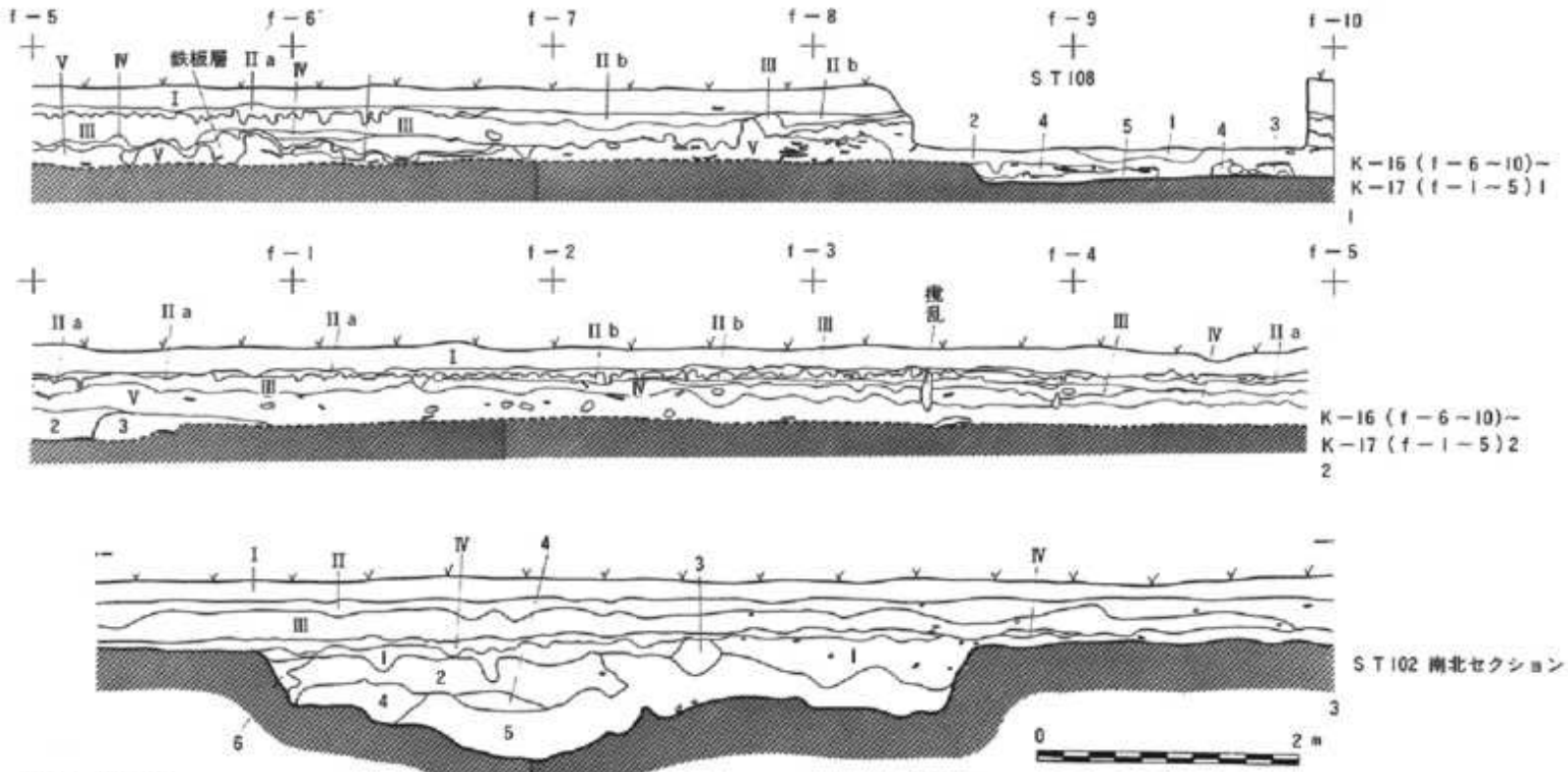
第9図　SX9・SM7・8



第10図　ＳＴ２・３ａ・３ｂ・14


R Q309
R Q308
R Q307
R Q310
R Q306
R Q305
R Q312
R Q304
R Q303
R Q302
R P301
R Q311
a
a'
b
b'
1
2
3
4
h
i
g
0
1 m
2 m

第11図　SM201



I・2 土層注記

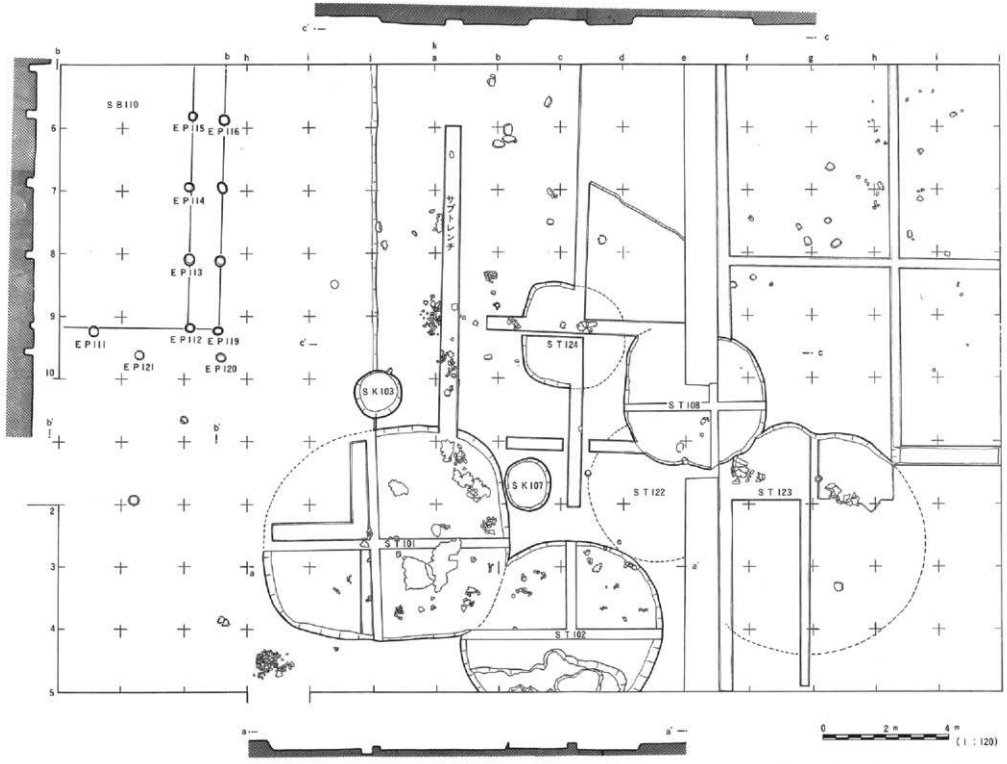
I 耕作土
IIa 暗黒色土（砂粒はきわめて細く，しまっている。遺物，炭化物などは，ほとんど含まない。下面に薄い鉄板層がある。）
IIb 黒褐色土（IIと同じ様にしまっているが，茶褐色に豊んだ色調である。小さい炭化物，遺物を含むが多くはない。）
III 暗褐色土（土器片や炭化粒を含むやや粘性のある微砂質土。）
IV 灰褐色土（粘性に富み，しまる。若干の遺物を含む部分がある。）
V 暗褐色土（遺物を多量に含むやや粘質の微砂質土である。）

ST108
1 淡黄褐色土（パサパサした感じ，土器粒を含む。）
2 黒褐色土（遺物を多く含む，粘質があり，炭化粒・礫を多く含む。）
3 淡褐色土（粘性はいくぶんある。炭化粒・土器片を含む。）
4 灰褐色土（非常に粘性に富む。火山灰？）
5 黒褐色土（無遺物層）

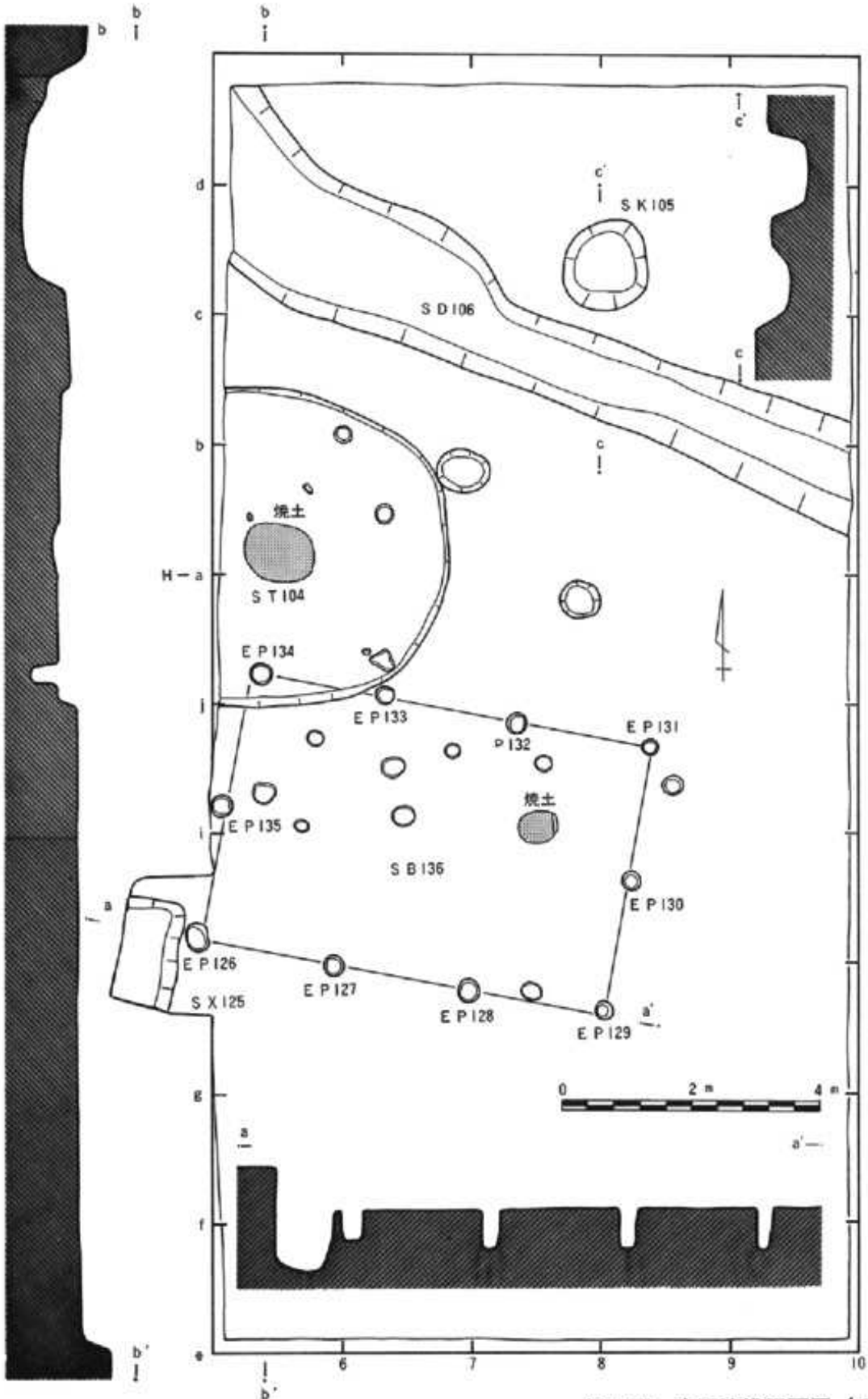
ST102土層注記

I 耕作土
II 黒色土（粘質に富み，しまっている，下面に鉄分層。）
III 暗褐色土（粒子が細く，しまっている。遺物を含む。）
IV 灰褐色土（粘性があり，粒子が細い。火山灰？。）
1 暗茶褐色土（IVに較べて，粘性が弱く，しまりがない。）
2 暗褐色土（IIIに較べて，やや暗く，炭化物・遺物を含む。）
3 暗褐色土（IVaに較べ，やや明く，しまりがあり，遺物を含む。）
4 暗褐色土（地山がやや混入しており，炭化物を含む。）
5 暗黄褐色土（霜ふり状に地山が混入する。）
6 明黄褐色土（地山層が大半を占める。）

第12図　土層断面図（2）



第13図　東区遺構平面図（1）



第14図　東区遺構平面図（2）

Ⅳ 総　括

1　遺物について

遺物の分布状況や出土状態の概略については，これまで述べた通りであり，西区・東区ともに，幾つかのまとまりある遺物群を指摘することができた。以下では，本書の主要な提示資料となる西区出土の土器群を中心に述べる事とする。

調査区全体の遺物の分布やそのまとまりの有無などからは，H－7・j－9区や，H－8・j－1区等を中心とする一群（RP3他，H－7・eライン以北のグループ。以下A群と呼ぶ。），SM7・8の東西（G－7・j－9・10区，H－7・a－8～10区，同・b－8～10区に中心を置く。）にまとまる規模の大きな一群（以下B群と呼ぶ。），ST17のプラン内に入る一群（以下C群と呼ぶ。），および，SK11に北接する一群（H－7・b－3区中心，以下D群と呼ぶ。），ST17を切るSK18のプラン内西側にまとまる一群（RP82～86他，以下E群と呼ぶ。）以上のA～Eの5群が識別され，器形や施文技法などで各々異なる点が観取される。結論的には，無文地を基調とし，綾絡文，竹管文，折返し口縁，波状突起部から垂下する指頭圧痕ないし刻目文等に特徴の見い出せるA群から，大ぶりの波状口縁やキャリパー形口縁に多彩な文様を施すB群・住居内一括のまとまりをもつC群へと変遷し，さらに縦位の短い側面圧痕を多用するD・E群へ変遷したものと予測される。すなわちA群→B・C群→D・E群の変遷である。A群の前段には，資料の提示が充分でないが，PL88－36や，PL34等の一群が入るかと大まかに推察される。これらは，J－16区（図版7上段左）等に良好なまとまりがある（仮にF群と呼ぶ。）。

以上の事柄は，調査を通して検証し得たと考えられる部分もあるが，むろん正規の手続きを経た結論とは言えず，分析・検討の裏付は，今の所ない。また，この場ではその余裕も全くなく，作業にようやく取りかかれる段階に至ったと言えるにすぎない。

しかし，B群のまとまり中に全くと言って良い程他の時期差を示す資料が含まれない事（主として大木7b式併行，若干の大木7a式と思われる物が混じる。）ST17出土一括とする事のできるRP234～238・PL100－4等の遺物を検出し得た事，県下では，これまで断片的にしか知り得なかったF群の資料を多量にしかもまとまりとして把握できた事など，大きな成果と言える。特に，第5・6図等で示したB群は，約20cm前後の厚さの中に，一括廃棄されたと考えられる状態で完形ないしそれに近い土器が累々と折り重なって出土しており，今後分析が進めば，不明な点の多かった大木7b式の型式内容がより鮮明になるものと期待される。表－4は，B群域を中心とするグリッド毎のRPNo.土器の一覧である。ここでは，各グリッド毎の組成を検討し得ず，以下でその内容を略述するに止める。

表－4　グリッド別出土ＲＰＮＯ土器・レベル一覧

出土地区	RP№ / レベル高	包含層IIで出土したＲＰ土器											RP数 / レベル平均	包含層IIIで出土したＲＰ土器									RP数 / レベル平均
G－7(j－9)	RP№													112	113								2
	レベル高													72.6	68.1								70.4
G－7(j－10)	RP№													110									1
	レベル高													66.1									66.1
G－8(j－1)	RP№	10	14	15	28								4	108	109								2
	レベル高	70.4			61.5								65.9	70.6	73.1								71.9
H－7(a－4)	RP№													208									1
	レベル高													77.0									77.0
H－7(a－6)	RP№	72	73	74									3										
	レベル高	65.5	64.5	72.0									67.3										
H－7(a－7)	RP№	24	67	68	69	70	71						6	150									1
	レベル高	67.8	71.0	68.5	71.0	66.9	69.0						68.9	70.6									70.6
H－7(a－8)	RP№	56	57	58	59	62	63						6	116	117	118	144	145	146	147	153			8
	レベル高	68.8	66.0	59.0	59.0	65.9	63.9						63.5	72.6	72.6	70.1	71.8	72.6	66.6	73.1				71.3
H－7(a－9)	RP№	31	32	34	53	54							5	114	119	120	123	136	139					6
	レベル高	66.5	65.3	69.0	65.4	66.9							66.4	71.1	71.1	72.1	73.1	72.6	62.1					74.0
H－7(a－10)	RP№	27	29	33	37								4	106	107	121								3
	レベル高	62.0	62.9	71.5	64.0								65.1	72.1	76.1	71.6								73.3
H－8(a－1)	RP№	23	30										2											
	レベル高	65.6	52.5										59.2											
H－7(b－3)	RP№													231	232	239								3
	レベル高													84.0	78.0	83.0								81.0
H－7(b－4)	RP№													209	210	213	214	215						5
	レベル高													78.0	75.0	82.0	74.0	79.0						77.6
H－7(b－5)	RP№													205	206	207								3
	レベル高													66.0	78.0	72.0								72.0
H－7(b－6)	RP№	77	78	79	80	81	82	83	85				8	103	104	159	160							4
	レベル高	68.5		72.9	71.0	71.5	73.0	69.5	70.5				70.8	80.6	84.1	80.1	77.6							80.6
H－7(b－7)	RP№	75	76	86									3											
	レベル高		58.5	67.7									63.1											
H－7(b－8)	RP№	52	61										2	139	141	142	143	151	152	155				7
	レベル高	65.0	63.0										64.0	76.1	68.6	71.6	73.6	70.6	71.1	65.1				71.0
H－7(b－9)	RP№	40	44 a	44 b	45	46	49	50	51	64	66		10	124	125	126	132	133	134	135	137	140		9
	レベル高	67.7	68.8	70.1	67.6	67.0	69.0	69.7		66.0	67.8		67.2	72.1	65.6	71.1	74.6	74.0	69.1	69.6	72.1	71.1		72.2
H－7(b－10)	RP№	25	26	35	36	37	38	39	41				8	122	127	128	129	130	131					6
	レベル高	70.1	69.5	62.5	59.4	64.0	64.0	65.5	72.8				65.9	66.6	71.6	70.1	74.0	75.6	69.1					71.3
H－7(c－2)	RP№													231										1
	レベル高													82.0										82.0
H－7(c－3)	RP№													227	228	232								3
	レベル高													74.0	73.0	69.0								78.7
H－7(c－4)	RP№													216	218	219	226							4
	レベル高													68.0	73.0	72.0	66.9							70.3
H－7(c－5)	RP№													217	222	223	224	225						5
	レベル高													74.0	76.0	78.0	80.0	70.0						75.6
H－7(c－6)	RP№	84	86	87	90								4	157										1
	レベル高	69.0	65.5	69.5	65.0								67.3	79.6										79.6
H－7(c－8)	RP№	43	47	85									3											
	レベル高	67.5	70.0	69.3									68.9											
H－7(d－4)	RP№													233	233									2
	レベル高													71.0	82.0									76.5
H－7(j－10)	RP№	3	6	7									3											
	レベル高																							
出土数計													71											77
レベル高平均値													66.3											74.7

※表　注　レベル高は，ＲＰ№土器の中心部高．基準のＢＭ高186.38ｍである。

文様の施文法からは，以下の５つのグループに大別できる。すなわち，Ａ：側面圧痕文を主要な文様とするもの（ＰＬ83—５・６・ＰＬ85—１・３・５・６），Ｂ：隆線と側面圧痕文の組合さるもの（ＰＬ85—４・５），Ｃ：隆線と沈線および交互刺突文の組合さるもの（ＰＬ80，ＰＬ81—１・４，ＰＬ83—１～３，ＰＬ84—２・４，ＰＬ87—１），Ｄ：隆線と沈線の組合さるもの（ＰＬ23—２・ＰＬ81—２・３），Ｅ：沈線主体のもの（ＰＬ81—２・ＰＬ82—１～３），等である。一方，東区では，Ｆ：隆線主体のもの（ＰＬ83—4），Ｇ：隆線と沈線および交互刺突文，さらに側面圧痕文の加わる例（ＰＬ84—１・３），ｈ：隆線と沈線および側面圧痕文を付加するもの（ＰＬ82—４）等のバリエーションがある。なお，浅鉢では，Ａ：側面圧痕文主体のもの，Ｂ：隆線と側面圧痕文の組合せ（ＰＬ87—３・４・６・９・10），Ｃ：隆線と沈線のもの（ＰＬ87—５），Ｄ：地文縄文のみのもの（ＰＬ76—４），Ｅ：無文のもの（ＰＬ93—１他）があり，Ｂ群中では，Ａ・Ｂが主体を占める。Ａ群では，ＰＬ77—１・５・７の様な小突起ないし，波状口縁，折返し口縁（ＰＬ93—14他）を持ち，無文となるものが多いようである。Ｄ群では，短い縦位施文の側面圧痕文が区画内を充填する（ＰＬ87—８他）。以上の類型の他，深鉢では，竹管文を主文様とし，他の要素の加わるもの（ＰＬ71—１）や，結節沈線文が主となるＰＬ71—２等を散見するが，いずれもＢ群中に主体的に存在するものではない。特に後者は，異質であり，時期的・文化系統的な検討の中で考えなければならない資料の一群（ＰＬ35—10～12），である。Ｃ群ないし，Ｅ群の中には，円筒上層ｂ式に併行するＰＬ12が伴っている。また，北陸系の土器（ＰＬ35—15～19，ＰＬ89—37）は，Ｂ群に共伴する。

次に，文様帯および，文様の単位構成についてＢ群を中心に概述する。

文様帯は，主に口縁部のみのものが多いが，口縁部と体部に及ぶものが幾つか見られる。文様の単位は，基本的に四単位のものが多いが，単位内部の構成を若干変える事で単調なくり返しを避ける例が多く見られる（ＰＬ80—２・４，ＰＬ81—２・３，ＰＬ82—１・２ＰＬ84—４）。２単位のくり返し（ＰＬ82—３），単位の明確でない（２単位？）もの（ＰＬ82—３），４単位から単位が変化し，８単位となるもの（ＰＬ84—２），四単位ながら不安定で１小突起を持つもの（ＰＬ83—１），小突起６単位，口縁部での単位５単位のもの（ＰＬ83—２），１小突起を持ち，３単位で大きく区切り，さらに内部を区切って６小単位とするもの（ＰＬ83—３）等がある。以上は，大木7ｂ式の主要な型式内容に係わると考えられるが，今後の分析・検討に依る所が大としなければいけない。

2　遺構について

遺構では，ＳＴ17が一部不明確な部分もあるが，上記遺物群と対応する明確な例である。東区での住居は，一部を除いて明確に把握出来ていない。配石のあるＳＭ201が注目される。

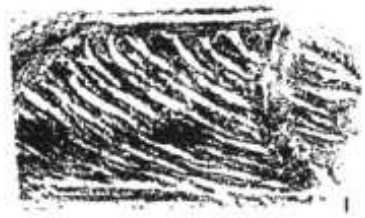
3　1段反撚りの縄文について

本遺跡出土の縄文式土器には，多くの反撚りの縄文が存在し，単節縄文を主とする一群の中にあって，特殊な存在を占めている。中でも無節的な縄文の存在は，問題視されるところで，圧痕や縄の観察を通し，その明確化を計りたい。

まず，1はＲＲで，全体に乱れた状態で，節が条の様に現われている。2はＬＬで，急傾斜の条に対し節が立つ。以上は直前段反撚りのもので，1が撚り戻しの例，2は無理に撚り合せたという，撚り方の差を示している。前者では，所々絡むラセン状の縄となり，後者は急傾斜の節の縄となる。この撚りは，正撚りに対し条と節の関係が反対になっており，反撚りの存在を明示するものである。

次に，無節的な縄文を観察すると，3は波状に乱れた条中に，不鮮明な節を有し，5はその結束例である。6は側面圧痕の節中の所々に，0段条が入れ子の状態で現われ，それが回転圧痕に節として現われて来る。最も特徴的な例としての4は，菱形の節と間延びした節が現われる。何れも条と節の関係が，先の撚りとは反対で，1段反撚り・2段正撚りの前々段反撚りを示す。また，その現われ方の差は，1段の撚り方に左右され，4はＬＲｒで緩く撚るか，1方の条に絡める様に撚れば縄は出来，節中に撚り戻しと絡みが不規則に入る。他は，5がＬＲｒとＲＬℓ以外全てＬＲｒで，1段で撚り戻しを加えると0段条に近くなり，無節の部分が多く出て，それが著しいと無節縄文の様に見える。

本遺跡では，後者の使用，特にＬＲｒが大部分で，1段でＲにする点では，中期の例に反せず，むしろ無理に撚る点で強い規制を感じる。何れも大木7式の範中である点から，従来の無節縄文とされるこの種の資料に対し，その再検討が必要であろう。

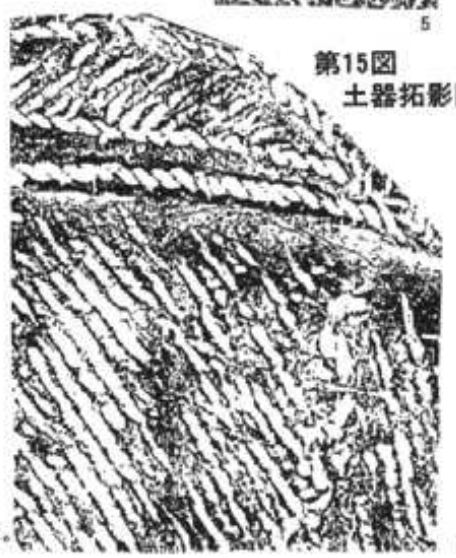

1

2

3

4

5


6

第15図
土器拓影図

小項では，山内清男「先史土器の縄紋」先史考古学会・1979年に用語等依存した。

注1．戸田哲也「縄文土器の研究5」（縄文土器Ⅱ）雄山閣・1983の「縄文」の中で使用されている（1段反・2段正）と同義語として使用した。

4　まとめ

昭和53年４月17日から同年９月８日迄，山形県教育委員会が県営圃場整備事業に先だち緊急発掘調査を実施したものであり，本書は以来６年にわたる歳月を費してその成果をまとめたものである。

水木田遺跡は最上町大字月楯字水木田の標高約188ｍの河岸段丘上に位置し，遺物の散布範囲は広く凡そ88000㎡にもおよんでいる。調査の結果，本遺跡は山形県下において極めて大規模な縄文時代中期初頭から中葉にかけての集落跡であることが明らかとなった。特に遺物の量は他に類例がないほど多く，とりわけ土器に関しては整理箱について約1000箱を数え，約90個の完形土器は秀麗で本県縄文時代編年の空白を埋める貴重な資料であり，今後「水木田式」の様式を設定する要素を充分に備えている。土器文様のバラエティーも広く北陸・関東以北の要素が随所に観取され，広範な文化流通経路がうかがわれる。

石器類にしては，磨石・凹石・石棒状の石器が相当多く，利器としての石鏃・石匙・石錐・石斧等は，土器類に比較して若干粗末な点が見うけられる。土偶，その他の土製品についても同様であるが，中でも土偶類については，その表現について実にユニークな作風がある。

いずれにしても，水木田遺跡は本県縄文文化を代表する遺跡で，その資料は豊かな自然と人間の知恵がもたらした証しを反映している。

参　考　引　用　文　献

保角　里志　他（1973）「最上町分布調査報告会のために」さあべい第２巻１号
安彦　政信　他（1976）「最上町分布調査報告」さあべい第２巻３号
谷井　彪　（1979）「縄文土器の単位とその意味（下）」古代文化31－３
静岡県考古学会（1980）「縄文土器の交流とその背景」静岡県考古学会シンポジューム４
土岐山　武　（1981）「長者原貝塚」宮城県文化財報告書第78集
伊藤　信雄　他（1969）「埋蔵文化財緊急発掘調査概報－長者原貝塚」宮城県文化財報告書第19集
今村　啓爾　他（1972）「宮の原貝塚」武蔵野美術大学考古学研究会
小笠原　好彦　（1968）「東北地方南部における前期末から中期初頭の縄文式土器－昭和38年発掘宮城県大木囲貝塚出土土器の内容と蟹塚貝塚出土土器の占める位置－」仙台湾周辺の考古学的研究
山内　清男　（1937）「縄文土器細別と大別」先史考古学第１巻１号
山内　清男　（1979）「日本先史土器の縄文」先史考古学会
丹羽　茂　（1981）「大木式土器」縄文文化の研究４
土肥　孝　（1981）「阿玉台Ⅰａ式以前の土器－五領ヶ台式と阿玉台式の間－」土曜考古第４号
美野　義一　（1981）「蟹塚貝塚について」追町史
阿部　明彦　（1982）「第四章縄文中期」村山市史別巻一
山形県教育委員会（1980）「水上遺跡発掘調査報告書」山形県埋蔵文化財報告書第27集
山形県教育委員会（1981）「熊の前遺跡」山形県埋蔵文化財報告書第34集
柏倉　亮吉　他（1978）「Ｖ神室山・加無山の考古」神室山・加無山．
山形県教育委員会（1981）「思い川Ａ遺跡発掘調査報告書」山形県埋蔵文化財報告書第37集
山形県教育委員会（1981）「水上遺跡第２次発掘調査報告書」山形県埋蔵文化財調査報告書第40集
山形県教育委員会（1983）「農林事業関係遺跡(1)」山形県埋蔵文化財調査報告書第63集

図版1　遺跡遠景・近景・調査風景

遺跡遠景（1）

遠　景（2）

遠　景（3）

遺跡近景

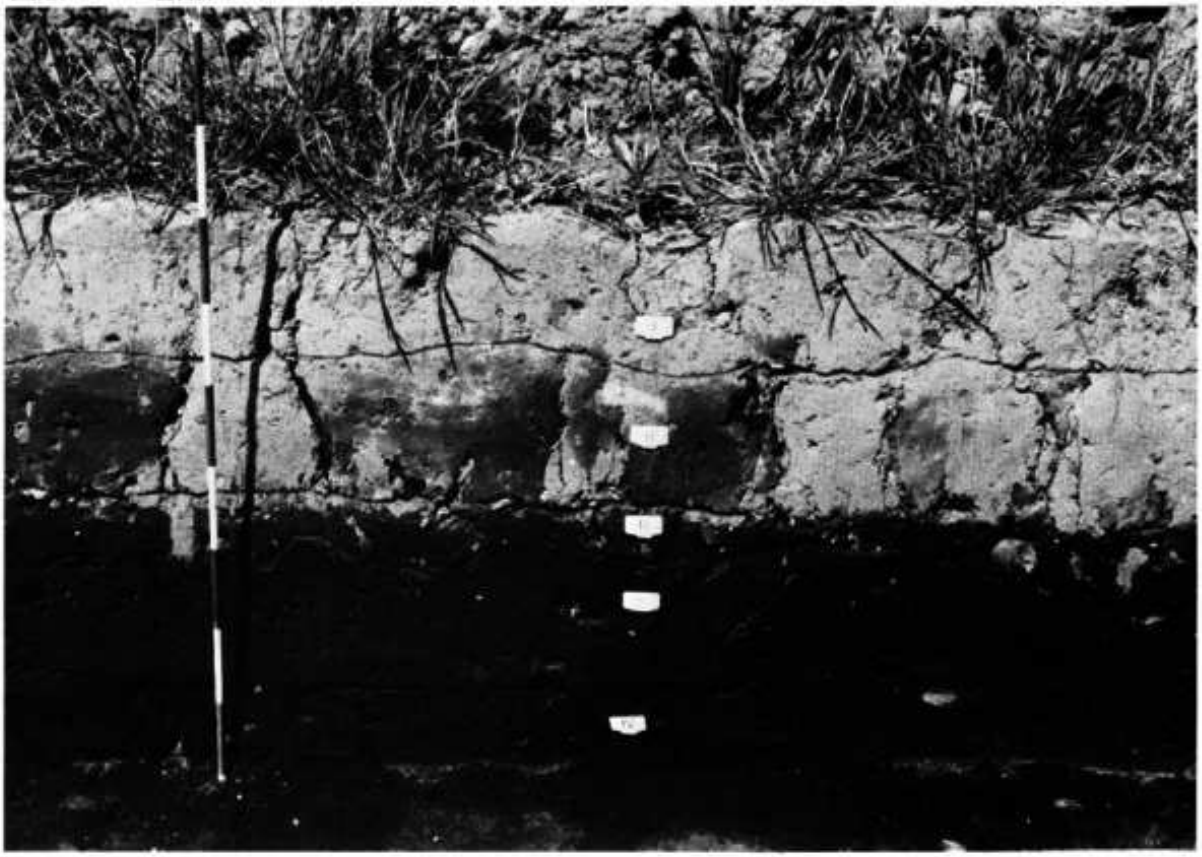
調査風景（1）

調査風景（2）

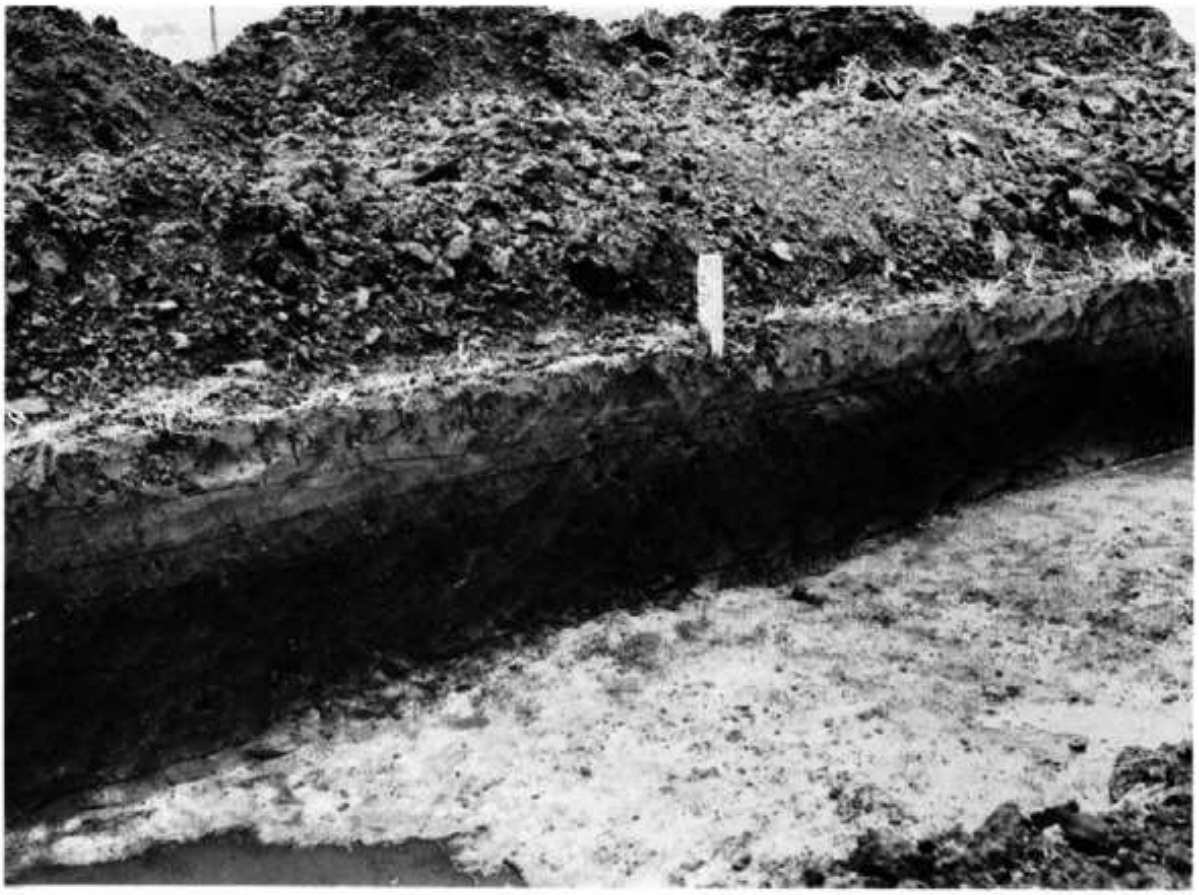
調査風景（3）

調査風景（4）

図版 2　土層断面



土層断面（1）



土層断面（2）

図版 3　土器群出土状況

土器群出土状況（1）

土器群出土状況（2）

図版4　遺構・遺構土層断面

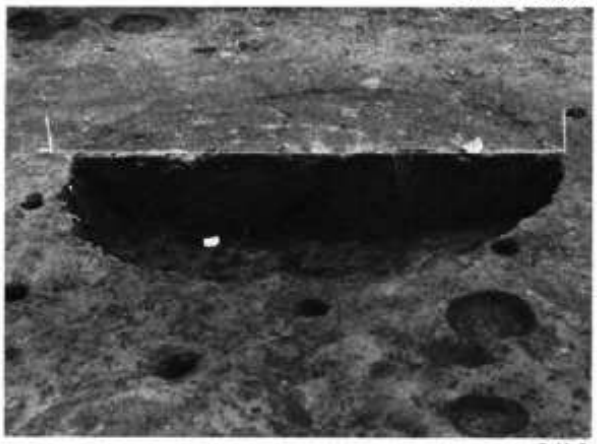
ST17土層断面

SX19土層断面

SM7

SM7土層断面

SK18



SK5

ST2・3a・3b・4

ST2・3a土層断面

図版 5　遺物出土状況

遺物出土状況（1）

遺物出土状況（2）

遺物出土状況（3）

遺物出土状況（4）

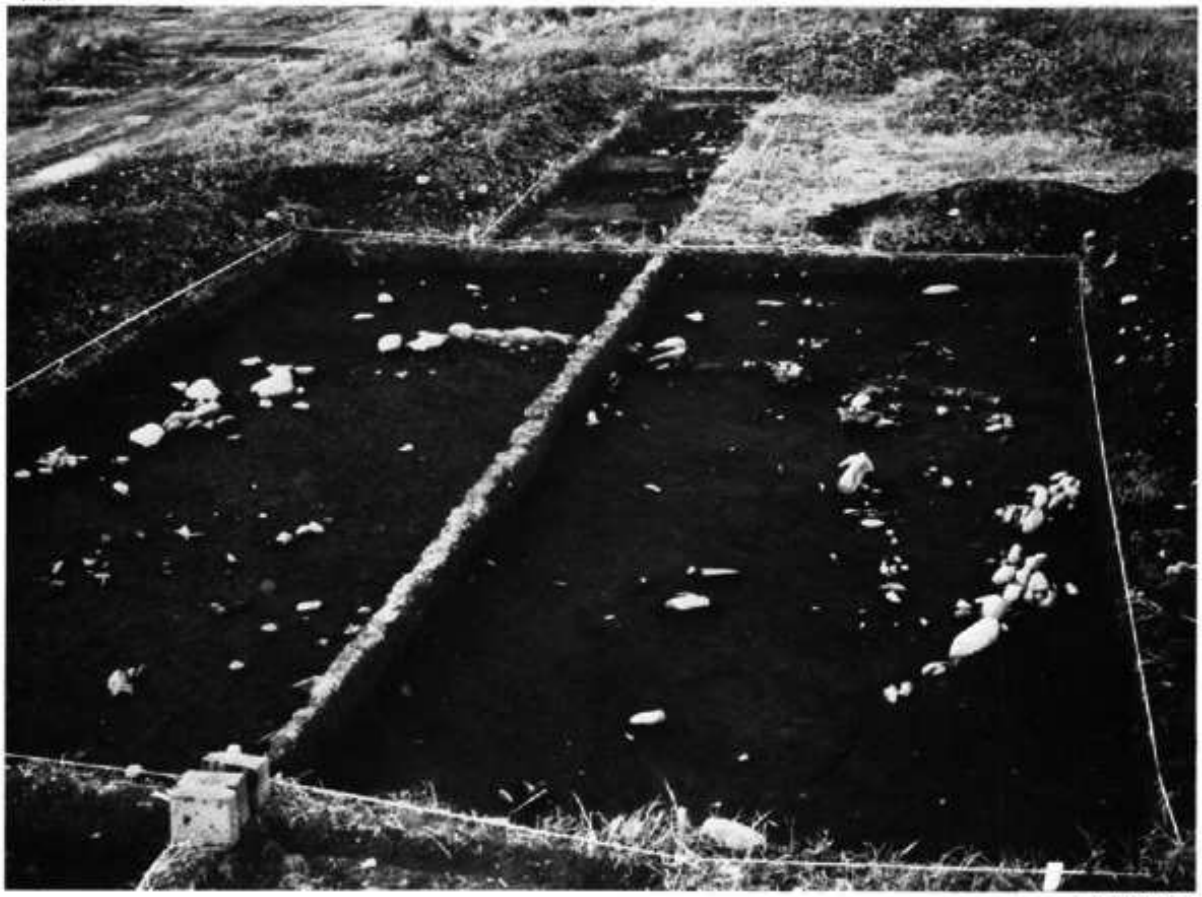
遺物出土状況（5）

遺物出土状況（6）

遺物出土状況（7）

遺物出土状況（8）

図版 6　SM201



SM201（1）

SM201（2）

図版 7　土器群出土状況・東区遺構・遺物出土状況

土器群出土状況（1）

土器群出土状況（2）

ST124

ST101

ST123

SB110

遺物出土状況（1）

遺物出土状況（2）

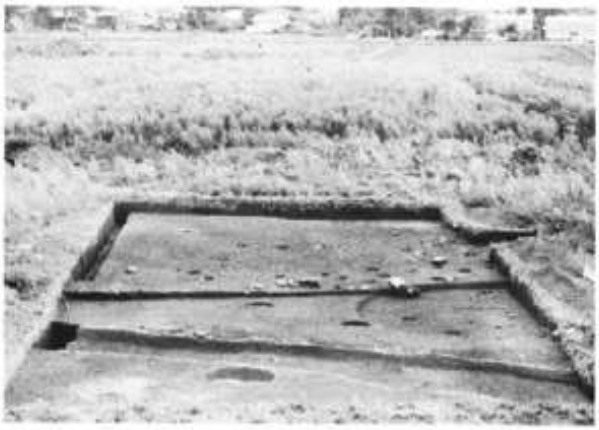
図版 8　遺物出土状況・東区遺構

遺物出土状況（1）

遺物出土状況（2）

土偶出土状況（1）

土偶出土状況（2）



ST104・SD106・SB136

遺物出土状況

SB136

ST104

山形県埋蔵文化財調査報告書第 75 集

水　木　田　遺　跡
発　掘　調　査　報　告　書

昭和59年 3 月29日　印刷
昭和59年 3 月31日　発行
発　行　山形県教育委員会
印　刷　大場印刷株式会社

ＰＬ目次

ＰＬ１　完形土器（１）
ＰＬ２　完形土器（２）
ＰＬ３　完形土器（３）
ＰＬ４　完形土器（４）
ＰＬ５　完形土器（５）
ＰＬ６　完形土器（６）
ＰＬ７　完形土器（７）
ＰＬ８　完形土器（８）
ＰＬ９　完形土器（９）
ＰＬ10　完形土器（10）
ＰＬ11　完形土器（11）
ＰＬ12　完形土器（12）
ＰＬ13　完形土器（13）
ＰＬ14　完形土器（14）
ＰＬ15　完形土器（15）
ＰＬ16　完形土器（16）
ＰＬ17　完形土器（17）
ＰＬ18　完形土器（18）
ＰＬ19　完形土器（19）
ＰＬ20　完形土器（20）
ＰＬ21　完形土器（21）
ＰＬ22　完形土器（22）
ＰＬ23　完形土器（23）
ＰＬ24　完形土器（24）
ＰＬ25　完形土器（25）
ＰＬ26　完形土器（26）
ＰＬ27　完形土器（27）
ＰＬ28　完形土器（28）
ＰＬ29　完形土器（29）
ＰＬ30　完形土器（30）
ＰＬ31　完形土器（31）
ＰＬ32　完形土器（32）
ＰＬ33　完形土器（33）
ＰＬ34　土器破片（１）
ＰＬ35　土器破片（２）
ＰＬ36　土偶・土製品（１）
ＰＬ37　土偶・土製品（２）
ＰＬ38　石器・石製品（１）
ＰＬ39　石器・石製品（２）
ＰＬ40　石器・石製品（３）
ＰＬ41　石器・石製品（４）
ＰＬ42　石器・石製品（５）
ＰＬ43　石器・石製品（６）
ＰＬ44　石器・石製品（７）
ＰＬ45　石器・石製品（８）
ＰＬ46　石器・石製品（９）
ＰＬ47　土器実測図（１）
ＰＬ48　土器実測図（２）
ＰＬ49　土器実測図（３）
ＰＬ50　土器実測図（４）
ＰＬ51　土器実測図（５）
ＰＬ52　土器実測図（６）
ＰＬ53　土器実測図（７）
ＰＬ54　土器実測図（８）
ＰＬ55　土器実測図（９）
ＰＬ56　土器実測図（10）
ＰＬ57　土器実測図（11）
ＰＬ58　土器実測図（12）
ＰＬ59　土器実測図（13）
ＰＬ60　土器実測図（14）
ＰＬ61　土器実測図（15）
ＰＬ62　土器実測図（16）
ＰＬ63　土器実測図（17）
ＰＬ64　土器実測図（18）
ＰＬ65　土器実測図（19）
ＰＬ66　土器実測図（20）
ＰＬ67　土器実測図（21）
ＰＬ68　土器実測図（22）
ＰＬ69　土器実測図（23）
ＰＬ70　土器実測図（24）
ＰＬ71　土器実測図（25）
ＰＬ72　土器実測図（26）
ＰＬ73　土器実測図（27）
ＰＬ74　土器実測図（28）
ＰＬ75　土器実測図（29）
ＰＬ76　土器実測図（30）
ＰＬ77　土器実測図（31）
ＰＬ78　土器実測図（32）
ＰＬ79　土器展開図（１）
ＰＬ80　土器展開図（２）
ＰＬ81　土器展開図（３）
ＰＬ82　土器展開図（４）
ＰＬ83　土器展開図（５）
ＰＬ84　土器展開図（６）
ＰＬ85　土器展開図（７）
ＰＬ86　土器展開図（８）
ＰＬ87　土器展開図（９）
ＰＬ88　土器拓影図（１）
ＰＬ89　土器拓影図（２）
ＰＬ90　土器拓影図（３）
ＰＬ91　土器拓影図（４）
ＰＬ92　土器拓影図（５）
ＰＬ93　土器拓影図（６）
ＰＬ94　土器拓影図（７）
ＰＬ95　土器拓影図（８）
ＰＬ96　土器拓影図（９）
ＰＬ97　土器拓影図（10）
ＰＬ98　土器拓影図（11）
ＰＬ99　土器拓影図（12）
ＰＬ100　土器拓影図（13）
ＰＬ101　土器拓影図（14）
ＰＬ102　土偶・土製品実測図（１）
ＰＬ103　土偶・土製品実測図（２）
ＰＬ104　土偶・土製品実測図（３）
ＰＬ105　土偶・土製品実測図（４）
ＰＬ106　土偶・土製品実測図（５）
ＰＬ107　石器・石製品実測図（１）
ＰＬ108　石器・石製品実測図（２）
ＰＬ109　石器・石製品実測図（３）
ＰＬ110　石器・石製品実測図（４）

PL1　完形土器（1）

（J－16・h－9Ⅲ・i－8Ⅲ・j－Ⅲ）
（1：3）

PL 2　完形土器（2）

(RP3)
(1：3)

（J－16・j－8・9Ⅲ）　（１：３）

PL 4　完形土器（4）

(R P 135)
(1 : 3)

PL5　完形土器（5）

（RP104）
（1：3）

PL6　完形土器（6）

（RP126）
（1：3）

(R P 144)
(1 : 3)

PL 8　突形土器（8）

(R P44)

(1 : 3)

PL 9 完形土器（9）

1（R P91）

2（H－7・b－9 III）

（1：3）

PL10 完形土器 (10)

(RP10) (1:3)

(RP86)
(1:3)

（R P 157）
（1：3）

（R P 159）
（1：3）

（R P157）
（1：3）

(R P24)
(1 : 3)

（RP147）
（1：3）

PL17　完形土器（17）

（J－17・h－4Ⅲ）

（1：3）

（J－16・j－10）

（1：3）

(ST101)
(1 : 3)

PL20 完形土器 (20)

1 (R P10)

2 (R P48)

3 (H−16・j−8)
(1 : 3)

1 (R P 154)

2 (R P 145)

(1 : 3)

1 (R P29)

2 (R P36)

3 (R P124)

(1 : 3)

1 (R P137)

2 (R P35)

(1 : 3)

1（R P147）

2（R P25）

3（R P136）

4（H－7）

（1：3）

1 (R P27)

2 (J－17・g－3 III)

3 (R P132)

(1 : 3)

1(X0)

2(RP238)

3(H−7・a−7III)

4(RP133)

(1:3)

1（K－17・h－2Ⅲ）

2（J－16・j－10）

（1：3）

1(XO)

2(ST17Y・RP236)
(1:3)

1 (R P140)

2 (R P40)

3 (R P109)

4 (R P157)

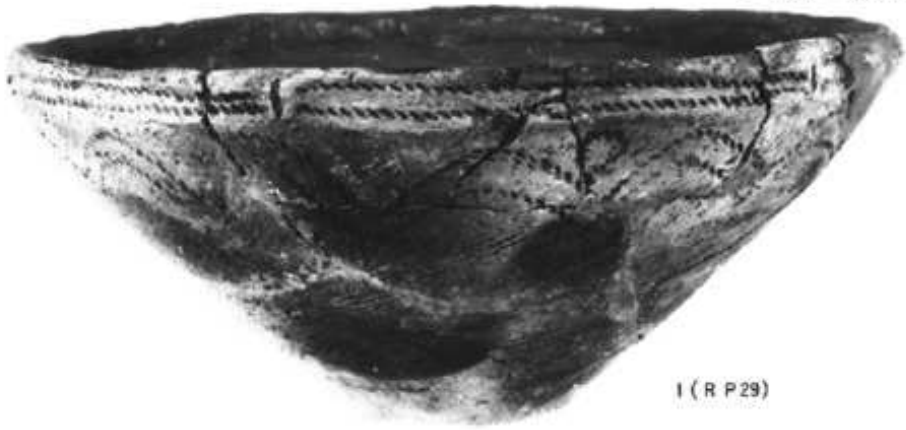
5 (R P145)

6 (R P200)

(1 : 4)

7 (R P115)

8 (R P113)



1（R P29）

2（R P155）

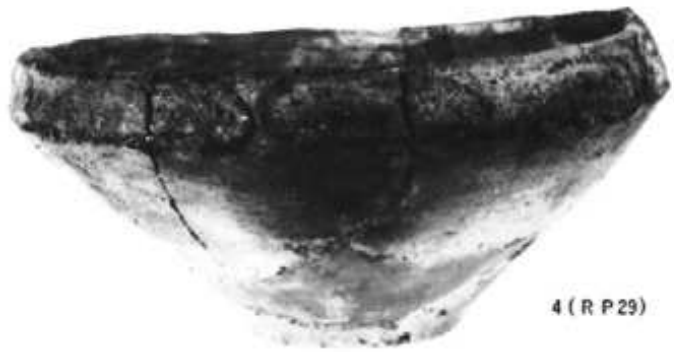
3（R P141）

（1：3）

1（RP107）

2（I－17・b－6Ⅲ）

3（RP218）



4（RP29）　　（1：3）

PL32 完形土器 (32)

1(H－7・J－8 III)

2(R P96)

3(X－0)

4(R P30)

5(R P194)

6(R P231)

7(R P104)

8(S T17)

(1：3)

9(R P104)

10(R P56)

1(RP181)

2(RP157)

3(RP111)

4(K−17・C−1)

5(RP105)

6(L−11・J−1〜5II)

7(J−17・g−2III)

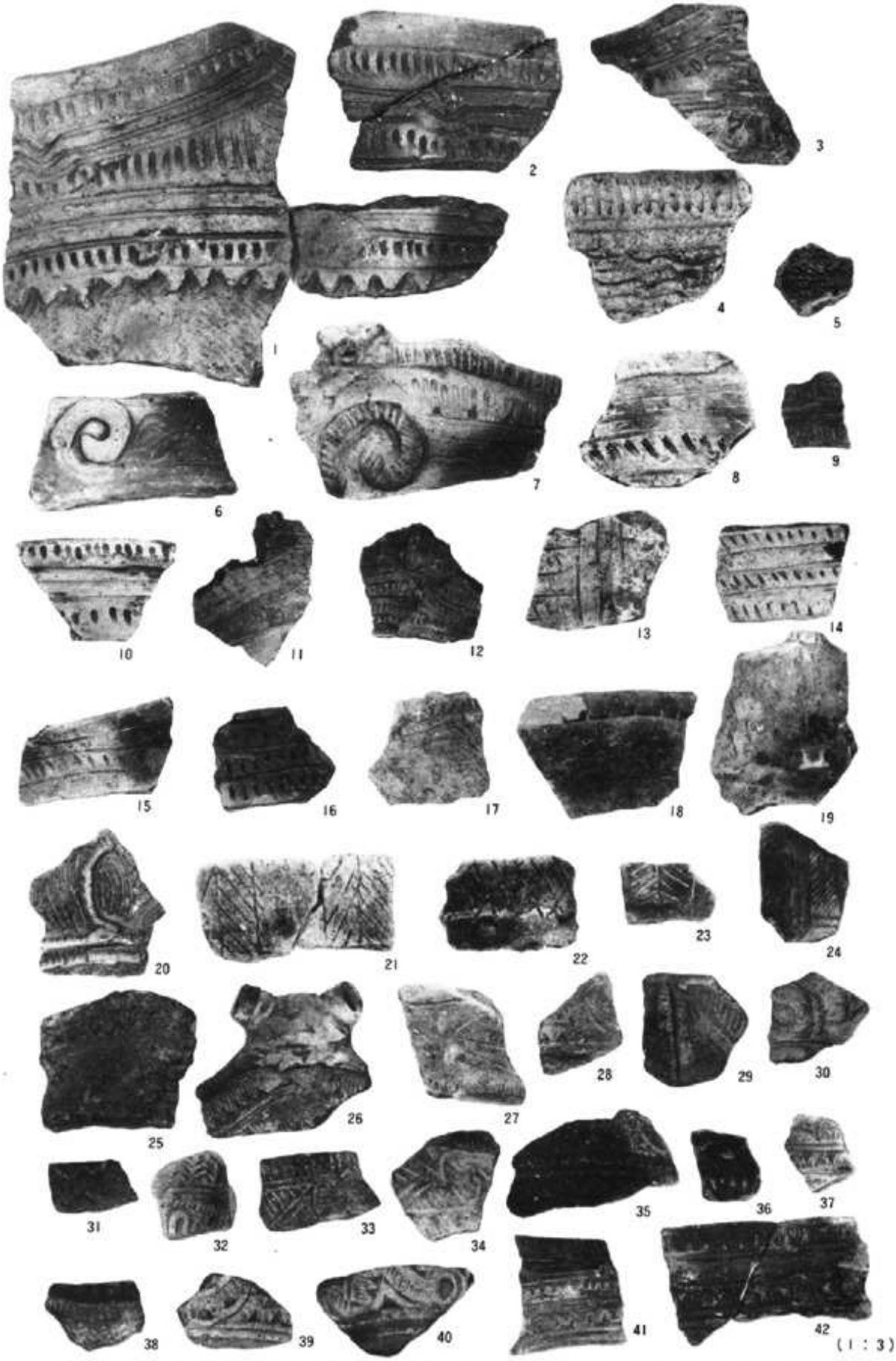
8(ST108) (1:1)

9(H−7・S−9II)

(1:3)

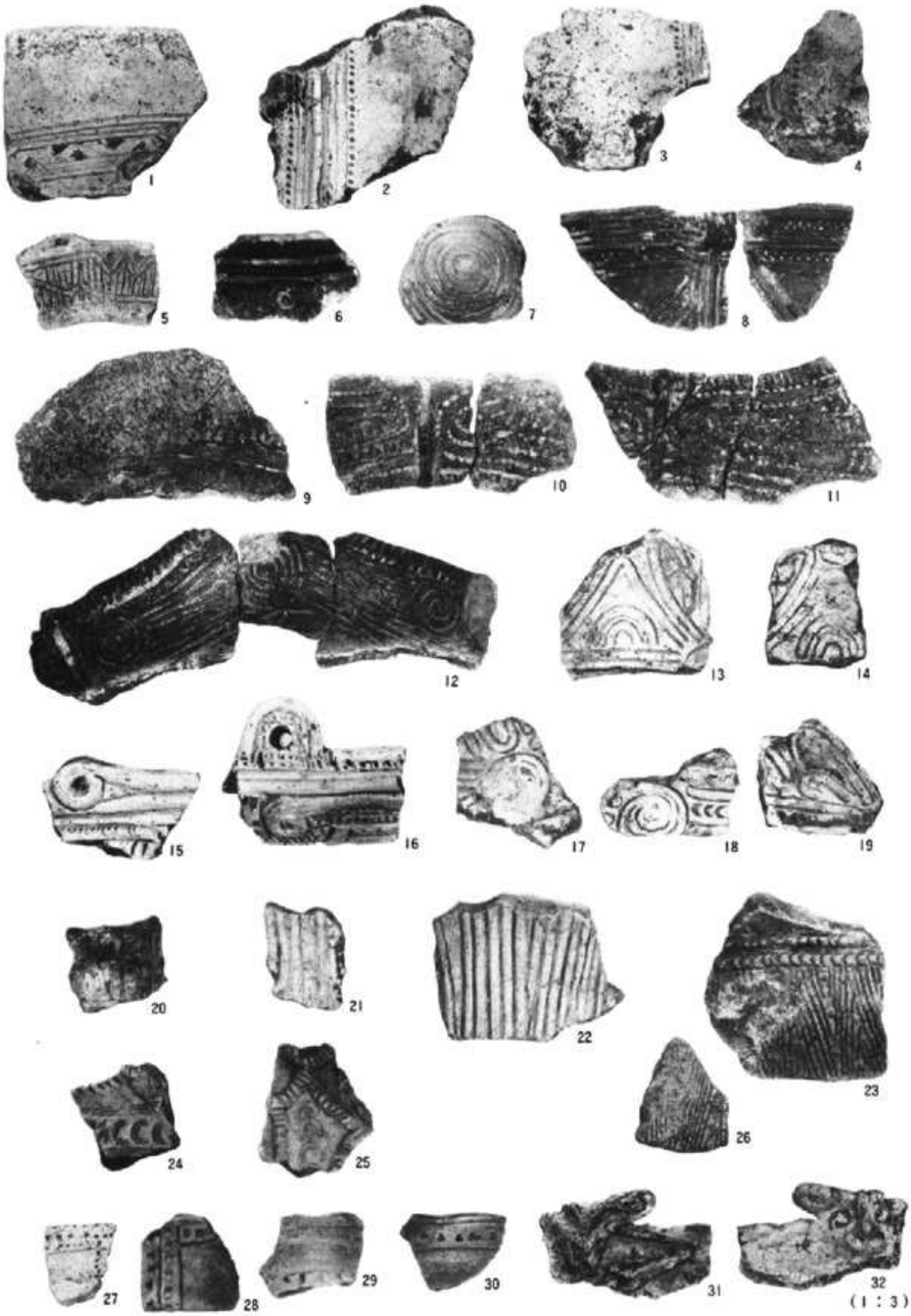
10(X−O)

11(K−17・J−1III)



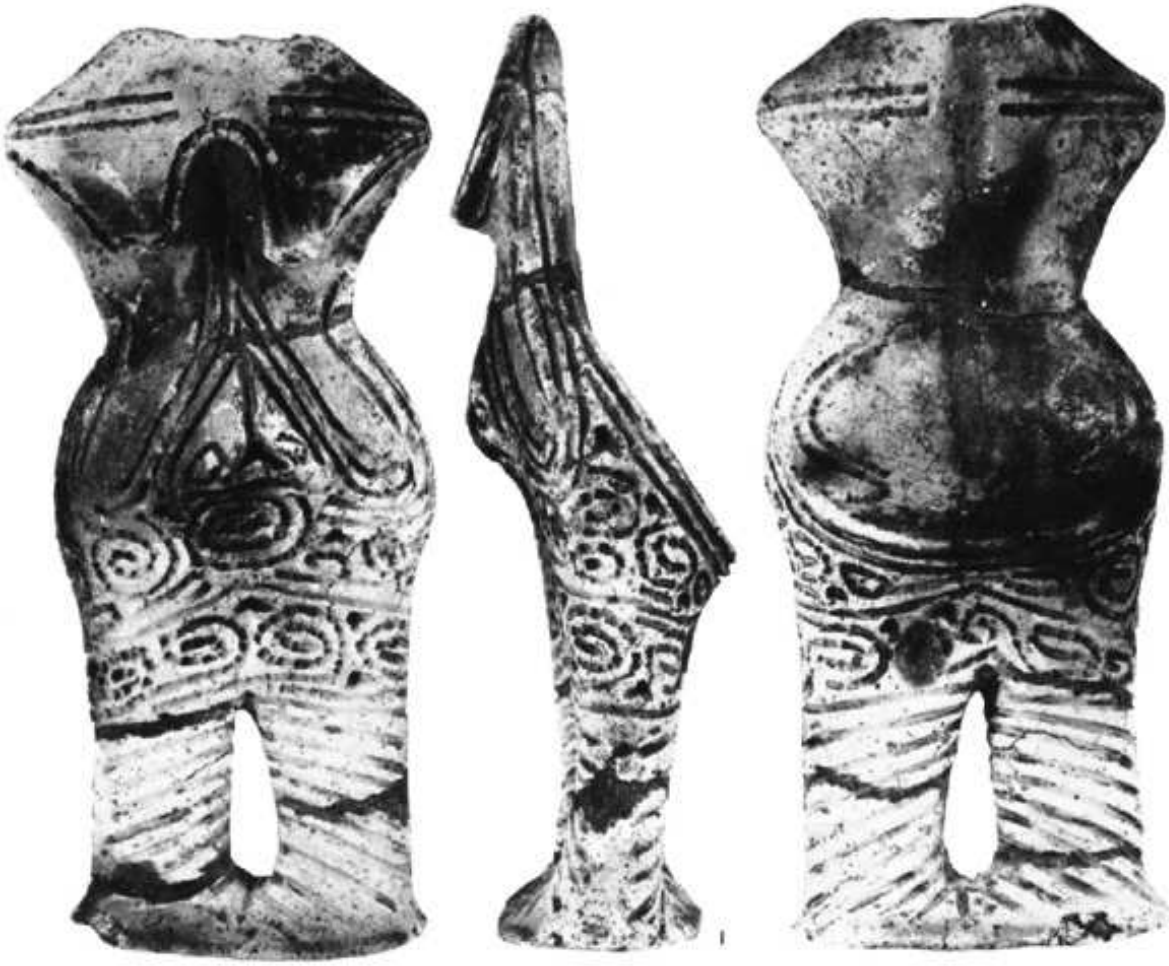
（1：3）

1：H－7・f－10Ⅲ　2：H－7・f－10Ⅲ　3：I－17・a－6Ⅲ　4：M－12・g－10Ⅱ　5：I－17・a－6Ⅲ　6：I－17・b－9Ⅲ　7：J－16・i－8Ⅲ
8：H－17・g－7Ⅲ　9：I－17・a－1Ⅲ　10：J－16・i－8Ⅲ　11：H－16・j－8－10Ⅲ　12：J－16・h－9Ⅲ　13：H－7・J－10Ⅲ　14：H－7・j－10Ⅲ
15：H－7・j－10Ⅲ　16：H－7・g－6Ⅱ　17：H－7・f－9Ⅱ　18：K－12・a－10Ⅲ　19：H－17・h－10Ⅲ　20：K－17・d－1Ⅲ　21：J－16・i－10Ⅲ
22：J－16・g－8Ⅲ　23：d－14Ⅲ　24：H－17・i－6Ⅲ　25：H－7・g－7Ⅱ　26：K－17・C－7Ⅲ　27：H－7・b－9Ⅱ　28：K－16・C－10Ⅲ
29：K－16・d－8Ⅲ　30：I－17・b－8Ⅲ　31：H－17・h－6Ⅲ　32：K－16・d－7Ⅲ　33：H－17・i－6Ⅲ　34：K－16・C－10Ⅲ　35：I－17・d－10Ⅲ
36：G－7・j－3Ⅱ　37：K－16・d－7Ⅲ　38：J－16・j－7Ⅲ　39：J－16・j－7Ⅲ　40：K－16・h－6Ⅲ　41：J－16・j－7Ⅲ　42：H－17・i－6Ⅲ



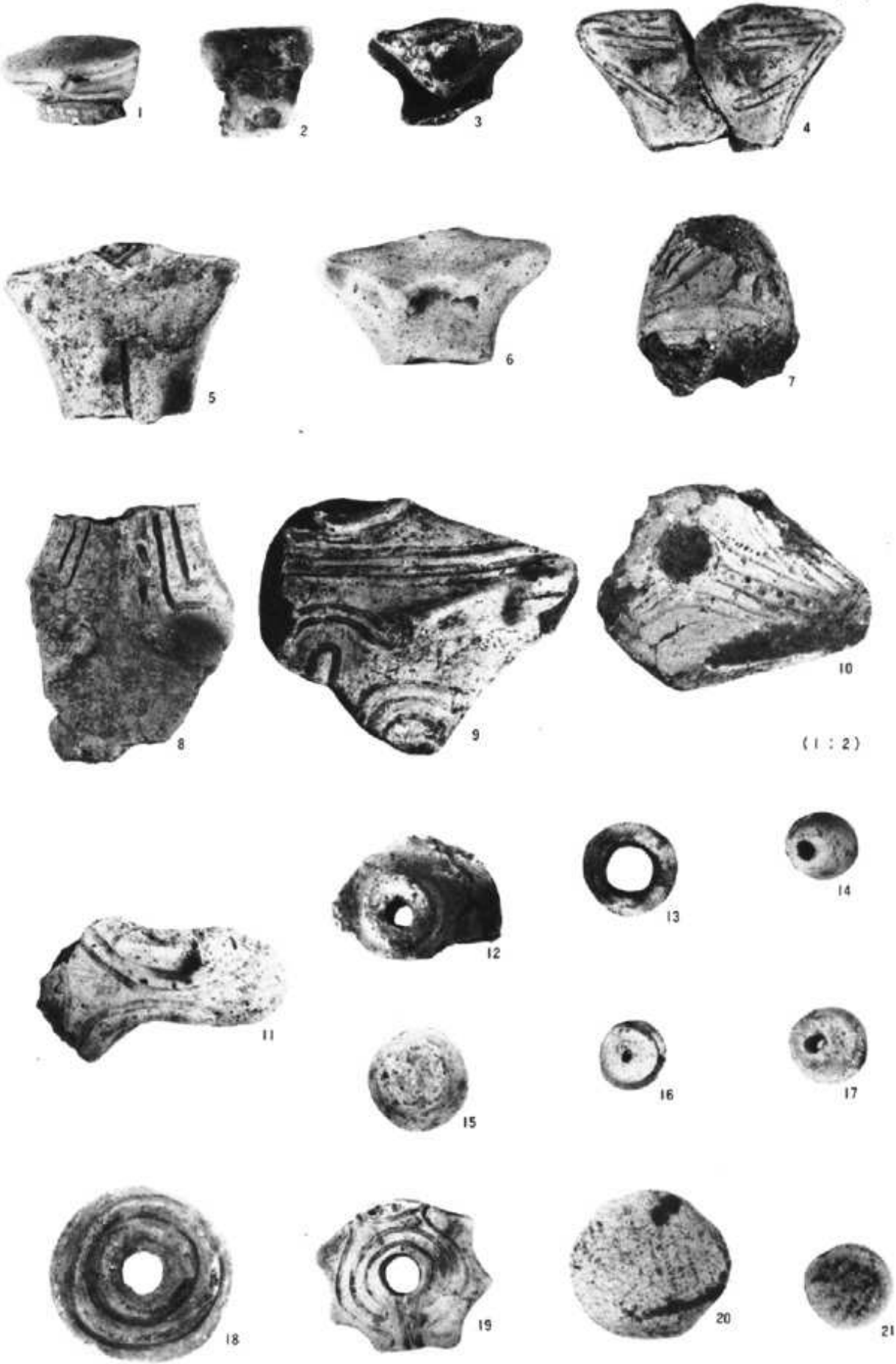
（1：3）

1：J－16・h－10Ⅲ　2：I－16・j－1－5Ⅲ　3：I－16・j－1－5Ⅲ　4：I－16・j－1－5Ⅲ　5：H－7・f－6Ⅲ　6：K－16・C－9Ⅲ
7：H－16・j－6・9Ⅲ　8：I－17・j－5Ⅲ　9：X'－9　10：G－7・C－9Ⅲ　11：G－7・i－6Ⅲ　12：G－8・j－1Ⅱ　13：I－17・b－1Ⅲ
14：I－17・b－1Ⅲ　15：K－16・d－10Ⅲ　16：H－17・g－3Ⅲ　17：I－17・b－1Ⅲ　18：I－17・b－1Ⅲ　19：I－17・b－1Ⅲ　20：H－17・i－10Ⅲ
21：L－11・a－1Ⅱ　22：RP100　23：I－16・j－7Ⅲ　24：K－16・h－9Ⅲ　25：D－14Ⅲ　26：K－17・g－3Ⅲ　27：H－7・f－9Ⅱ
28：H－13・a－10Ⅲ　29：H－7・h－6Ⅱ　30：H－7・h－6Ⅱ　31：ST3F　32：ST3F



(1 : 2)

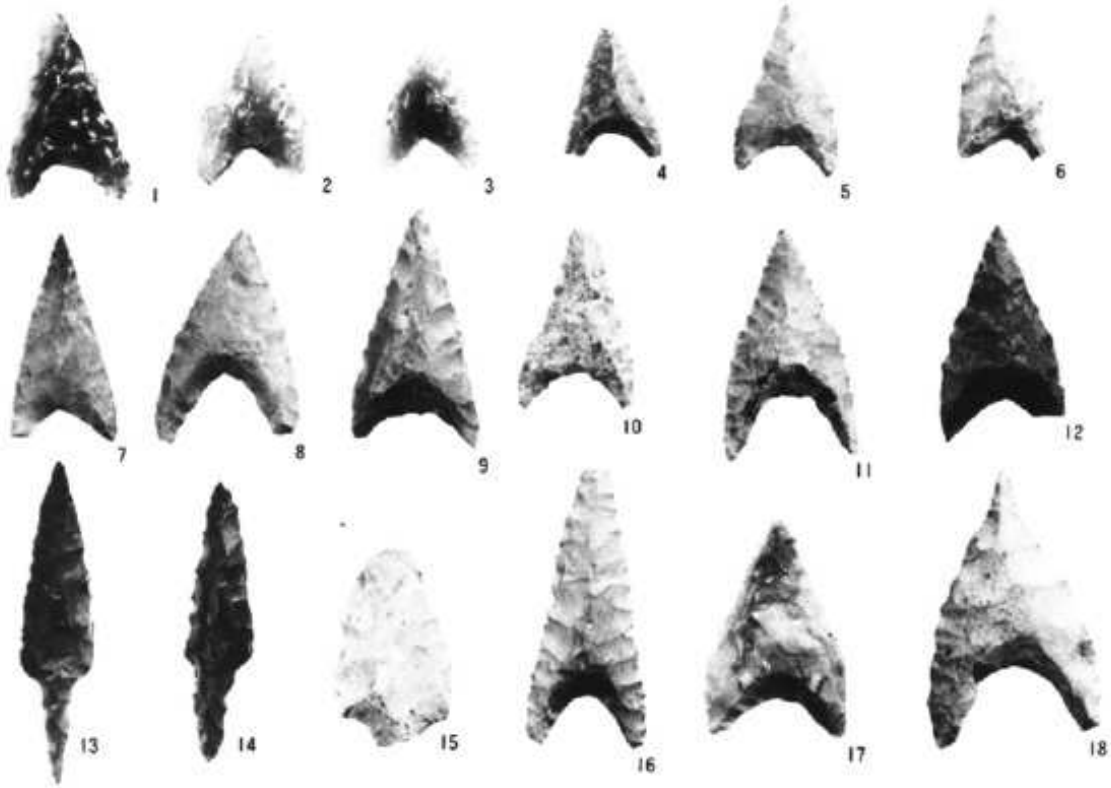
1：ST-17・RP-234　2：ST-18・F-2　3：H-7・I-7II　4：K-16・b-9III　5：J-16・I-4III　6：L-11・a-1III　7：J-16・b-6III



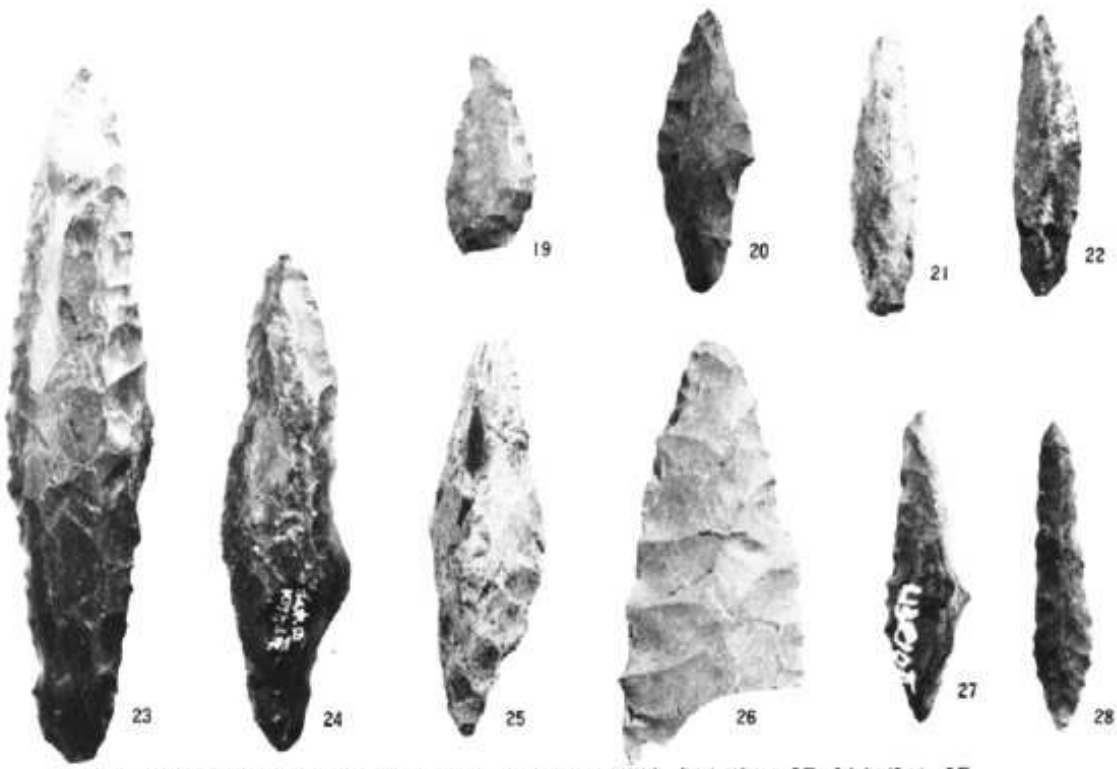
（1：2）

1：K−17・i−7Ⅲ　2：J−17・a−1Ⅲ　3：K−16・j−9Ⅲ　4：H−7・h−8Ⅲ　5：I−17Ⅲ　6：ST101　7：I−17・b−6Ⅲ　8：K−17・a−3Ⅲ
9：RP306　10：K−16・i−10Ⅲ　11：H−17・j−6Ⅲ　12：K−17・f−4Ⅲ　13：K−16・b−8Ⅲ　14：K−16・i−8Ⅲ　15：RP95　16：J−16・i−9Ⅲ
17：K−15・a−10Ⅲ　18：J−17・j−1Ⅲ　19：K−16・i−10Ⅲ　20：I−17・I−6Ⅲ　21：J−16・g−9Ⅲ

PL38 石器・石製品（1）

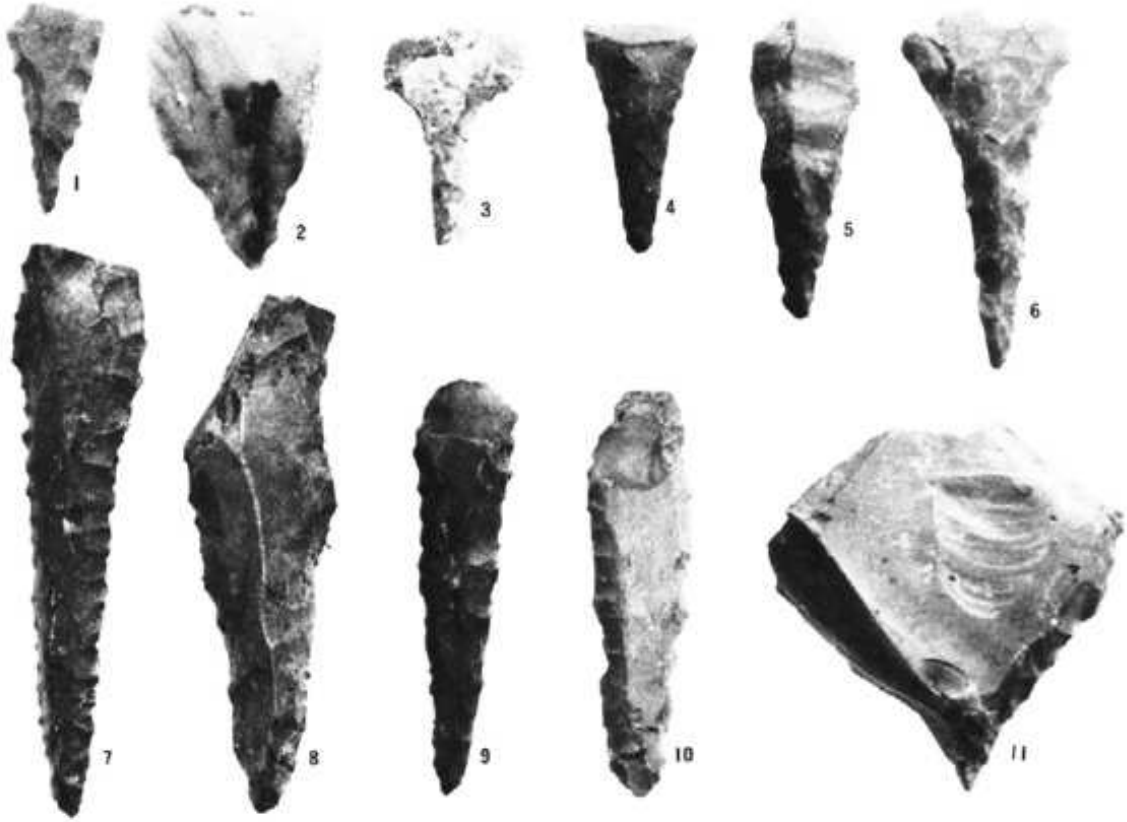


（1：1）

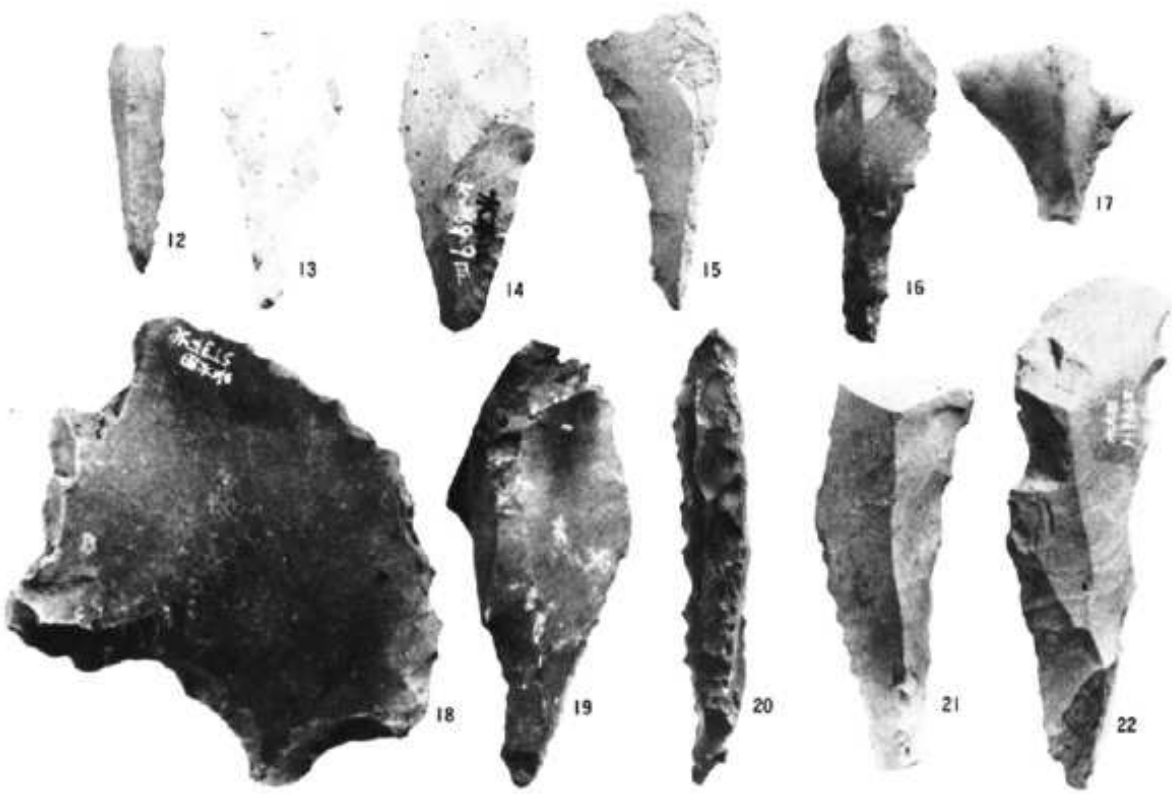


1：O－14Ⅲ　2：RQ－10Ⅰ　3：ST－3・F－780615　4：XO　5：RQ－10Ⅱ　6：XO　7：J－16・g－7Ⅲ　8：J－16・i－8Ⅲ
9：RQ－13　10：J－16・g－7Ⅲ　11：J－16・j－10Ⅲ　12：O－14Ⅲ　13：H－7・g－10Ⅲ　14：K－16・b－10Ⅲ　15：K－16・C－10Ⅲ
16：K－16・g－8Ⅲ　17：J－8・j－1Ⅱ　18：K－16・g－10Ⅲ　19：XO　20：M－13・e－10Ⅲ　21：K－16・C－10Ⅲ　22：K－16・C－10Ⅲ
23：J－17・g－5Ⅲ　24：K－17・h－3Ⅲ　25：ST－2F　26：J－16・i－8Ⅲ　27：L－13・e－10Ⅲ　28：K－16・C－10Ⅲ

PL39 石器・石製品（2）



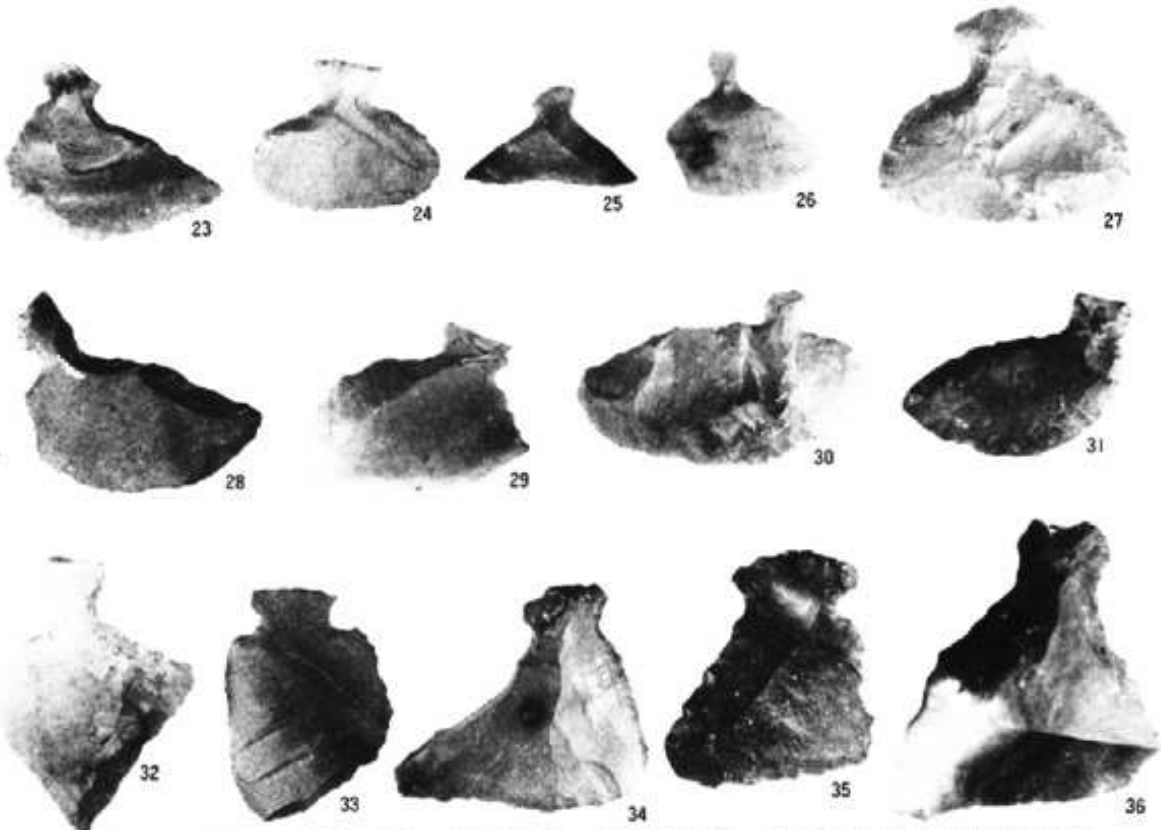
（1：1）



1：SM−20I　2：H−7・e−6III　3：K−16・b−9III　4：XO　5：XO　6：D−14III　7：H−17・f−8II　8：H−7・d−10III
9：K−16・h−8III　10：G−7・j−3III　11：K−17・C−1III　12：SM−20I　13：J−17・g−10III　14：K−16・g−9III　15：K−16・f−6III
16：G−8・g−1III　17：XO　18：ST−3F　19：J−16・g−9III　20：RQ−30I　21：XO　22：H−7・h−6II

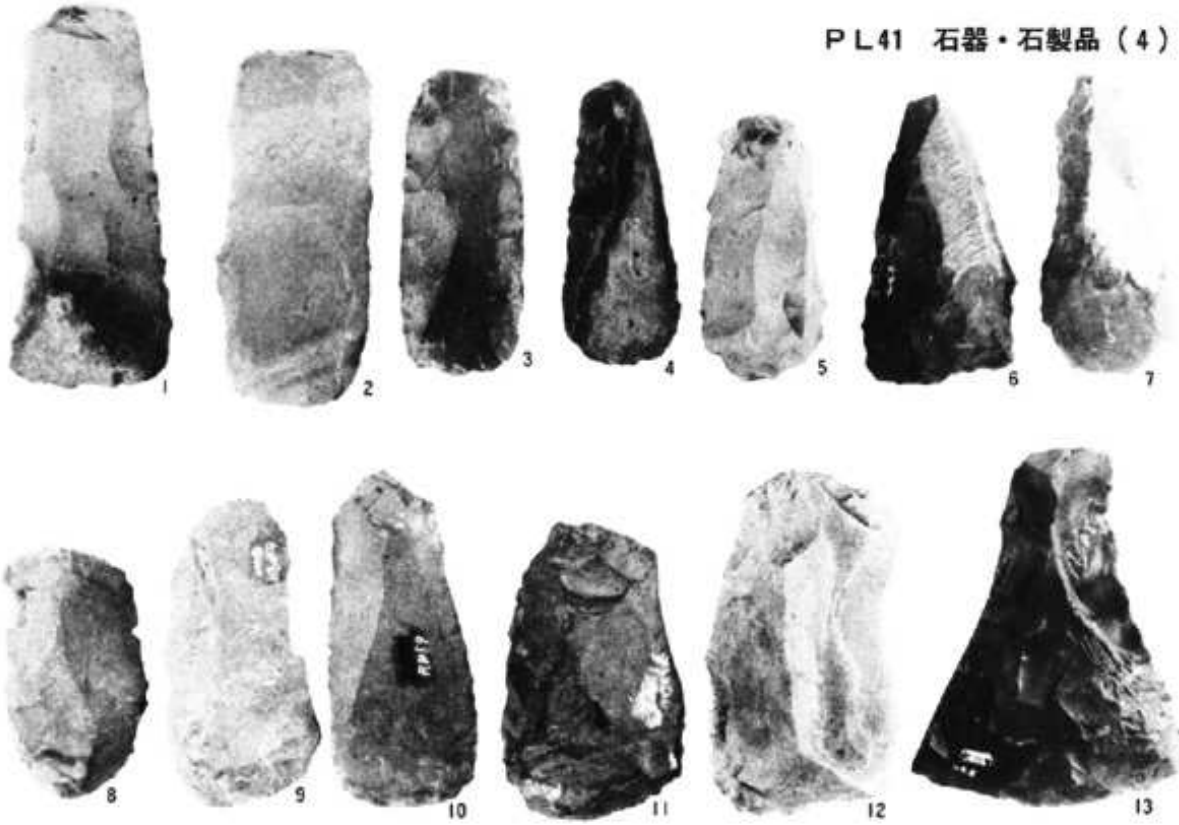
PL40 石器・石製品（3）

（1：2）

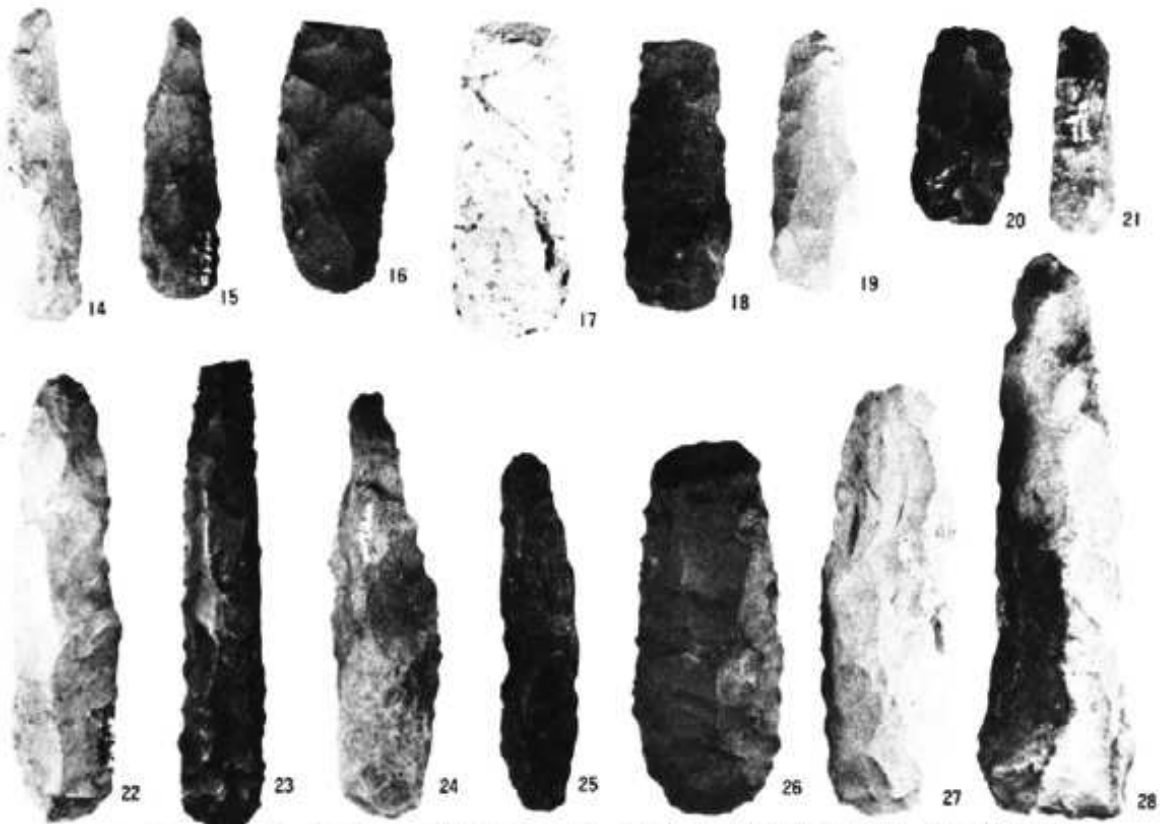


1：J－17・i－3 III　2：K－16・g－10 III　3：J－17・a－1 III　4：K－16・g－9 III　5：J－17・b－4 III　6：K－16・g－9 III　7：K－16・b－8 III
8：J－17・h－1 III　9：I－7・i－10 III　10：H－7・d－8 III F　11：K－16・i－10 III　12：H－17・e－10 III　13：I－17・g－1 III　14：K－17・J－1 III
15：J－17・h－3 III　16：I－17・g－1 III　17：J－7・a－1 III　18：K－16・i－7 III　19：J－17・f－10 III　20：M－12・e－10 II　21：H－7・d－8 III F
22：K－16・i－10 III　23：I－17・a－2 III　24：K－17・a－2 III　25：H－7・h－7 III　26：RQ233　27：RQ11　28：SK－18 F　29：K－17・h－2 II
30：H－7・g－6 III　31：ST－2 F　32：RQ184　33：X 0　34：ST－123 F　35：ST－17 F　36：H－7・h－6 II

PL41　石器・石製品（4）



（1：2）



1：J－16・h－10Ⅲ　2：S K－103F　3：I－17・b－6Ⅲ　4：J－17・g－4Ⅲ　5：J－16・h－7Ⅲ　6：H－7・f－6Ⅱ　7：J－16・j－10Ⅲ
8：K－16・g－6Ⅲ　9：H－8・d－1Ⅱ　10：R P－55　11：H－7・g－9Ⅱ　12：K－17・a－1Ⅲ　13：H－7Ⅲ　14：K－17・h－3Ⅲ
15：K－16・g－9Ⅲ　16：J－17・g－2Ⅲ　17：G－8・F－1Ⅱ　18：G－7・j－3Ⅲ　19：K－6・b－6Ⅲ　20：H－17・h－7Ⅲ　21：I－17・a－8Ⅲ
22：K－16・j－10Ⅲ　23：K－17・a－4Ⅲ　24：K－16・j－10Ⅲ　25：J－18・h－2Ⅲ　26：K－16・G－9Ⅲ　27：K－16・a－10Ⅲ　28：K－18Ⅲ

PL42 石器・石製品（5）

1：I－17・a－3Ⅲ　2：RQ98　3：J－16・E－8Ⅲ　4：I－17・J－4Ⅲ　5：ST－123F　6：J－17・g－10Ⅲ　7：L－11・a－1Ⅱ
8：G－7・i－7Ⅱ　9：K－17・h－3Ⅲ　10：XO　11：K－16・I－8Ⅲ　12：RQ312　13：XO　14：J－17・h－3Ⅲ

1

2

3

4

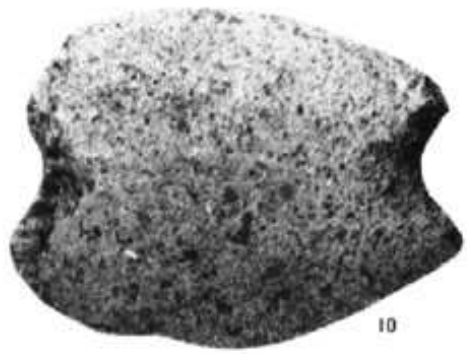
5

6

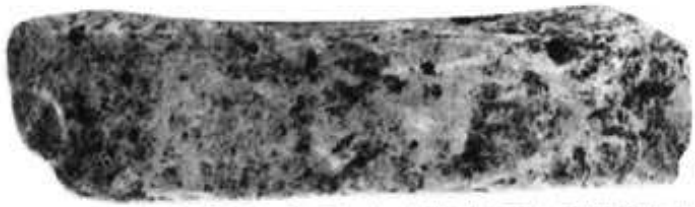
7

8

9



10

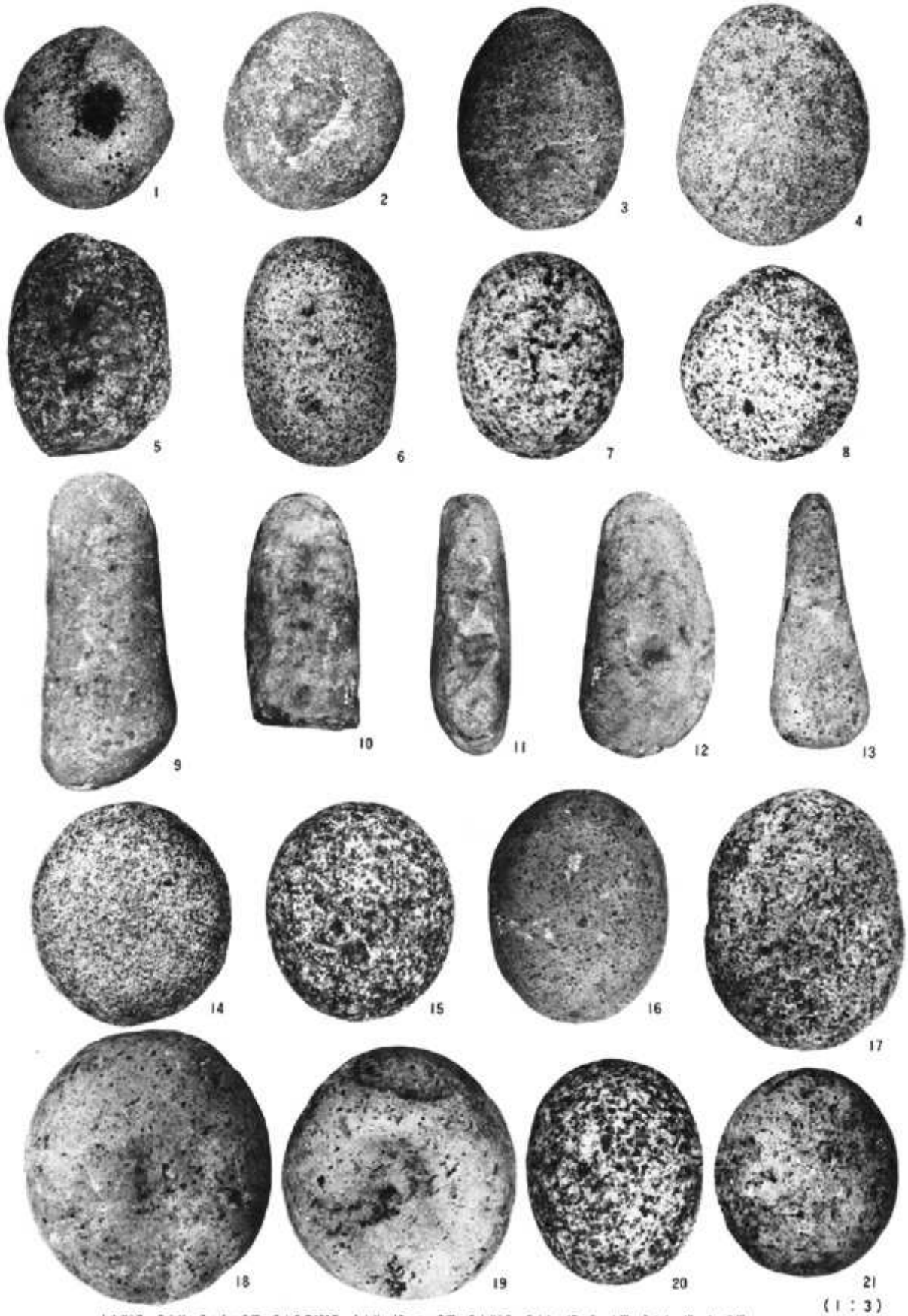


11

（1：2）

1：RQ−235 2：K−17 3：J−16・h−6Ⅲ 4：RQ−1 5：H−17・i−6Ⅲ 6：K−17・f−3Ⅲ 7：J−16・g−10Ⅲ 8：XO
9：G−7・h−6Ⅱ 10：K−17・e−2Ⅲ 11：ST−2F

PL44 石器・石製品（7）



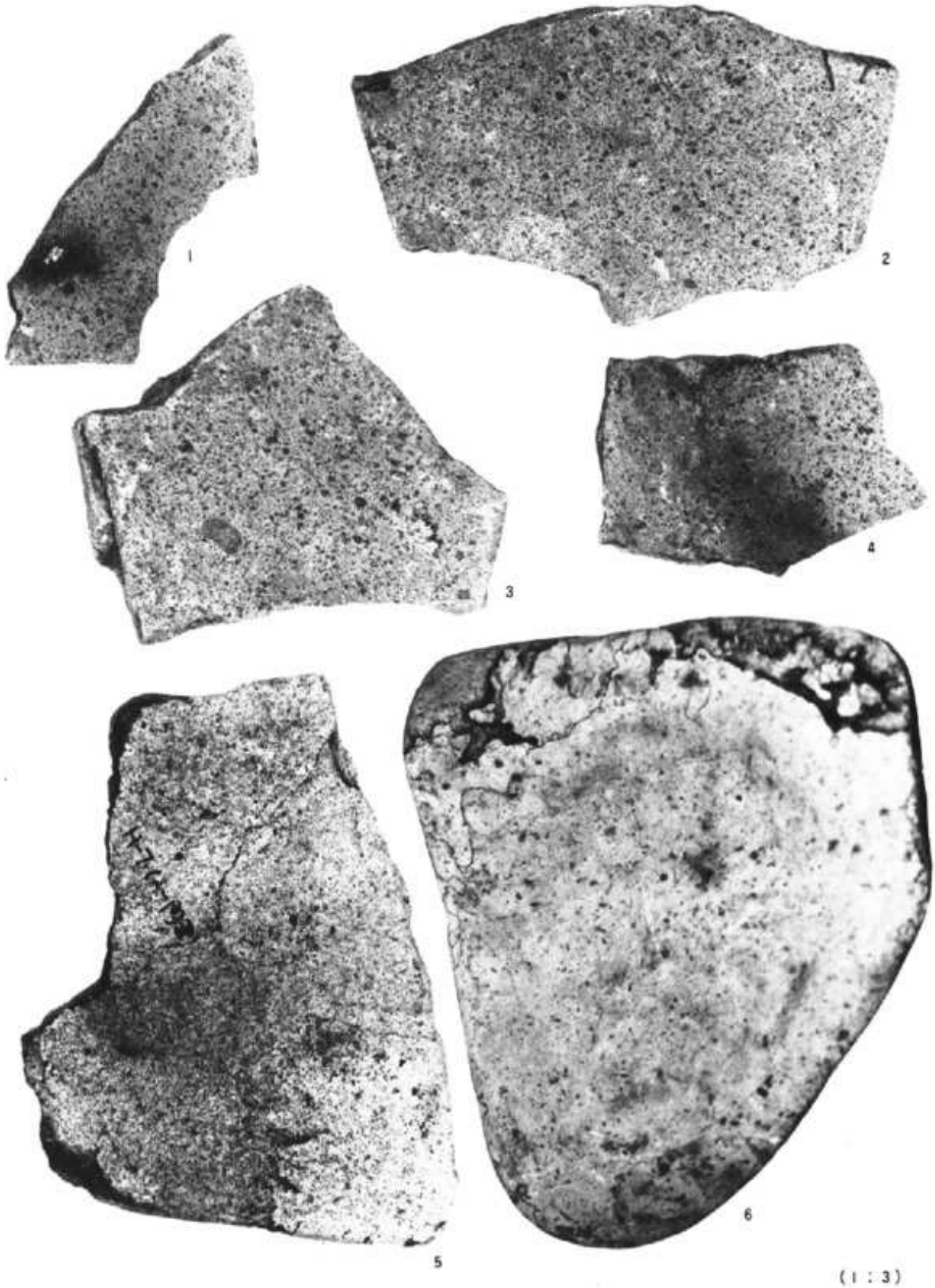
（1：3）

1：X'O　2：H－7・f－8Ⅲ　3：ST124F　4：K－16・g－7Ⅲ　5：X'O　6：L－17・C－1Ⅲ　7：I－17・d－9Ⅲ
8：ST102　9：X'O　10：L－14・e－8Ⅲ　11：K－16・i－10Ⅲ　12：SK103　13：I－16・j－8Ⅲ　14：H－7・C－3
15：H－7・b－8Ⅲ　16：H－7・C－3Ⅲ　17：X'O　18：ST2F　19：H－7・i－8Ⅲ　20：K－16・g－8Ⅲ　21：K－17・C－9Ⅲ

PL45 石器・石製品（8）

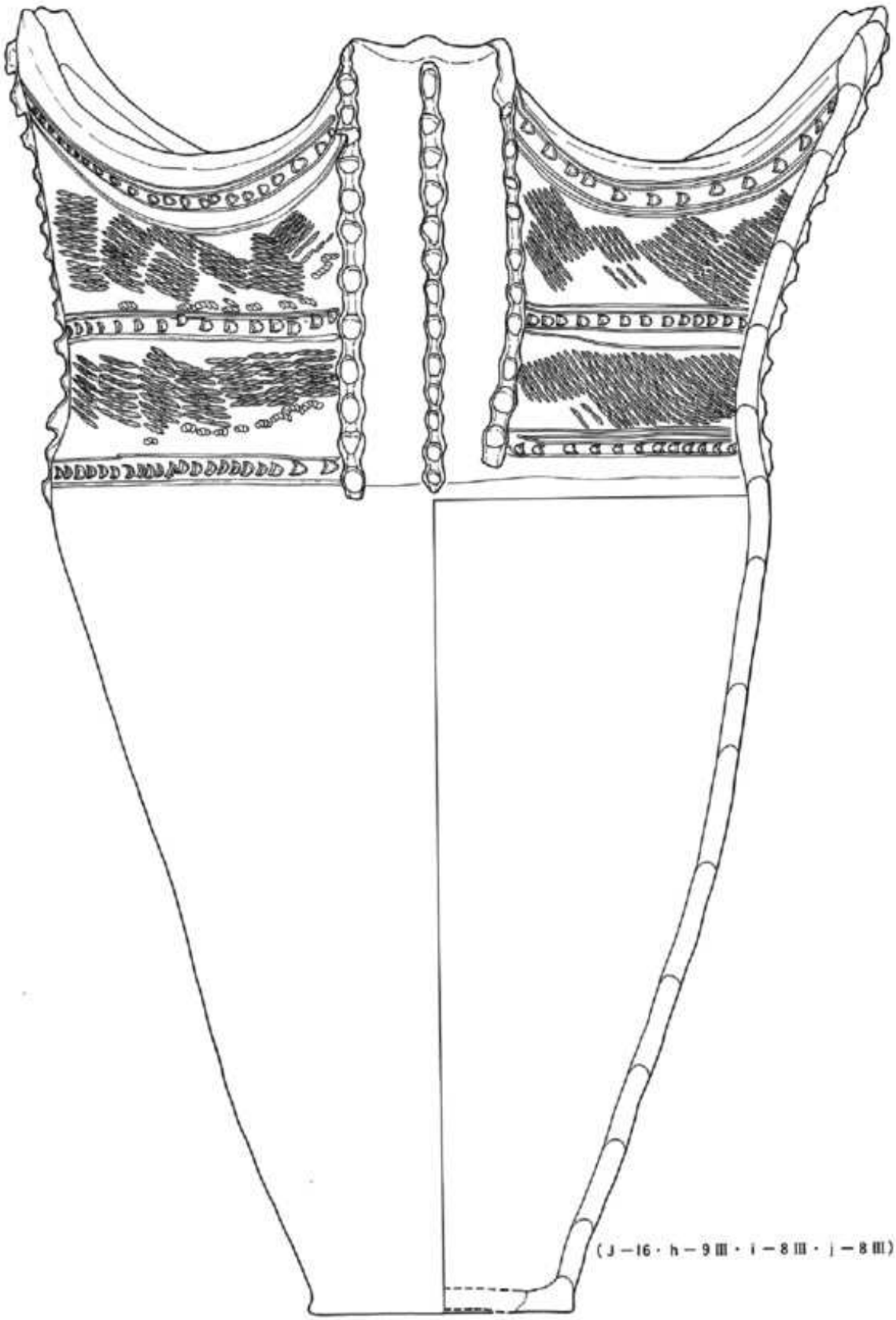
（1：3）

1：J－17・i－2Ⅲ　2：K－16・a－10Ⅲ　3：H－7・i－9Ⅲ　4：H－17・a－1Ⅲ　5：ST2F1　6：H－7・i－8Ⅲ
7：H－7・i－10Ⅲ　8：RQ305　9：X O　10：RQ302　11：SK103　12：H－8・a－1Ⅲ

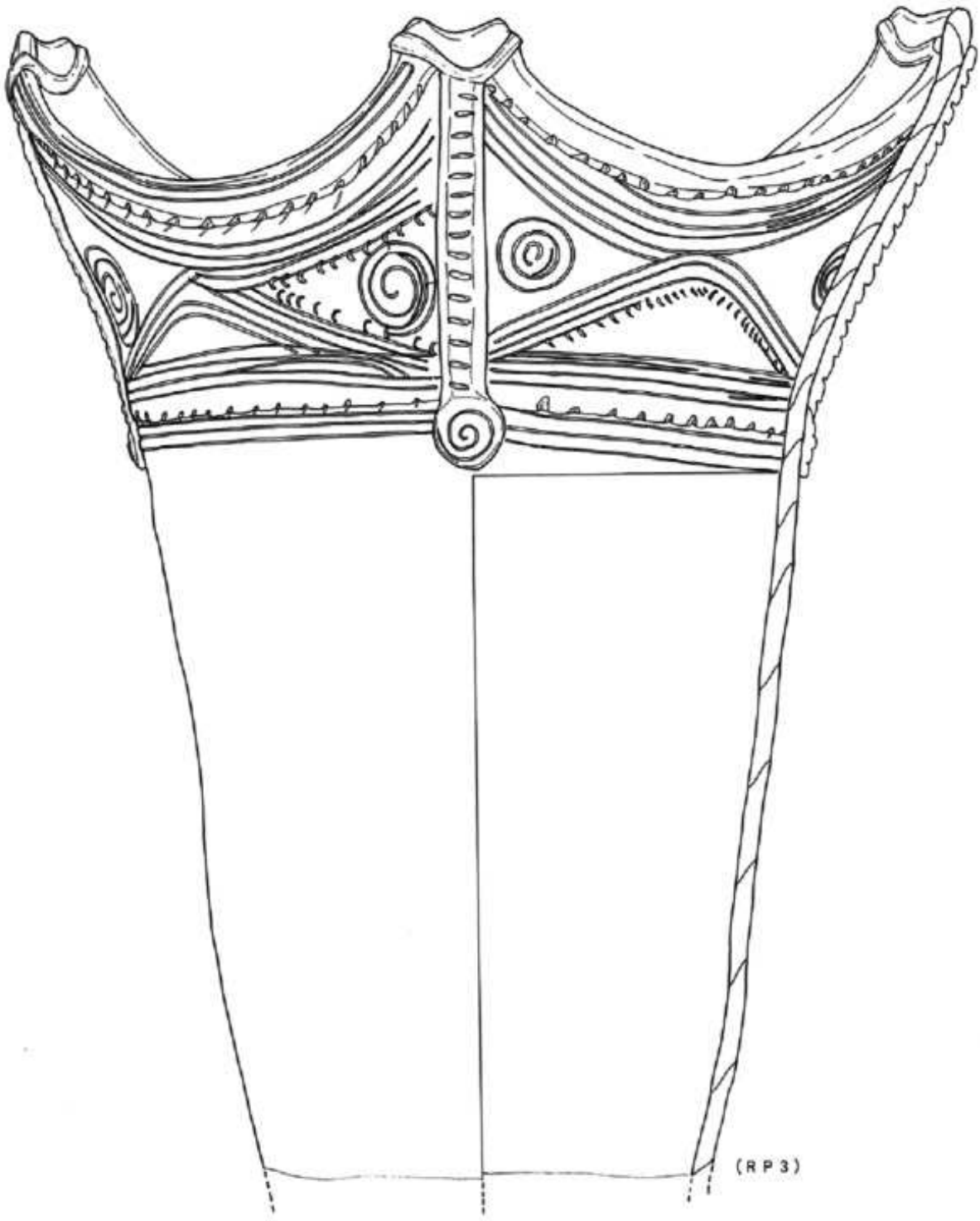


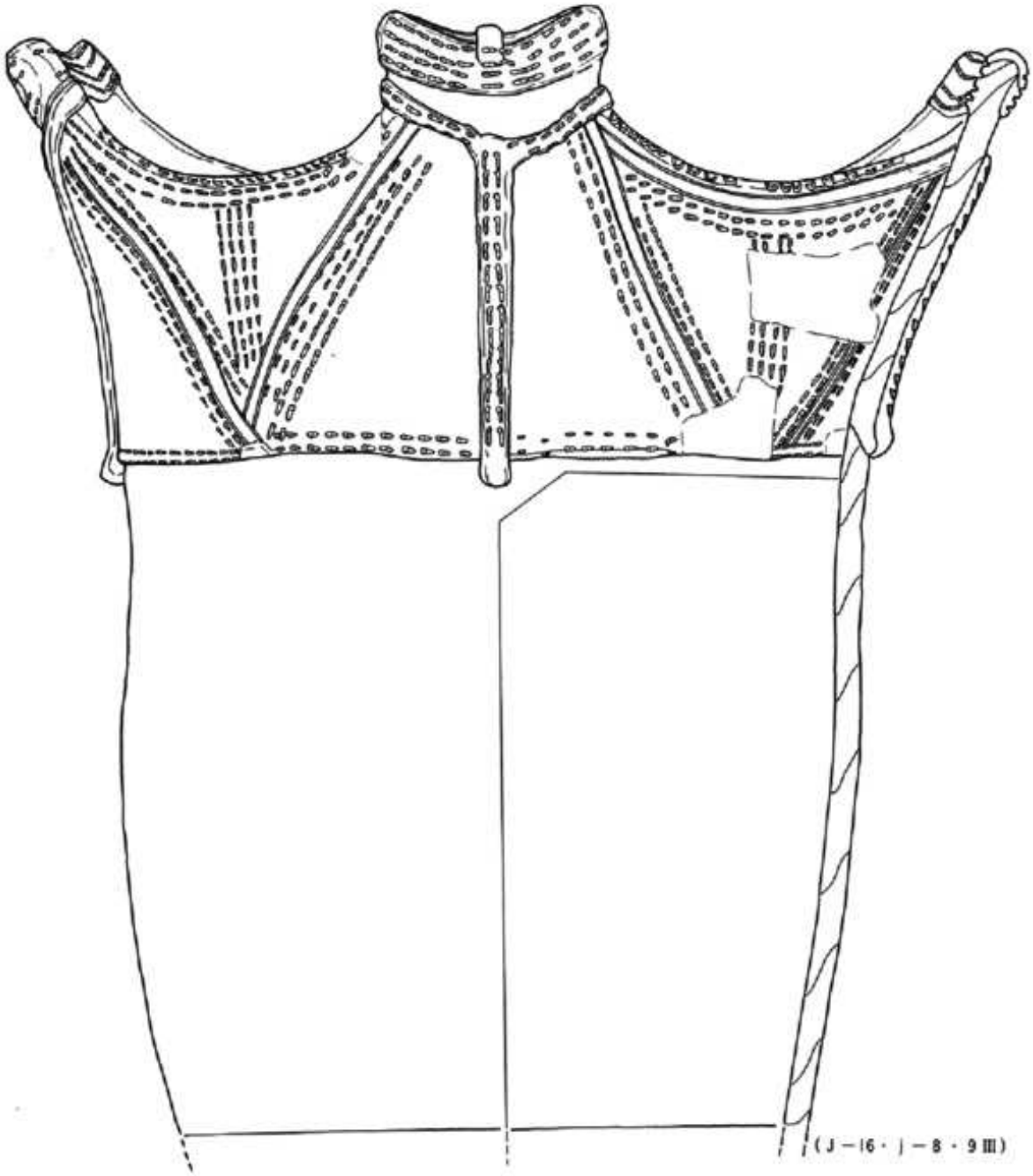
（1：3）

1：H−12・i−1010　2：H−7・i−1010　3：H−7・i−1010　4：M−12・e−1010　5：H−7・i−1010　6：H−7・i−1010

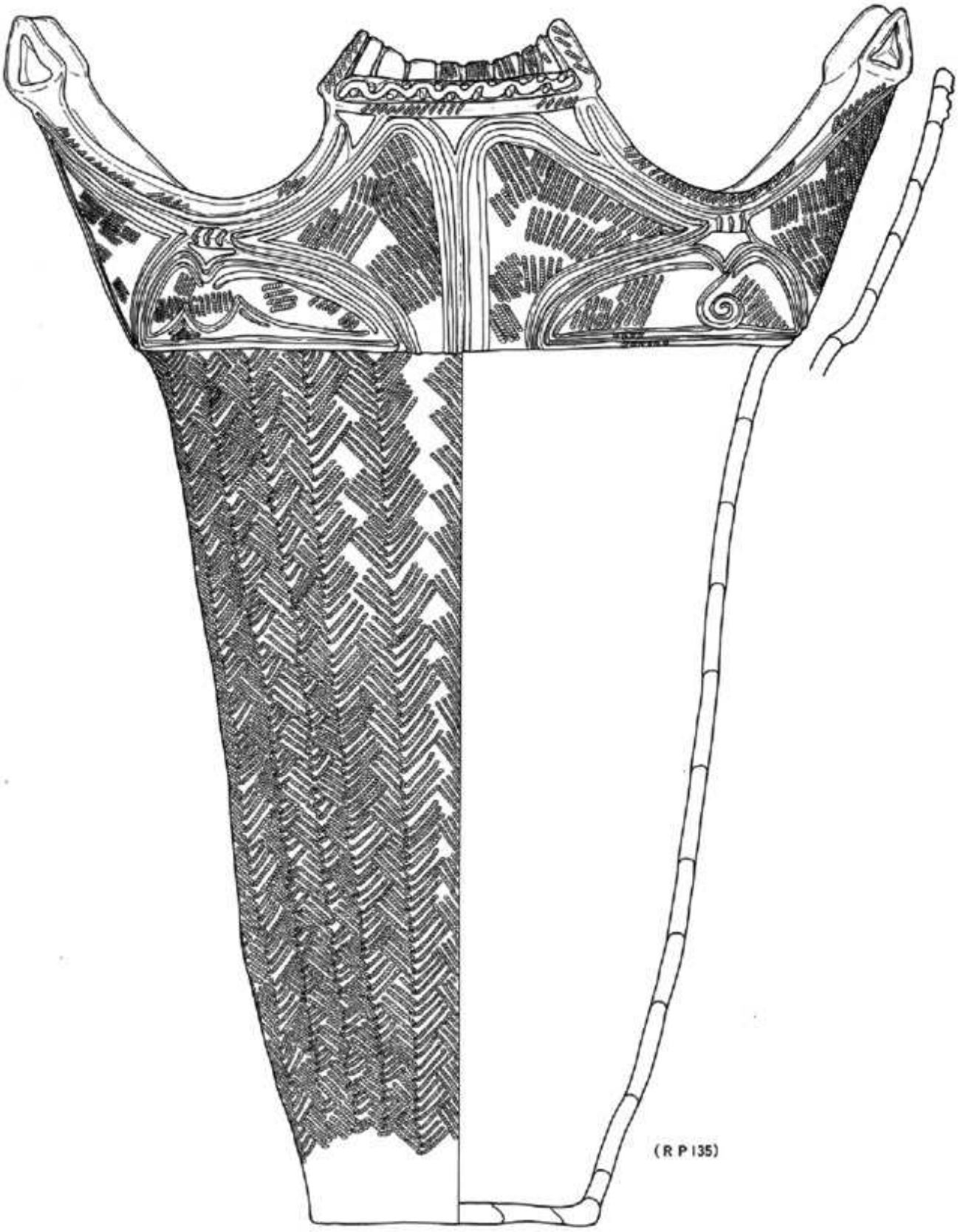


（J－16・h－9Ⅲ・i－8Ⅲ・j－8Ⅲ）

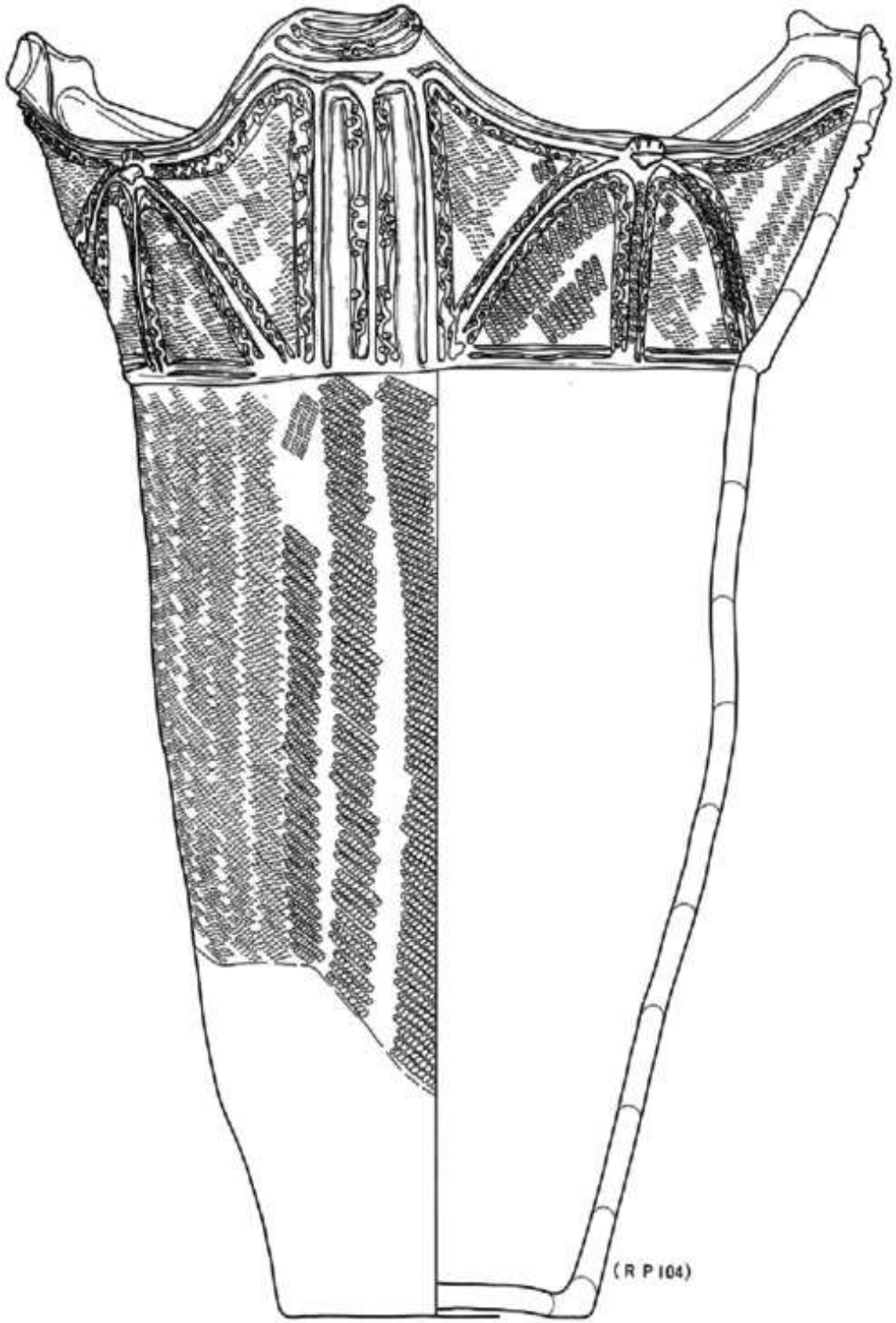

(RP3)

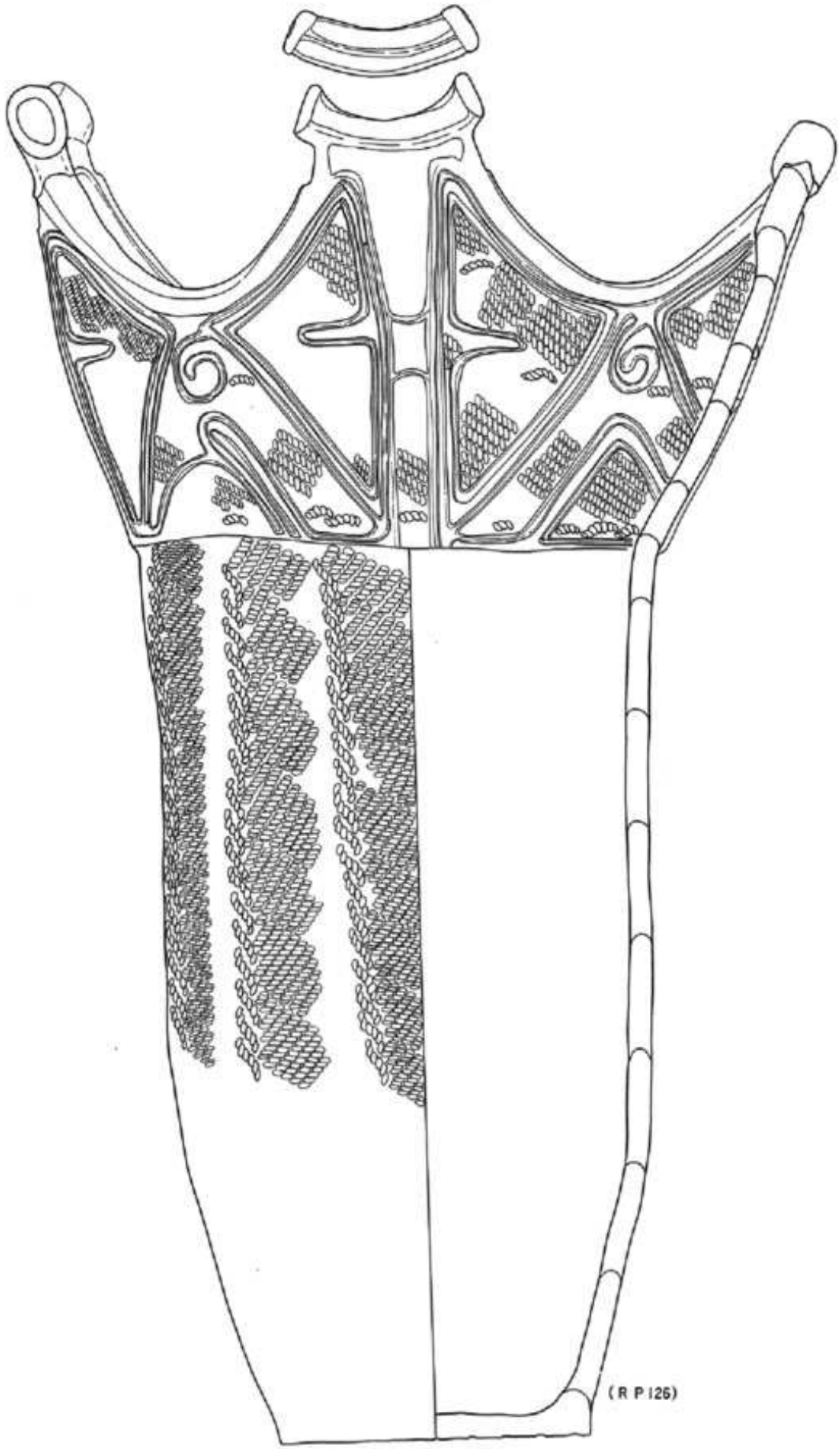


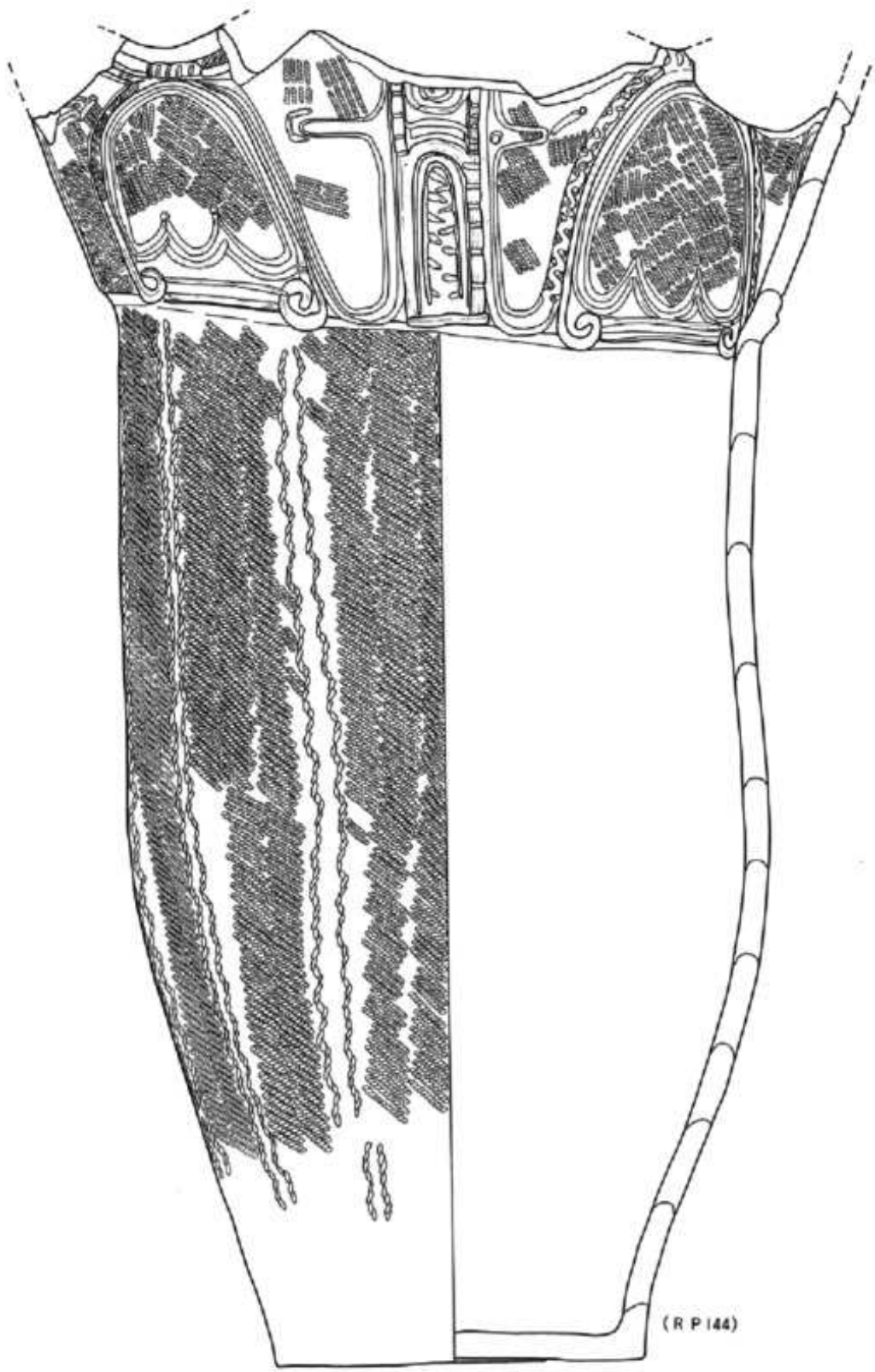
（J－16・17－8・9Ⅲ）



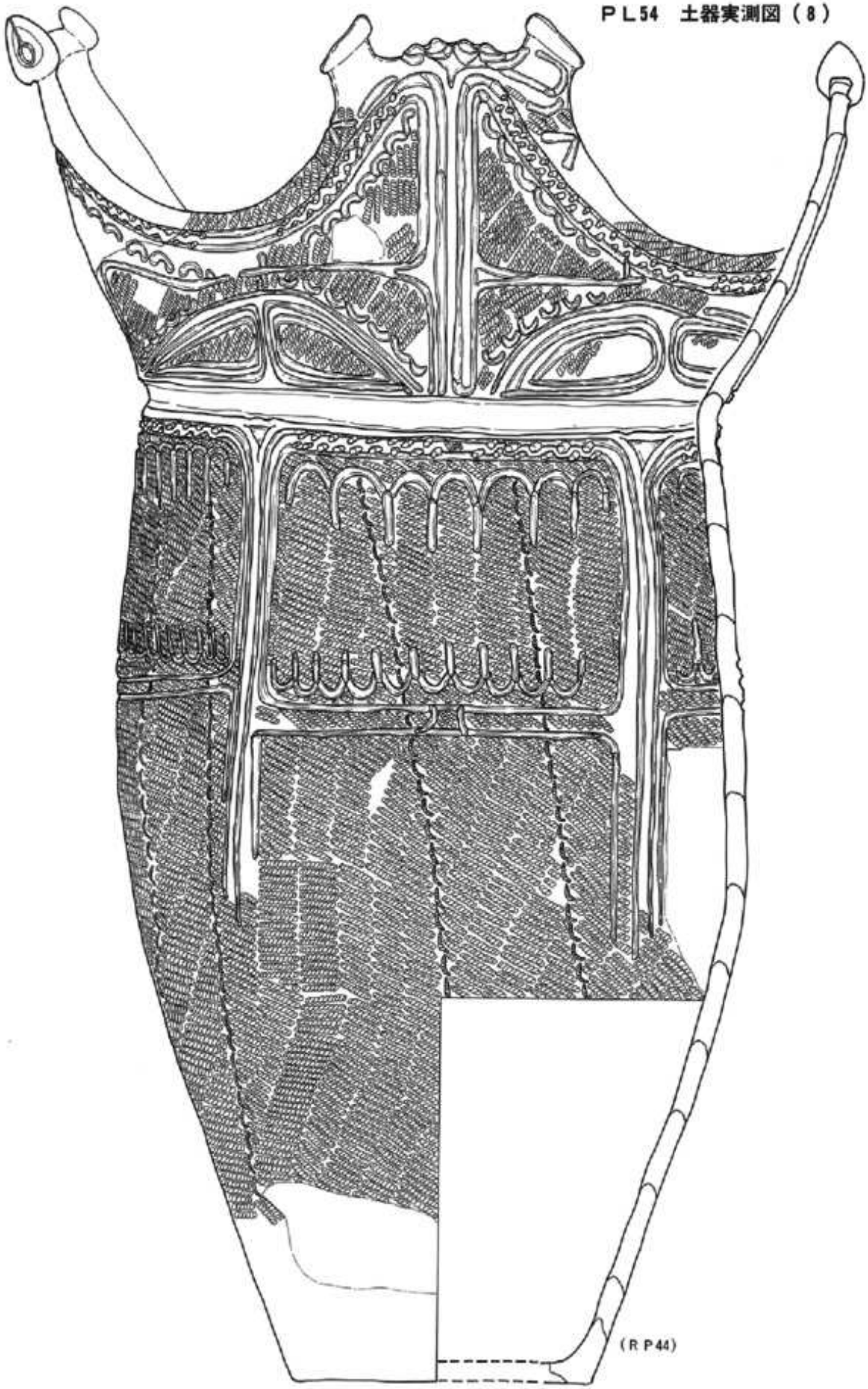
（ＲＰ135）

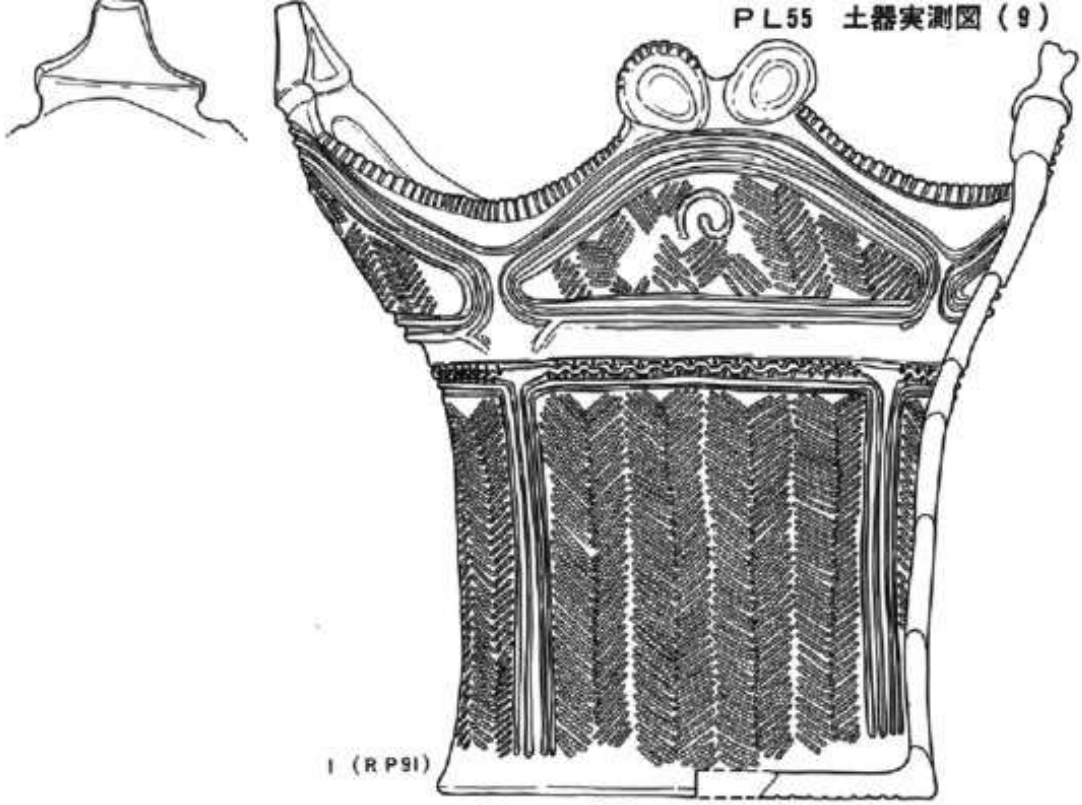

(R P 104)


(R P 126)

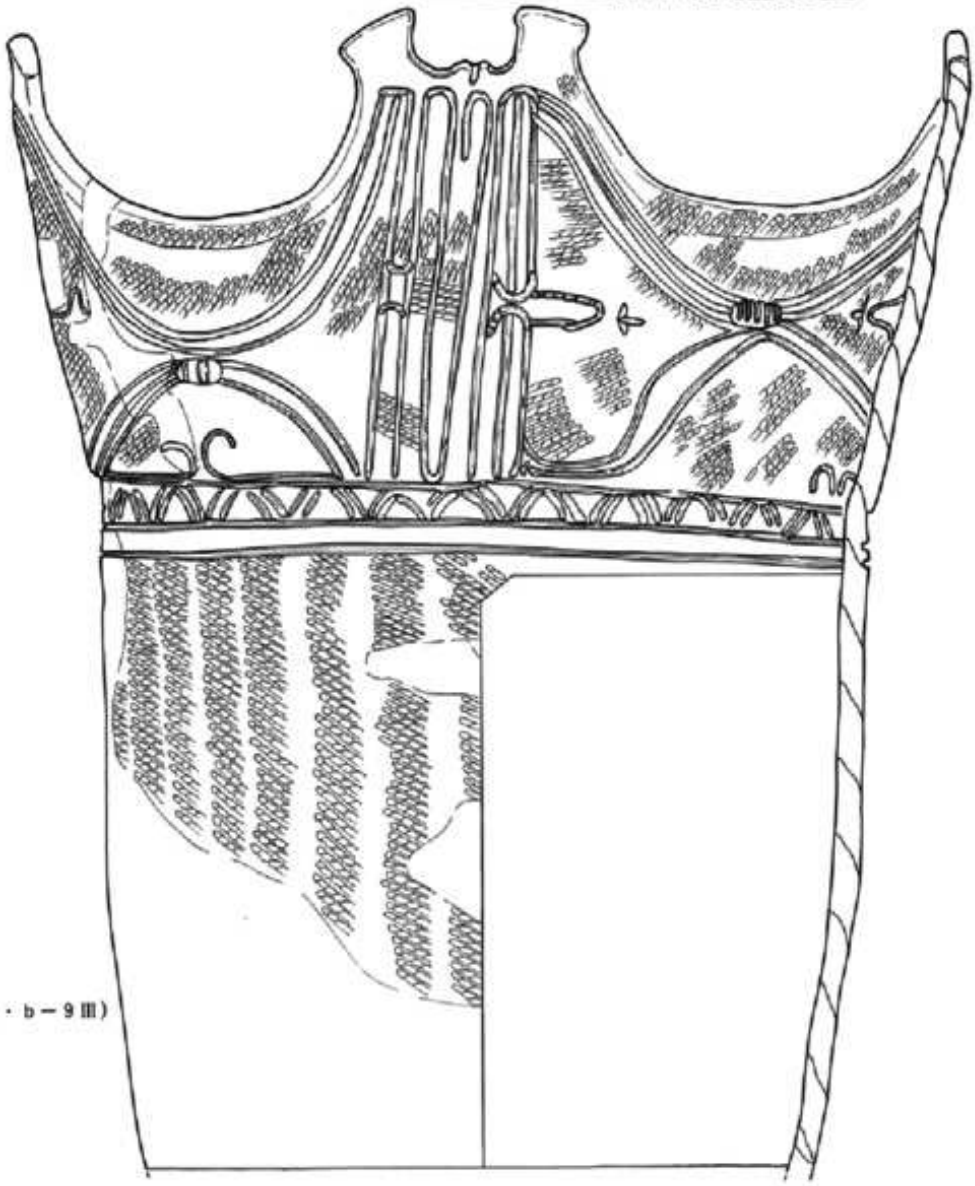

(R P144)

PL54　土器実測図（8）



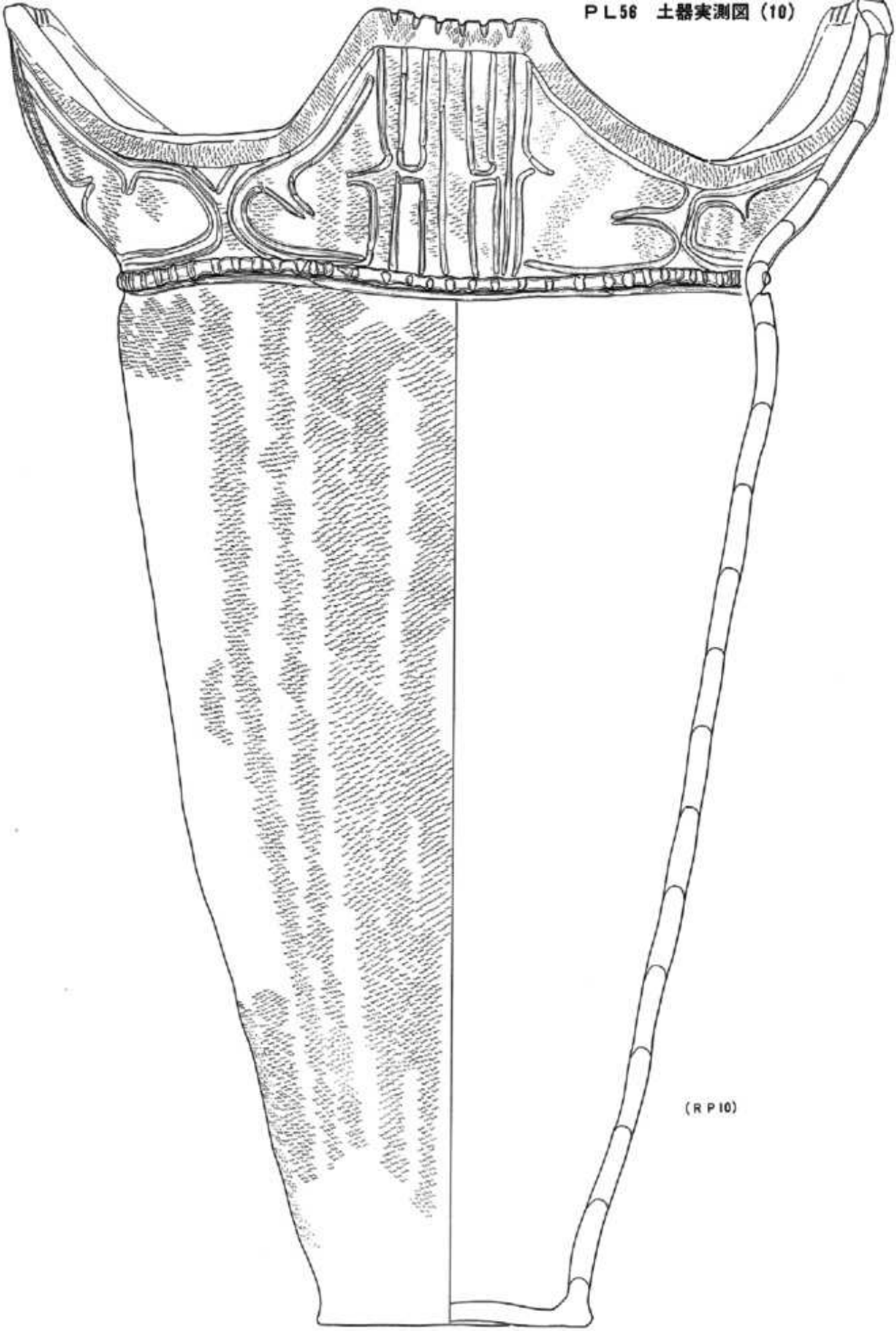


1（RP91）

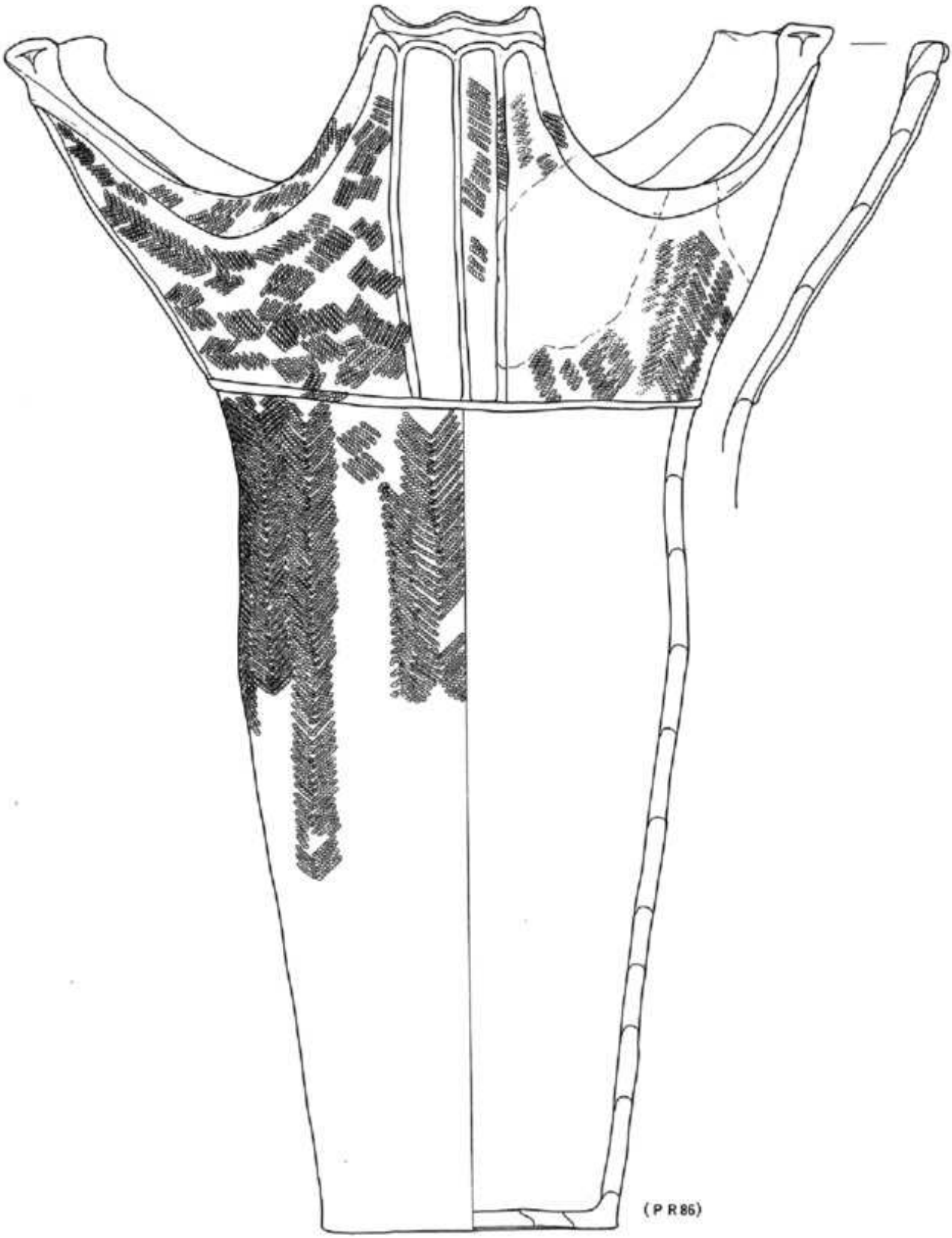


2（H－7・b－9Ⅲ）

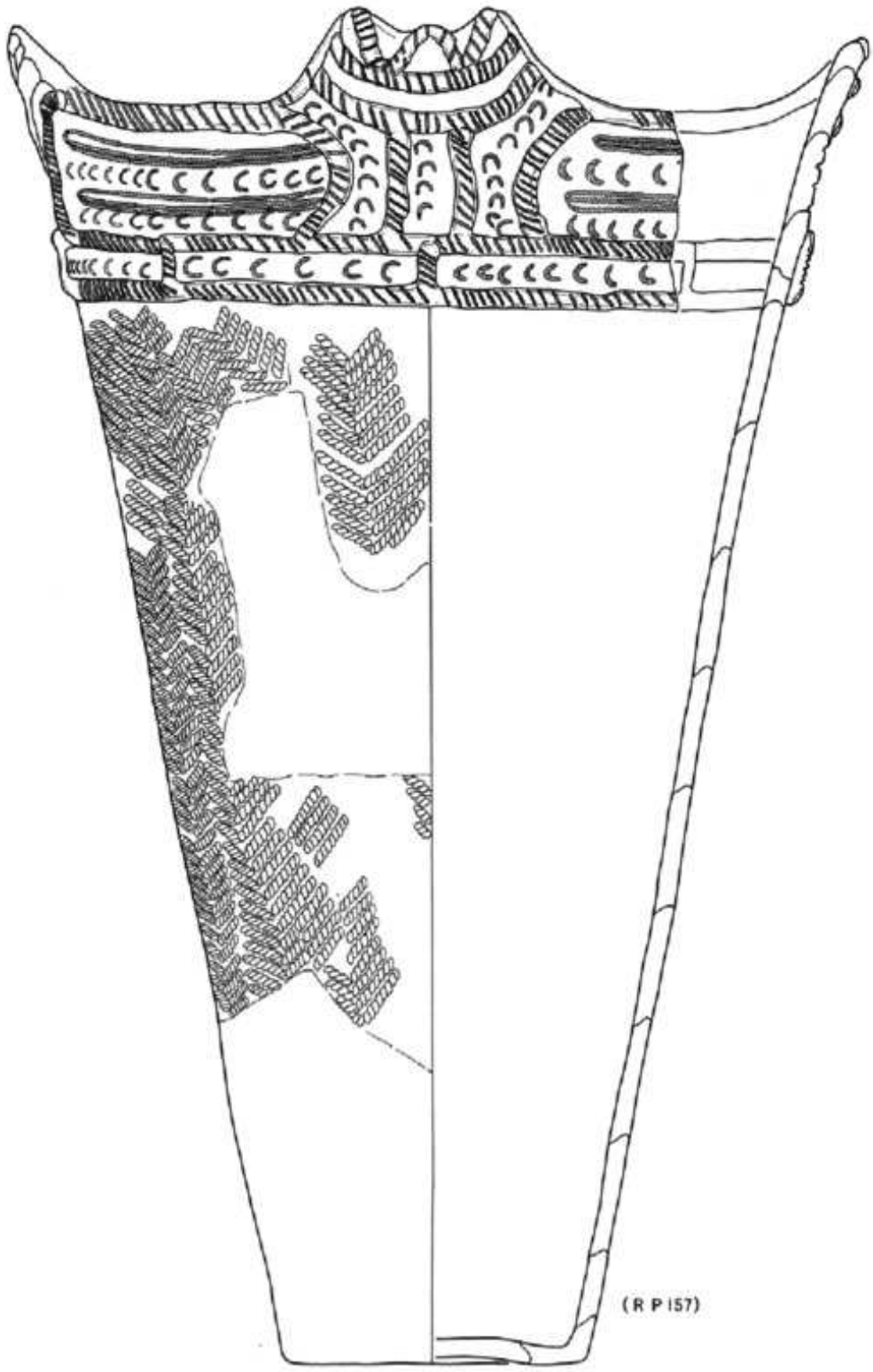
PL56 土器実測図 (10)

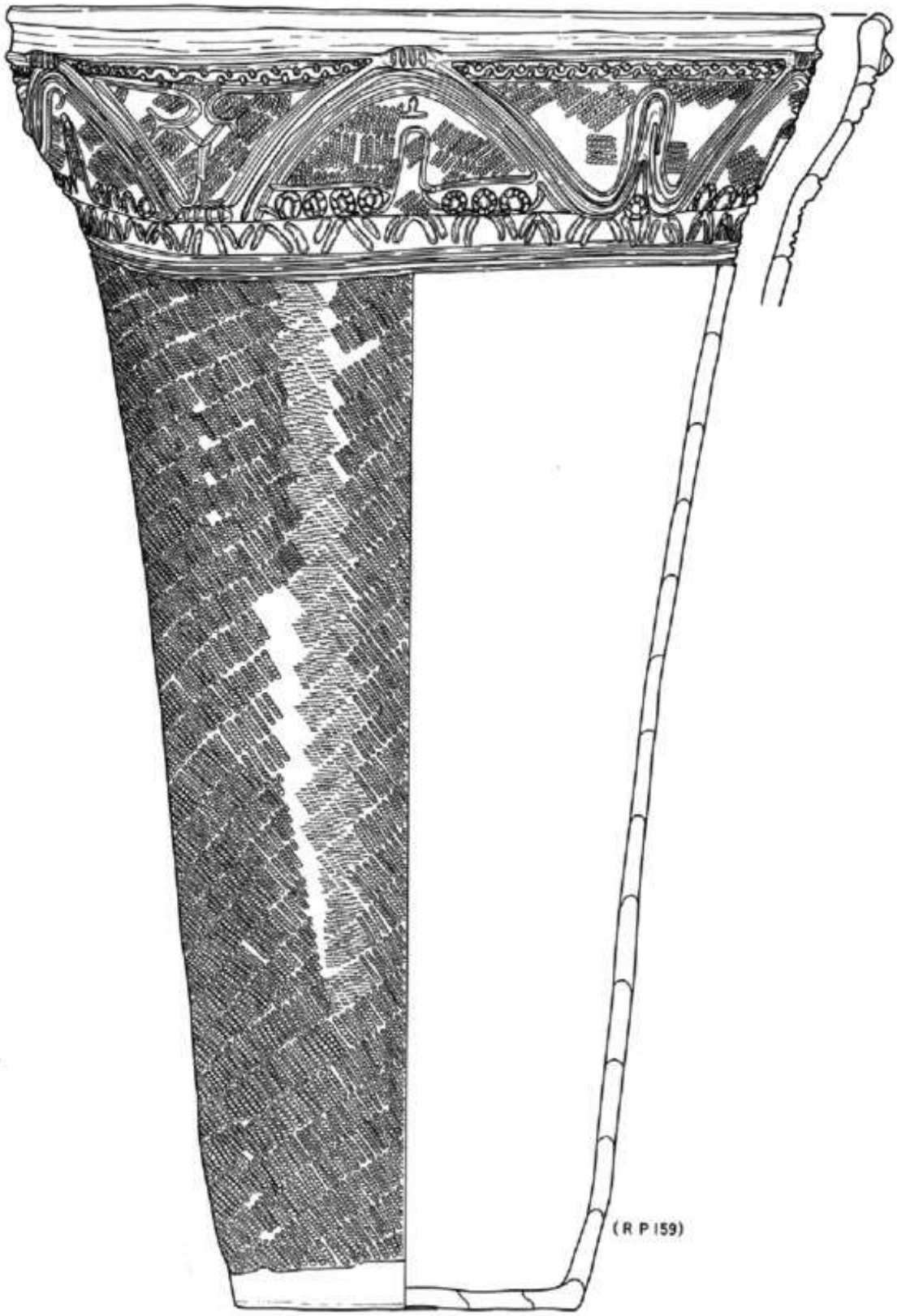


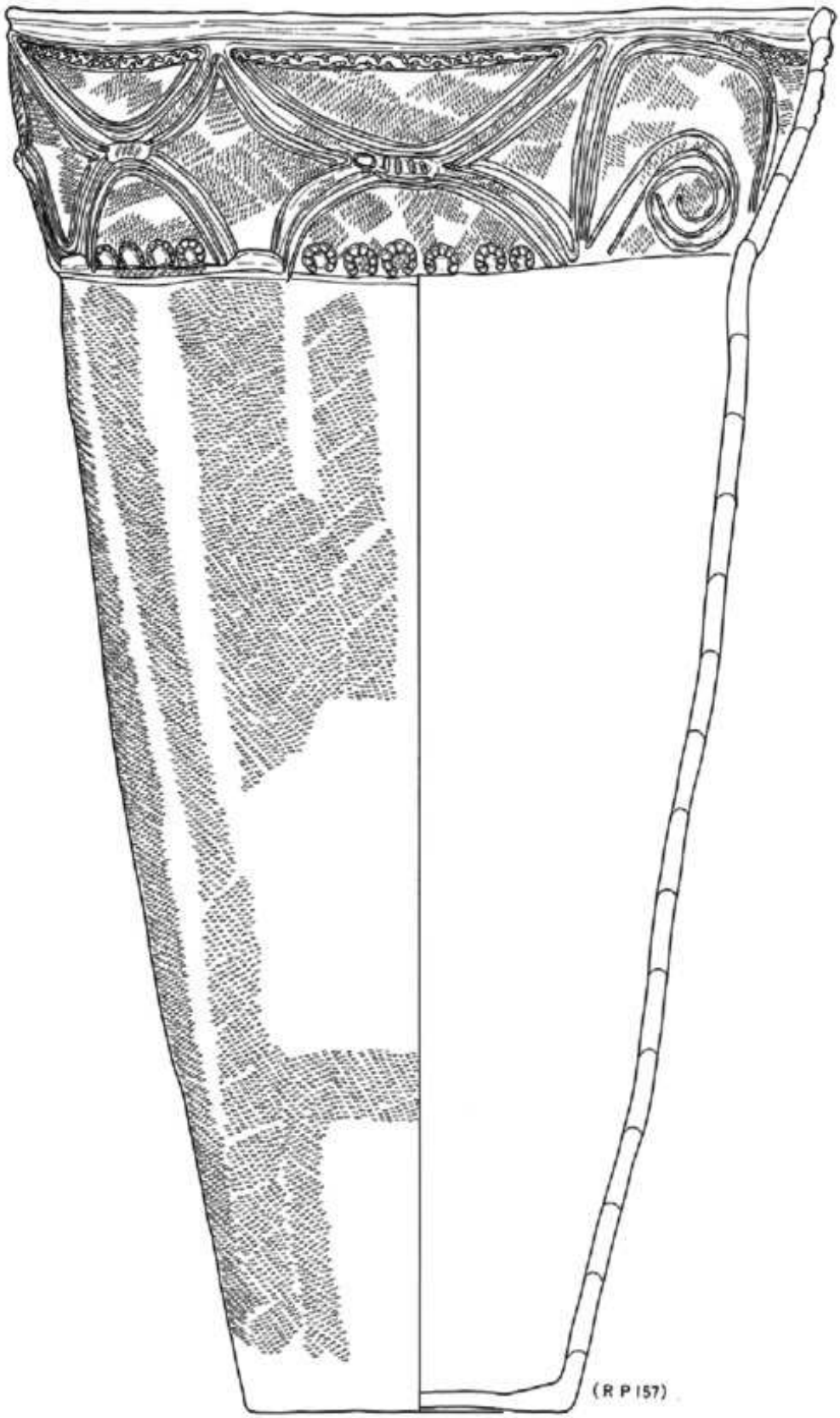
(RP10)

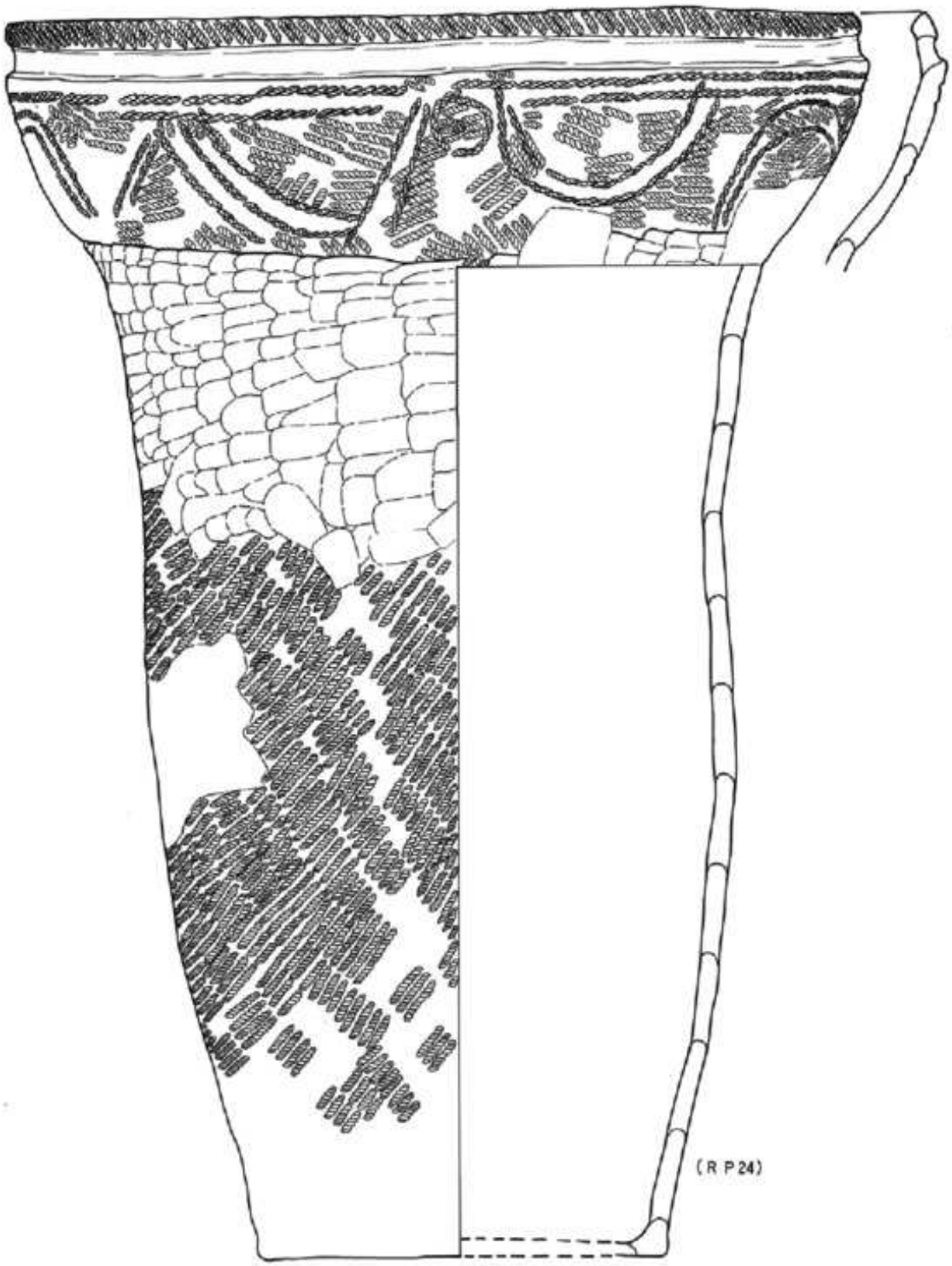


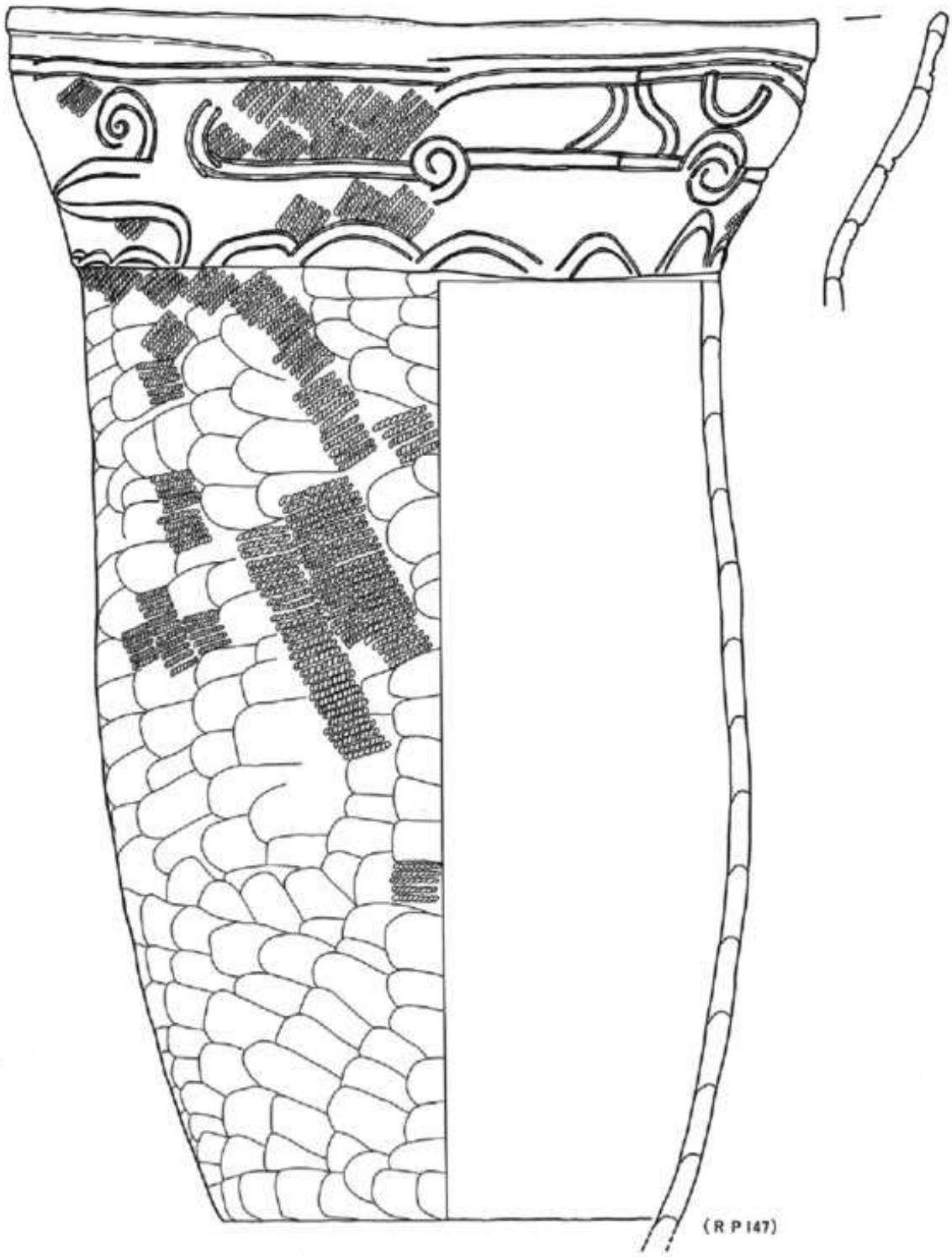
（ＰＲ86）

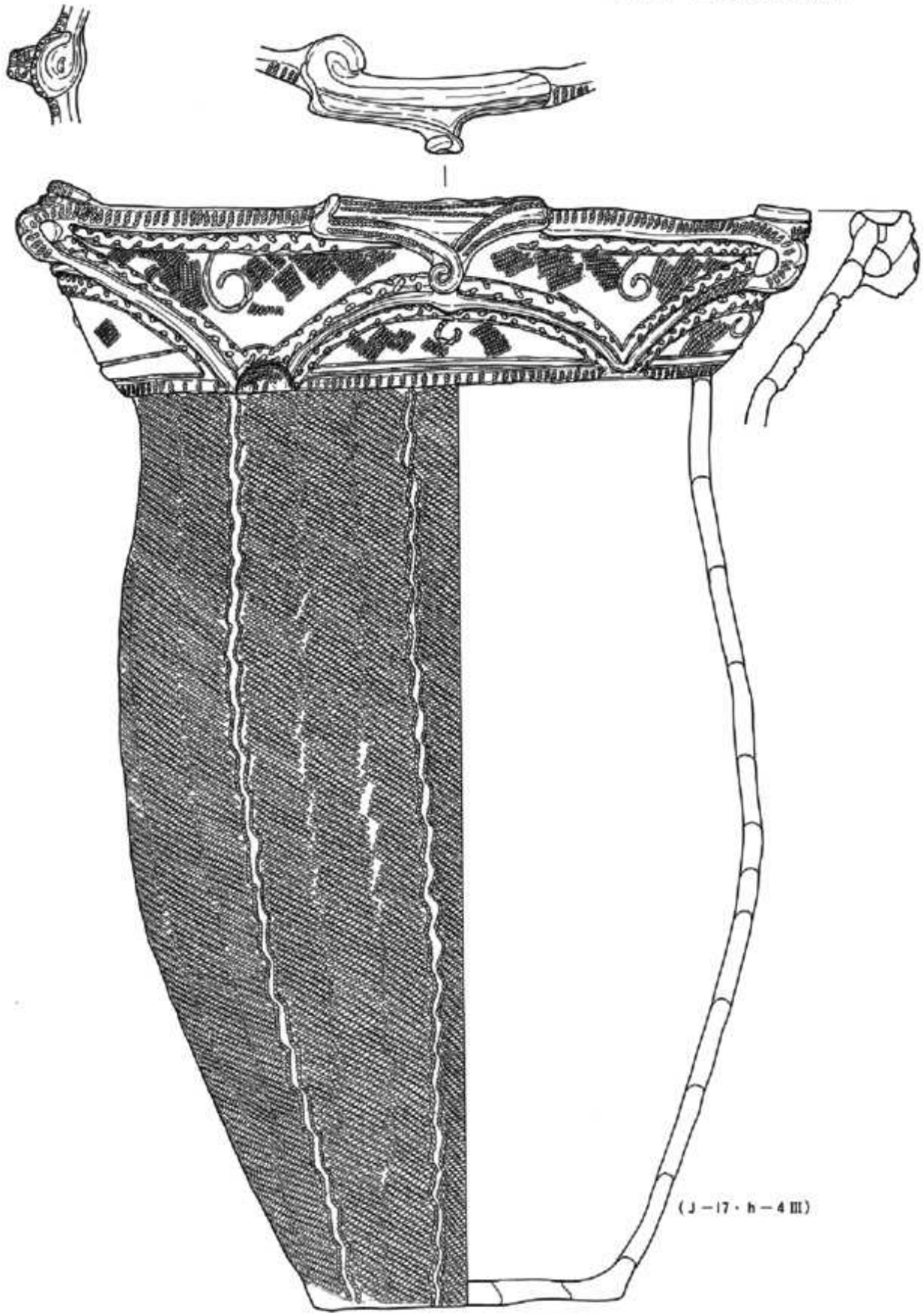

(R P 157)


(R P 159)

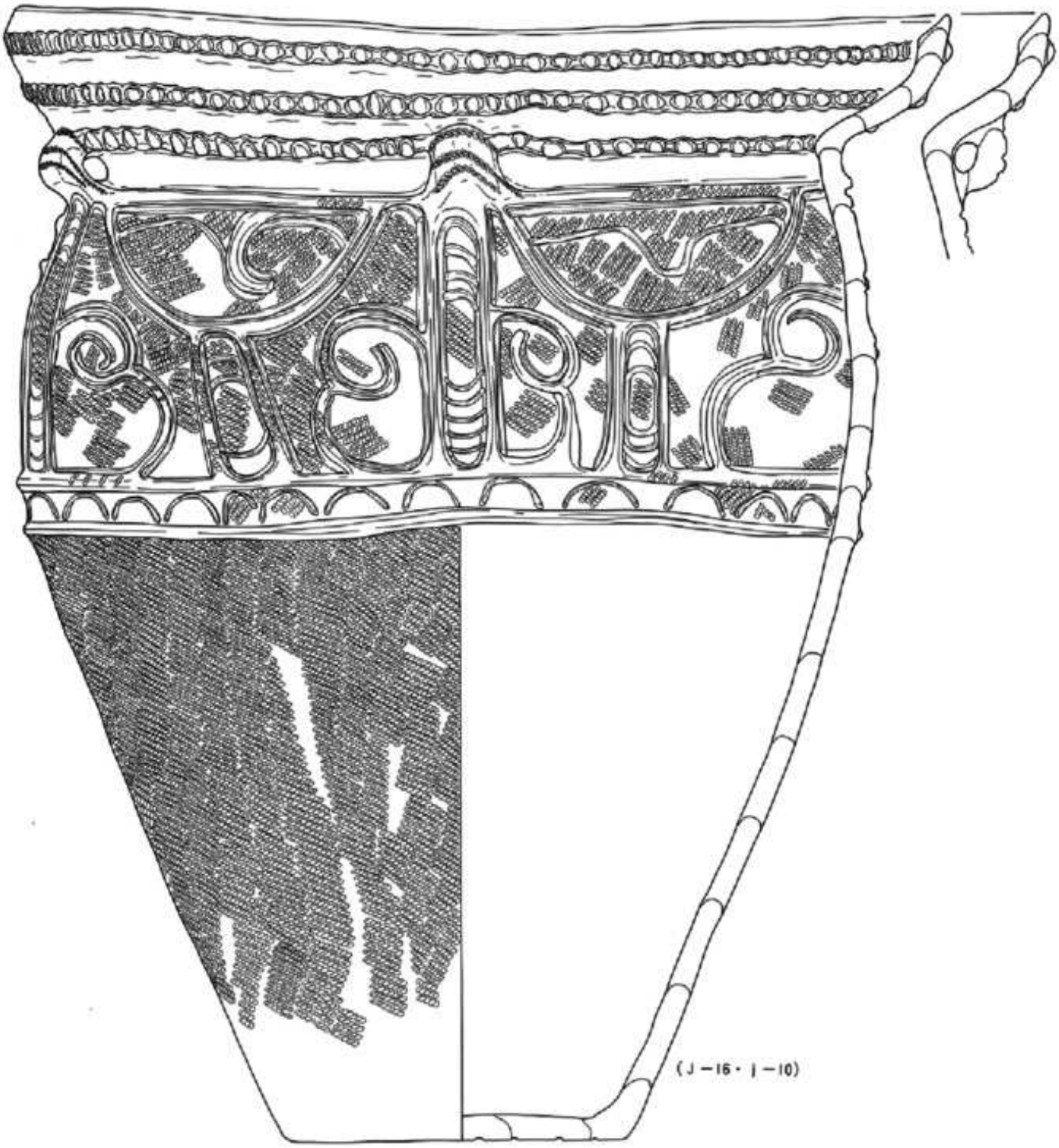

(R P 157)

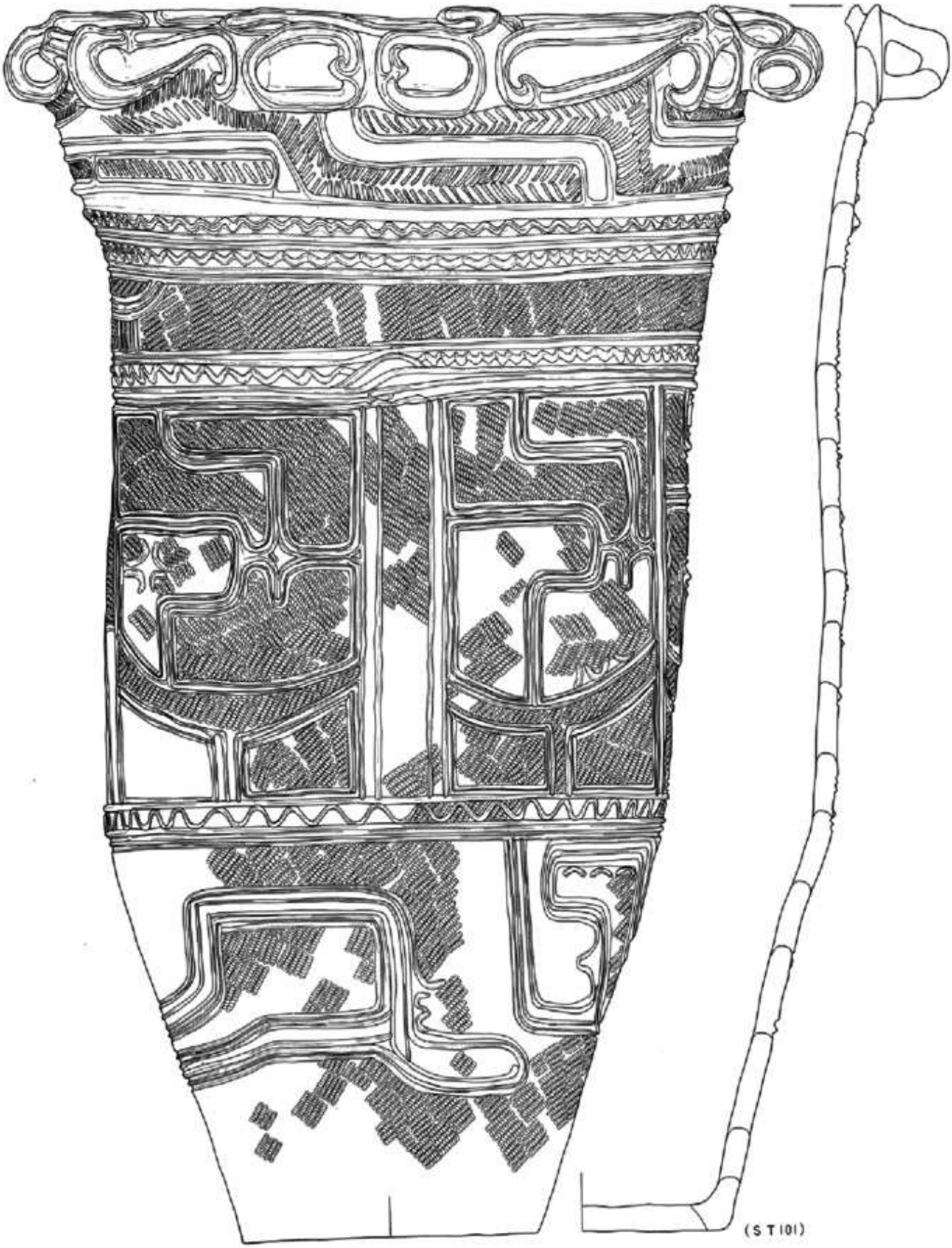

(R P24)


(R P147)



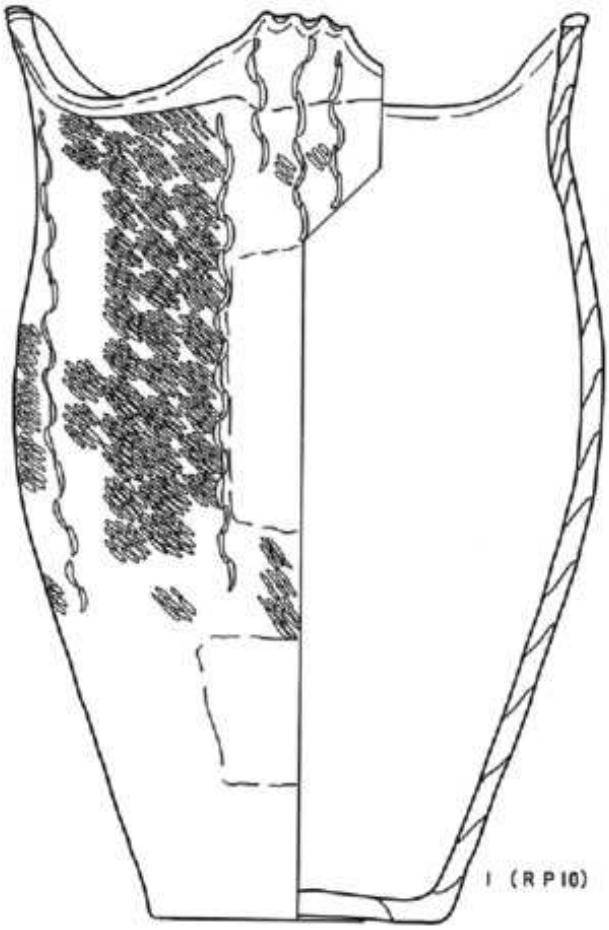
（J－17・h－4 III）


(J－16・J－10)

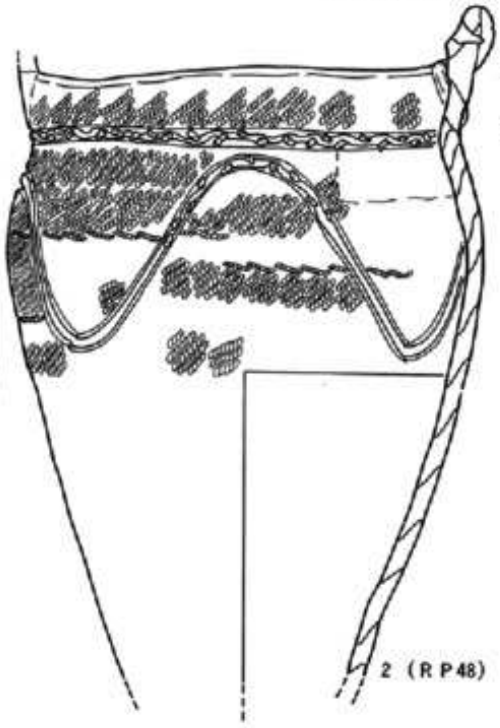


(ST101)

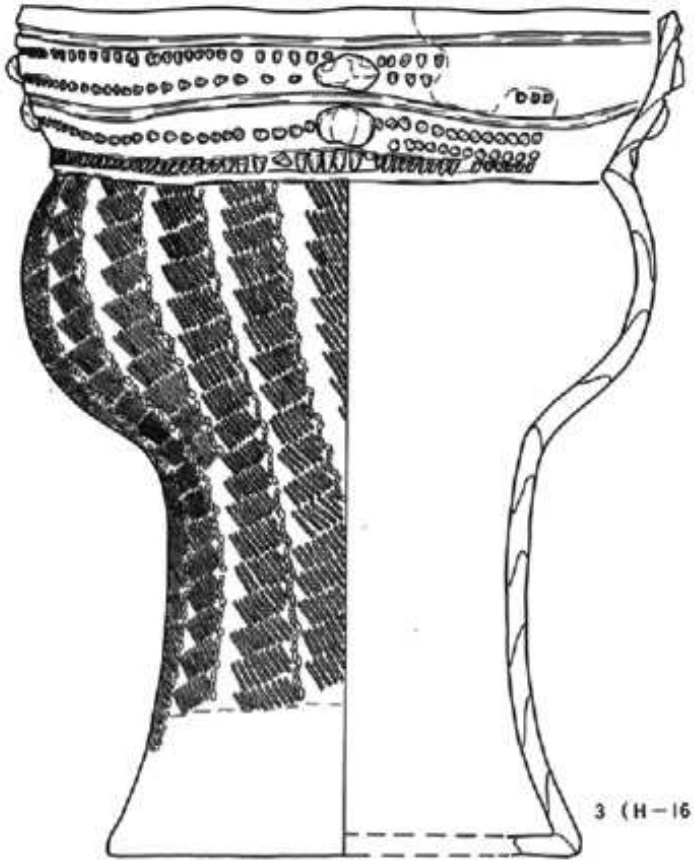
PL66 土器実測図 (20)



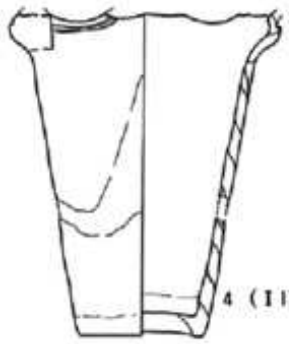
1 (RP10)



2 (RP48)

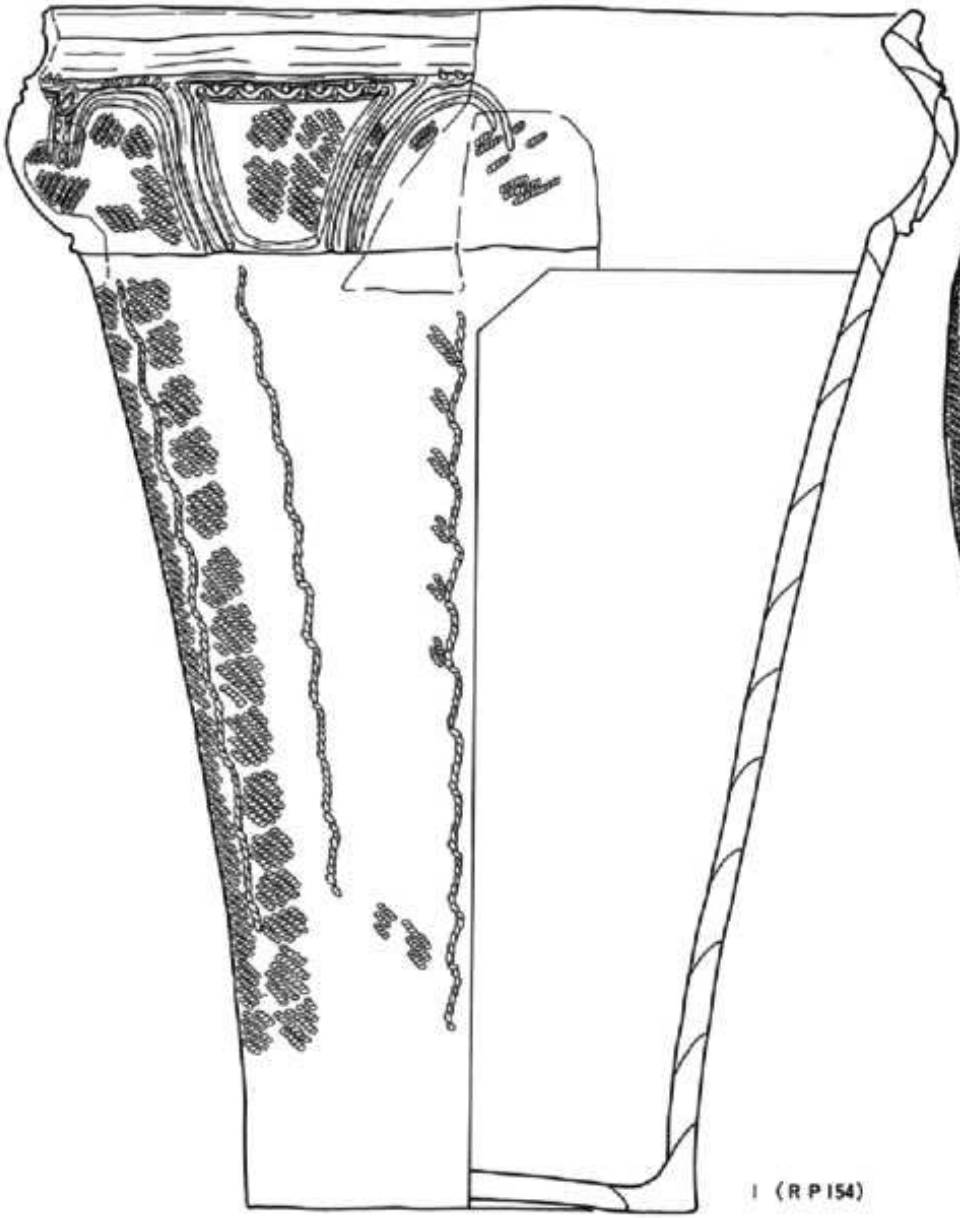


3 (H-16・J-8)

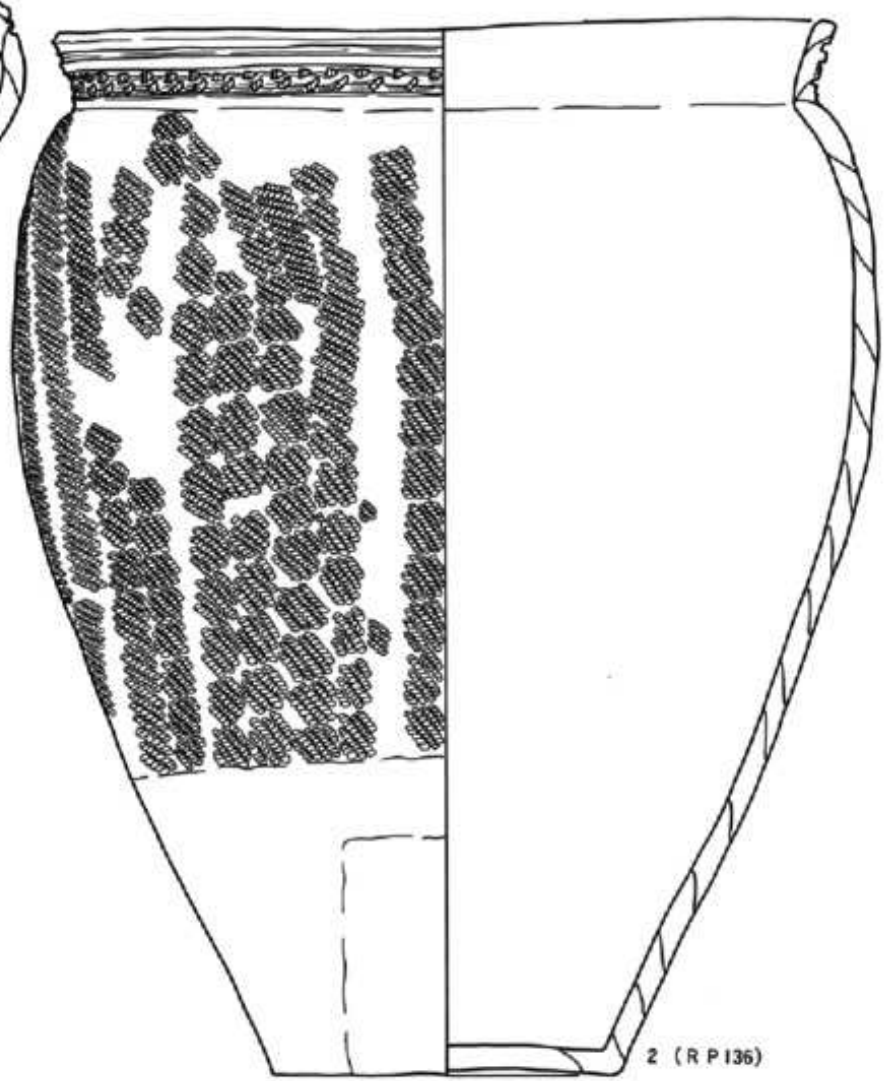


4 (I17・b-6III)

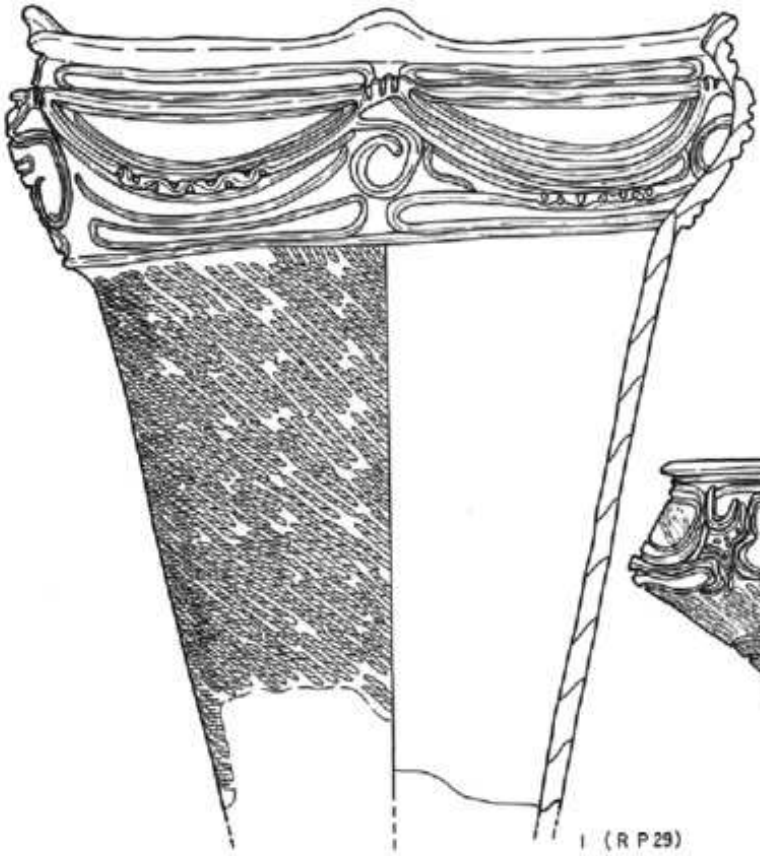
5 (RP12)



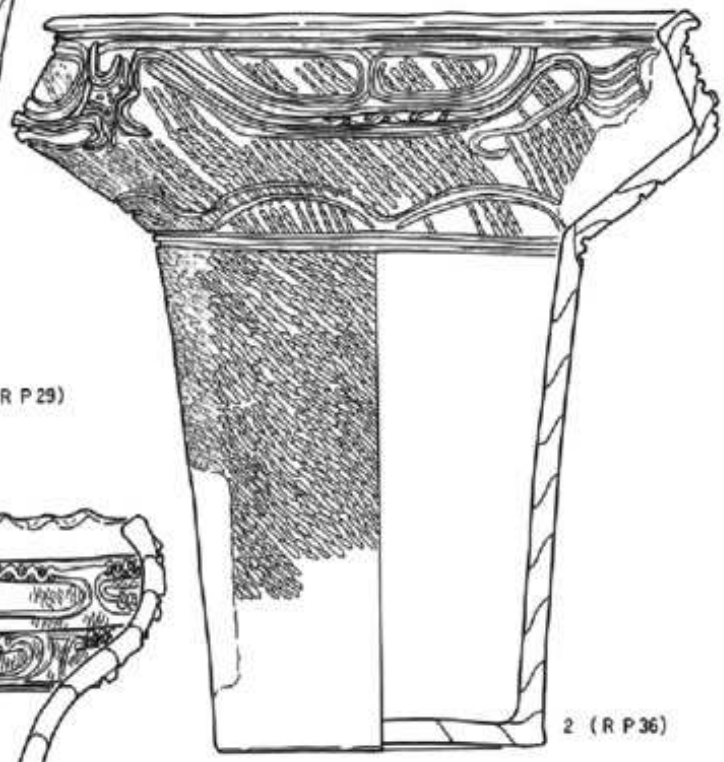
1（RP154）



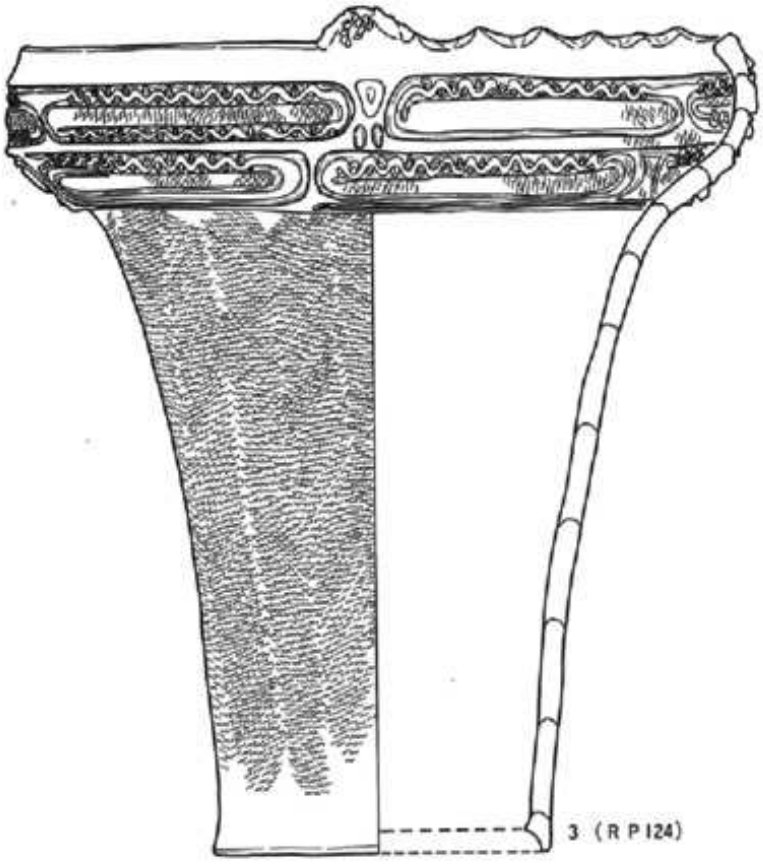
2（RP136）



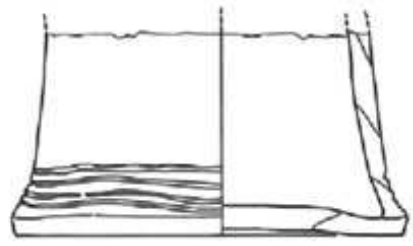
1 (RP29)



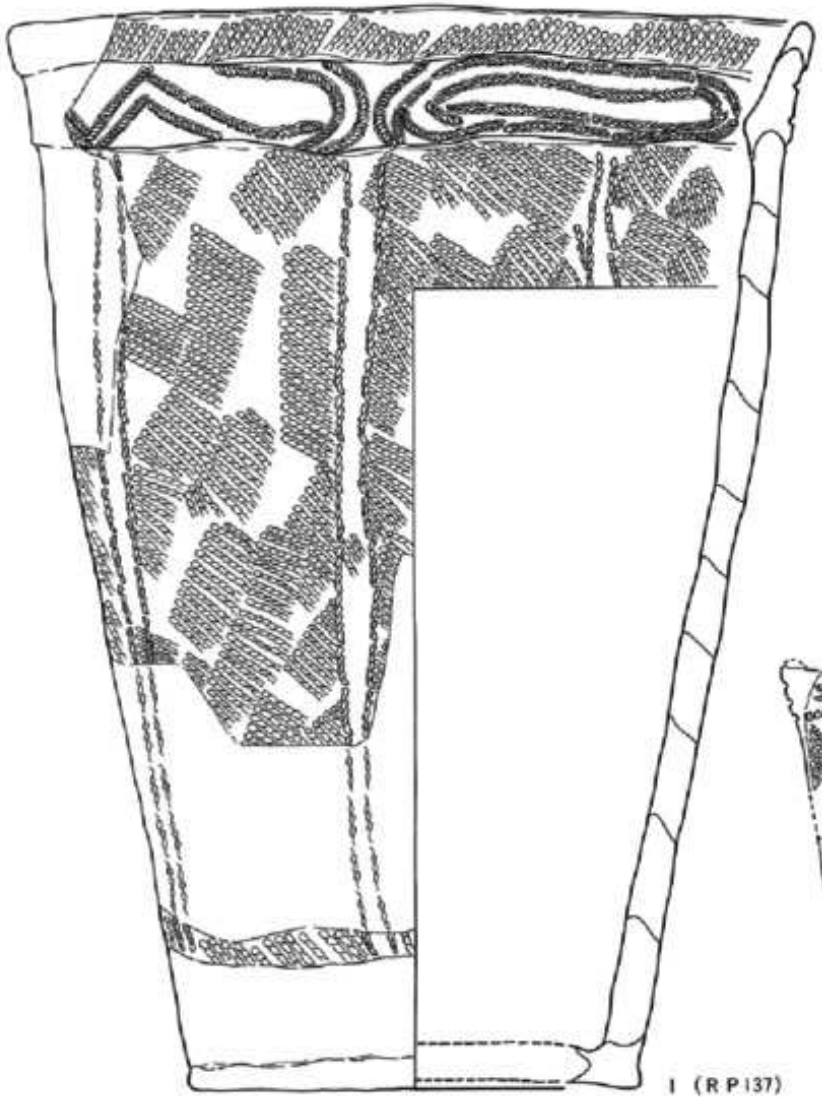
2 (RP36)



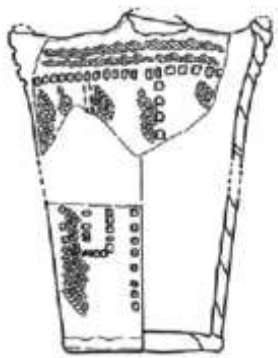
3 (RP124)



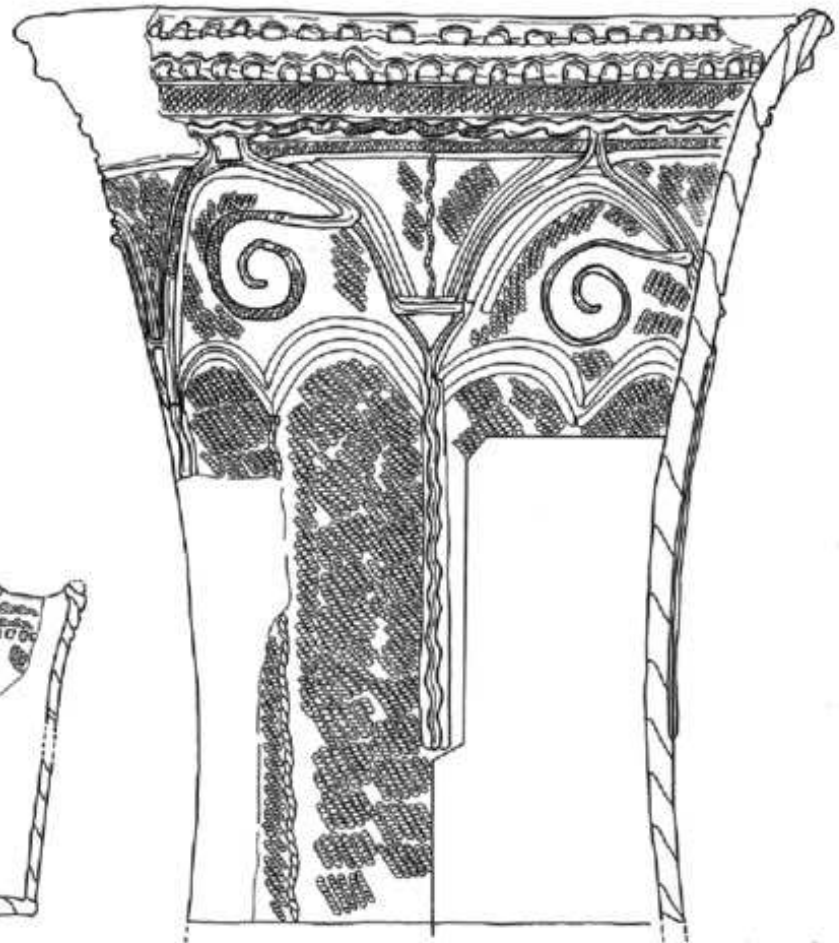
4 (RP66)



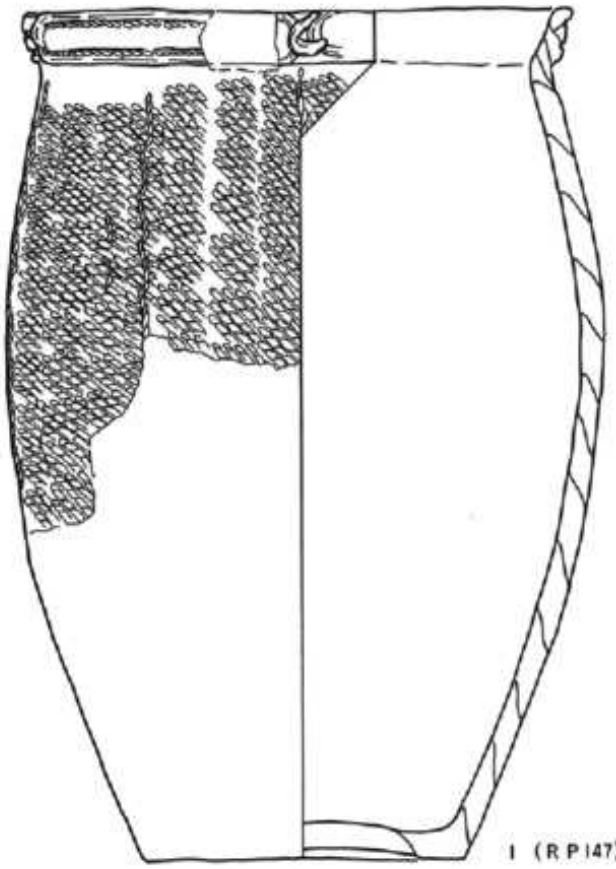
1 (RP137)



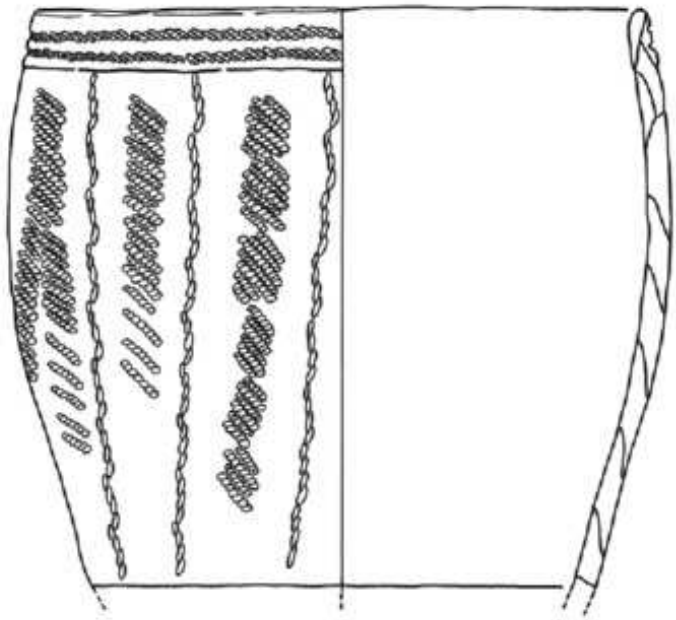
2 (RP103)



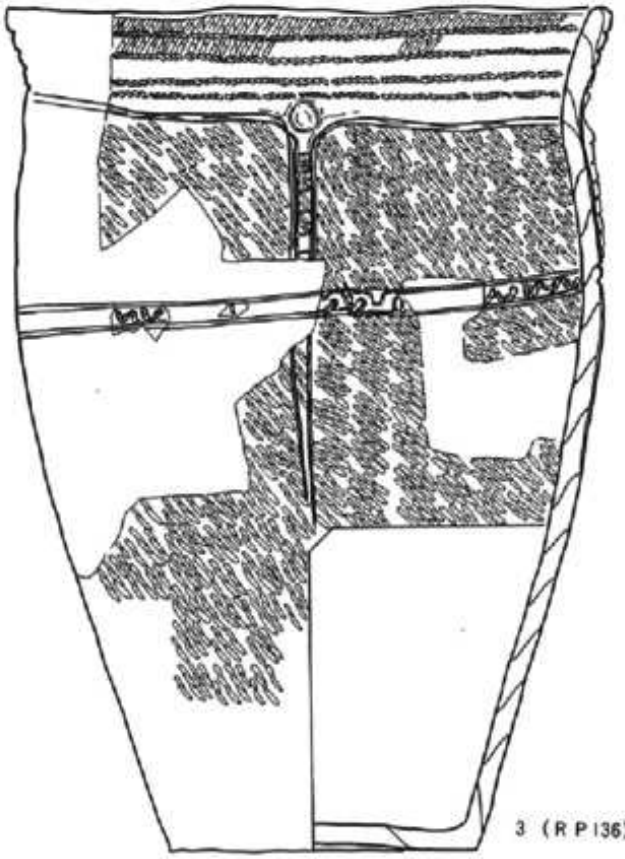
3 (RP35)



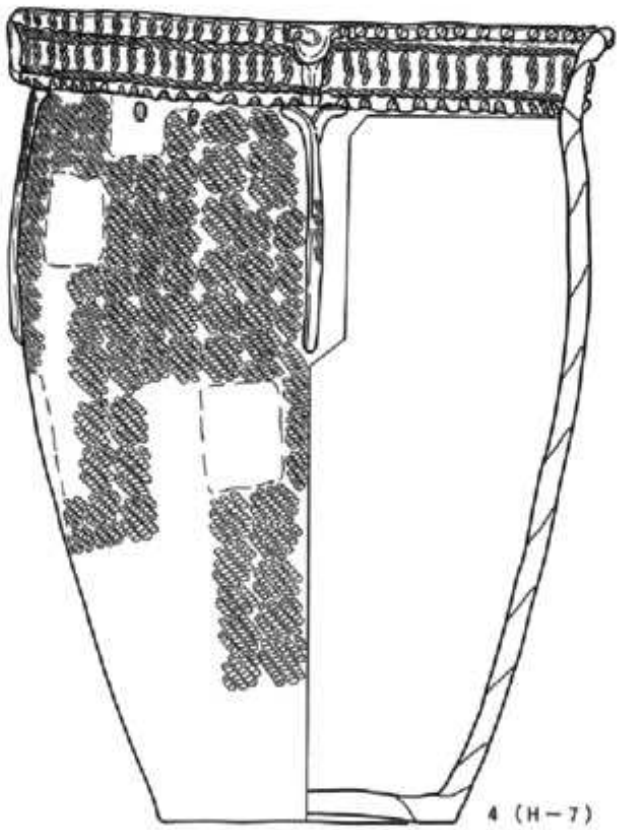
1 (RP147)



2 (RP25)

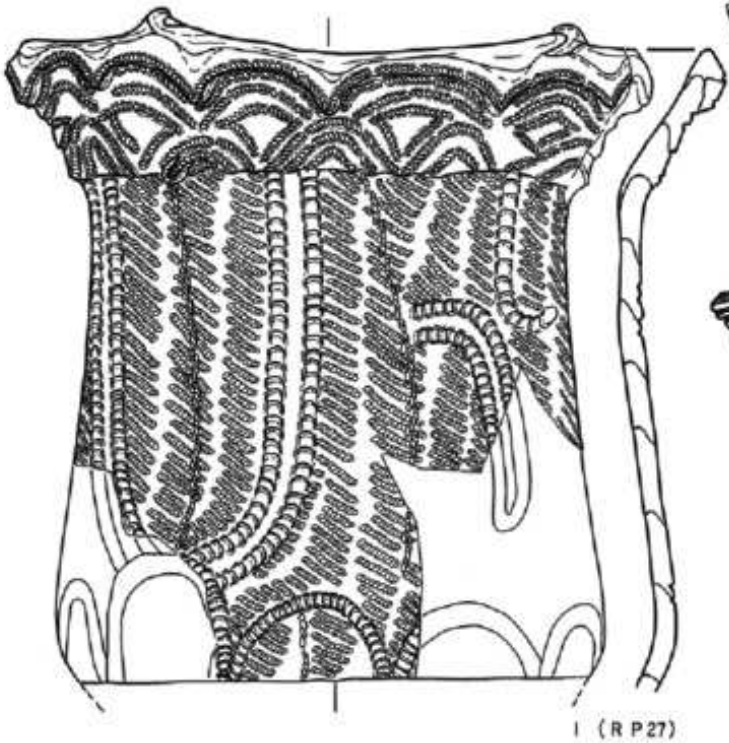


3 (RP136)

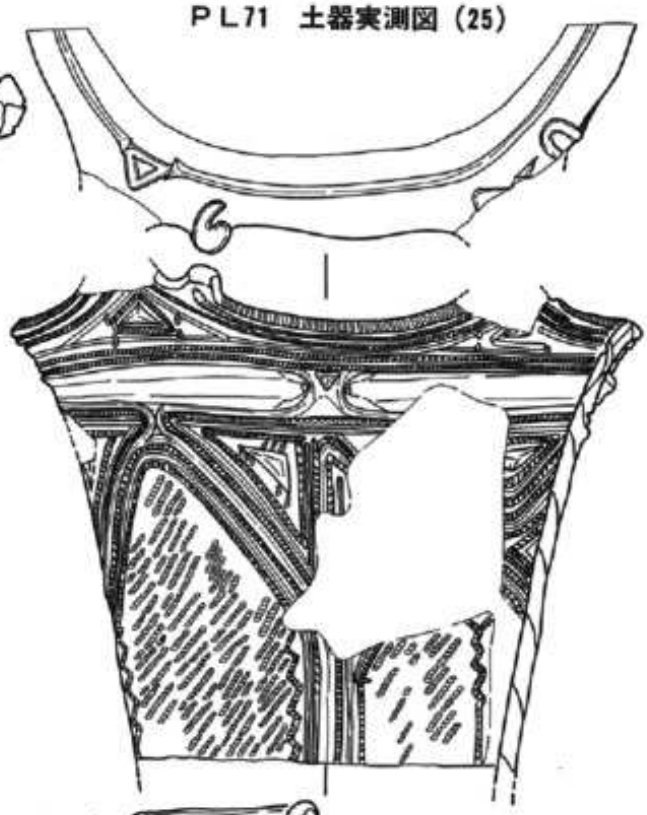


4 (H−7)

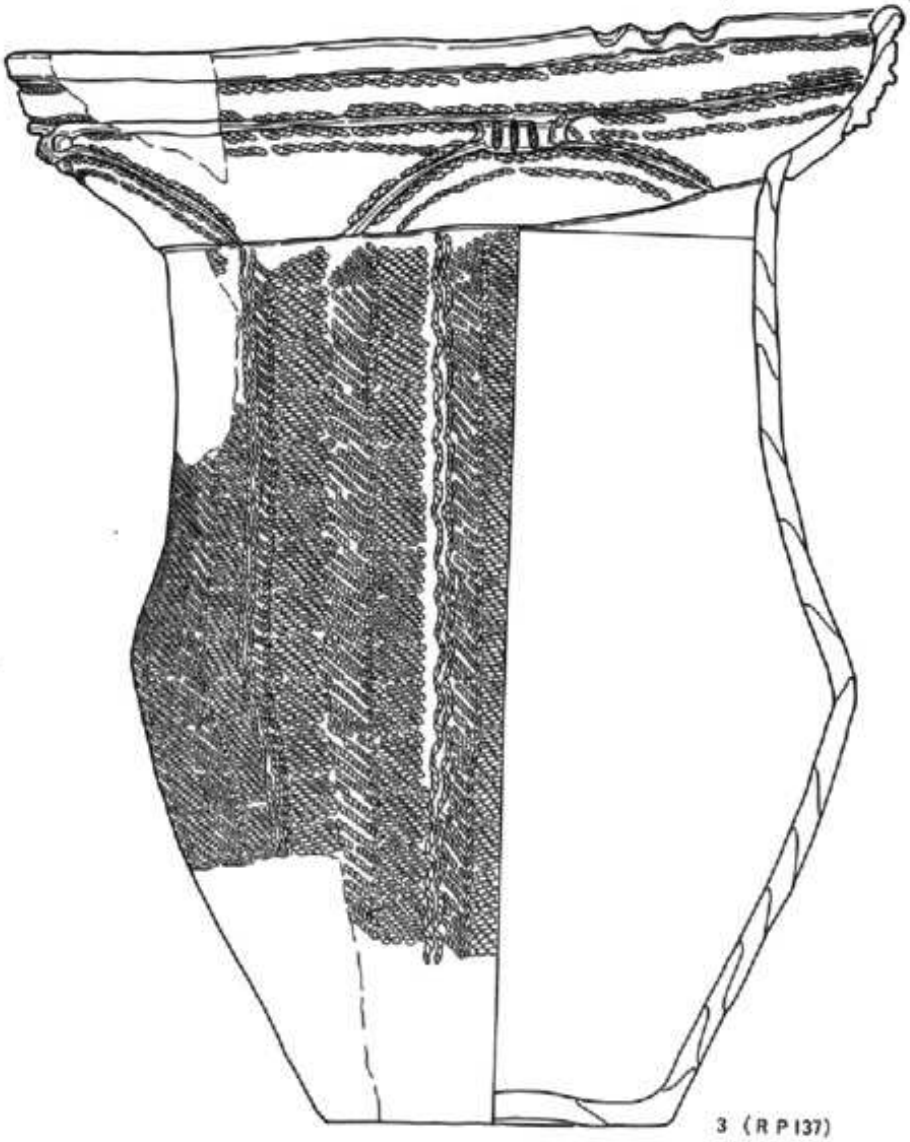
PL71　土器実測図（25）



1（RP27）

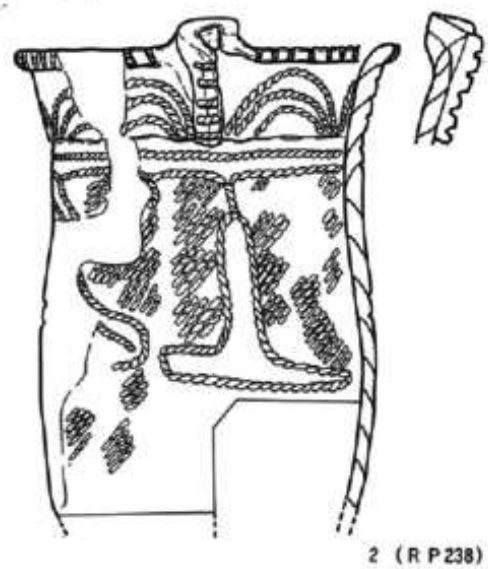


2（J－17・g－3Ⅲ）

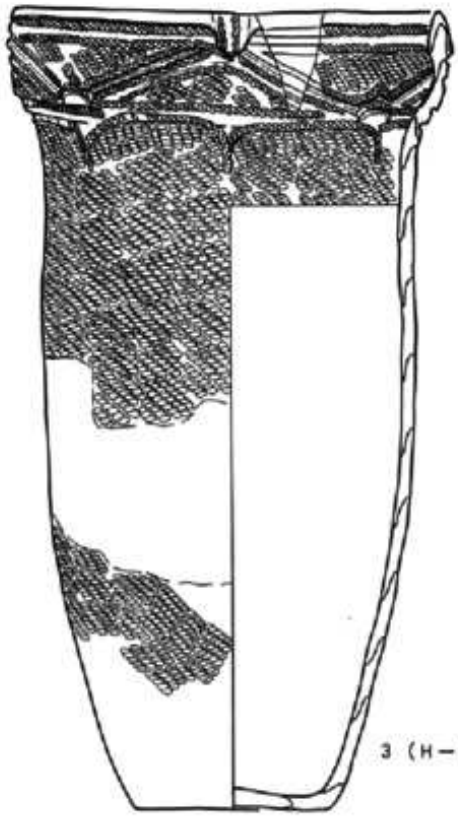


3（RP137）

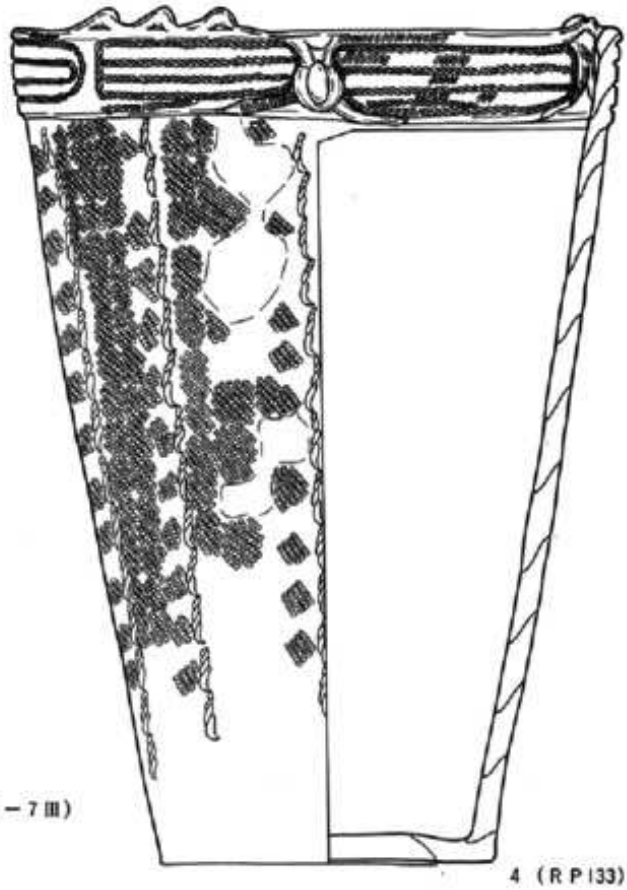
1 (XO)



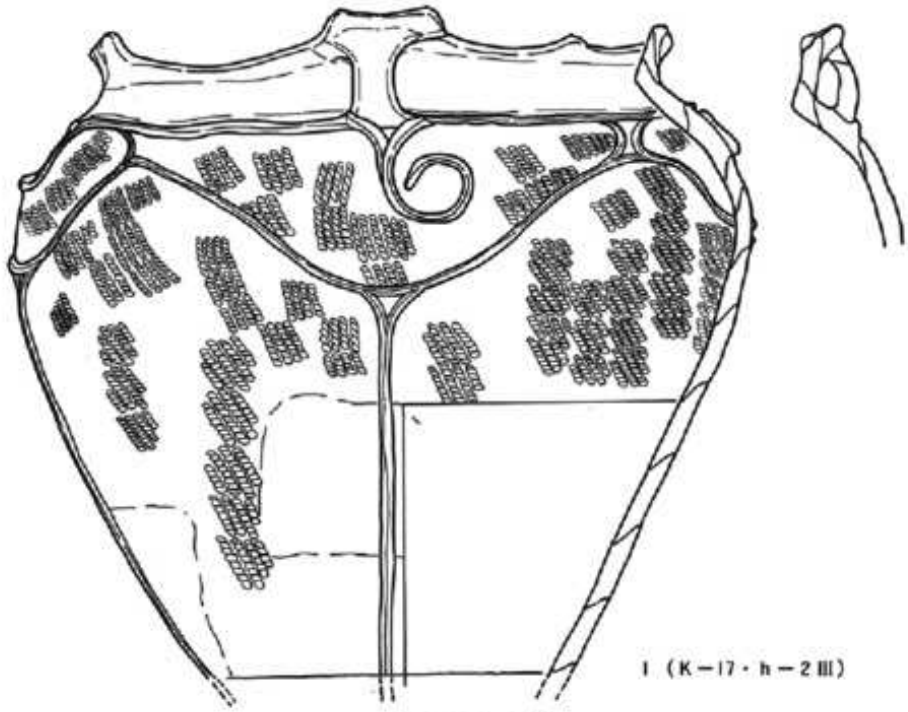
2 (RP238)



3 (H−7・a−7Ⅲ)

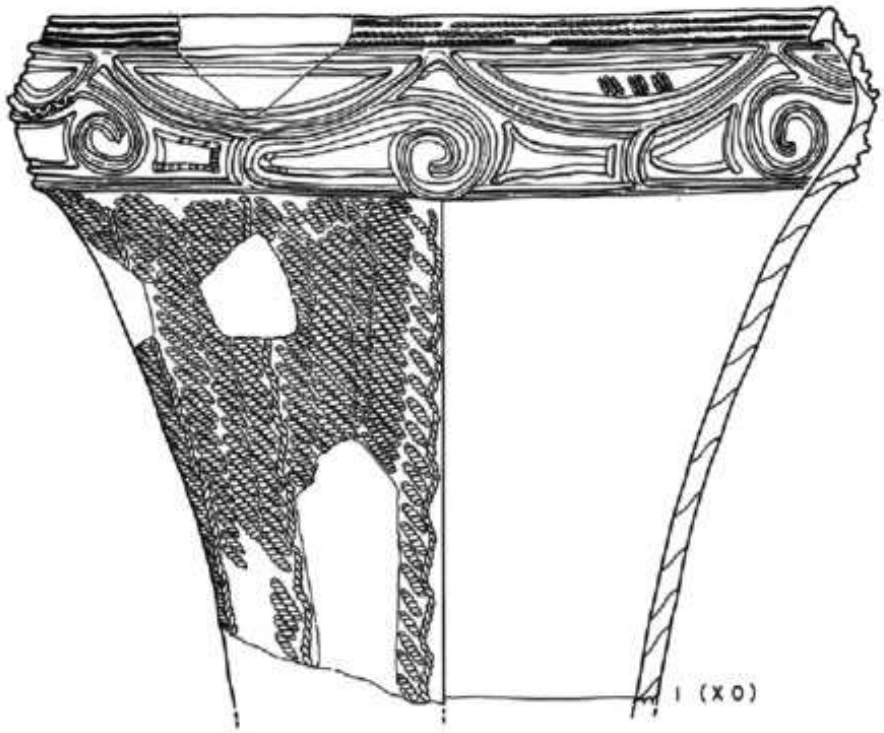


4 (RP133)

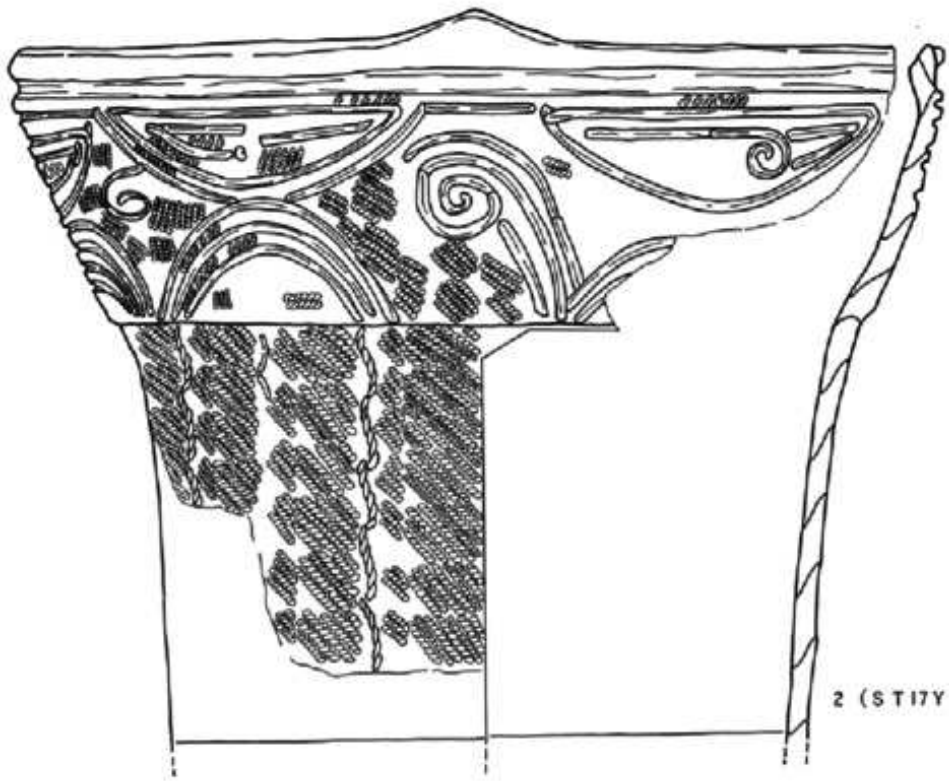


1 (K－17・h－2 III)

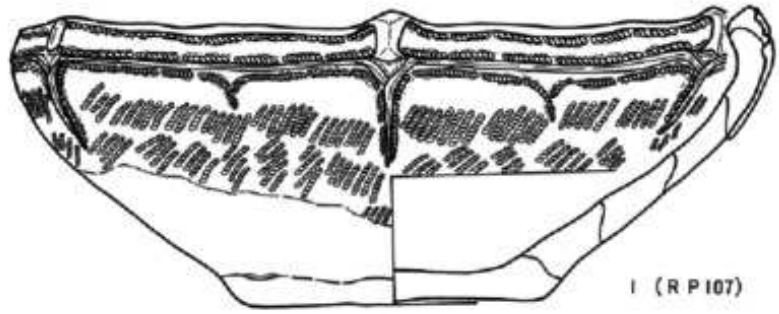
2 (J－16・j－10)



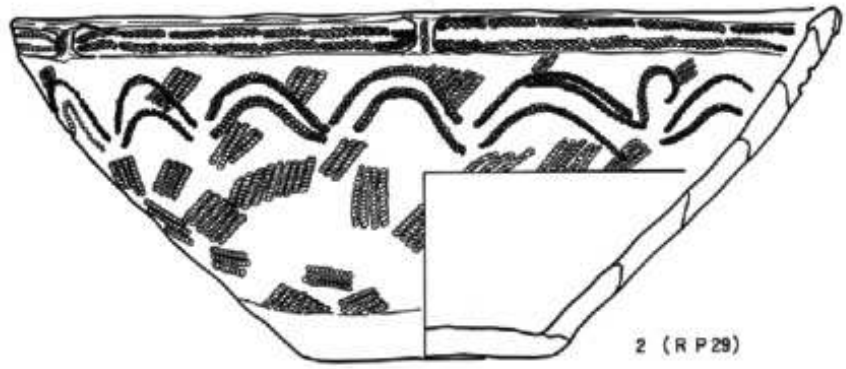
1（X0）



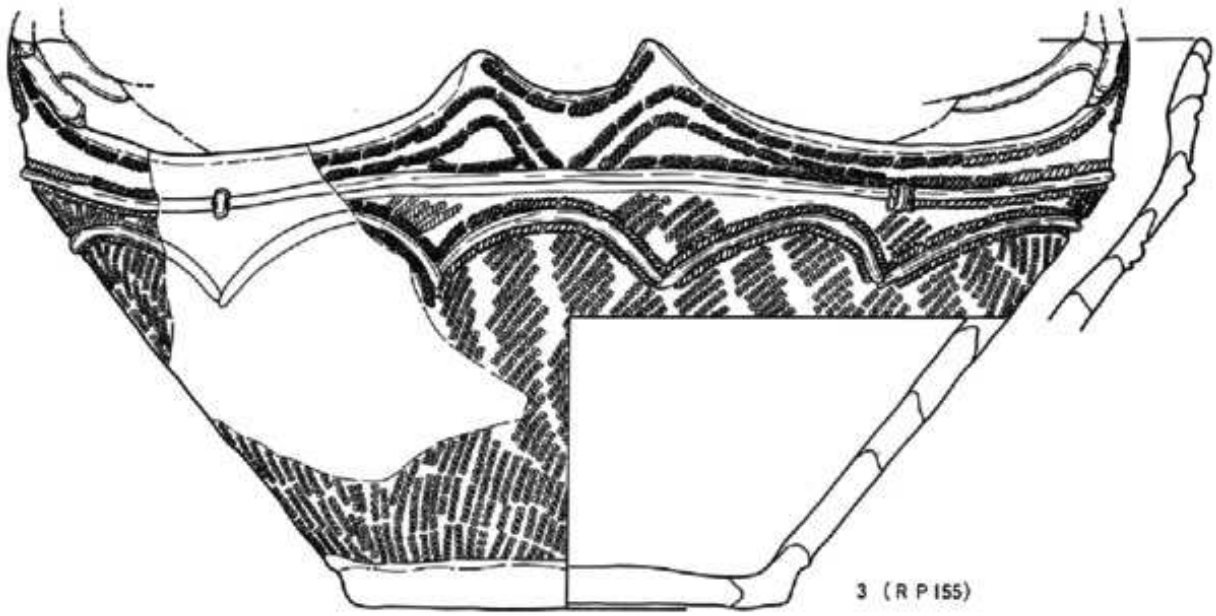
2（STI7Y・RP286）



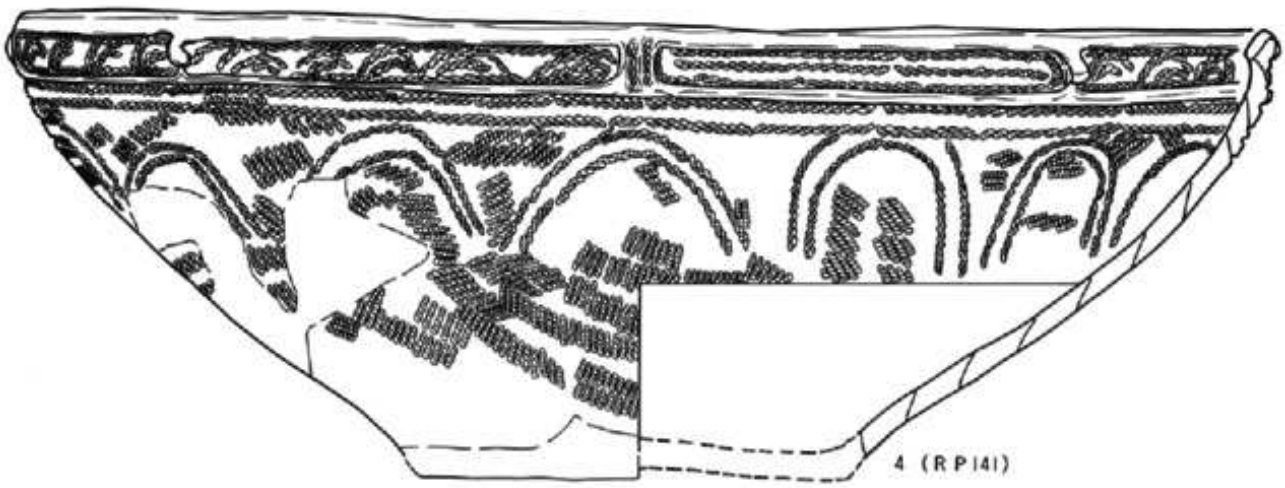
1 (RP107)



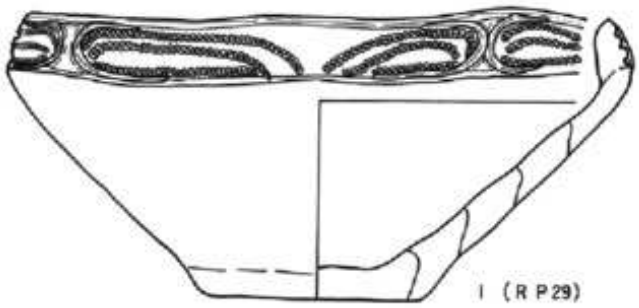
2 (RP29)



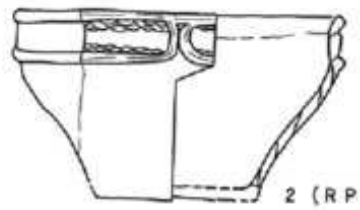
3 (RP155)



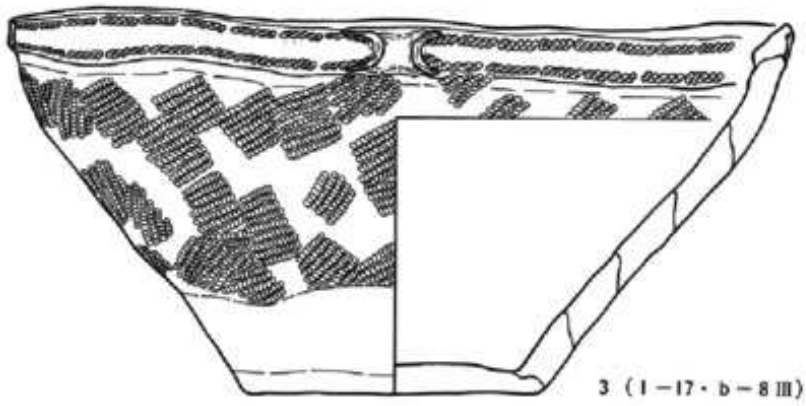
4 (RP141)



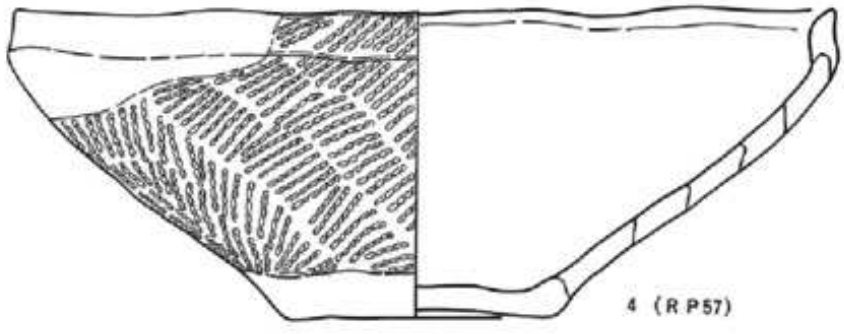
1 (R P29)



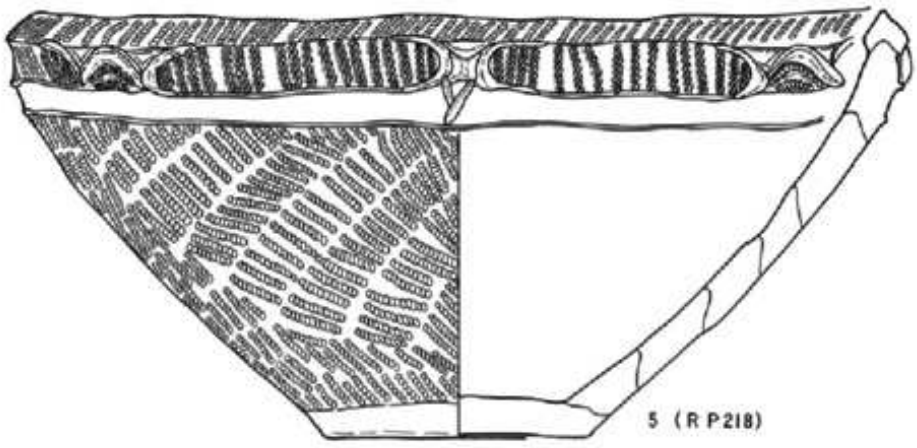
2 (R P140)



3 (I−17・b−8 III)

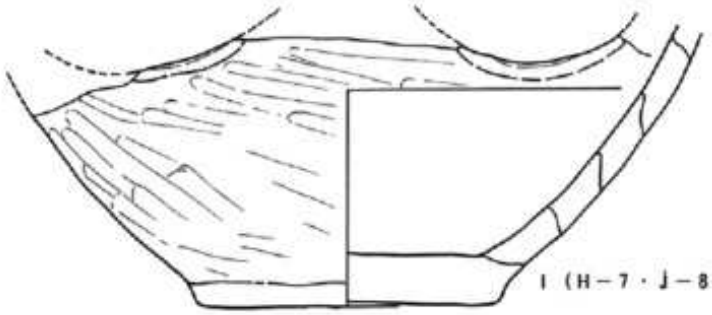


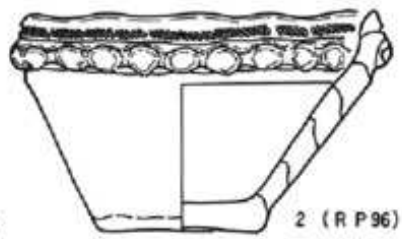
4 (R P57)

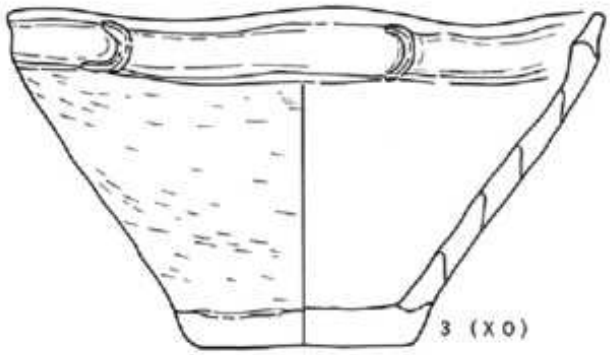


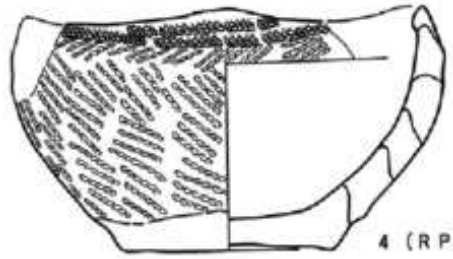
5 (R P218)

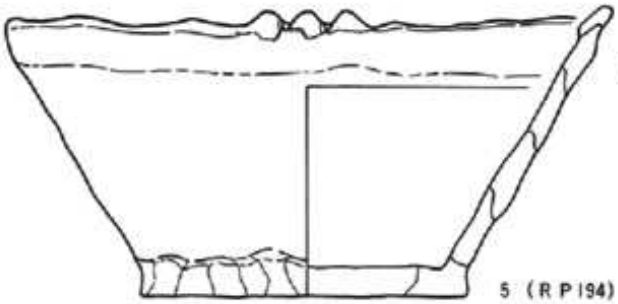
PL77　土器実測図（31）

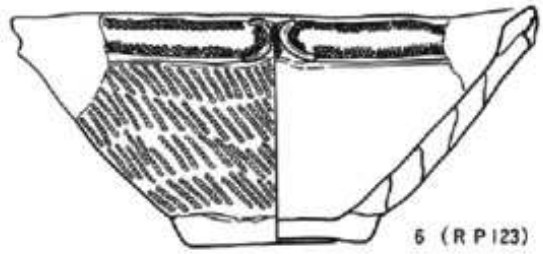

1（H－7・J－8 III）

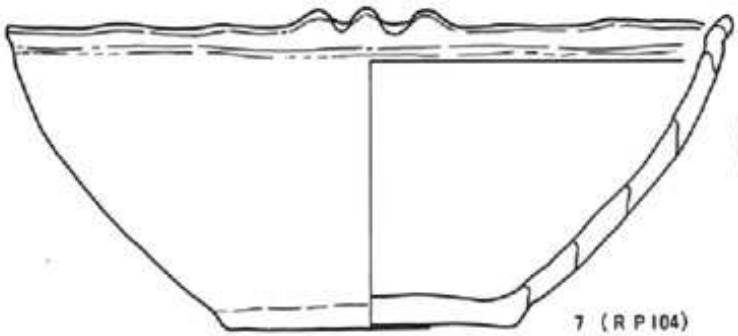

2（R P96）

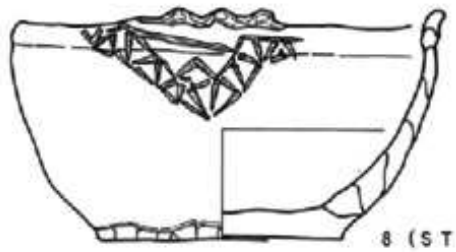

3（X O）

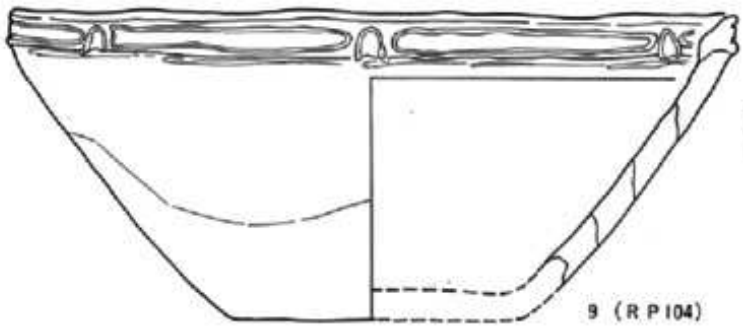

4（R P30）

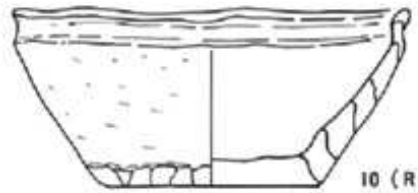

5（R P194）

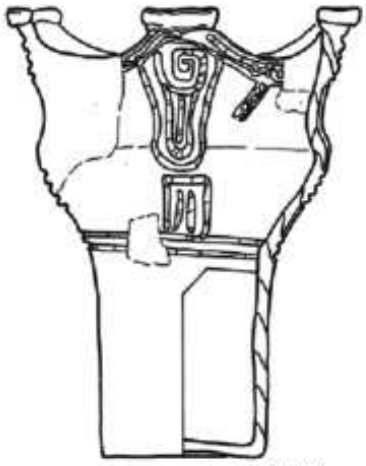

6（R P123）


7（R P104）

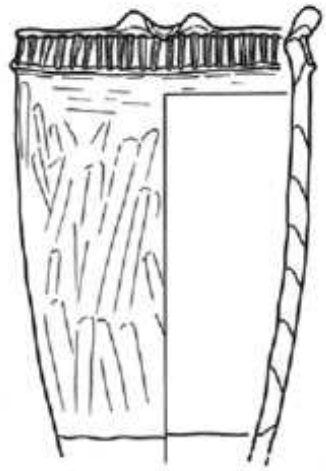

8（S T17）


9（R P104）

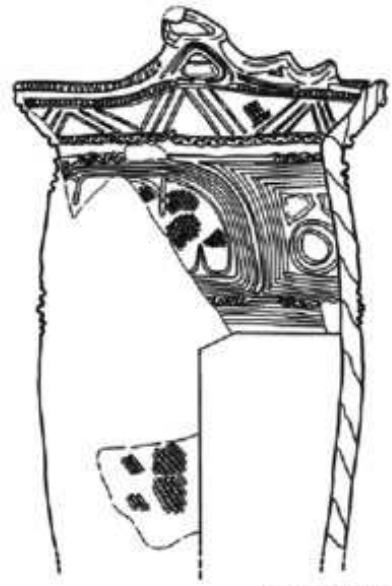

10（R P56）



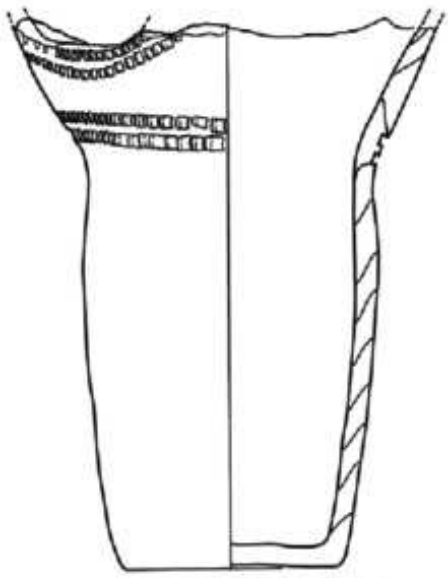
1 (RP181)



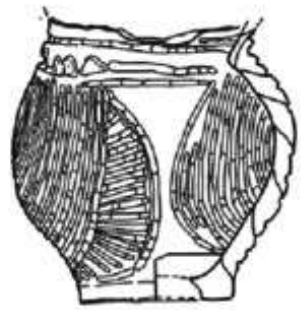
2 (RP157)



3 (RP111)

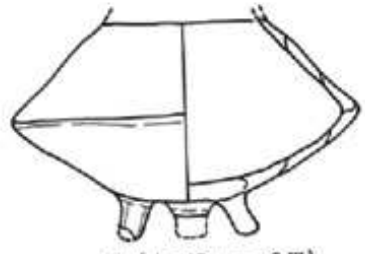


4 (K−17・C−1)



5 (RP105)

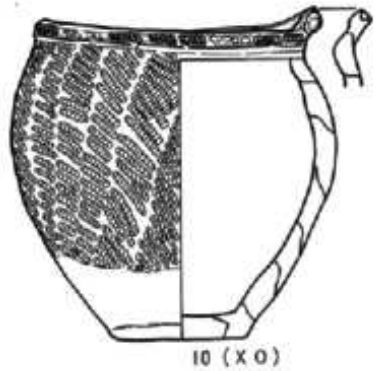
6 (L−11・J−1〜5II)



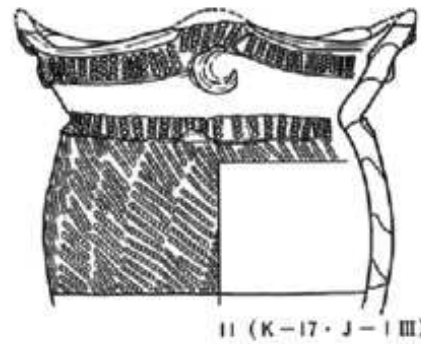
7 (J−17・g−2III)

8 (ST108)

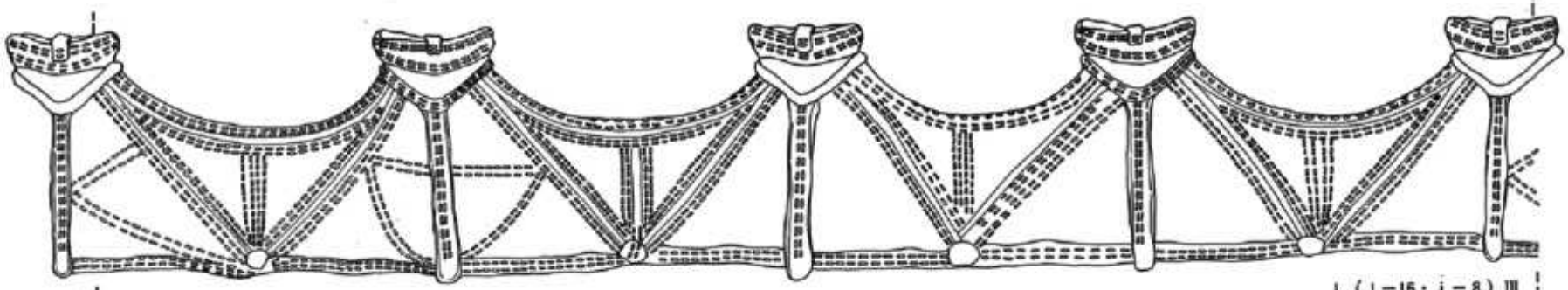
9 (H−7・S−9II)



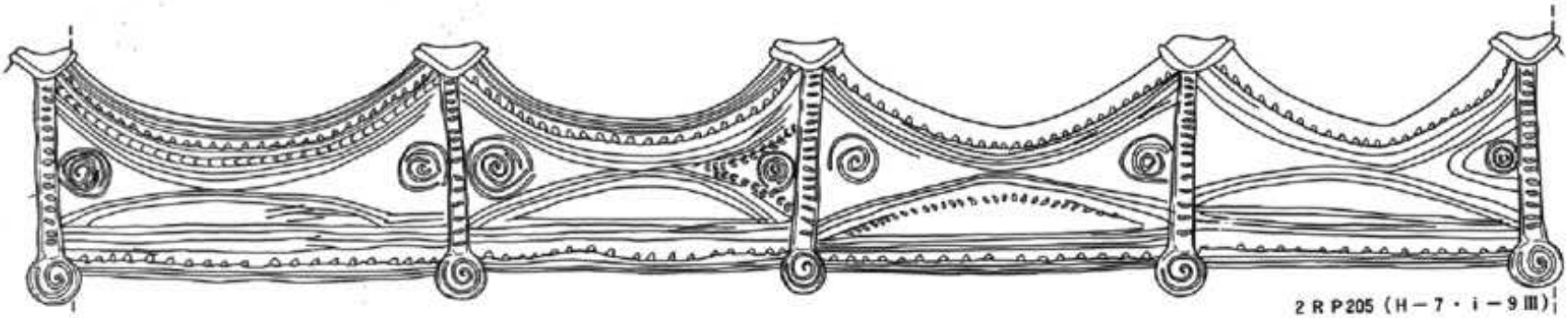
10 (XO)



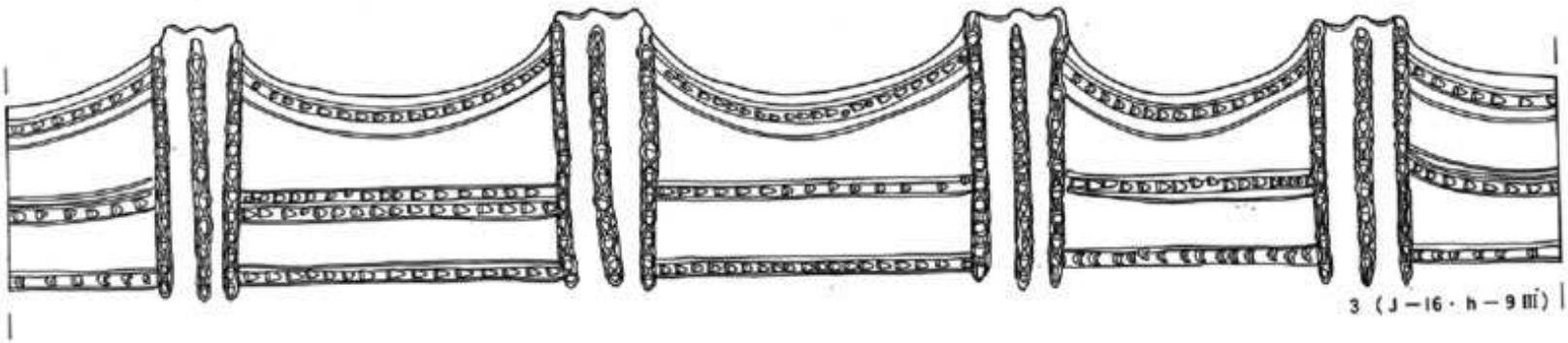
11 (K−17・J−1III)



1（J－16・j－8）Ⅲ



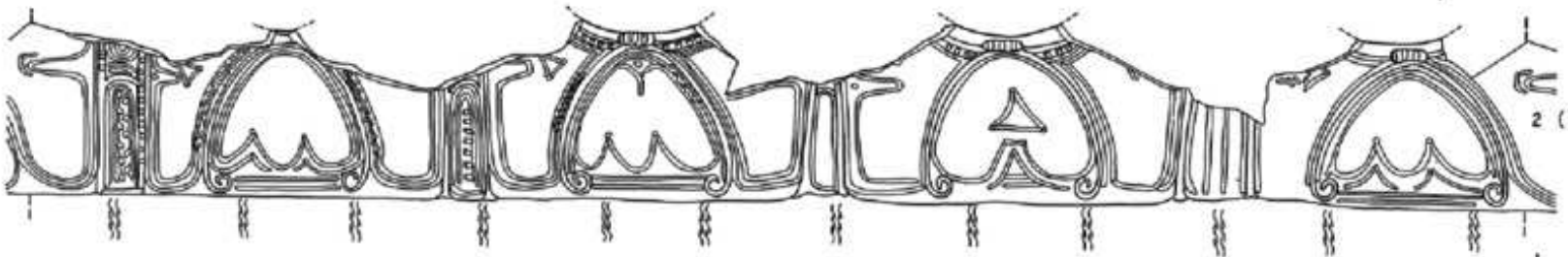
2 R P205（H－7・i－9 Ⅲ）



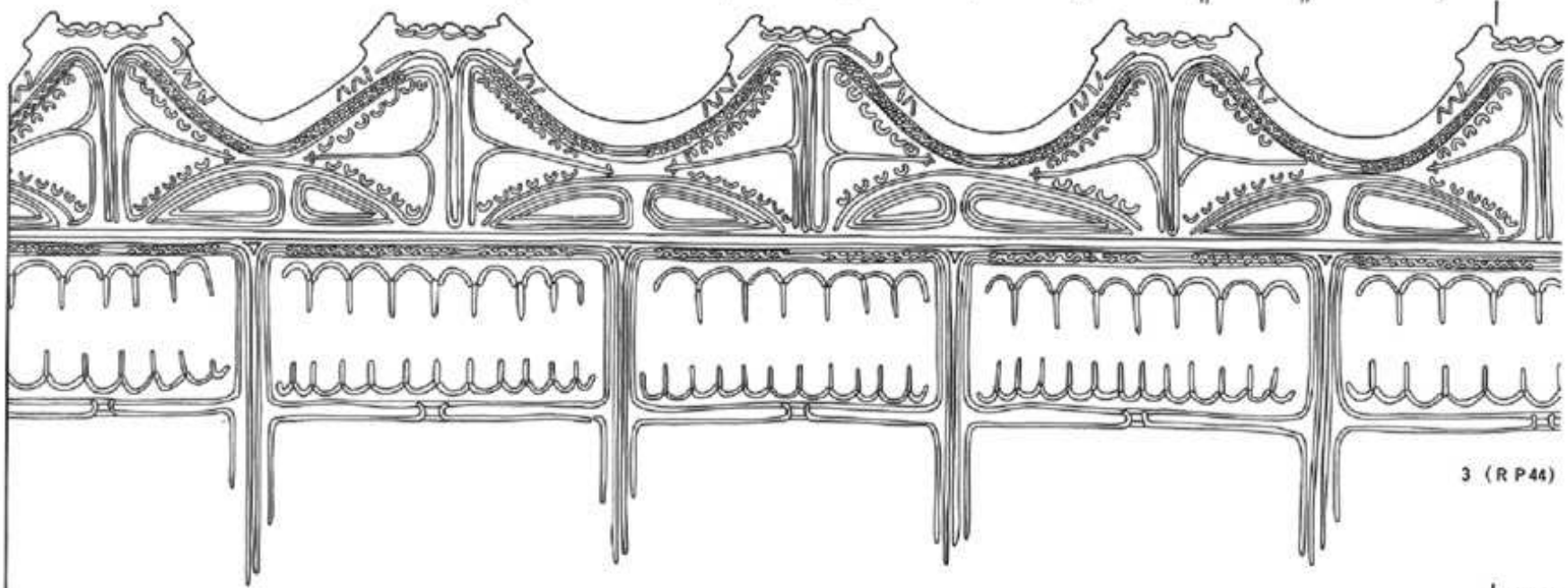
3（J－16・h－9 Ⅲ）（1：6）

PL80 土器展開図（2）

1（RP104）



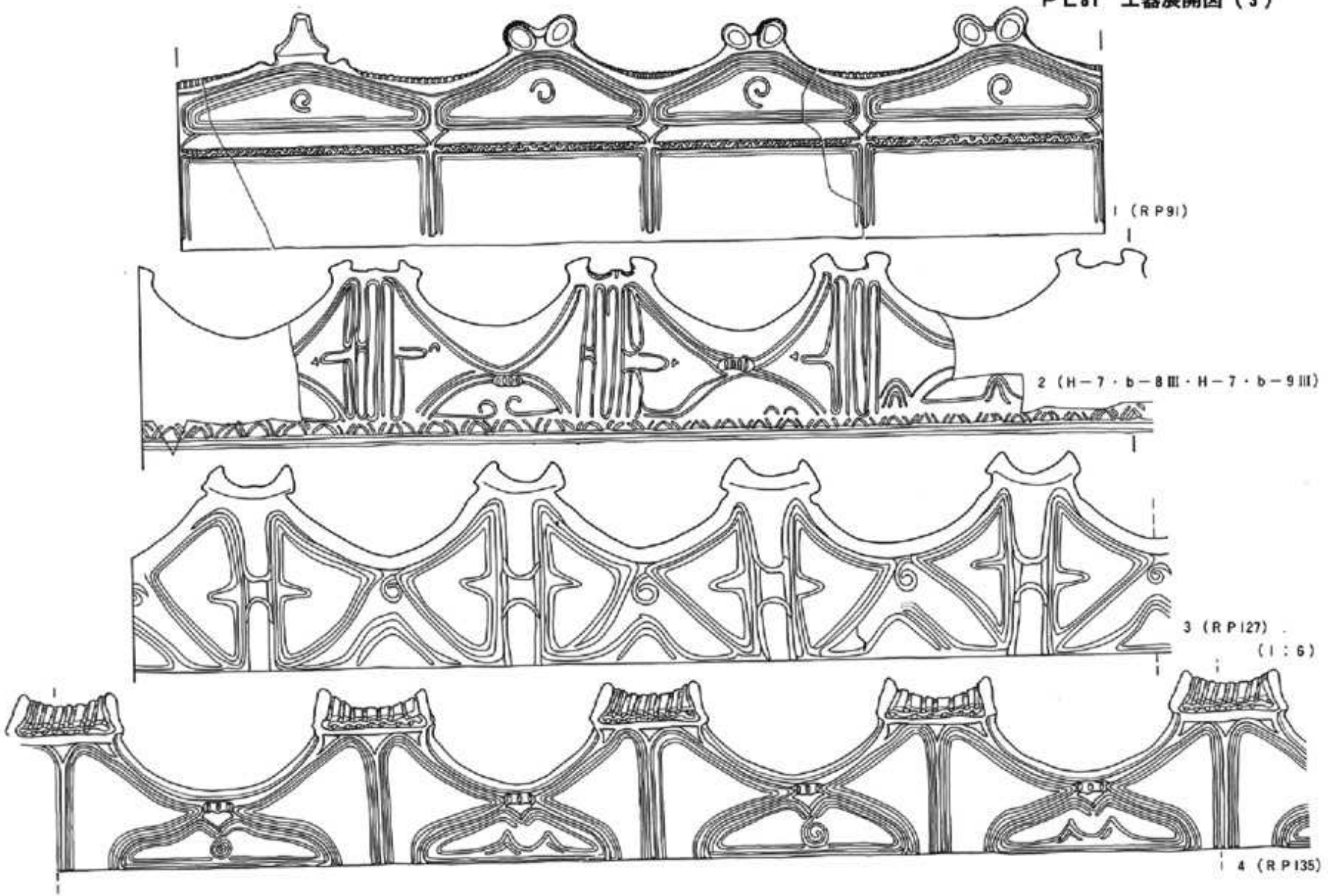
2（RP144）

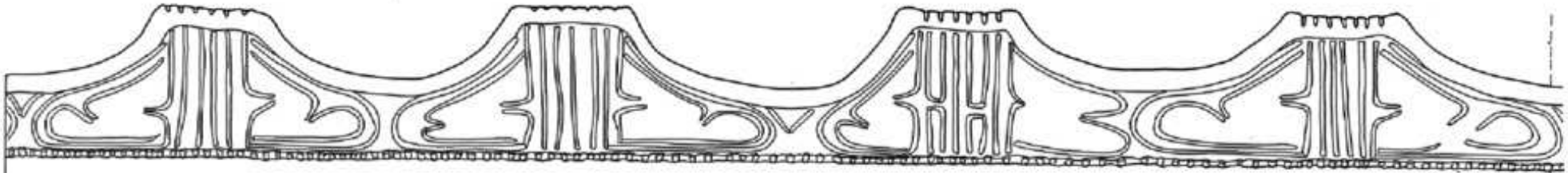


3（RP44）

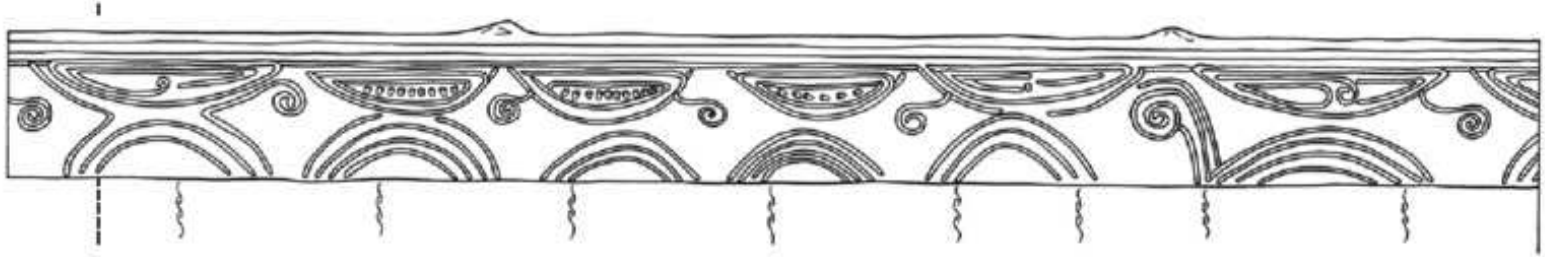
（1：6）

PL81 土器展開図（3）

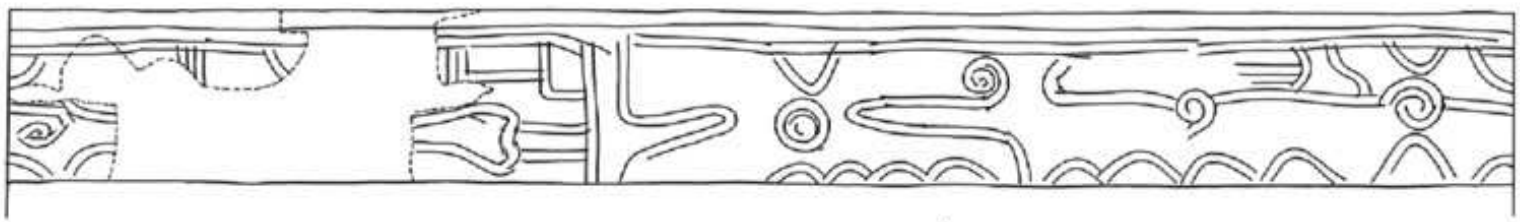




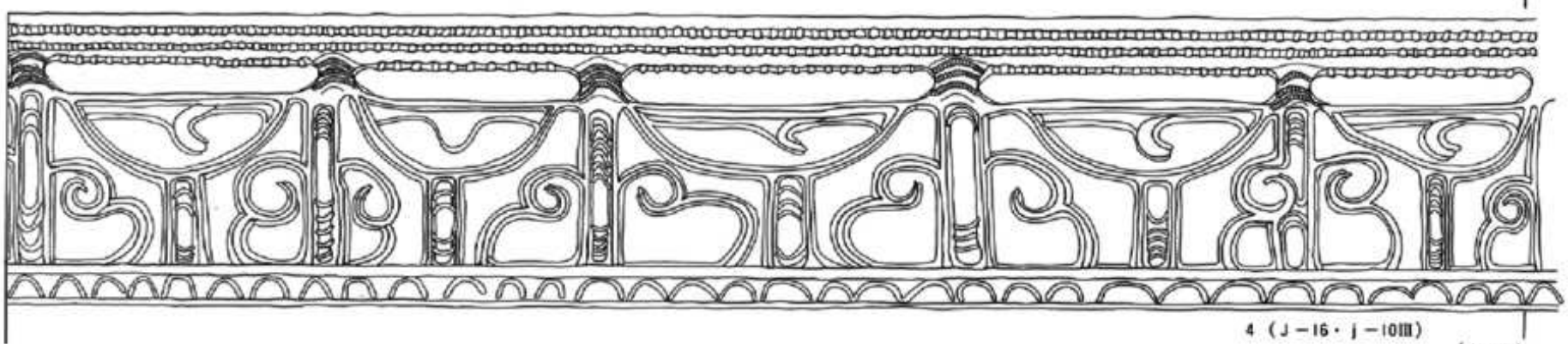
1（RP10）



2（ST17）



3（RP147）

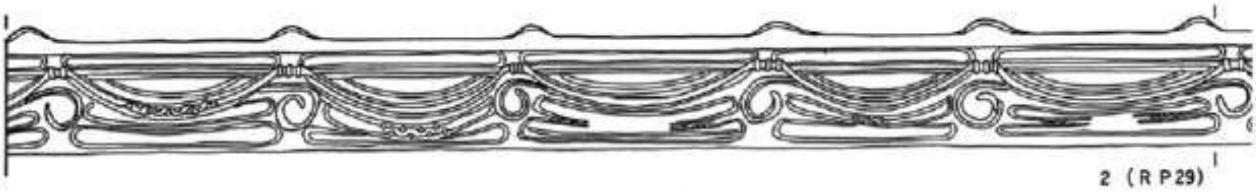


4（J－16・j－10Ⅲ）

（1：6）

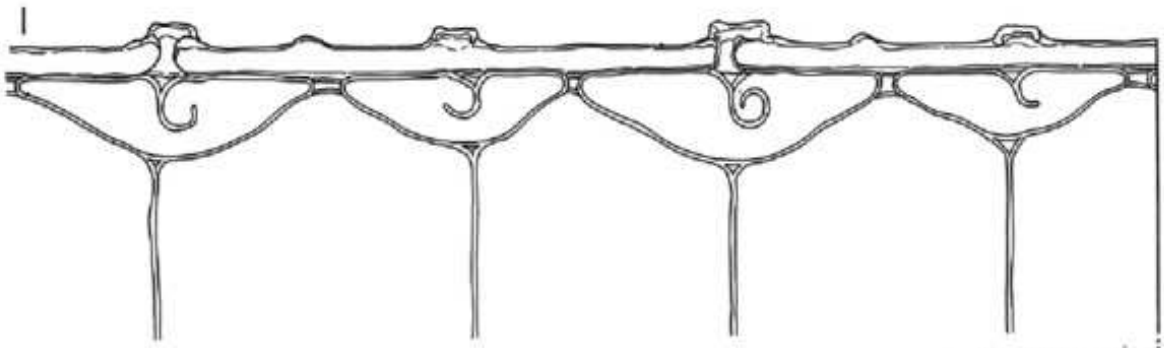
PL83 土器展開図（5）

1（R P36）

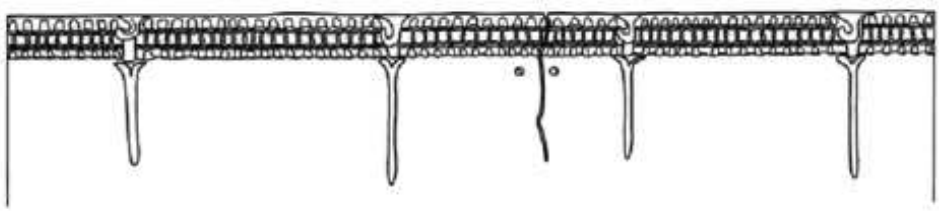


2（R P29）

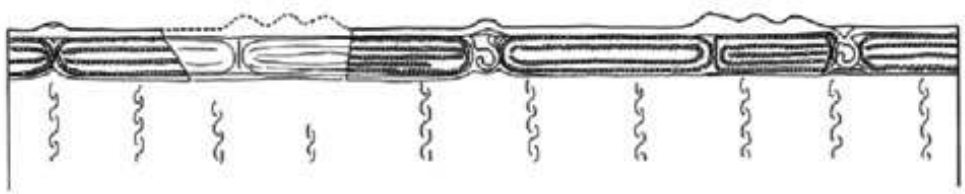
3（R P124）



4（K－17・h－3 Ⅲ）

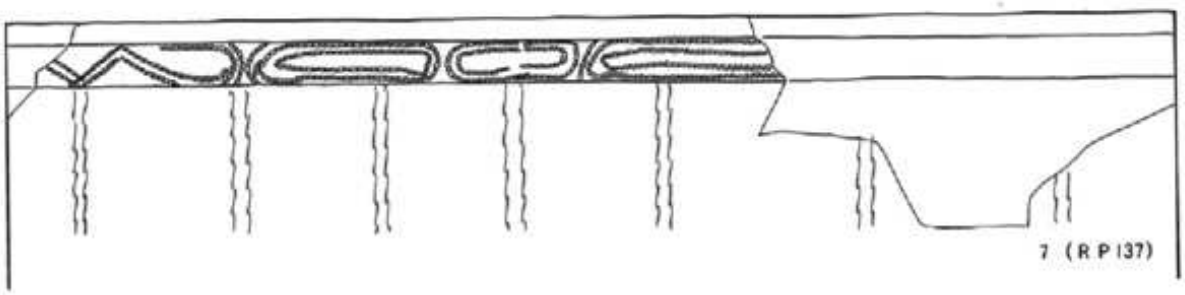


5（H－7 Ⅲ）

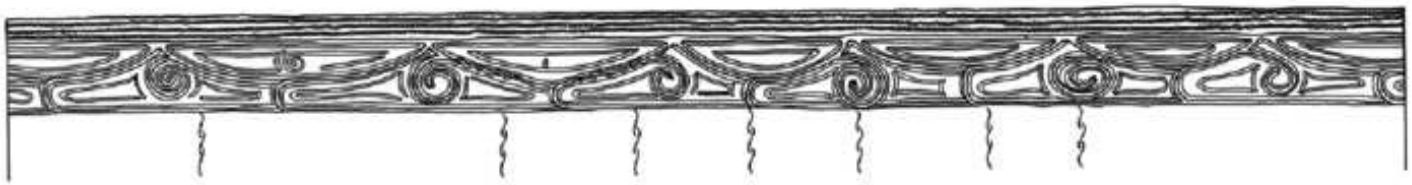


（1：6）

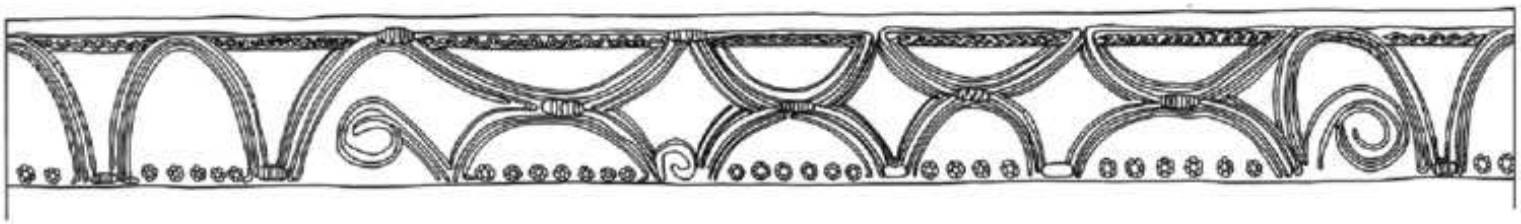
6（R P133）



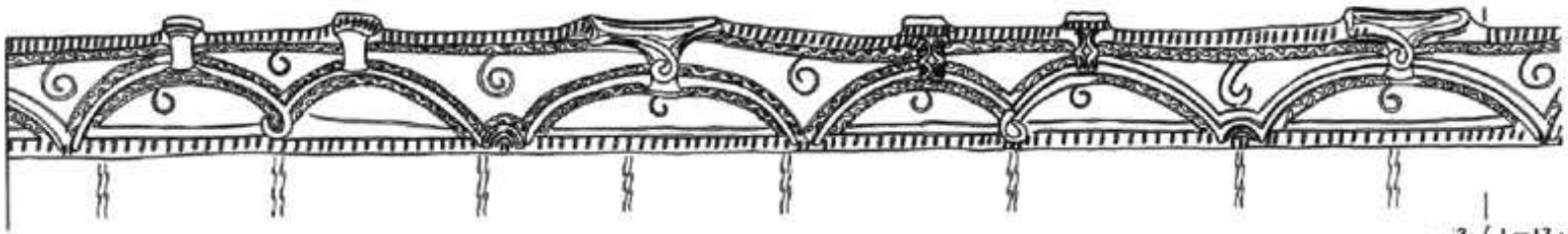
7（R P137）



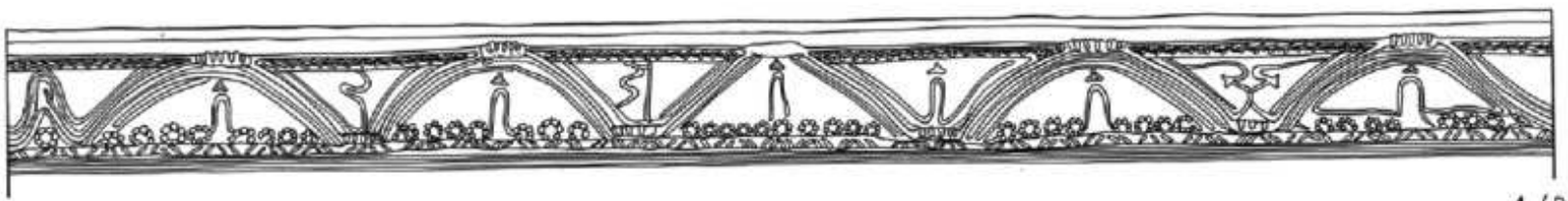
1（XO）



2（RP157）

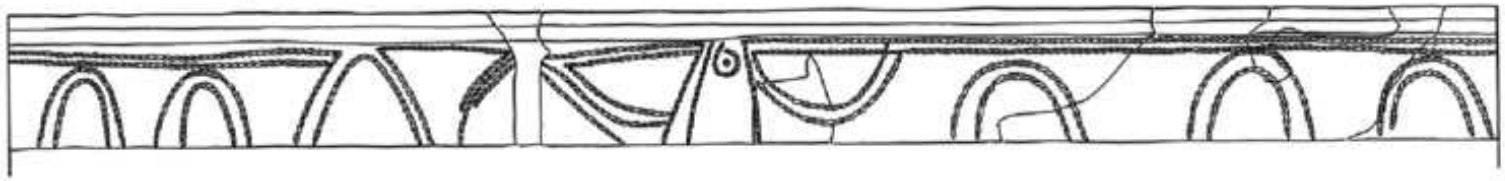


3（J－17・h－4Ⅲ）



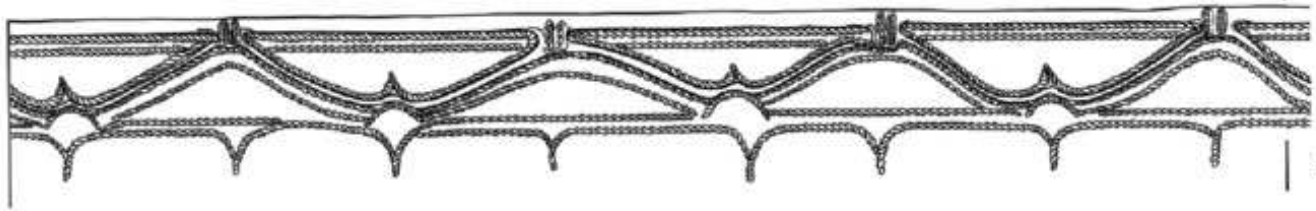
4（RP159）

（1：6）

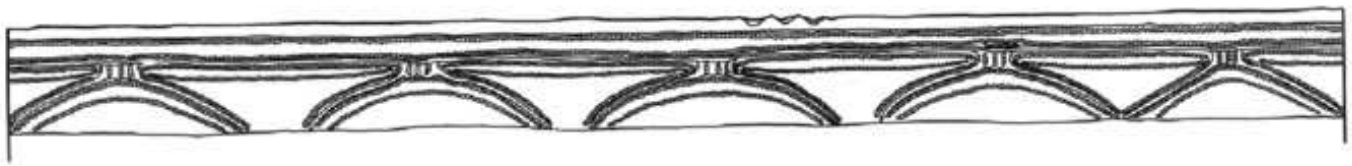


1（RP24）

2（J－16・j－10Ⅲ）

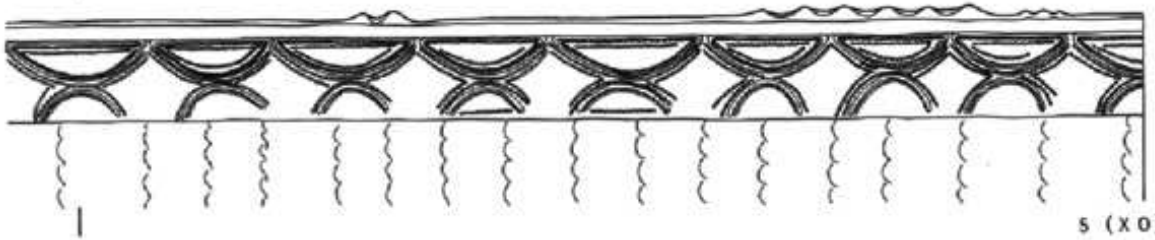


3（RP132）（$\frac{1}{3}$）

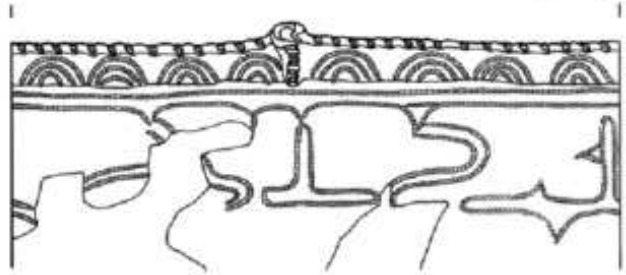


4（RP158）

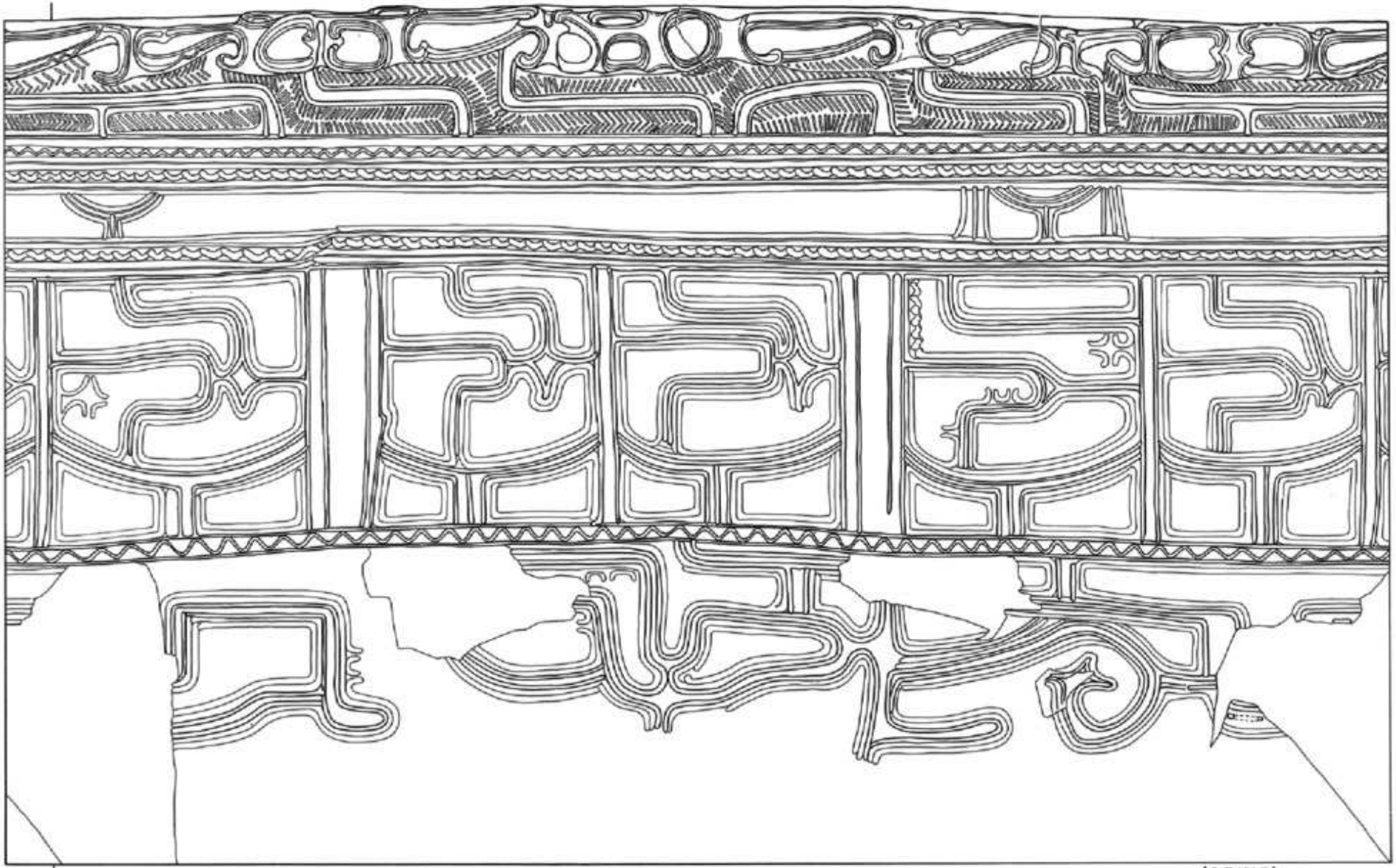
（1：6）



5（XO）

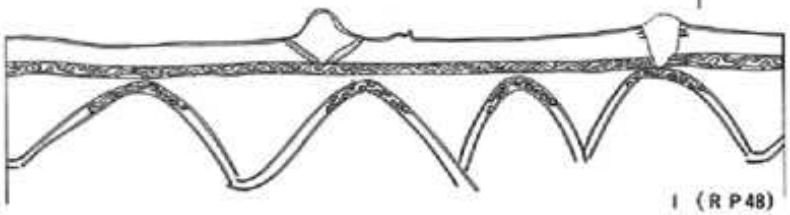


6（STI7Y・RP238）



（ST101F）
（1：6）

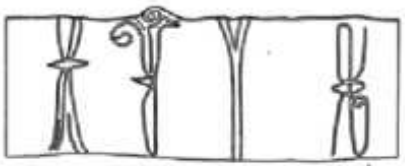
PL87 土器展開図（9）



1（RP48）

3（RP29）

4（RP155）

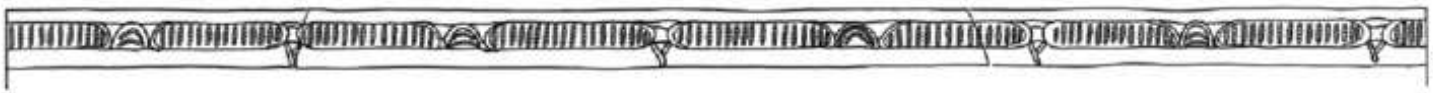


2（S.T108）（$\frac{1}{3}$）

5（RP104）

6（RP107）

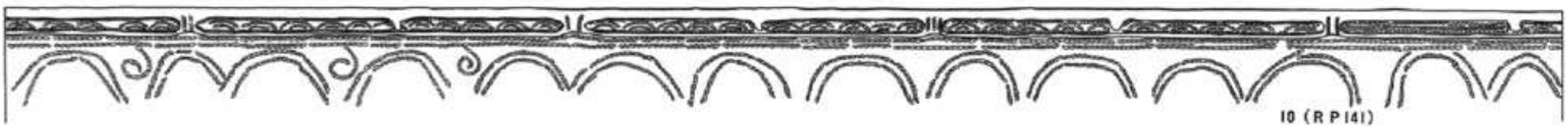
7（I－17・b－6Ⅲ）



8（RP218）

（1：6）

9（RP155）

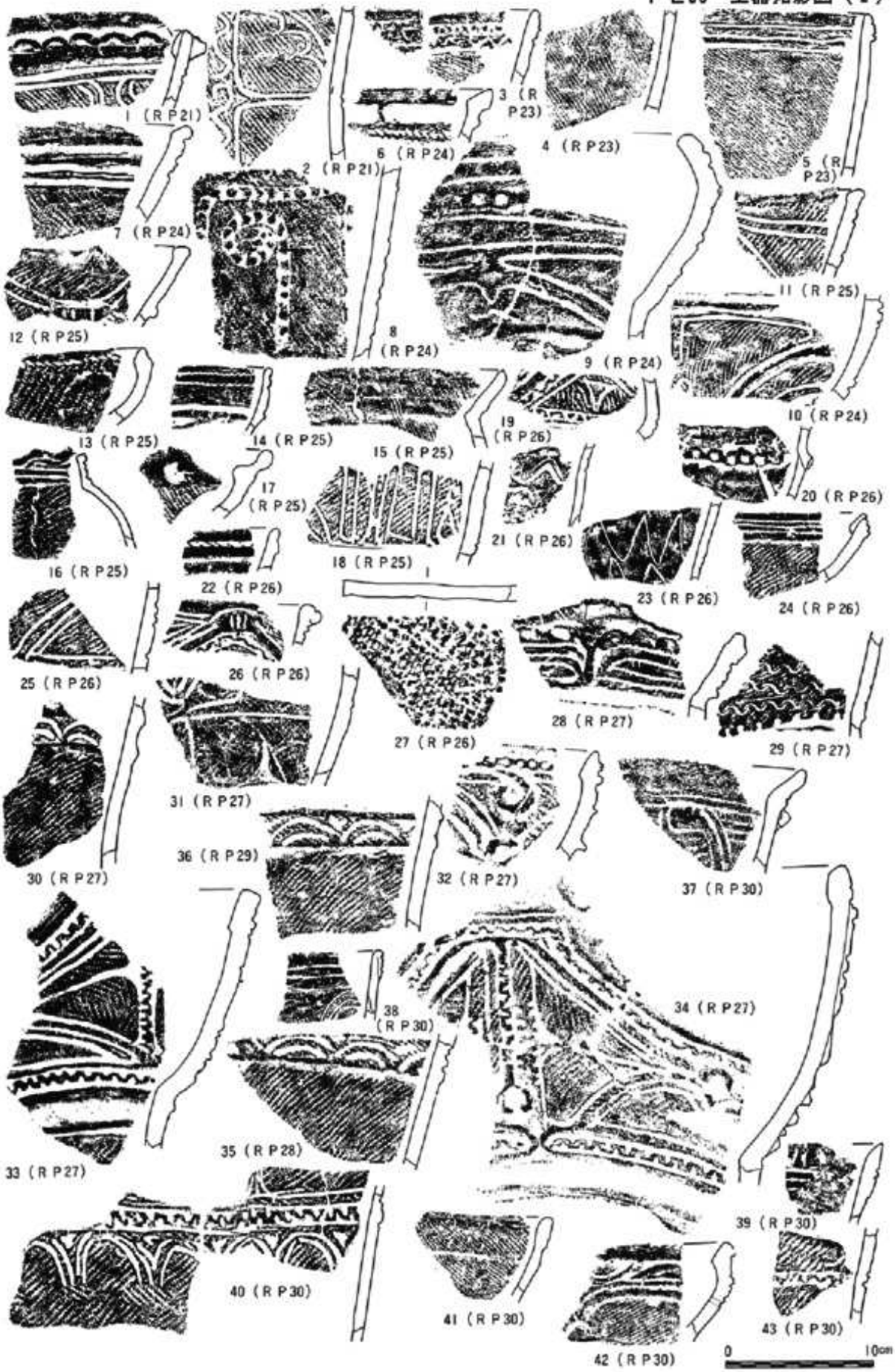


10（RP141）

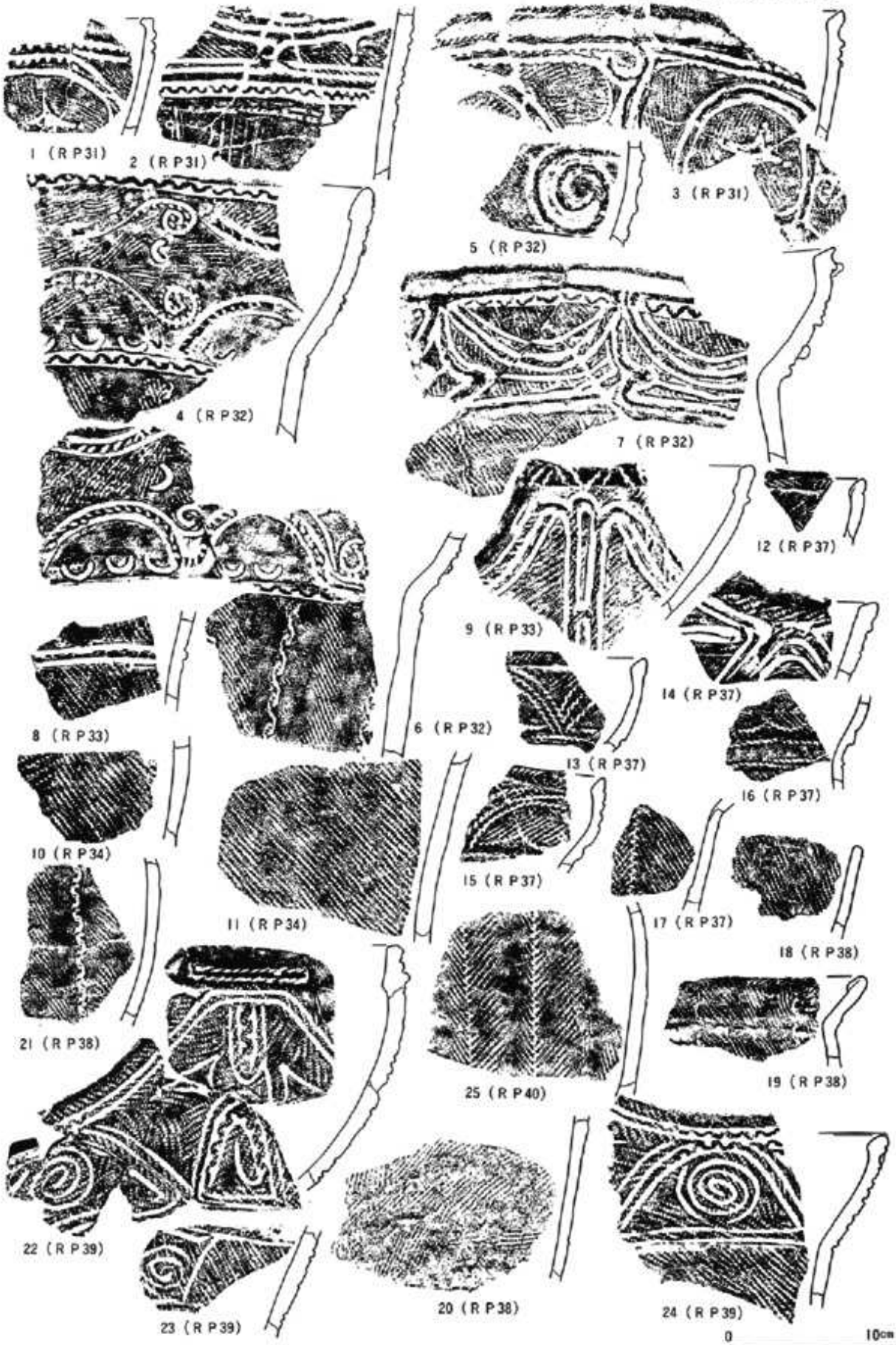
PL88 土器拓影図（1）

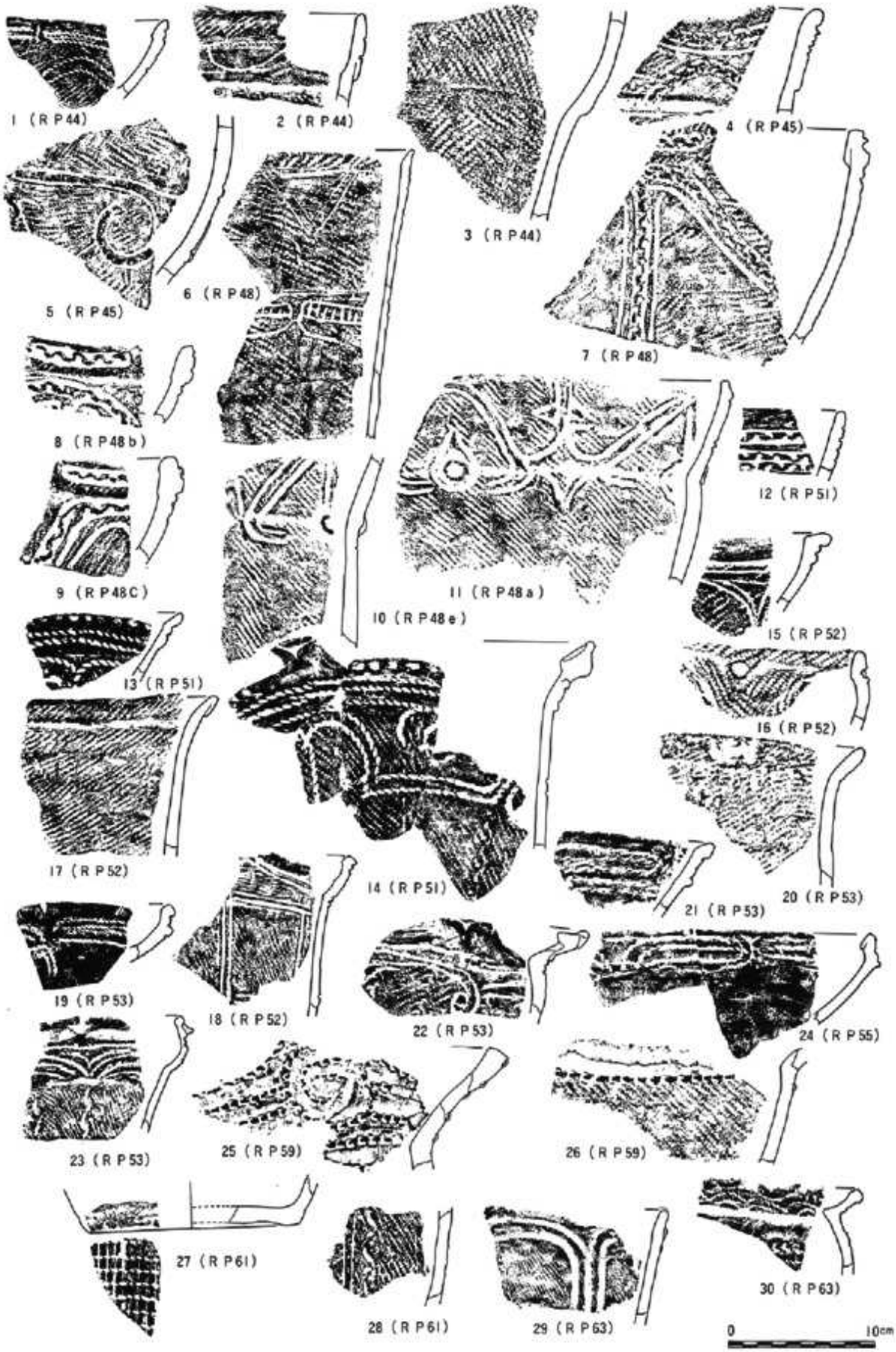
1 (RP3)
2 (RP3)
3 (RP3)
4 (RP8)
5 (RP10)
6 (RP10)
7 (RP10)
8 (RP10)
9 (RP10)
10 (RP10)
11 (RP12)
12 (RP13)
13 (RP13)
14 (RP13)
15 (RP13)
16 (RP13)
17 (RP14)
18 (RP19)
19 (RP15)
20 (RP15)
21 (RP15)
22 (RP15)
23 (RP15)
24 (RP16)
25 (RP16)
26 (RP19)
27 (RP19)
28 (RP19)
29 (RP19)
30 (RP19)
31 (RP19)
32 (RP19)
33 (RP19)
34 (RP19)
35 (RP20)
36 (RP20)
37 (RP20)
38 (RP20)
39 (RP20)
40 (RP20)
41 (RP20)
42 (RP20)
43 (RP20)
0
10cm

PL89　土器拓影図（2）


1 (R P21)
2 (R P21)
3 (R P23)
4 (R P23)
5 (R P23)
6 (R P24)
7 (R P24)
8 (R P24)
9 (R P24)
10 (R P24)
11 (R P25)
12 (R P25)
13 (R P25)
14 (R P25)
15 (R P25)
16 (R P25)
17 (R P25)
18 (R P25)
19 (R P26)
20 (R P26)
21 (R P26)
22 (R P26)
23 (R P26)
24 (R P26)
25 (R P26)
26 (R P26)
27 (R P26)
28 (R P27)
29 (R P27)
30 (R P27)
31 (R P27)
32 (R P27)
33 (R P27)
34 (R P27)
35 (R P28)
36 (R P29)
37 (R P30)
38 (R P30)
39 (R P30)
40 (R P30)
41 (R P30)
42 (R P30)
43 (R P30)
0
10cm

PL90 土器拓影図（3）

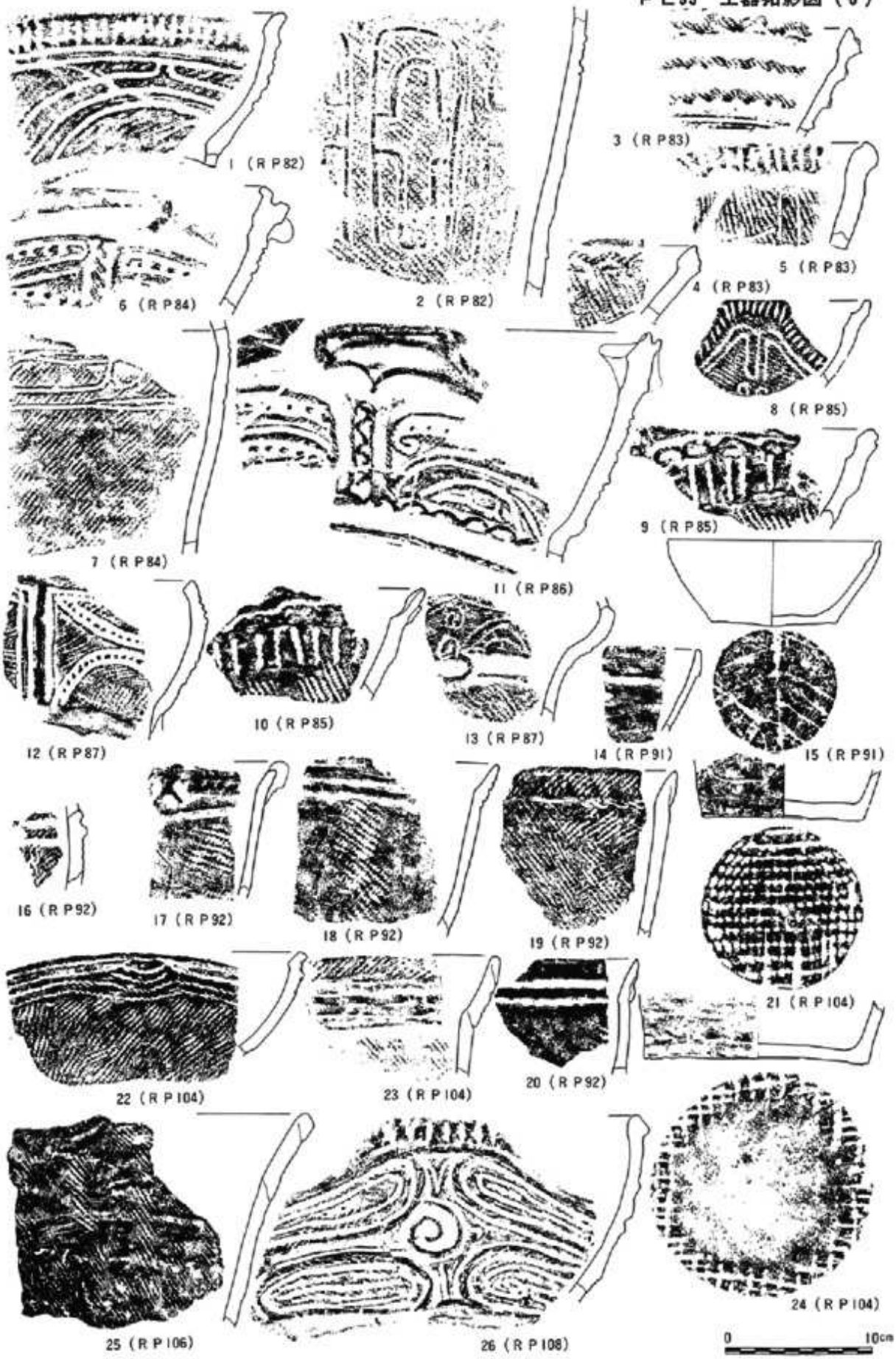

1（R P31）
2（R P31）
3（R P31）
4（R P32）
5（R P32）
6（R P32）
7（R P32）
8（R P33）
9（R P33）
10（R P34）
11（R P34）
12（R P37）
13（R P37）
14（R P37）
15（R P37）
16（R P37）
17（R P37）
18（R P38）
19（R P38）
20（R P38）
21（R P38）
22（R P39）
23（R P39）
24（R P39）
25（R P40）
0
10cm

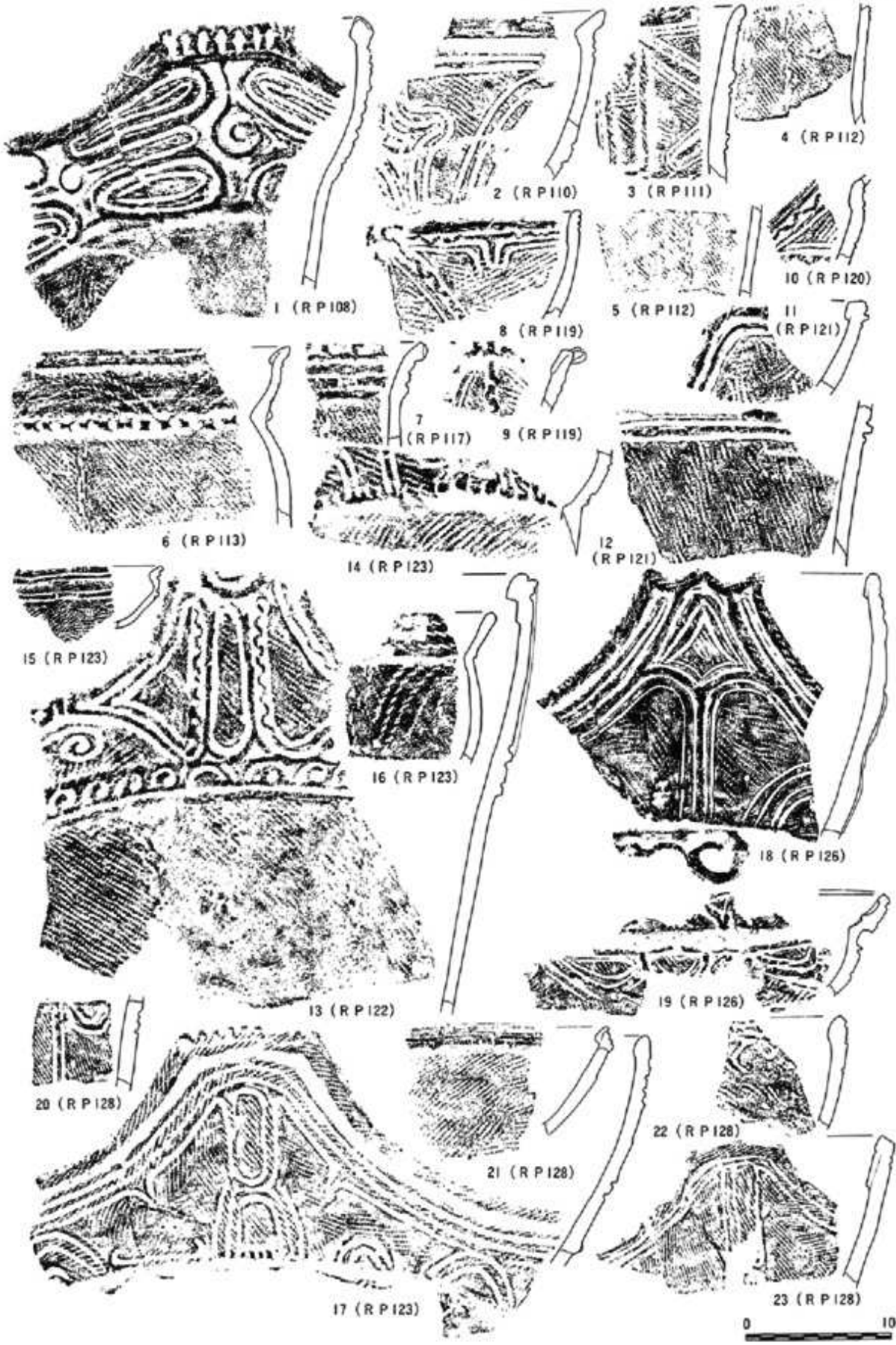

1 (R P44)
2 (R P44)
3 (R P44)
4 (R P45)
5 (R P45)
6 (R P48)
7 (R P48)
8 (R P48b)
9 (R P48C)
10 (R P48e)
11 (R P48a)
12 (R P51)
13 (R P51)
14 (R P51)
15 (R P52)
16 (R P52)
17 (R P52)
18 (R P52)
19 (R P53)
20 (R P53)
21 (R P53)
22 (R P53)
23 (R P53)
24 (R P55)
25 (R P59)
26 (R P59)
27 (R P61)
28 (R P61)
29 (R P63)
30 (R P63)
0
10cm

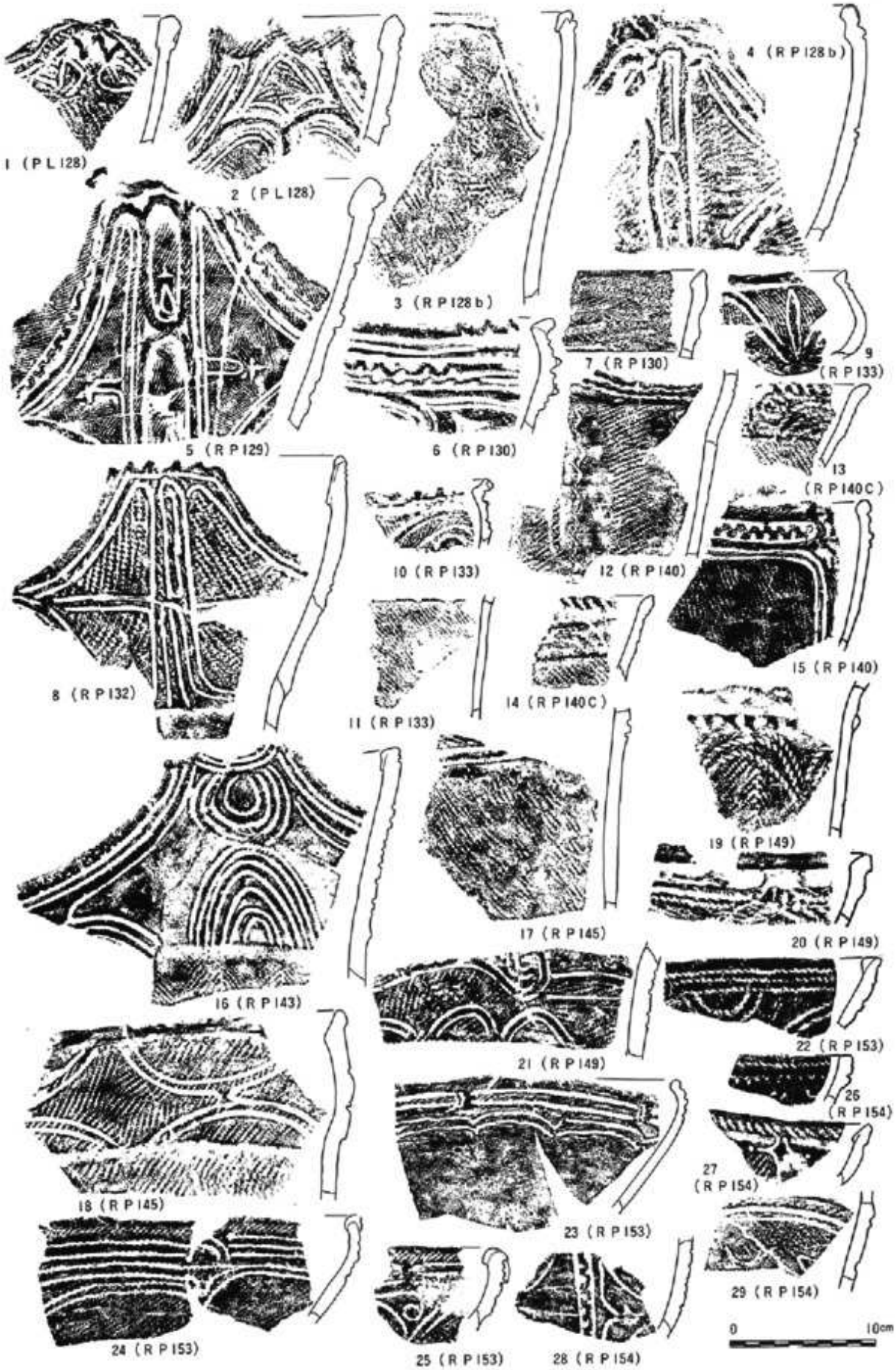
PL92 土器拓影図（5）

1 (R P65)
2 (R P65)
3 (R P67)
4 (R P68)
5 (R P70)
6 (R P70)
7 (R P73)
8 (R P73)
9 (R P73)
10 (R P73)
11 (R P74)
12 (R P74)
13 (R P75)
14 (R P75)
15 (R P75)
16 (R P75)
17 (R P75)
18 (R P75)
19 (R P76)
20 (R P76)
21 (R P76)
22 (R P76)
23 (R P76)
24 (R P76)
25 (R P76)
26 (R P76)
27 (R P78)
28 (R P78)
29 (R P78)
30 (R P78)
31 (R P78)
32 (R P78)
33 (R P78)
0
10cm

PL93 土器拓影図（6）


1（R P82）
2（R P82）
3（R P83）
4（R P83）
5（R P83）
6（R P84）
7（R P84）
8（R P85）
9（R P85）
10（R P85）
11（R P86）
12（R P87）
13（R P87）
14（R P91）
15（R P91）
16（R P92）
17（R P92）
18（R P92）
19（R P92）
20（R P92）
21（R P104）
22（R P104）
23（R P104）
24（R P104）
25（R P106）
26（R P108）
0
10cm


1 (RP108)
2 (RP110)
3 (RP111)
4 (RP112)
5 (RP112)
6 (RP113)
7 (RP117)
8 (RP119)
9 (RP119)
10 (RP120)
11 (RP121)
12 (RP121)
13 (RP122)
14 (RP123)
15 (RP123)
16 (RP123)
17 (RP123)
18 (RP126)
19 (RP126)
20 (RP128)
21 (RP128)
22 (RP128)
23 (RP128)
0
10cm

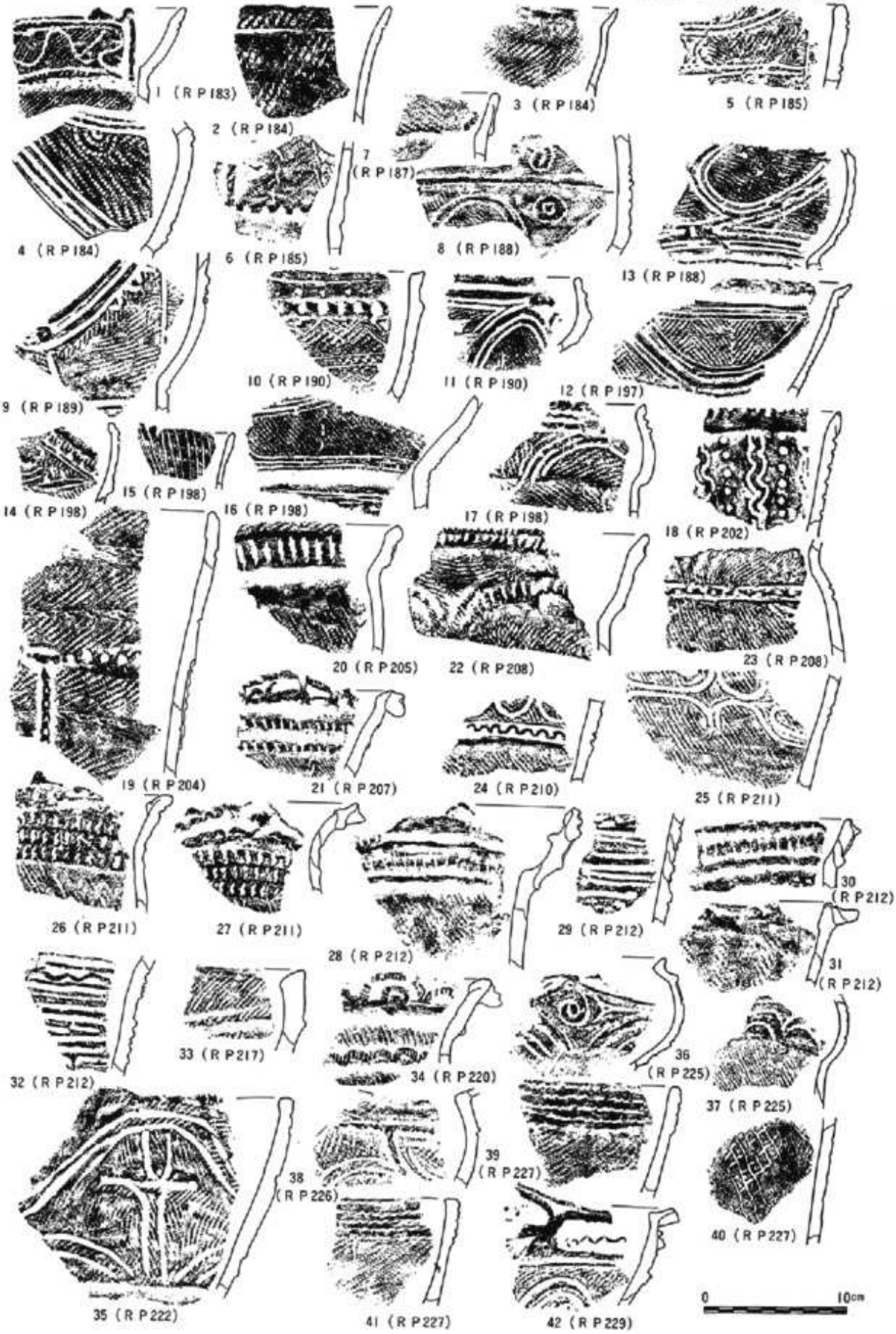

1（PL128）
2（PL128）
3（RP128b）
4（RP128b）
5（RP129）
6（RP130）
7（RP130）
8（RP132）
9（RP133）
10（RP133）
11（RP133）
12（RP140）
13（RP140C）
14（RP140C）
15（RP140）
16（RP143）
17（RP145）
18（RP145）
19（RP149）
20（RP149）
21（RP149）
22（RP153）
23（RP153）
24（RP153）
25（RP153）
26（RP154）
27（RP154）
28（RP154）
29（RP154）
0
10cm

PL96 土器拓影図（9）

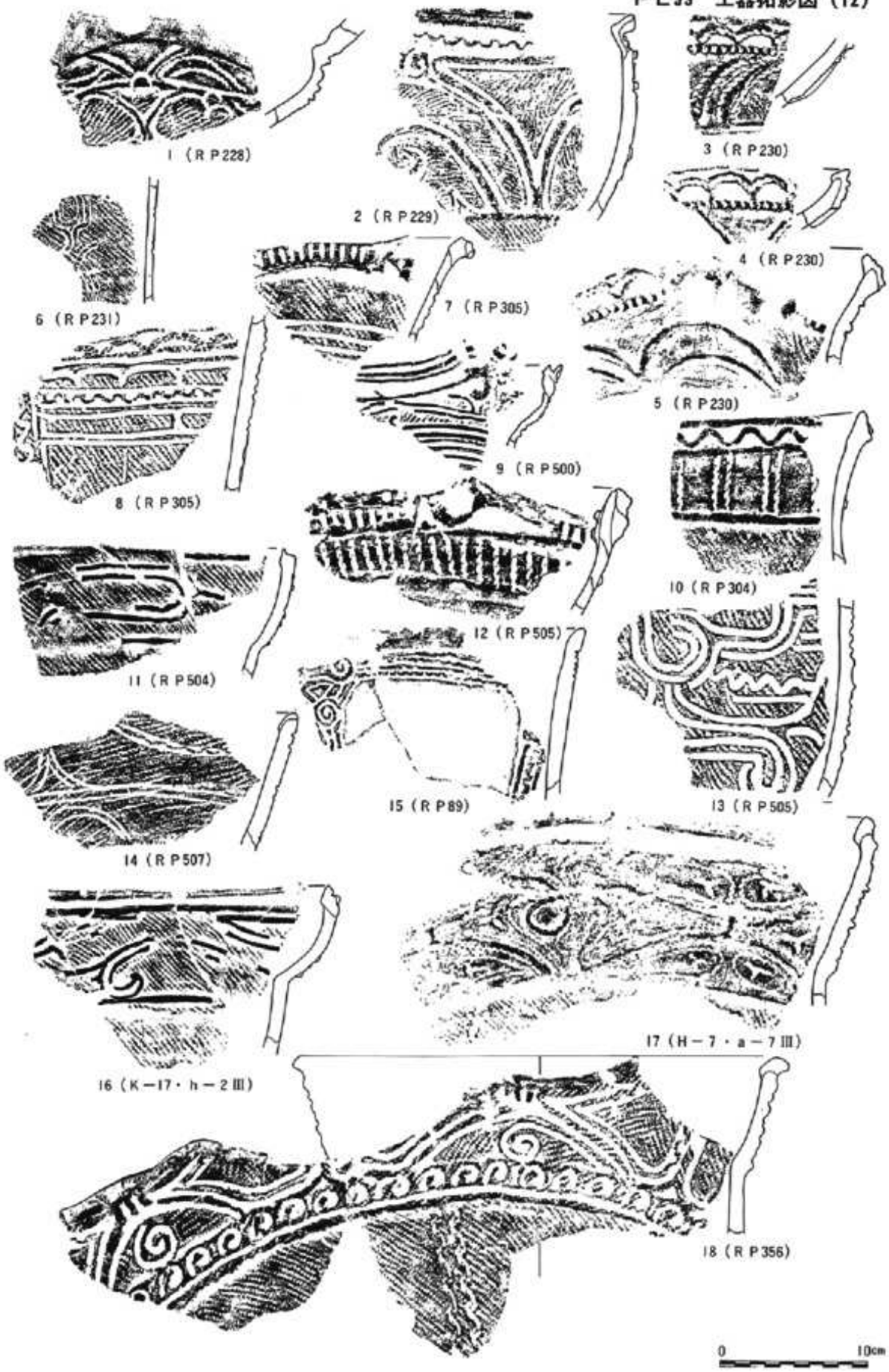
1 (R P154)
2 (R P154)
3 (R P154)
4 (R P154)
5 (R P155)
6 (R P155)
7 (R P155)
8 (R P155)
9 (R P155)
10 (R P157)
11 (R P157)
12 (R P157)
13 (R P157)
14 (R P157)
15 (R P159)
16 (R P159)
17 (R P157)
18 (R P159)
19 (R P159)
20 (R P159)
0
10cm

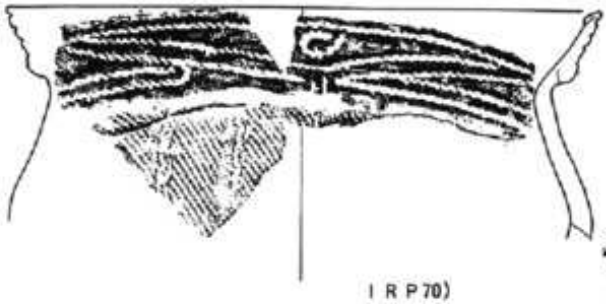
PL97 土器拓影図 (10)

PL98 土器拓影図 (11)

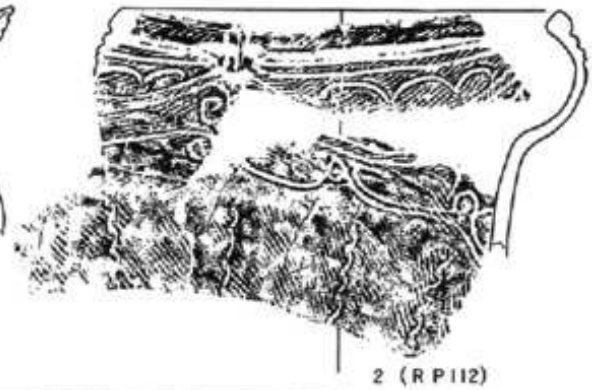


PL99 土器拓影図 (12)

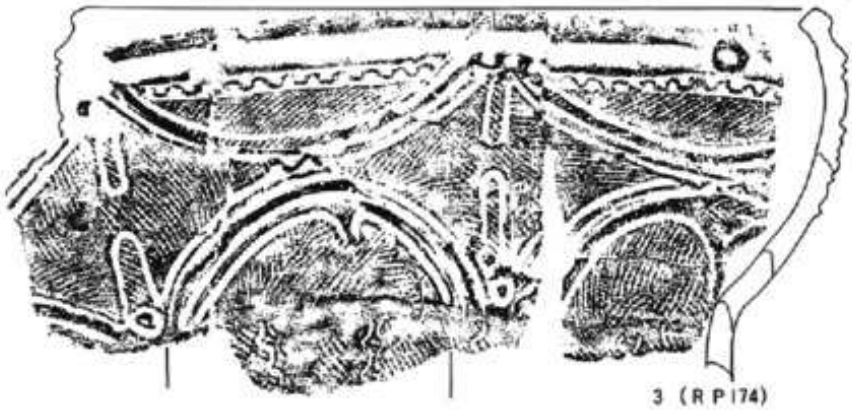




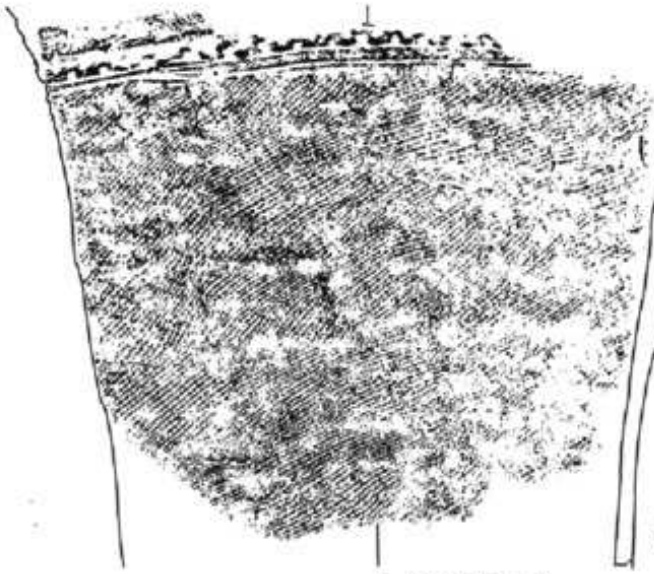
1 (RP70)



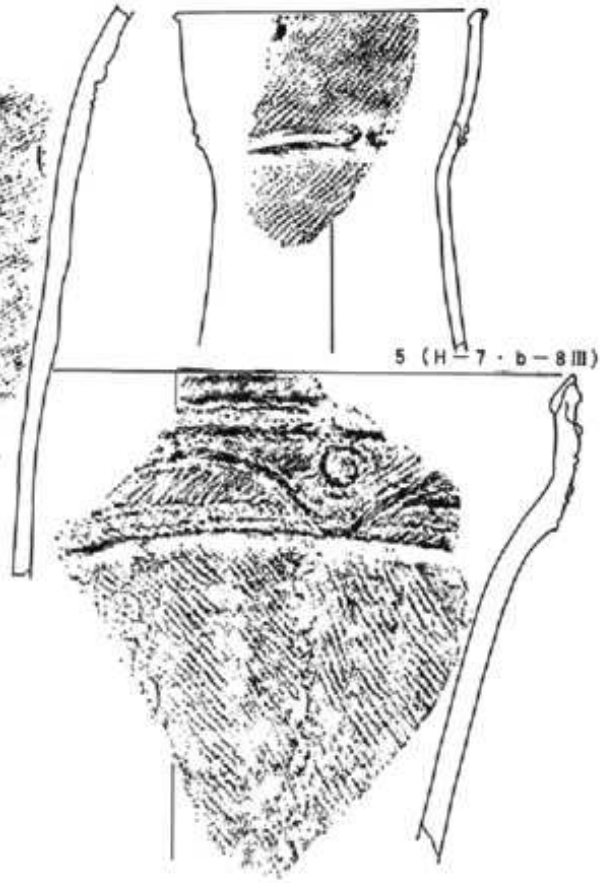
2 (RP112)



3 (RP174)



4 (ST17Pit)

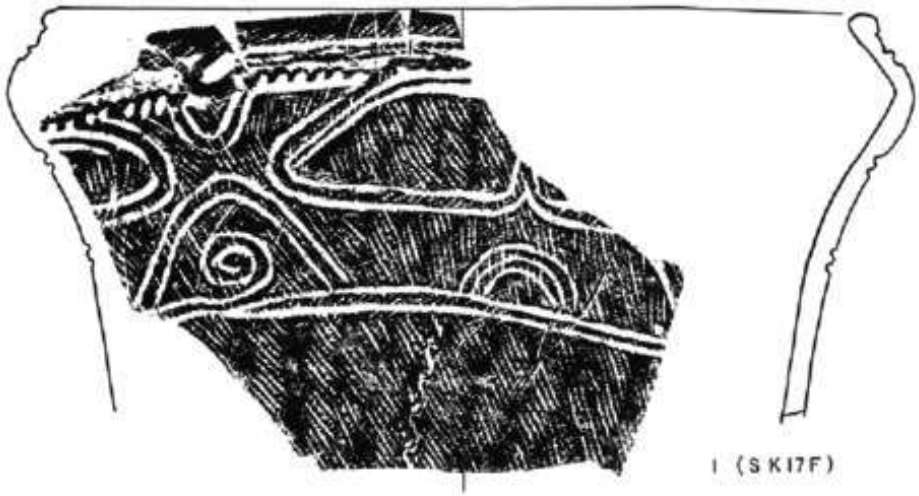


5 (H-7・b-8III)

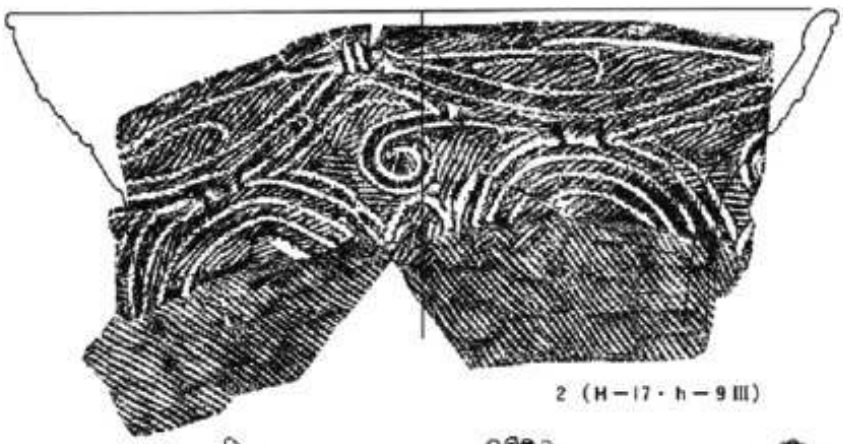
7 (H-17・j-3III)

6 (RP31)

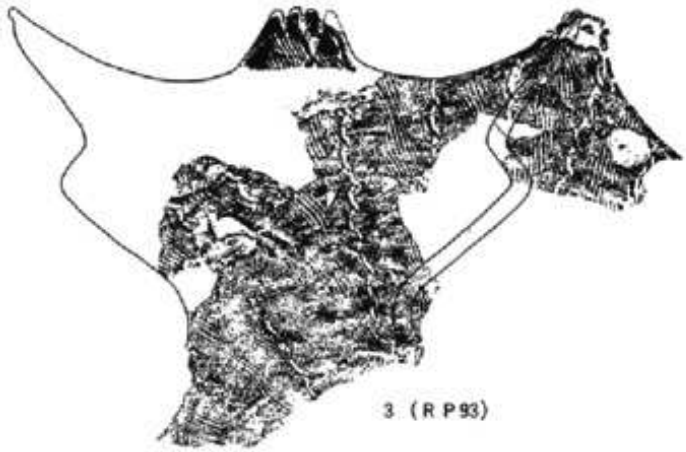
0 10cm



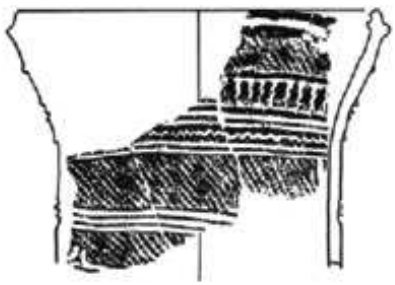
1 (SK17F)



2 (H－17・h－9 III)



3 (RP93)

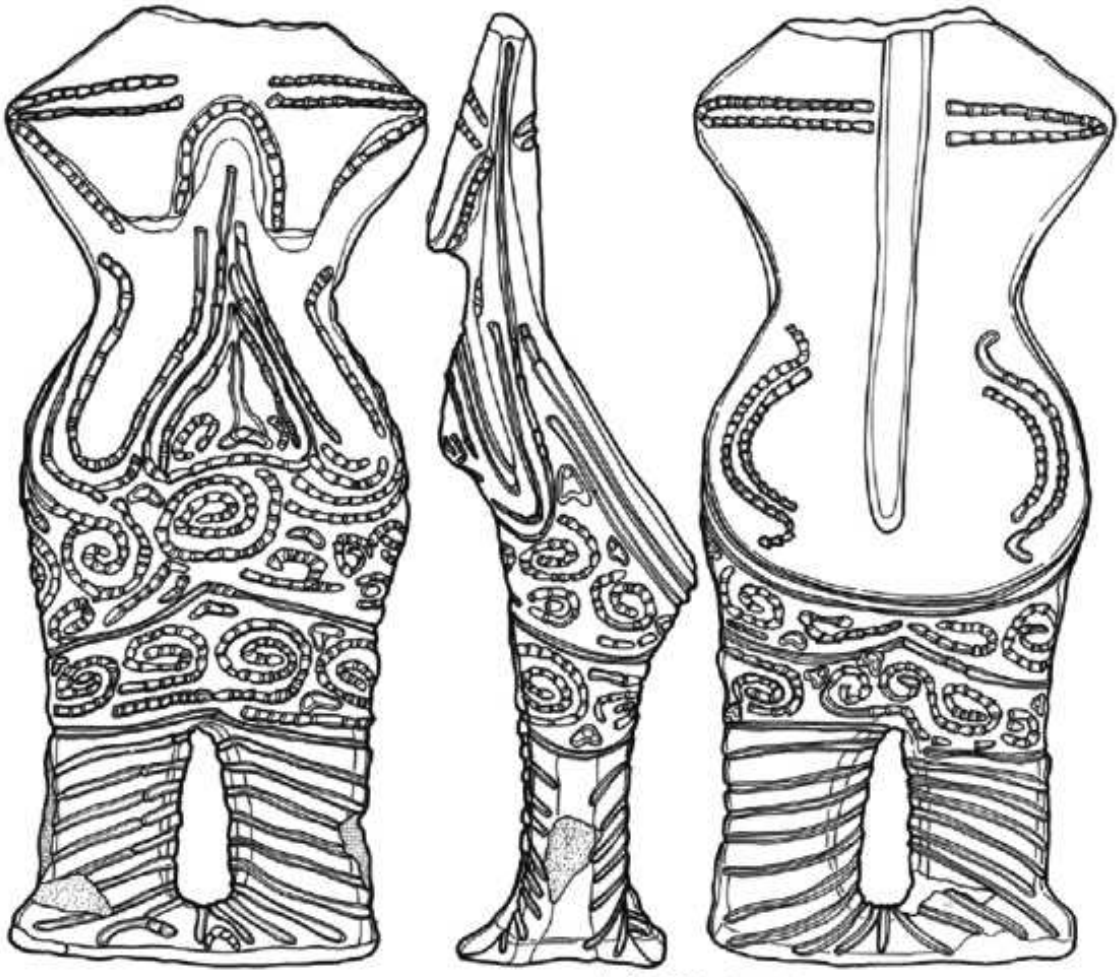


4 (K－17・e－1 III)

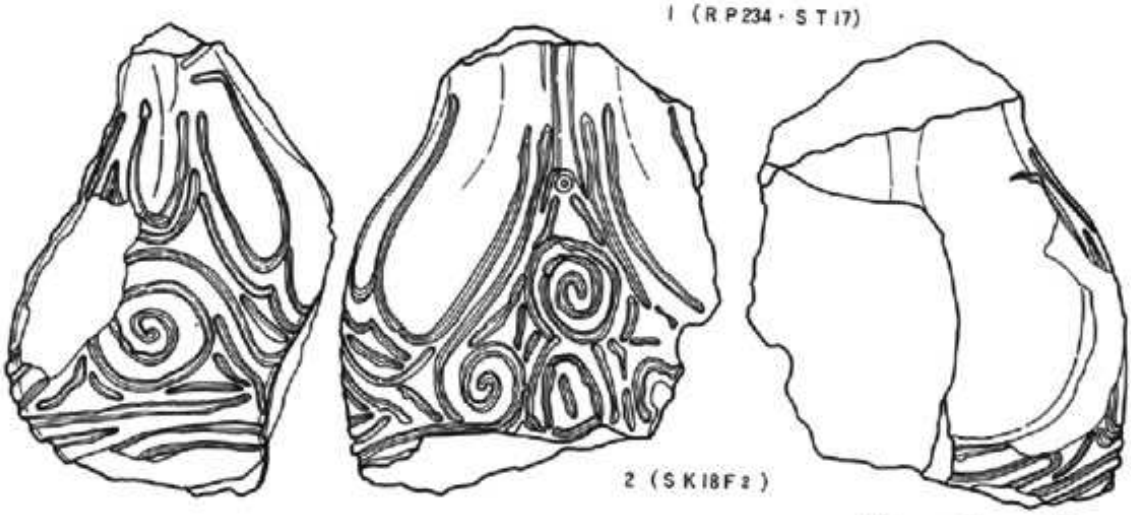
5 (H－7・b－6・7 III)

0 10cm

PL102　土偶・土製品実測図（1）



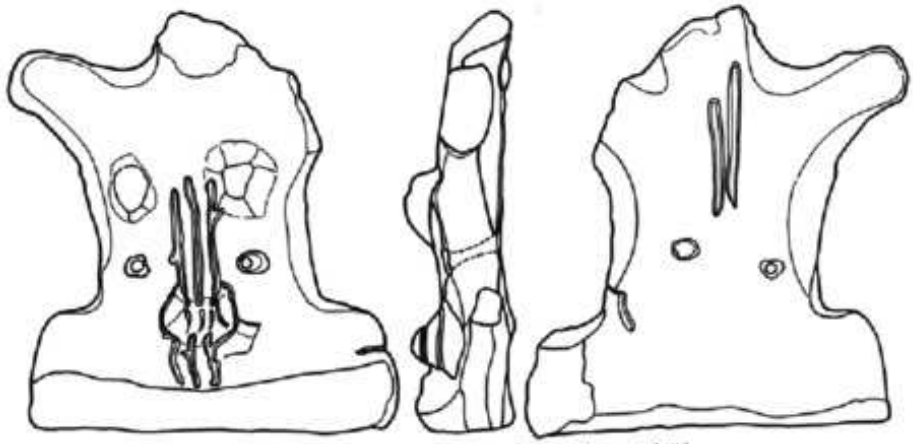
1（RP234・ST17）



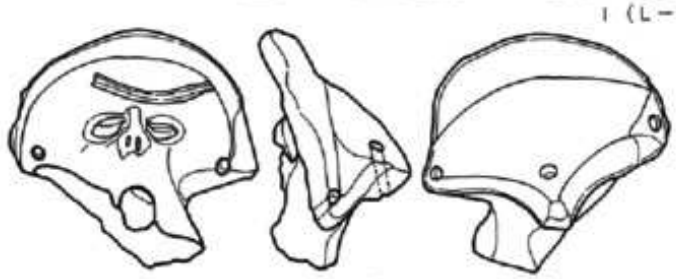
2（SK18F2）

3（RP94）　4（RP25）

0　5cm

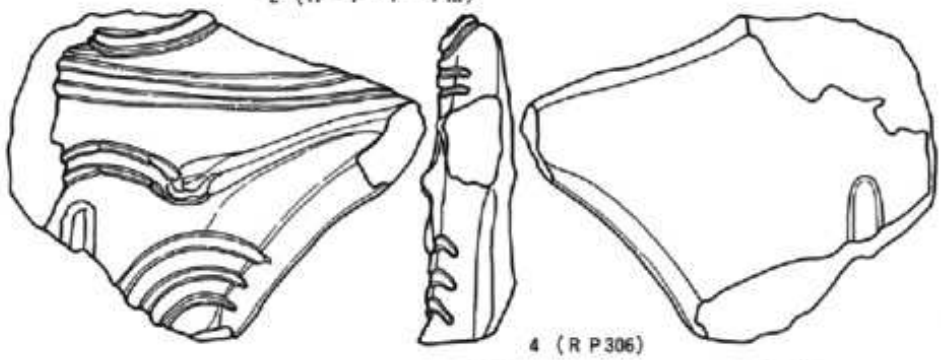


1（L－11(e－1)III）

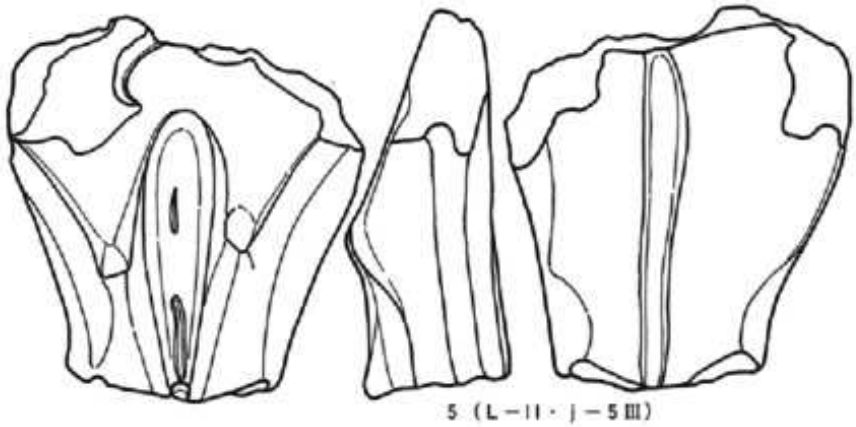


2（H－7・f－7III）

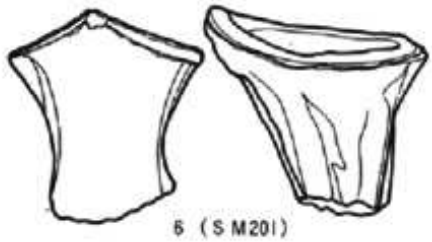
3（SM201）



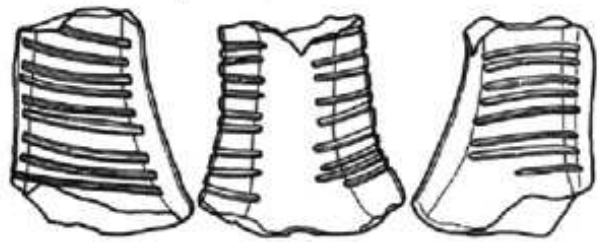
4（RP306）



5（L－11・j－5III）



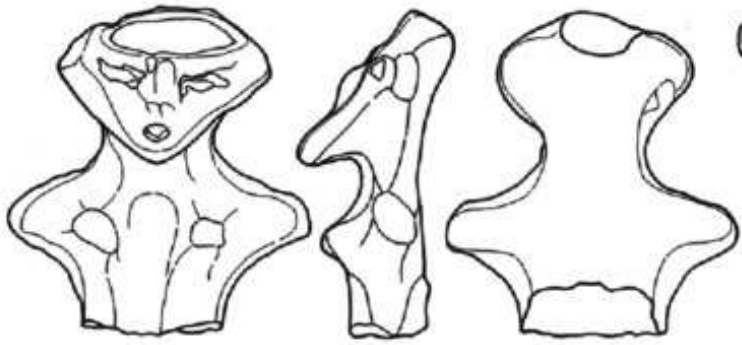
6（SM201）



7（RP301）

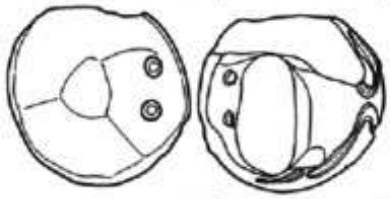
0　5cm

PL104　土偶・土製品実測図（3）

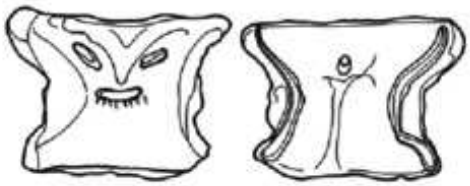


1（K－16・h－9Ⅲ）

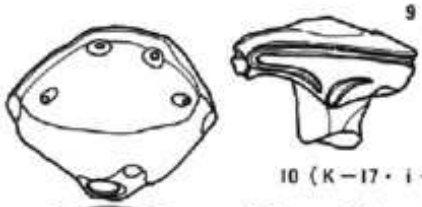
8（J－17・a－1Ⅲ）



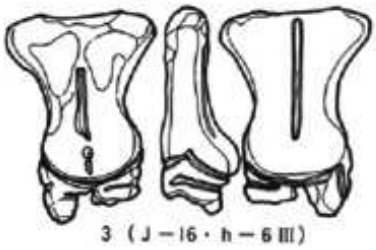
9（K－17・i－7Ⅲ）



2（J－16・i－4Ⅲ）



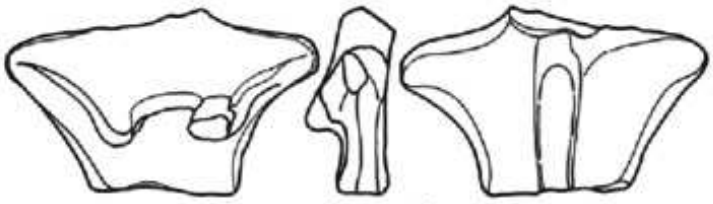
10（K－17・i－7Ⅲ）



3（J－16・h－6Ⅲ）

11（K－18・i－9Ⅲ）

12（K1647Ⅲ）

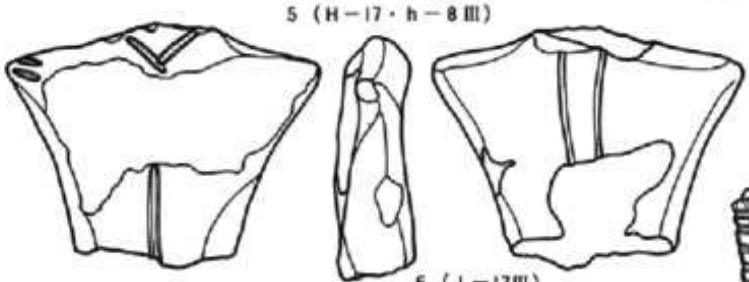


4（ST101F）

5（H－17・h－8Ⅲ）

13（M－12・e－10Ⅲ）

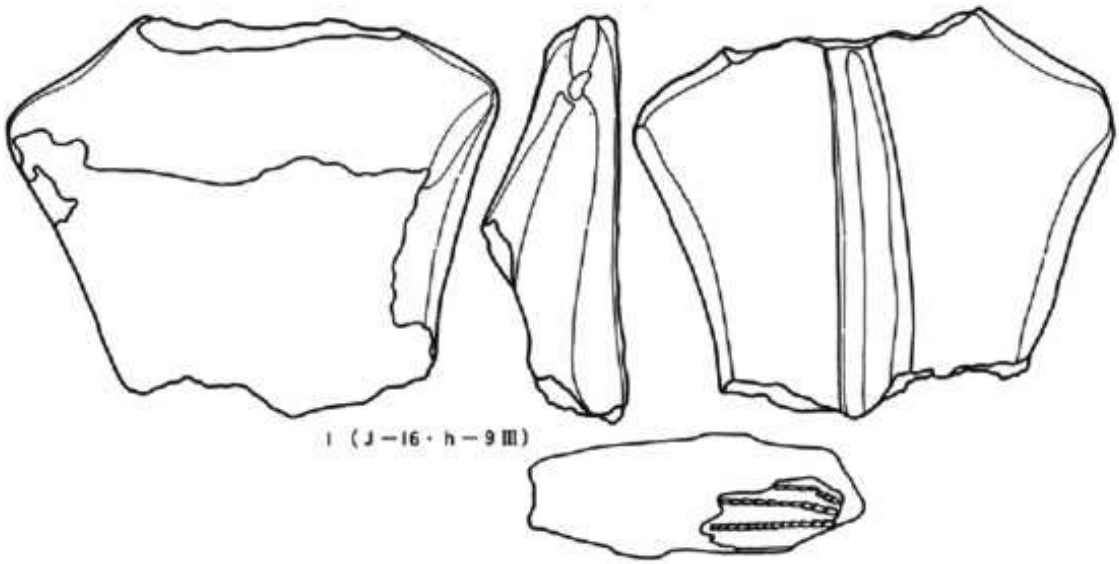
14（I－17・g－9Ⅲ）



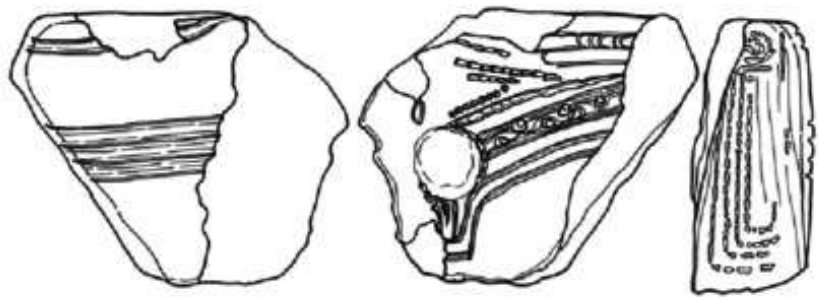
6（I－17Ⅲ）

15（I－17・a－9Ⅲ）

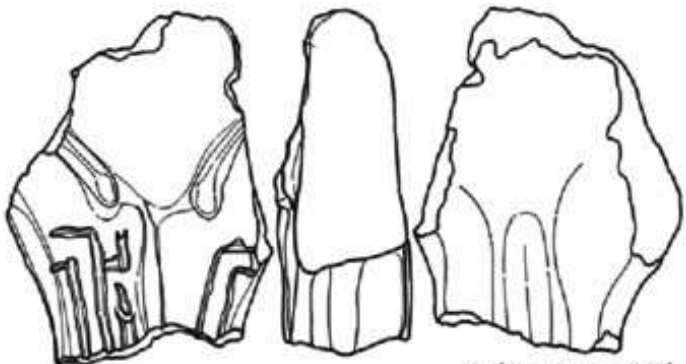
7（I－17・b－6Ⅲ）



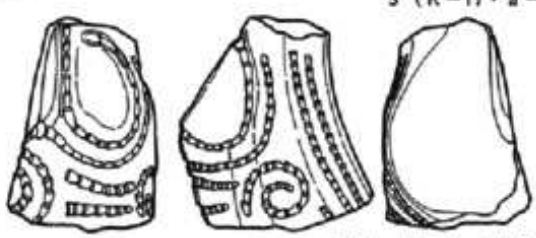
1（J－16・h－9Ⅲ）



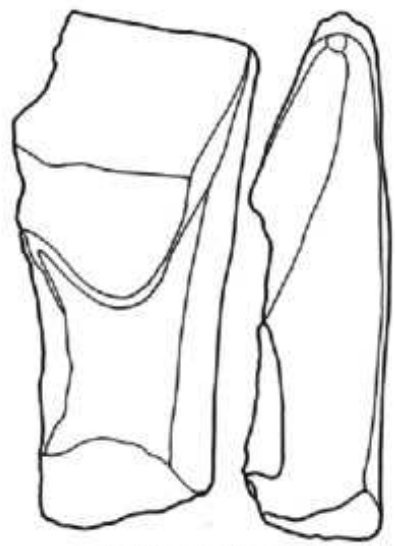
2（K－16・i－10Ⅲ）



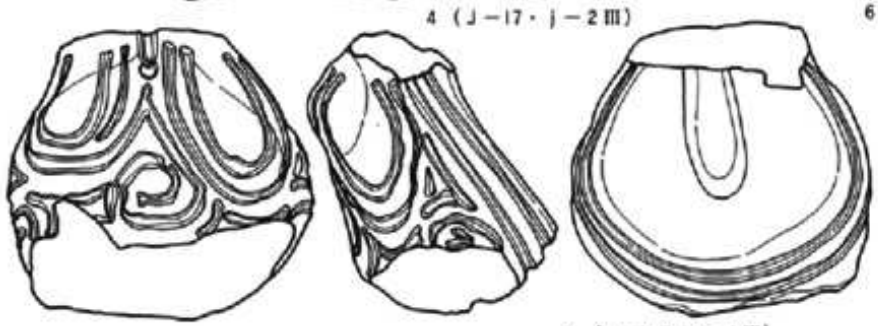
3（K－17・a－3Ⅲ）



4（J－17・j－2Ⅲ）



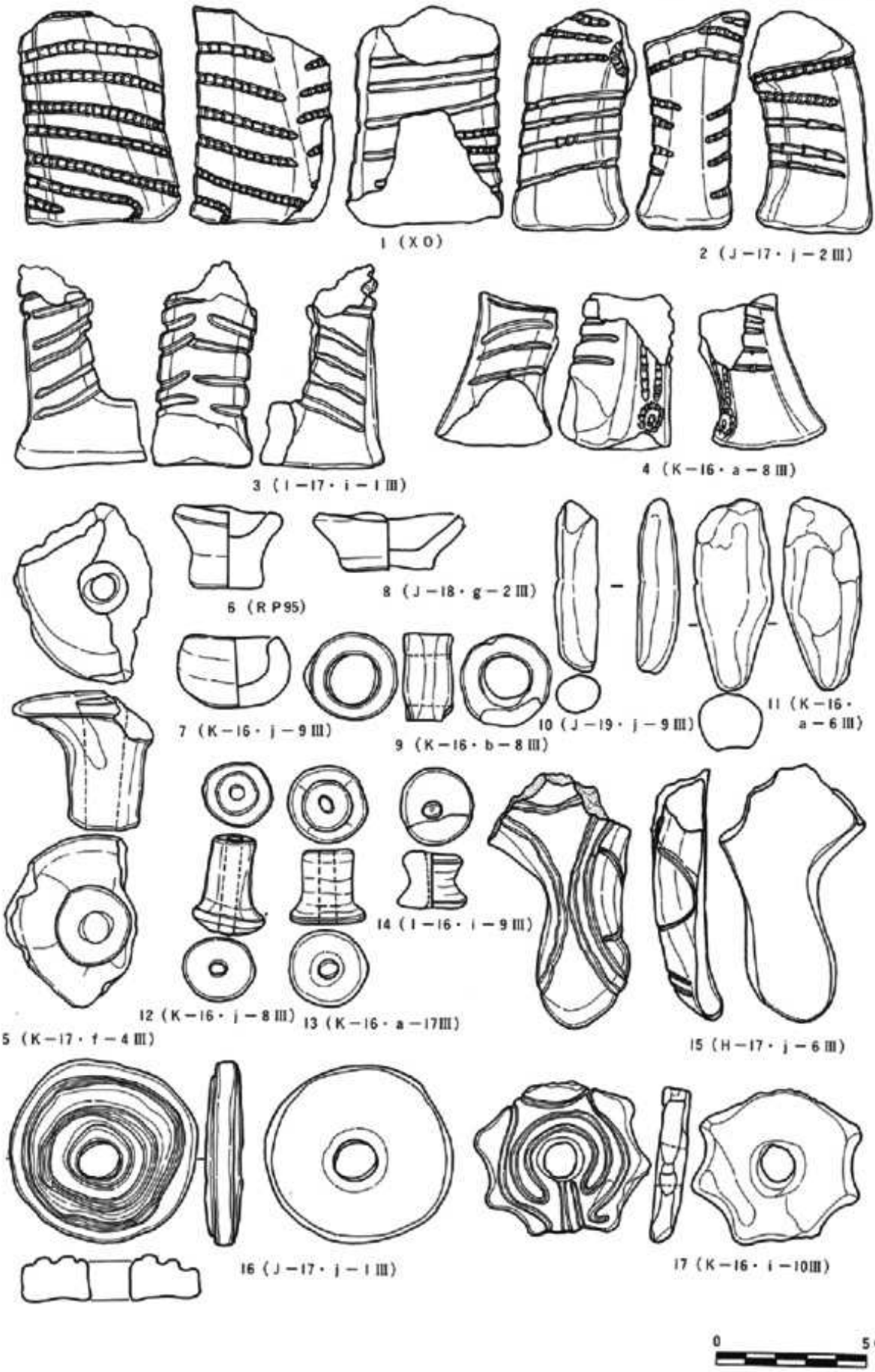
6（K－17・h－3Ⅲ）



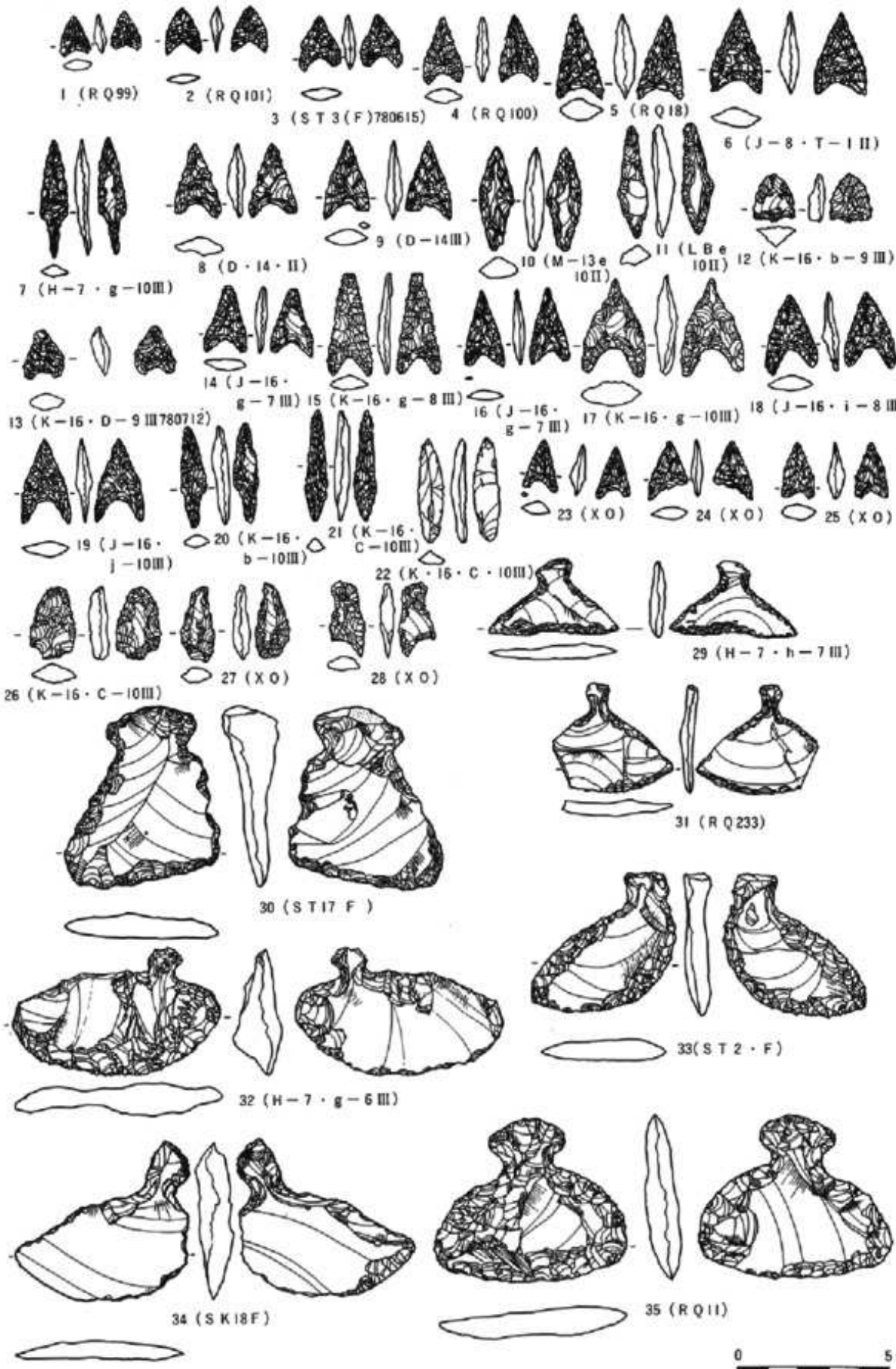
5（I－17・g－1Ⅲ）

0　5cm

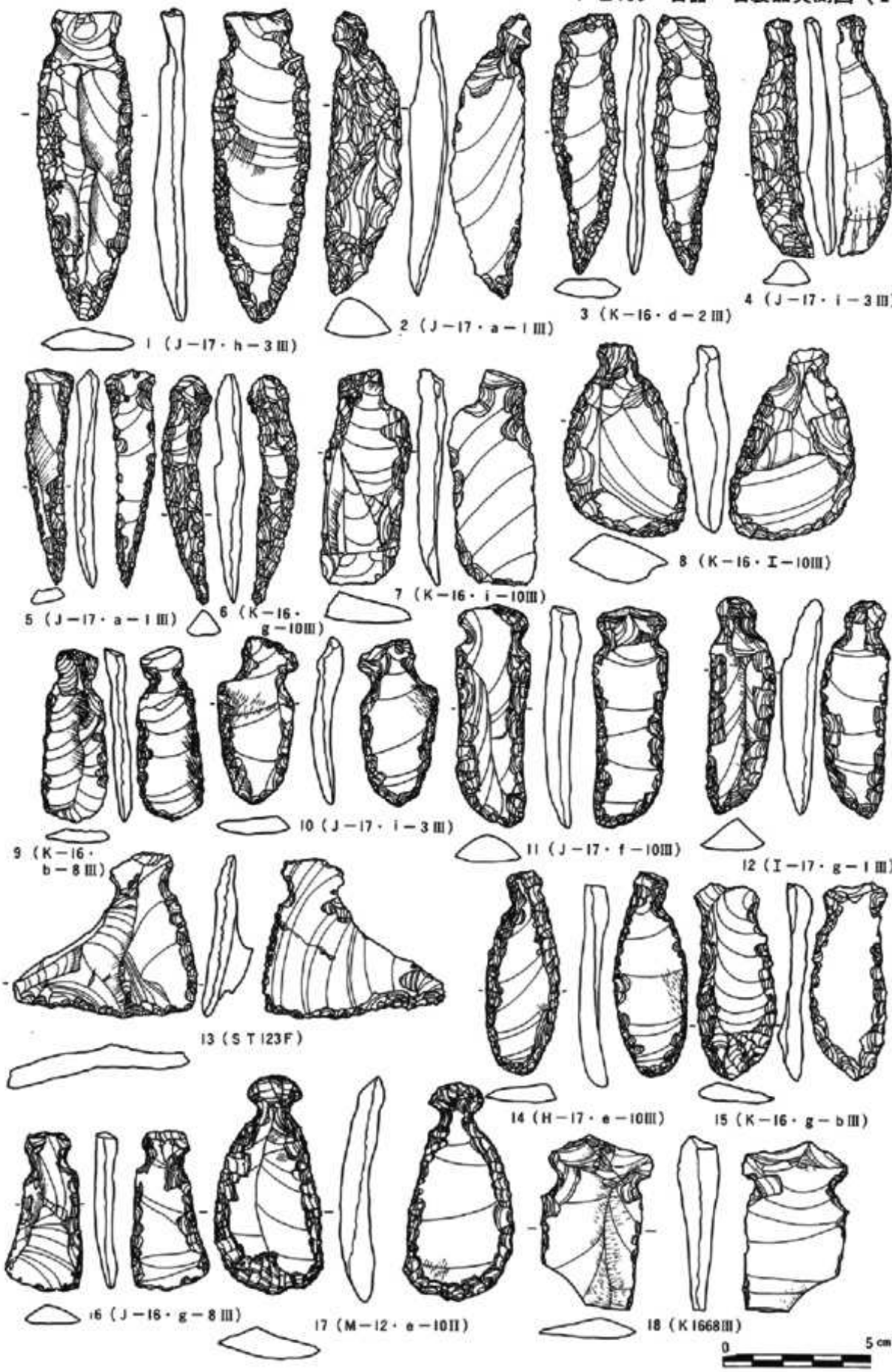
PL106　土偶・土製品実測図（5）



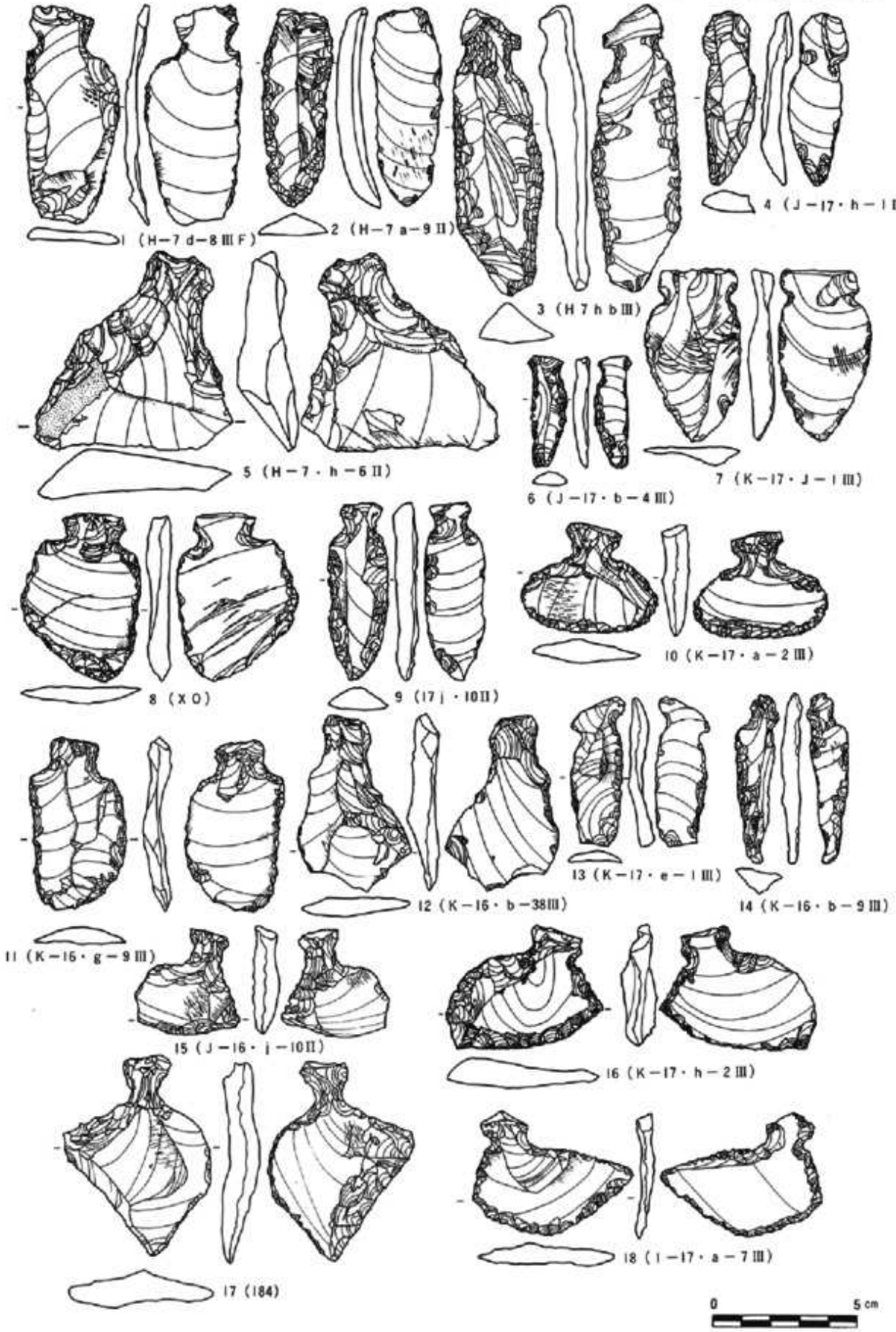
PL107 石器・石製品実測図（1）

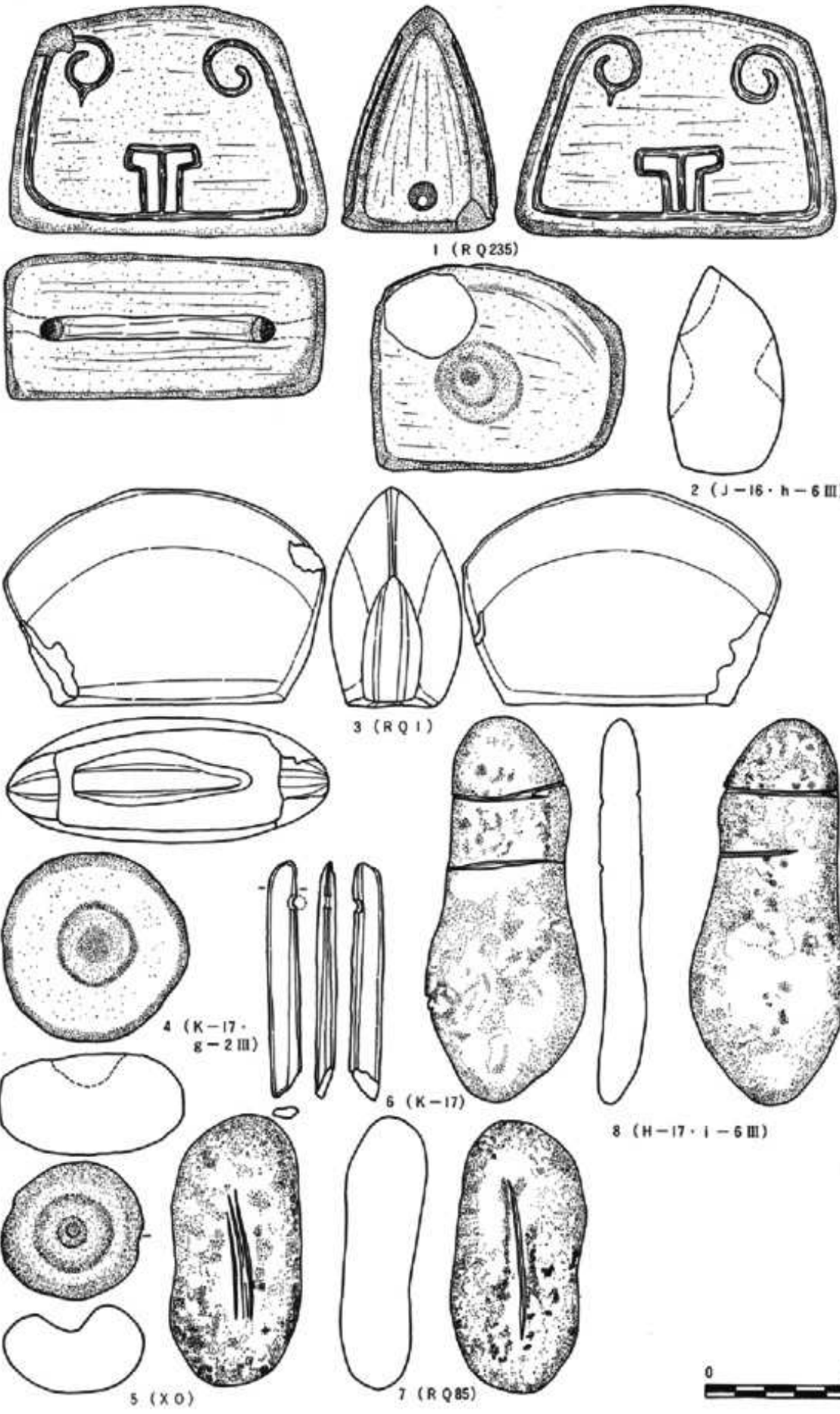


PL108 石器・石製品実測図（2）



PL109 石器・石製品実測図（3）




1（RQ235）
2（J－16・h－6Ⅲ）
3（RQ1）
4（K－17・g－2Ⅲ）
5（XO）
6（K－17）
7（RQ85）
8（H－17・i－6Ⅲ）
0
5cm